

白石市文化財調査報告書第49集

渡辺家文書Ⅰ

～現況目録Ⅰ～

白石市教育委員会

渡辺家文書調査研究会

白石市文化遺産活用推進委員会

白石市文化財調査報告書第49集

渡辺家文書 I

～現況目録1～

白石市教育委員会
渡辺家文書調査研究会
白石市文化遺産活用推進委員会



寿丸屋敷（渡辺家旧邸 写真提供 白石まちづくり株式会社）



現在整理が終わっている渡辺家文書



整理する前の渡辺家文書

目次

| | |
|---------------------|--------------------------|
| 序文 | |
| 「あいさつ」 | |
| 凡例 | |
| 執筆者紹介 | |
| I 論考と解説 | |
| 1 渡辺家文書の調査と概要 | 荒武 賢一朗……………1 |
| 2 渡辺屋儀蔵の人的諸関係 | 清水 翔太郎……………3 |
| 3 渡辺屋儀蔵の商人ネットワーク | 岡 慎太郎……………5 |
| 4 紙中揚商と流通 | 清水 翔太郎……………10 |
| 5 質屋の役割 | 荒武 賢一朗……………14 |
| II 目録 | |
| | (W1-1) (W6-17-80)……………45 |
| 6 渡辺家の道中記 | 渡辺 信男……………15 |
| 7 渡辺家所蔵の近世書籍に関する一考察 | 本木 成美……………17 |
| 8 商家・渡辺家所蔵の近代書籍 | 鬼丸 諒……………22 |
| 9 明治期の渡辺家と醤油業 | 黒田 風花……………32 |
| 10 書状の翻刻と解説 | |
| ① 渡辺家書状にみる呉服・太物取引 | 本木 成美……………37 |
| ② お役人から醤油屋さんへ | 黒田 風花……………41 |
| ③ 「町役人」渡辺儀蔵の姿 | 鬼丸 諒……………42 |

序 文

白石市立図書館が所蔵している『刈田郡案内』（明治四五年四月発行）という刈田郡要覧的な内容の書籍があります。

そのなかに明治末期には珍しい自社製造品ラベル（写真版）の広告が掲載されています。「丸に壽」の商標、「最上醤油」の商品名、「宮城縣白石町壽丸合名會社」と入っているものです。この醸造元、壽丸合名會社が江戸時代の豪商、渡辺家の当時の会社名で、白石では平成の初めまで「壽丸の醤油」を知らない人はおりませんでした。

その渡辺家から白石市へ寄託された古文書は、現在明らかになったものでも八千点以上にもなります。

その一部は、江戸期の同家主力業種の紙商に関する『仲間義定録』（白石市文化財調査報告書第二八集）として、平成十六年に故中橋彰吾先生が主にまとめられて発行されましたが、その後は、文書類が膨大で多岐にわたっている事と、内容が商家文書特有の符牒や用語解釈のむずかしさなどから手付かずのままでした。

平成二五年から懸案となっていた「渡辺家の文書」の目録作成を、東北大学東北アジア研究センターの荒武賢一朗先生にお願いしておりましたが、この度、先生を中心とした若手の研究者で構成されております調査研究会によって目録の作成業務が進み、第一弾の報告書として考察を加えて発行するに至りました。

この目録の発行によって、江戸中期から明治の初めまでの白石商家の営みの一端が明らかになり、領主片倉家との時代々々の関わりや江戸・伊勢商人との取引の実態などを知ることにより、商業面からの白石の歴史が研究される足掛かりになるものと期待し、次号報告書の発行を待ちたいと思います。

平成二八年二月

白石市文化遺産活用推進委員会

委員長 細田紀明

「あいさつ」

白石市は、今なお城下町の面影を残しています。

武家屋敷があった場所は、白石城の外堀にあたる沢端川が流れ、直進を拒むような枡形に折れ曲がった道が配されています。町屋があった場所では、間口が小さく細長い町屋の特有の町並みが残されており、近世に作成された白石城下を描いた絵図と現代の地図を重ねると、多くの場所が変わっていないことから、その面影を残していることが窺えます。

そのような町並みが残る白石の中心部に、商家として活躍した家の屋敷が今も残されています。

この屋敷の持ち主が、「寿丸」の名前で市民に知られる渡辺家でした。渡辺家は、白石で代々商いに携わり、白石を代表する豪商の一つです。

この度、その商家であった渡辺家に残された文書の目録を発刊することとなりました。

これまで、市内の商家に関する資料を題材にした報告書は、平成一六年に「仲間義定録」という紙中揚商資料に関する報告書を刊行しておりますが、それ以降、刊行がありませんでした。

今回、東北大学東北アジア研究センターの荒武先生をはじめ、多くの若手研究者の方々のご協力により、文書目録として刊行することができました。この目録によって白石の商家に関する歴史を知る新たな手がかりになるものと思います。

最後になりますが、本書の製作に多大なるご理解を頂きました渡辺様、玉稿を賜りました先生方に心より御礼申し上げます。

平成二八年二月

白石市教育委員会

教育長 武田政春

凡例

一、白石市・渡辺家文書は、同家に伝来してきた古文書から構成されている。調査途中のため総点数は不明であるが、本書には二六五九点の文書目録を収載した。

一、文書の整理は保存状況に応じて実施した。本書ではそのうち箱一(W1)から箱六の途中(W6-17-80)までを紹介するが、原文書は番号順で文書保存箱に収納している。

一、箱ごとの文書内部の配列は、保存状況に応じて文書番号を設定した。番号を設定後、内容が多岐にわたる文書については、枝番を付して詳細な情報を掲載している。

一、本書における文書目録の掲載項目は、箱番号・文書番号・枝番・表題(内容)・作成年月日・差出人・受取人・形態・状態/備考、の順番である。

一、表題は原題をもとに作成しているが、原題がない、もしくは主意内容の補記が必要な場合は、○内に必要な情報を記した。

一、差出人と受取人は原則として二名までを記載し、三名以上の場合は一名の記載と○内にその他の人数を記した。また、屋印(屋号・商号)は、「○」や「△」のように表記した。

一、破損などにより判読不能の箇所は、一字の場合「■」、二字以上または字数不明の場合は「□」で表記した。

一、年代不詳の場合は、「年月日未詳」などの表記をおこない、文書の内容やその前後関係などで推測できる場合には○で補足した。

一、字体は原文記載の通りを基本としているが、常用漢字を優先的に使用する場合を含む。

一、「渡辺・渡邊・渡部」および「儀蔵・義蔵」などの表記は原文にしたがって記載し、誤記と思われる名前などについてもそのまま表記した。

執筆者紹介(五十音順)

荒武 賢一朗(あらたけ けんいちろう)

東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料学研究部門准教授

岡 慎太郎(おか しんたろう)

東北大学大学院文学研究科博士前期課程在籍

鬼丸 諒(おにまる りょう)

公益財団法人札幌市芸術文化財団職員

黒田 風花(くろだ ふうか)

東北大学大学院文学研究科博士前期課程在籍

清水 翔太郎(しみず しょうたろう)

東北大学大学院文学研究科博士後期課程在籍

本木 成美(もとぎ なるみ)

松島町教育委員会教育課技師(学芸員)

渡辺 信男(わたなべ のぶお)

白石市文化財保護委員会委員長、渡辺家子孫

【謝辞】我々の文書調査は、東北大学東北アジア研究センター、ならびに同センター上廣歴史資料学研究部門、白石市教育委員会生涯学習課の皆様方からの多大なご支援によるものである。とりわけ本書の刊行には、生涯学習課の日下和寿、岸野太一両氏にご尽力を賜った。記して謝意を申し上げる次第である(荒武)。

I 論考と解説

1 渡辺家文書の調査と概要

荒武 賢一朗

本書は白石市渡辺家文書の調査をもとに、目録の一部とそれに関する歴史的考察および解説をまとめたものである。

①調査の足跡

平成二五年（二〇一三）八月より現在に至るまで、我々「渡辺家文書調査研究会」のメンバーと白石市教育委員会は、協力しながら渡辺家文書の目録作成と内容把握を進めてきた。

渡辺家は本書を通覧すれば理解できるように、江戸時代から白石の商家として活躍し、当地の経済や社会に大きな影響を与えた存在である。同家については、かつて白石の通史を要領よくまとめた『白石市史』（全七巻、一九七一〜八七年）や、商人たちの実像を描いた阿子島雄二『白の豪商たち―紙と紙布・繭と生糸を担った人々―』（一九六九年）、同『白石城下町人譜』（一九七六年）などで概要が紹介されているが、本格的な商人研究というところまで踏み込まれていない。それは本書で紹介するように目録が未整備だったため、当時は古文書の内容がすべて把握できていなかったからである。その意味では数十年にわたって待ち望ん

できた目録がようやく公開の機会を得て、また研究へと結びつく段階に至ったといえよう。

今回の目録作成以前には、白石古文書の会を中心としたメンバーで、『白石市文化財調査報告書二八 渡辺家文書調査報告書 仲間義定録』（白石市教育委員会、二〇〇四年）が出版されている。これは渡辺家の主たる経営の柱である紙売買を詳しく述べたものであり、本書もこの仲間義定録に大きな示唆を受けている。

我々の調査は当初、筆者と東北大学、東北学院大学、宮城学院女子大学に在籍する大学生および大学院生による夏休みの集中調査を契機として開始された。その後、本書の執筆者を中心に毎月二回程度の作業日を受け、文書目録の作成をおこなっている。現在約八〇〇〇点の調査を伴っており、本書ではそのうち二六〇〇点を紹介することができた。渡辺家に伝来した古文書を一点ずつ中性紙封筒に詰めていく作業は白石市教育委員会で、その後の調書作成と目録入力には調査研究会で、さらに部分的に始めつつある写真撮影は双方の共同作業ということで、少しずつ内容が看取できるようになってきた。

②渡辺家の歴史

江戸時代以降の白石を語るうえで、渡辺家の存在は極めて大きく、またその動向を明らかにすることは白石の歴史を深く読み取ることのできる作業と重複する。さきの『仲間義定録』の成果に依拠すれば、渡辺家の祖先は伊達晴宗に仕えた武士で、その後の天正年間（一五七三〜九二

に帰農（＝武士をやめた）したとされる。具体的に歴史史料で明らかにするのは、初代渡辺小右衛門定吉（享保一五・一七三〇年卒去）からで、六代儀藏喜治（改め義左衛門）、七代甚藏喜伴（改め義左衛門および義藏）、八代又四郎喜則（改め甚藏および儀藏）の時代からである。六代儀藏は白石で有数の商家を切り盛りし、片倉家御用達を務めつつ、同時に士分を得た「武士」でもあった。以後、経済的諸関係のみならず、領主片倉氏の財政運営や政治支配にも少なからず影響を及ぼしただろうと考えられる。

白石の中町に居を構える渡辺屋は、江戸時代後期から明治時代にかけて多角的な経営展開を繰り広げる。たとえば、呉服太物をはじめ、古手、紙商、木綿、質屋、塩問屋、醤油や味噌の醸造など、ほかにも金融および土地の運用も手掛けている。詳しい内容については、後段の各論を参照されたいが、このような多角化は自家における発案、そして町内や近隣および同業者からの要請などによって多様な活動に発展するものと推測される。

③ 広域的な商業網

渡辺家の商業経営と人的諸関係については、後段の清水翔太郎および岡慎太郎の丁寧な論考から多くを知ることができる。ここでは、概括的ながら遠隔地商人とのやりとりを少しだけ紹介しておきたい。

これまでの調査分析の結果、渡辺家は白石および近隣地域、そして仙台、福島、山形方面の商人たちと取引関係を結んでいる。たとえば、山

形在住の商家では、長谷川吉郎次（山形・十日町、繰綿太物卸店）との昵懇な関係が明らかになる。長谷川から到来する書状（W6-8-9-7など）をひもとくと、絹織物や木綿関係の商売をしている様子がわかる。商品には「古手」「播磨結城（縞）」「小倉袴地」「小袖錦」などを長谷川から入手し、渡辺屋はおそらくこれらを白石町内や近隣地域へ販売したのだろう。

長谷川と同じく山形の有力商家であった三浦屋権四郎（山形・四日町、太物小間物）ともよく文書のやりとりをしていた。三浦屋は山形方面の諸相場を渡辺屋に知らせる書状（W6-20-27など）を送り、塩・米・大豆・砂糖などの値段を報知する。これは、渡辺屋が米・塩などを売り込むための重要情報であり、両者の協力なくして速やかな取引は不可能だったことを裏付けている。

比較的に近い山形などの商人とうまく歩調を合わせながら、経営を動かす渡辺屋だったが、それらの軌道よりも一回り大きな同心円を構築している。それは江戸の商人たちで、ここまで判明するだけでも川喜田久太夫（江戸大伝馬町一丁目）、長谷川次郎吉（同）などである。川喜田や長谷川は伊勢国出身の商人であり、木綿や太物などを得意とするが、長谷川から渡辺屋に届けられる書状には、江戸の相場価格を伝達し、「（渡辺屋の）御注文の品々は不足のためとても買入れがたく」（W6-20-28）、あるいは「大坂・泉屋孫助殿よりいまだ荷物未着」（W6-20-65）といった物流のあれこれを申し述べている。

近世の商品流通で特筆すべきは古手である。古手の入手はいろいろな

経路を持っていたが、播磨国姫路の奈良屋権兵衛から得ているところは興味深い。奈良屋は出羽国酒田の本間家や同国大石田の二藤部家など名だたる商人と取引をしているが、渡辺屋とも商いをしていたのである。これまでの研究では姫路から瀬戸内海・日本海を通り、最上川水運にて山形へと向かうことは指摘されてきた。しかし、渡辺家文書ではそれよりも延長し、山形方面から白石に上方の商品が入ってきたことを窺わせるのである。

2 渡辺屋儀蔵の人的諸関係

清水 翔太郎

渡辺屋が紙・太物をはじめとした多様な商品を扱い、仙台藩領のみならず、広範な地域と取引関係を結んでいたことは他稿で明らかにされている通りである。

天保一〇年（一八三九）、七代儀蔵の伊勢参宮に際して、餞別の贈り物を記録した「伊勢参宮祝儀請納帳」という史料がある。そこに名前があるのは、儀蔵の妻の実家にあたる梁川の八巻屋伴蔵や村田の山田屋専次郎など親類縁者と仙台の紙問屋後藤屋吉蔵など重要な取引先の他は、大部分が白石城下の人びとのようである。高橋屋甚兵衛などの商人らは「殿付」で記されているが、堤権大夫のように「様付」で記された人びともおり、白石家中の武士などからも餞別を受けていたようである。こ

の請納帳は、渡辺屋儀蔵の白石における人的関係を知るうえで重要な史料である。

こうした関係の中でもより親密な関係にあったのが、共に家業に励んだ渡辺屋の親族であろう。本稿では、渡辺屋の親族関係に注目し、渡辺屋の家業が存続した背景について若干の考察を試みたい。なお、当主の没年や血縁関係などは、『仲間義定録』の解説と渡辺信男氏作成の「渡邊家代々系図」を参考にした。

渡辺家文書は幕末維新期の史料が多く残されているが、この時期に渡辺家の当主を務めていたのは、八代儀蔵であった。彼は明治一〇年（一八七七）に四八歳で病没したが、これを数え年とすると、天保元年（一八三〇）生まれであったと考えられる。彼は七代儀蔵の弟で、弘化四年（一八四七）に兄が四一歳で没した際、兄の子豊吉、後の九代儀蔵が、一〇歳と幼少であったため、一八歳で当主となって店を切り盛りしたようである。渡辺屋の経営規模を考えると、一八歳の若さで店を任された時の彼の心境は、察するに余りある。また、彼は兄から引き継いだ家を甥の豊吉に譲らなければならず、そうしたなかで重圧などもあったであろう。特に幕末維新期の激動の時代にあつて、前代までにはなかった新たな問題も発生し、彼はそれを乗り切らねばならなかったが、そうしたなかで店の経営の手助けをしたのが、成長した甥の豊吉であったと考えられる。下野国宇都宮の商人佐野屋久右衛門から渡辺屋に出された書状（資料番号W6-12-220）をはじめ、幕末期に渡辺屋に出された書状の多くが儀蔵と豊吉兩人宛てに出されていることからこのことは

窺い知ることができよう。

八代儀蔵が出張先から差し出した書状三点(W6-117-25、27、32)について、岡慎太郎氏が紹介しているが、これらは「豊吉殿・藤兵衛殿」、「伯父様」、「叔父様・豊吉殿」に宛てたものであった。藤兵衛については不詳であるが、重要なのは「叔父様」(「伯父様」)との関係であろう。これらの文中には「井丸叔父(伯父)様」が出てくるが、これはおそらく井丸渡辺家の佐吉のことではないかと考えられる。「井丸叔父様」と宛名の「叔父様」の関係は定かではないが、儀蔵が叔父を信頼し書状を出していることは確かである。このことをふまえると、儀蔵が若くして兄の跡を継いだ際に、別家をしていたであろう井丸渡辺家の佐吉ら「叔父」が後見をし、彼が渡辺屋当主として一人前に成長するのを支えていたことも想定できる。壮年期を迎えても、儀蔵にとって「叔父」は頼れる存在であったに違いない。

「井丸叔父様」と儀蔵、儀蔵と豊吉の叔父と甥の協力関係のもと、渡辺屋は激動期をのり越え、明治以後も家業を存続することができたのであろう。これらの人びとに注目して渡辺屋の経営を詳らかにしていくことは、今後の課題である。

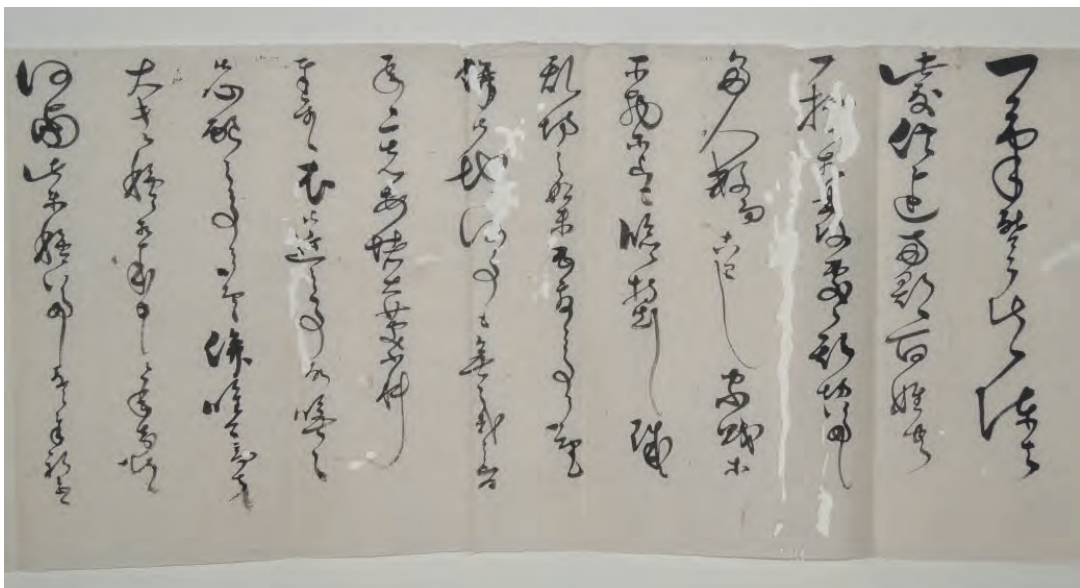


写真1 W6-112-220

3 渡辺屋儀蔵の商人ネットワーク

岡 慎太郎

膨大な量の渡辺家文書には、渡辺屋による商業活動の過程で作成された文書が数多く収録されている。それらからは、渡辺屋によって白石周辺地域にとどまらない全国的な商業活動が行われていたことがうかがえる。また、渡辺家文書には領収証や注文書など商品取引の形跡を直接的に証明する資料だけでなく、渡辺屋の店主である儀蔵が親族に宛てた書状や、取引先の商人から儀蔵に送られた書状も多く確認できる。これらの書状からは、儀蔵の活動の様子や商品を発注するまでの過程、商人同士の近況報告など、領収証の類には記録されないような情報をも読み取ることができるといえる。渡辺屋とその取引先の商人との間で、商品や金銭取引とともに情報のやりとりも行われていたことは想像に難くない。

そこで本稿では、渡辺屋儀蔵に代表される近世の商人が行っていた商業活動の様子や、周辺地域にとどまらない全国的な商人との情報のやりとりの事例を渡辺家文書に伝わった紙中揚商関係の書状から見出して、当時の商人たちの取引や情報におけるつながりを「商人ネットワーク」と表現して考察していきたい。

① 渡辺屋儀蔵の手紙

はじめに渡辺屋儀蔵が書き記した三通の書状に注目し、儀蔵自身の活

動の様子を探る。渡辺家文書はその多くが取引先の商人や役人から渡辺屋に集まった書状・書類で構成されているので、同資料群中に儀蔵自身によって書かれた書状が存在することは興味深い。以下の三通の書状からは、儀蔵が年始回りとして自分の足で周辺地域の取引先を訪問していることが分かる。なお、三通とも年不詳であるが、それぞれの日付は近く、書かれている内容にも共通点がいくつか見られるので、同年の一連の年始回りの際に出された書状であると判断し、その内容から文久三年（一八六三）のものと推定した。

一通目は正月二日付書状（W6-17-32）で、儀蔵から彼の親族にあたる豊吉、藤兵衛宛に出されている。書状には「下拙義大河原泊り二而無事着仕候」「昨日夕御年始廻り仕候」とあり、年始回りのため儀蔵が白石を離れていることが分かる。この文面からは、大河原に宿泊したのちに目的地に無事到着したと読み取れるが、具体的にどこに着いたのかは書状中には書かれていない。ほかに「新紙不揃之様子二而こまり入申候」や「早速相送り呉候様御注文二御座候」ともあり、取引先での新紙不足の様子や注文の受注など、訪問先で商業活動の情報共有をしていることも確認できる。年始回りとは言いつつも、それはただの挨拶にとどまらず、商業活動を伴うものであった。

次に二通目は正月二五日付書状（W6-17-25）で、儀蔵から伯父宛に出されている。書状には「御上京方弥三日二相成候由依而ハ御用立金等之義如何ニ御都合可成下候哉」「中間分も夫々御願申上候方可然由井丸御叔父様等より御相談も有之候」とある。同様の内容が先ほどの

正月二一日付書状の後半にも見受けられるので、この書状も出張先から親族に宛てた書状であると推測される。この「御上京」に際しての「御用立金等之義」とは、文久三年に仙台藩主伊達慶邦と共に上洛した、白石領主片倉宗景への上洛資金の提供に関する相談のことであろう。このことについては後述するが、次の三通目とあわせて、これらの書状は文久三年一月から二月に当時の儀蔵（八代目）によって認められた書状であると考えられる。

最後に三通目は二月一日付書状（W6-17-27）で儀蔵から叔父、豊吉宛に出されている。書状には「下拙岩沼泊り二而廿八日無事着仕候」「御年至御店廻り仕候」とあり、年始回りで大河原から移って岩沼経由で取引先の紙店をまわっていることが分かる。そして「旧蠟残紙有之諸紙共ニ引立不申何分こまり入之間出紙之分引下ケ御買入可被成下候」とあるように、書状を受け取った叔父や豊吉に対して、取引先で昨年売れ残った紙の買い入れを要請している。ここでも訪問先での商業活動を怠っていない。

以上の三通から分かることをまとめると、実際に取引先を訪問する儀蔵の姿が見て取れ、年始回りのみに終始せず各地で商業活動を行っている様子が確認できる。また、資金提供の相談に見られるように、仲間内での相談も持たれており、渡辺屋の商人ネットワークも垣間見られる。ここでは渡辺屋儀蔵の書状から儀蔵自身の活動の様子を探ろうと試みたが、次に渡辺屋をはじめとした白石の紙中揚商たちと他地域の商人たちとの関係はどうであったのかについて見ていきたい。

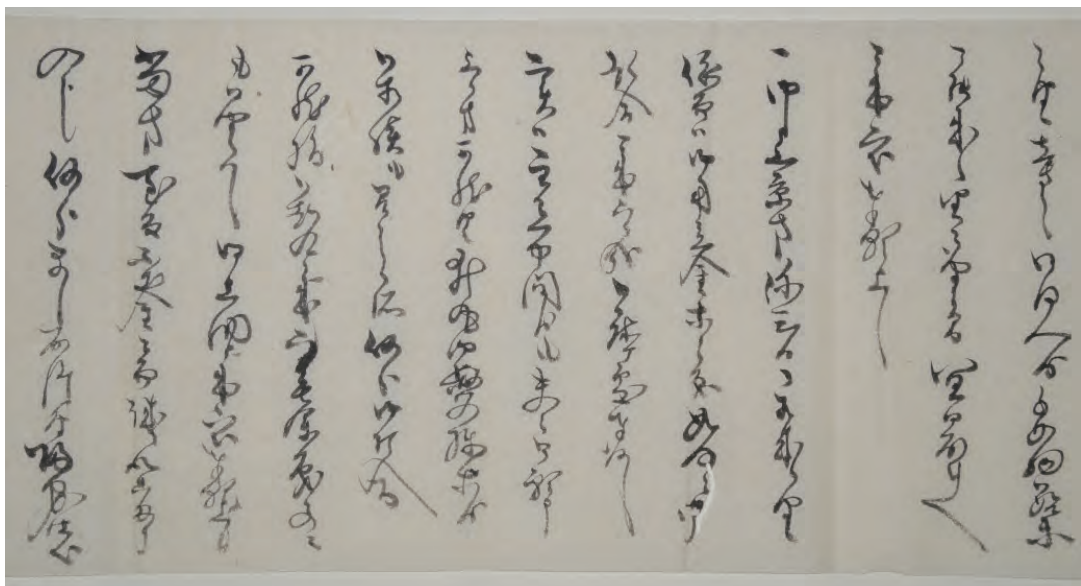


写真2 W6-17-25

②白石の紙中揚商たちと近隣地域

白石の紙中揚商と関わりを持っていた商人として、ここでは丸森の紙中揚商を事例として扱う。丸森は当時、紙漉きが盛んであったことが知られており、渡辺家文書の中では小野屋儀兵衛（義兵衛）という丸森の紙中揚商が確認できる。彼は渡辺屋との間で商品取引や紙相場の共有を行っていたことがいくつかの書状から分かる（W6-11-201）。また、渡辺家文書の中には他の丸森の紙中揚商たちの書状も残っている。ここでは、万延元年（一八六〇）十一月付書状写（W1-3-13-3）をとり上げる。これは、丸森の紙中揚商である齋藤屋又三郎、同じく齋藤屋善右衛門、そして先ほどの小野屋義兵衛の三名から、小西久兵衛と加藤直輔という者へと送られた書状の写しである。文面には「当新紙案内之高直故紙漉利潤割紙漉人共吟味」とあり、紙が予想より高値となったため、丸森の紙漉き人から利益の取り分を改める声が挙ったことが分かる。ここで注意が必要だが、小西久兵衛と加藤直輔（直助）という人物は仙台の商人である。この書状がなぜ渡辺家文書に伝わったのかは定かではないが、丸森の紙中揚商が仙台の紙問屋へと書状を送る際に、渡辺屋にも控えとして写しを送っていたとも考えられる。いずれにせよ、仙台の商人宛の書状が白石の渡辺屋に伝わっている点は大変興味深い。

明和三年（一七六六）に白石紙中揚商たちが検断に提出した書状控（W6-16-4）からは、白石・丸森紙中揚商と仙台の紙問屋との間で商業活動の権利に関して競合があったことが分かる。内容は「薬師

堂」神事の際の商業活動をめぐる訴えである。この「薬師堂」がどの寺院の薬師堂かは詳しく述べられていないが、書状の内容から仙台の陸奥国分寺薬師堂と考えられる。文面には、丸森の紙中揚商とともに神事に古くから関わってきた白石の紙中揚商らに対して、仙台の紙問屋商人から「右御神事場へ中揚共紙荷物相出商売仕候儀相控紙問屋江附入商売仕候様被仰渡候」すなわち、薬師堂神事での直商売を控え、仙台下の紙問屋を介するようにとの要請がなされたとある。白石の紙中揚商たちからすれば、古くから続いてきたという薬師堂神事に際した商売を止めさせられることは、当時としては不当に感じたであろう。一方で同資料中には、以前に仙台下の者たちが白石・丸森まで来て直商売をしていたようで、のちに改められて白石・丸森―仙台間の取引は仙台下の紙問屋を仲介するようになったとも書かれている。仙台下の者たちからすれば、自分たちの白石や丸森での商売を止めさせられたわけであるから、白石の紙中揚商たちの仙台下での商売を止めさせるのは妥当なことであろう。この書状からは、そうしたお互いの認識の違いがあったことも読み取れるのではないだろうか。

ここでもう一つ、年末詳十二月一八日付書状（W6-16-9）を紹介する。この書状は、検断の役に就いていたと考えられる安右衛門という者たちから、儀蔵など紙中揚商宛に出されたものである。安右衛門らによると、白石の紙中揚商たちが商品を村によって差額をつけて売り払っているという情報が入っているとのこと、書状中で「白石商人共高利むさぶり候段被仰渡候」とまで述べており、この件に関して「吟味

無抛品柄も有之候ハ、其段何共御改安右衛門方へ可被御申聞候」として、商品の値段のことも含めて吟味はやむをえないので、あらためて自分に報告せよとしている。時に白石の紙中揚商たちは、自身の商売の不平を問われていたようである。

以上を振り返ると、白石の紙中揚商たちの商人ネットワークでは、丸森の紙中揚商との関わりや薬師堂神事での商売の習慣など、共同で利益追求がなされていたことが分かる。一方で周囲との競争・摩擦として、仙台城下の紙問屋との薬師堂神事の権利争い、そして「高利をむさぶ」つていという指摘などが見受けられた。ただし、ここでの事例はある時期の状況のみをとり上げて見ているので、事例一つ一つに対する最終的な評価はなお慎重にしなければならない。

③幕末の全国的商業関係

次に、白石周辺地域から見る範囲を拡大し、より広域的な商人ネットワークはどのようなようであったかを、幕末期の書状をとり上げて見ていく。

まずは信達騒動について書かれた書状を二通とり上げる。信達騒動は慶応二年（一八六六）に陸奥国信夫・伊達両郡（現福島県北部）で蚕紙・生糸の生産者への課税に反発して起きた一揆である。一通目は七月三日付書状（W6-12-39）で、光白屋清次郎、孝介から渡辺屋儀蔵に出されたものである。光白屋清次郎は福島の有力商人で、彼によると「去ル十五日夜今当信達両郡富家数軒江百姓一揆数万人乱入」ということが起き、一揆勢が家や土蔵、家財、諸品をこわし、金品を奪って逃

走したとの情報が知らされている。光白屋も「過ル十九日朝居宅江右数万人表蔵分裏蔵迄四ヶ所江押入」とあるように、自宅に一揆勢が押し寄せ、商品や家財をこわされたり盗まれたりしたという被害を受けて「前代未聞之強賊」と記している。しかし、店の者に怪我人はおらず、屋敷や一部の蔵は無事だったため「来ル六日二開店仕候心胆二御座候」と、一揆の被害から立ち直っていない屋敷が多いと考えられる状況で、既に近日中の営業再開を計画している。

次に二通目の書状は七月八日付書状（W6-12-220）で、宇都宮の商人である佐野屋久右衛門、佐助から渡辺屋儀蔵、豊吉に出されたものである。文面には「御地何事も無之哉之旨承候一先安堵大慶」とあり、白石へ一揆の波が押し寄せていないことを喜びながらも「御近之事故無々御心配之事二御座候」とも書いている。渡辺屋は信達地域を飛び越えて、宇都宮の佐野屋とも一揆に関する情報を共有していたことが推察される。取引先が商品取引をできない状況では、自分の商業活動にも影響してくるため、渡辺屋にとっても取引先の状況を把握しておくことは重要なことであっただろう。

次にとり上げるのは仙台藩主と片倉小十郎の上洛に関わる書状である。文久三年（一八六三）に当時の白石領主片倉小十郎宗景が仙台藩主伊達慶邦に従って上洛したことが知られるが、白石の一商人である儀蔵もこの上洛に関わっていたのである。

二月一五日付書状（W6-17-67）は長谷川次郎吉、豊七から渡辺屋儀蔵、豊吉宛に出されたもので、渡辺屋へ仙台藩主ならびに白石領

主の上洛について知らせる内容が書かれている。そこには「日限色々申唱候所俄ニ決定仕一昨十三日御発駕被為在候」「御太守様并御領主片倉様とも昨十四日御着」とあり、急遽一三日に出発して一四日に到着したことを知らせている。この記述だけでは出発地および到着地が判然としないが、『仙台市史』によると、慶邦らは二月三日に仙台を発ち、二月一四日に江戸へ到着したとある。以下、同月一八日江戸出発、中山道經由で三月二日京都着となる。つまり、長谷川次郎吉からの書状は、慶邦と宗景の江戸到着を渡辺屋に知らせる書状である。このことは、長谷川次郎吉が江戸大伝馬町の商人であることから妥当であろう。

さらに注目したいのが、二月三日に仙台を出発したということである。先述した渡辺屋儀蔵による三通の書状の内、正月二五日付書状には「御上京方弥三日ニ相成候由依而ハ御用立金等之義如何ニ御都合可成下候哉」とある。つまり、この「御上京方弥三日ニ相成候」とは、仙台藩主と白石領主が京都に向けて仙台を発つ日を表しているのである。したがって、この書状、延いては三通の書状は文久三年に書かれたものであるということも判明する。では、この書状で言われている「御用立金」とは何を指すのか。結論から言えば、これは上洛の費用として片倉家へ差し出す金銭のことである。『仲間義定録』によると、渡辺屋は幕末から明治維新期まで頻繁に藩や領主に献金していたことが分かっている。それに対する褒賞として知行や報賞品が下賜されており、さらには六代目儀蔵の代から士格、つまり武士身分を得ていた。今回の事例では、上洛の費用に充てるため、片倉家が商人たちに「御用立金」を要請してい

る。ちなみにこの時、渡辺屋は八代目の甚蔵（当時の八代目は「儀蔵」の名も使用していることから、「甚蔵」「儀蔵」が併用されていたと思われる）であったが、彼は金七〇〇切の提出を求められていることが『仲間義定録』の記述から分かる。このように、一見すると藩主や領主の上洛は商人たちとは関係のない事柄のように思えるが、実は儀蔵をはじめとした商人たちは資金提供者として、上洛に関わっていたのである。

以上を簡単にまとめると、取引先の商人から伝わったものは商品や金銭だけでなく、相手が置かれている状況や各地の様子などの情報も伝わってきたということが渡辺家文書からあらためて確認できた。今回の事例は信達両郡の一揆の経過や被害状況であったり、藩主・領主の上洛の経過であったりしたが、これらは遠隔地の商人との商品取引の過程で伝播したものであるということを指摘しておきたい。その土地との商人ネットワークがなければ、これらの情報は渡辺屋のもとには届いていなかったであろう。

現状における到達点

最後に、これまで述べてきた内容から本稿のまとめをしていきたい。渡辺屋儀蔵について、彼は自ら周辺地域の取引先のもとを訪問していたが、それは年始回りということもあり、各地との取引関係の維持にもつながっていたと考えられる。日頃の取引先との商品取引の中でも、関係の維持に努めていたのではないだろうか。また、藩および片倉家との結

びつきにも触れたが、上洛の費用として片倉家へ提供する資金の工面に奔走した儀蔵の姿が書状から確認できた。それは、片倉家を支えた白石商人の姿でもある。

そして、商人ネットワークについて、周辺地域との商人間においては、今回とり上げた事例では共同での利益追求というかたちで表れていた。一方で、お互いの権利を争っていたことも確認でき、如何に周囲との摩擦や競合を少なくするかも商業活動をしていく上での課題であったように思われる。また、取引先とのやりとりの中で各地の情報が伝播していたことも確認できた。今回の事例は江戸や福島、宇都宮などから白石の渡辺屋に情報が入ってきていたことになるが、それは同時に白石での出来事が各所に伝播していったことにはかならない。商人ネットワークが端緒となって、物事が全国へと発信された事例も少なからず存在したであろう。

最後に、商人ネットワークは商品の流通経路であったと同時に全国的に張り巡らされた情報網であったということを指摘しておきたい。渡辺屋では代々持つ商人ネットワークの維持に努めつつ、それらを駆使して商業活動を行っていた。今回見えた儀蔵の姿は、商人ネットワークを保持していた商人たちの代表例であり、各地域の商人たちによって、地域間は全国規模で相互につながっていたのである。

【参考文献】

・『白石市文化財調査報告書二八 渡辺家文書調査報告書 仲間義定録』

(白石市教育委員会、二〇〇四年)

・仙台市史編さん委員会編『仙台市史 通史編五近世三』(仙台市、二〇〇四年)

・『福島県史 第三巻 通史編三 近世二』(福島県、一九七〇年)

4 紙中揚商と流通

清水 翔太郎

①「仲間義定録」と紙商関係史料

渡辺家文書における紙商関係史料は、本報告書に掲載された目録の内、およそ十分の一にあたる。その大部分は一九世紀のものであり、中でも幕末のものが多く残されている。その中には、「仲間義定録」という、安政四年(一八五七)から明治元年(一八六八)まで、当時渡辺屋の当主であった八代儀蔵が、紙中揚仲間の一員として書き留めた史料がある。それを翻刻したものが、『白石市文化財調査報告書第二八集 渡辺家文書調査報告書 仲間義定録』として刊行されている。紙中揚仲間とは、白石城下の紙中揚商たちが結成した組合であったが、彼らが紙商をする上で生じた問題に対処するにあたり、関係者と取り交わした文書等を書き留めたものが「仲間義定録」である。具体的には、検断をはじめとする町役人などからの上意下達に対し、紙中揚商から町役人など上位者に対する下意上申の文書や、同じ役割を担った丸森の紙中揚商との横のつながりのなかで共有された情報などが書き記されている。

この度調査した史料で、「仲間義定録」に記録にある安政四年以降のものは、そこに収録されている文書の草稿や書状の原本が大部分を占めている。下意上申の過程において、当番の紙中揚商を中心に寄合を開き、上位者への願書の草案を執筆し、それを推敲した上で役所等へ差し出した。これと同じ文書が「仲間義定録」に書き写されたが、渡辺家文書には役所に差し出す以前の草稿も残されており、これらは上申までの推敲の過程を知ることのできる重要な史料である。

「仲間義定録」と関係史料の他、紙中揚商同士、または仙台の紙問屋と遣り取りした書状も残されており、これらを分析することで、紙中揚商を中心とした幕末の白石和紙の取引の状況を明らかにすることができよう。一方で、これより前の紙商関係史料としては、紙問屋との書状や一八世紀末から一九世紀初めの寛政・文化期の物価高に際して役所に提出した願書の草稿などがあり、「仲間義定録」よりも前の時代の紙商の状況を明らかにすることも可能である。本稿ではそれらも用いつつ、渡辺屋当主が代々務めた紙中揚商の役割と白石和紙の流通について考察することとする。

② 紙中揚商と紙問屋

「仲間義定録」をみると、安政四年の段階では渡辺屋儀蔵・大畑屋平兵衛・阿子嶋屋善治の三名が紙中揚商を務めていたことがわかる。その後、理由は定かではないが、安政六年には生酒屋良吉、慶応元年には日下屋仁右衛門と菅野屋圓吉が加入し、最終的には六名が務めていた。こ

の中揚商とは、白石の紙漉から仕入れた紙を仙台の紙問屋に卸した言わば仲買人のことである。渡辺屋が中揚商を始めた時期は定かではないが、明和三年（一七六六）に白石紙中揚商らが検断に差し出した書状（W6-116-4）には、甚蔵の署名があり、これは二代甚蔵であると考えられるので、少なくとも一八世紀半ばには渡辺屋は紙中揚商をしていたことがわかる。

仙台の紙問屋は、文化十四年（一八一七）以降、明治維新まで仙台柳町の三浦屋と田町の後藤屋が務めていたが、それ以前は三浦屋と黒田屋が務めていたようである。しかし黒田屋は、何らかの理由で仙台藩から紙問屋の株を没収され、後藤屋が代わって紙問屋を命じられたことが後藤屋の挨拶状（W1-3-1）からわかる。後藤屋は仙台の田町に店を構えていたが、そこには紙漉も住み、住人たちは仙台城下での紙くず買いと漉き返し、つまり紙のリサイクルを藩から認められていた（『仙台市史』・鯨井二〇一四）。田町は仙台城下における紙生産と販売の中心であったが、白石からも、渡辺家をはじめとする中揚商から紙が駄送され、後藤屋から仙台城下の紙店に卸されるなどして人びとの手に行き渡った。

「定」（W3-8-5）は、前半は元禄六年（一六九三）の仙台城下の紙店と紙問屋間での取り決め、後半は元文二年（一七三七）「両紙問屋」から白石などの紙中揚商との取り決めについて記されている。これは江戸時代中期までの紙中揚商・紙問屋・紙店の関係を知る上で重要な史料である。

前半は、仙台城下の惣紙店仲間七二名が連判の上、紙問屋三浦屋に規則を守り、紙商をすることを誓っている。そこでは、「紙店中間外二紙并紙子脇売不申様中揚之者江茂可被仰合候、若脇売仕候中揚御座候ハ、其品問屋へ申断候様可仕事」とあり、中揚商は紙店仲間以外に紙や紙子売る「脇売」の行為を規制されていることがわかる。また「紙店商人共問屋より外脇々にて隠紙・紙子買調候紙店見当り候ハ、則問屋へ為御知可仕候間御始末可被成候」とあり、紙店商人が問屋以外から「隠紙」を仕入れていることが明らかになった場合、問屋へ報告の上、始末されることとなっていた。これらをふまえると、仙台城下では、一七世紀末には紙店仲間が結成され、問屋もしくはその許可を得て紙中揚商から紙を仕入れ、紙を販売していたことがわかる。

やや時代は下るが、後半の部分は、紙問屋と中揚商の間で、次の二点について取り決めがなされている。第一に、「中揚之義者、紙問屋江附入、紙肝入共方より紙数改相請商売可被致候、尤紙数之儀先年より御足之通随分不足之紙持参商売被致間敷候、相对以紙商売之儀共ニ差支申候条其心得可被成候事」とあり、紙問屋を介し、紙肝入という役人の紙数改を受けた「附入商売」をし、個別に商売することのないよう伝えられている。第二に、「三月・四月・六月・八月・九月、右御神事之節者右場所紙宿江荷物駄送被致、紙肝入罷越紙数相改紙店中相調可申候、右荷物駄送被致候者ハ則紙問屋方江御引込勘定可致候事」とあり、これは薬師堂神事に関する取り決めであるが、神事の際には紙宿へ商品を送り、紙肝入の紙数改を受けた後に紙店と商談をすべきこととなっている。こ

の時期までは、紙問屋の管理を受けてはいるものの、紙中揚商は神事の際に紙店と直接商売することも認められていた。

しかし、これから三〇年を経ると、この薬師堂神事における商売も規制されることとなる。先に紹介した明和三年（一七六六）に紙中揚商らが検断に差し出した書状（W6-16-4）では、これを「附込商売」と称しているが、白石・丸森の中揚商が古来行っていたものだという。しかしながらこの「附込商売」を控え、中揚商は紙問屋への「駄送商売」（「附入商売」）に専念するように藩から命じられたのであった。薬師堂神事での「附込商売」は、「紙店之外江ハちり紙共ニ商売不仕様」とあることから、紙店を対象とした商売であることがわかる。特に三月の薬師堂神事の際は、「在々ニ而も紙漉方最中之時節ニ御座候」、つまり農閑期の紙生産の最盛期にあたり、白石からは百四十五駄もの白紙・塵紙が送られたと言う。紙中揚商にとって、こうした「附込商売」は、先祖代々引き継いできた重要な商いの場であり、何としても継続したかったのであつたらう。しかしながら、これ以後、「附込商売」に関する史料はななく、「仲間義定録」にも記述がないことから、継続は認められず、仙台の紙問屋を介した「附入商売」に一本化されたものと考えられる。

このような紙問屋を中心とした流通経路の形成については、同時期の仙台城下を重視した藩の商業政策（『仙台市史』）と関係があるのである。これについては今後詳細な検討を要するが、一八世紀中期は、紙中揚商の商業活動が大きく変化した時期であつたことが指摘できる。

③幕末の紙流通と近隣地域の中揚商との関係

ここまで述べてきたような時期的な推移を経て、一九世紀段階では、白石で生産された紙は、紙中揚商が紙漉から仕入れ、仙台の紙問屋へ送り、紙店へ卸されるというのが、正式な流通経路であった。一方で、「仲間義定録」をみると、安政五年から六年にかけて「直売直買」が問題となっていたことがわかる。これは、「塵紙之義ハ西南郷出産ニ而右村々才川町住居之者共買込置、他郡之者共立越直買せしめ、為夫か御下町江指出し無之」(『仲間義定録』一九頁)とあることから、西南郷で生産された塵紙を斎川町の住人らが買い込み、他郡の人びとが購入してしまうため、白石城下にそれが運びこまれなくなったことが問題となっている。つまり、中揚商を介さない流通経路が形成されており、それにより中揚商は紙問屋へちり紙を売ることができなくなったのであった。

こうした問題以外にも幕末期には多くの問題が生じていたことが「仲間義定録」などからわかる。特に紙値段の高騰が大きな問題となっていた。紙中揚商は、白石以外にも、名取郡柳生や丸森、角田などの紙生産地にもおり、彼らは白石の紙中揚商と同じ役割を果たし、仙台の紙問屋との関係も似通ったものであったと考えられる。そうしたなかで、情報交換が行われたが、渡辺家文書からは、丸森の紙中揚商と最も密な関係が築かれていたことがわかる。丸森の紙中揚商である小野屋儀(義)兵衛から渡辺屋儀蔵に宛てた書状(W6-11-201など)では、紙相場の情報がもたらされ、これは「仲間義定録」にも写されている。これ以外にも両者の書状での遣り取りは頻繁になされており、「仲間義定録」

に記録された書状には、「まつハ御面会之砌万々可申上候」とあり、書状のみならず、面会して相談することもあったようである。こうした横のつながりも諸問題を解決する上で重要であったことを指摘することができる。

本稿では、主に仙台の紙問屋との関係を中心に、渡辺屋の紙中揚商としての役割について論じてきた。紙中揚商は、紙漉の生活が成り立ち、かつ「御国」(仙台藩)の利潤となるような適切な物価を判断することを紙問屋から求められるなど、紙漉と問屋・領主層の間にあり重要な役割を担っていた。今後は、紙漉との関係も含めた紙中揚商の役割についてもより詳らかにしていく必要がある。

【参考文献】

- ・鯨井千佐登『城下町仙台の職人衆』大崎八幡宮、二〇一四年
- ・『白石市文化財調査報告書二八 渡辺家文書調査報告書 仲間義定録』(白石市教育委員会、二〇〇四年)
- ・仙台市史編さん委員会編『仙台市史 通史編五近世三』(仙台市、二〇〇四年)

5 質屋の役割

荒武 賢一朗

渡辺屋が質屋を開業するのは、弘化三年（一八四六）十一月のことである。これに先立って開業の許可を得るべく提出された同年八月の願書では、白石の六か町のうち、中町だけ質屋がないため町民たちが「不通」にて難渋する様子が述べられている。ほかの五か町には少なくとも一軒以上の質屋が存在したとすると、当時の都市社会において質屋があるのは当然で、むしろ無いことの方が珍しかったのかもしれない。すなわち、中町に住む人々にとって質屋が開かれることは大きな意味があり、また望ましいことだった。ただ、質屋を経営する者は誰でも良いというわけではない。そこで渡辺屋儀蔵は「相応の者」であるという周囲からの推挙があった。この願書で相応と述べるのは、①人物として実直であること、②質屋経営を手掛けるだけの資金力を有すること、の二点が挙げられる。質屋開店の許可を得た儀蔵は、中町の検断および組頭へ請状を提出し、①御役銭は「相掛らず」、②利足の設定、質物預けの日限を超過した場合は「市中へ相出し」をおこなう、③武器・馬具・兵具・鉄炮などは質取りしない、といった約束事を書き記した。

開業から翌年三月までの覚書（W6-1-1「質物方書付入」という包紙があり、W6-1-2以降に質物関係文書が多数含まれる）では、質物として絹織物、生糸、杉板、ふとん、紙類などが並び、多くの人々

が渡辺屋質店を利用し、資金の融通を円滑にしたものと考えられる。冒頭の願書にあったように、中町に質屋がないことから始まった話であるが、渡辺屋の質店を使っていたのはどのような連中だったのか。中町在住の商人たちの名前は目立つ存在だが、ほかにも長町、本町の在住者も取引をしている。一回あたりの金額はさまざまであり、よく質店に出入りしたと思われる長町の順吉は、①銭二貫八百文（W6-1-19）、②銭八百文（W6-1-24）、③銭六百文（W6-1-54）、④金一両（W6-1-61）といったように少額から大金の一両まで、個別の金額が明らかになっている。同じく順吉の場合、質草には右の金額に合わせて①紺縮裕一反・古脇指一腰、②半天（半纏）一枚ほか、③紙・布・帯、④絹一枚、といった具合である。おおよそさきに掲げた主な質物の絹織物や紙類などを使っていたことがわかる。順吉の場合、①では古い脇差を質物に利用したが、これは当初の請状にある武器などの質取りに抵触する可能性もあるだろう。また、弘化三年と推定する二月五日付け、鈴木久兵衛から儀蔵に宛てられた書状（W6-1-77）では、鈴木から「刀を質入れするので借金をお願いしたい」との依頼が舞い込んでいる。これについては実際に質入れた記録がないので実現していないだろうと思われる。開業当初には順吉がおこなったような小口取引が大半を占めるが、なかには金三〇両の契約（W6-1-79）など高額のものも含まれていた。

その後、元治元年（一八六四）ごろの史料では、絹織物類を中心に質取りが実施されている（W6-3-154など）。また、生糸など幕末

期特有と言っても良い当時の人気商品などを交え、広範に資金と品物の出し入れがなされていた。生糸となれば高額になることも多く、一回につき金六〇切（金一五両）から二五両ぐらまでのやりとりが中心である。さらに武器に注目すると、この幕末期において武田幸七家来の柴山源右衛門なる人物が渡辺屋に対して「刀一腰を受け取った」とする文書を出していることから、刀を質物として差し出し、その後代金を支払って取り戻したことを示唆する（W6―8―5―11）。

質店関係については、未確認の文書もたくさんあることを意識し、今後の分析課題にしていきたいが、地域金融や経済の安定を図るべく、質屋が円滑に機能していたことが想像できる。

6 渡辺家の道中記

渡辺 信男

道中記とは、一般的に次のような二つの種類から成立する。第一には、主として江戸時代に旅人たちのために沿道の宿駅、里程、駅賃、名所、橋などを中心として記述された旅行案内の小冊子である。江戸時代後期になると、街道別の単行本や飛脚問屋、旅籠組合、講社などでもサービースに発刊され、そして一種の往来物としても普及した。またもうひとつには、旅行者個人が自分の体験・感想を書き表し、後代の者たちへの道中案内のために書き残された物も全国的に良く見受けられる。渡辺家文

書には二種類の道中記が含まれていた。

(一) 平成一〇年（一九九八）第十七回公民館まつりの時、白石市中央公民館において渡辺家文書のなかから道中記に関する資料が展示された。その際、展示されたものの一部は次の通りである。

(1) 「伊勢参宮祝儀請納帳」 渡部儀蔵（横帳）

天保十己亥年七月十三日旅立、吉廿二日出立

(2) 「道中記」 紙員 随用（横帳）

天保十己亥年七月吉日

(3) 「大阪ヨリ金毘羅道中記」 紙員 随用（横帳）

(4) 「道中記」 紙員 随用（横帳）

天保己亥十年七月廿二日

（弘化三年丙午の閏五月吉日造之、喜伴）

以上資料四点、原文書確認済み

(5) 「伊勢参宮并名所附」（横帳）

寛政己酉元年七月吉十八日

(6) 「旅鐘」 （横半帳）

弘化五戊申春新刻 林圭文房潤暉誌

(7) 「道中記」 （往来物、横半帳）

以上写資料三点、原文書未確認

(二) 「伊勢参宮祝儀請納帳」から、当時の送別の様子などを窺い知るこ

とができそうである。本帳には七月十三日に「旅立」、そして同二二日に「出立」とあり、旅立ちから約九日間の間隔があるのは、その間に多くの人たちとの送別の機会を設けていたのではないかと推測している。

また、祝儀の金額についてはいろいろであるが、錢百文から金一兩までの開きがあり、そのうち半数以上は錢百文から二百文であり、これが祝儀を出した一四三名のうち約六割以上を占めている。現在の貨幣価値に換算してみると、仮に錢一文を二五円（金一兩を一〇万円とするレート）とすれば、おおよそ二千五百円から五千円程度が当時の一般的な餞別ではなかったかと推察され、現代の経済的状况と対比してみると、金銭的な餞別のほかに、たくさんの赤飯、餅、さらにはに

ごり酒、魚、にしめ等々、さまざまな食物類をおおよそ七、八〇名の方々より頂いている様子が見受けられる。先に述べたように、おそらくこれらの御馳走で親しい多くの人々と数日間を過ごし、別れを惜しんだのではないだろうか。またこれらの贈り主であるが、隣近所は勿論のこと、近郷・近在から領内の商人、職人、農民、武家（家老など）の諸階層で広範囲の人々に至る様子が垣間見える。

(三)

(一) 「ある百姓の覚書」の文中に、「弘化三年二月吉十五日、伊勢参宮同断振舞御客使」とあり、伊勢講に関する寄り合いが渡部家でおこ

なわれている。

客人は天保一〇年（一八三九）伊勢講道行の仲間である四名、すなわち菊地正兵衛、菊地十郎兵衛、上西甚之助、越後屋茂三郎である。儀蔵は、この各人より手拭い、山本山お茶、大わざび、ぐわいなどを頂いている。また、この謝礼として渡部家は料理人萬屋久助殿へ手形で支払いをしている。

(2) 前述(一)の(4)「道中記」の末尾には、「弘化三年丙午の閏五月吉日造之」と喜伴(義蔵)が記載しているので、天保一〇年に旅をした道中記を数年の歳月を要して完成させたものと考えられよう。そして明くる年の早々、喜伴は道中記としては再び書くことが叶わなかった死出の旅路に出立したのである。七代喜伴はこの弘化四年二月五日に歿している。

(四) (一)の(4)「道中記」から要所となる部分を抜粋し、翻刻したものを紹介する。

(1) 八月七日 江戸出立之節

一箱根之通判失念無之様可心掛事、手形ハ宿屋より相出し、右写

指上申一札之事

一此者五人 但し帯刀式人

右者大坂江罷通り申者ニ相違無御座候、何卒御関所無御疑被為遊御通可被下候

様奉願上候、為後日之依而如件

江戸小網町式丁目

家持 藤兵衛印

天保十年八月七日

箱根御関所

御役人衆中様

(2) 八月十三日

一箱根権現ヲ拝し

宝物在り

箱根町入口ニ天下之御関所有り、江戸より之手形相出申処、帯

刀之衆如何と被相尋、

奥州白石片倉小十郎出入用人之者ニ相参候、則相通り申、箱根

宿屋、茶屋数多し

(3) (一)の(4)「道中記」の末尾に道行者の氏名・年齢が記載されているので、付記として紹介したい。

菊地正兵衛様 四十四才

筆者注1…白石城下長町商人、石津屋分家

上西甚之助様 三十五才

筆者注2…白石城下本町商人、生酒屋同族か

菊地十郎兵衛様 二十九才

筆者注3…白石城下亘理町商人、石津屋

私 三十三才

筆者注4…白石城下中町商人、渡部屋

越後屋茂三郎 五十三才

筆者注5…白石城下新町料理人、越後屋

以上五人

7 渡辺家所蔵の近世書籍に関する一考察

本木 成美

近世は日本史上において「文字社会」の展開が顕著な時期であった。当時の識字率は同時代のヨーロッパと比較すると群を抜いて高く、庶民に至るまで文字を「読み」「書き」することが浸透していたという研究もある。とりわけ全国津々浦々で寺子屋創建が相次いだ一九世紀は文字教育の普及が著しい時代であったという。

仙台藩では、文化・文政年間(一八〇四〜三〇)に「藩校・養賢堂」が主導して四書五経などの定本を編纂し、これらは市中の書店で広く売りさばかれた。これに刺激を受けた書肆は、とくに文政年間からこぞって庶民用書物を出版するようになり、『庭訓往来』『商売往来』などをはじめ、藩内の文人や学者による創作物が百種類以上も刊行された。これによって、書物の普及から寺子屋教育の発達が促され、士分から広く一

般家庭の子女に至るまで、読書学習の風になじむようになった。

当時の出版はどのような手順で行われていたのだろうか。戯作を例にすると、まず①版元から依頼を受けた戯作者が原稿と下絵を書き、②絵師が版下絵を描き、③地本問屋仲間の行事（行司）に検閲を受けた後、④彫師・摺師にまわされ、⑤製本されて売り出される。この刊行に際しては必ず奥付に版元・作者名を記すことが義務づけられていた。版元はおもしろい企画を立て、作者を督励して作品を書かせるのにも苦勞していたという。

このようにして製作された近世書籍を、例に漏れず渡辺家でも多数所蔵してきた。ここでは渡辺家における蔵書の様相とその傾向について考察していきたい。

①近世書籍の紹介

全体の傾向を見る前に、まず渡辺家が所蔵している近世書籍について、具体的な例を挙げて紹介していきたい。

●『千字文 全』（享和三年十二月板刻成）（W3―37）

「千字文」は漢字を覚えるための小学入門書で、習字の手本としても広く用いられた。奥付には「仙台国分町十九軒 伊勢屋半右衛門版」とある。仙台国分町十九軒には当時、その名の通り十九軒の出版関係者が多く立ち並んでいたという。伊勢屋半右衛門は「豪華房」「白木屋」と号す仙台城下最大手の本屋で、「伊勢半」と呼ばれ親しまれた。現在確認されているところでは正徳元年（一七一）刊行の『万月記尽』が最

古の刊行であり、三三九点を超える出版を手掛け、さきに説明したように文化・文政年間に最も多くの出版があり、往来物を中心として多様な展開をみせている。

また、享和元年（一八〇一）時点で小問物仲間に加え、二種の婦人薬も扱っていた。このような書店は当時では珍しくなかったという。三都（江戸・京都・大坂）の大きな書店でも、書籍以外の商品を扱っている店がほとんどで、さらに地方の書店では書籍以外の商品に経営の多くを依存する割合が高かったと推測される。

伊勢半は明治十一年（一八七八）に六代目が没した後、出版業から撤退した。また、本書の裏表紙には「渡邊惣吉」の署名があることから、この本が八代目儀蔵（喜則）の息子である一〇代目儀蔵の蔵書であることが推測される。



● 『通俗古状揃宝箱』(文化八年合刊)(W3-33)

「古状揃」は「今川状」「腰越状」などの有名な手紙を集めたもので、最も流布した往来物の一つである。奥付に「地本問屋 山形十日町 北條忠兵衛 仙台国分町十九軒 池田屋源藏発行」、「西村屋治右衛門 伊勢屋半右衛門合梓」とある。地本とは江戸で出版された戯作や草紙類を指し、本来は江戸で流通するために作られたものであるが、次第に地方都市でも流通するようになっていく。『通俗古状揃宝箱』はまさにこうした書籍であったと推測される。

なお、「発行」と「合梓」というそれぞれの解釈については若干の検

討が必要である。『日本国語大辞典』によれば、「発行」は「図書・新聞・雑誌などを印刷・出版して世にひろめること」とある。また、「梓」は版木あるいは書籍の出版を示す文字である。「出版」はすなわち、「印刷術その他の方法によって著作物を文書や図画などとして複製し、発売または頒布すること。版行。印行。刊行」とある。これらを勘案してみると奥付は、仙台あるいは山形において『通俗古状揃宝箱』を書籍として売り出したのが北條と池田屋であり、西村屋と伊勢屋はその版木を買う(求版という)などして複製し出版した、ということの意味しているのであろうか。

西村屋治右衛門は「本屋」「流輝軒」と号した仙台の書肆である。享保五年(一七二〇)の『初遊松島参遊富山』の出版をはじめとし、安永(安政年間を主たる活動時期とし、文化九年(一八一二)に藩の御書物方御用達である頒行所に指定された。

写真4 『通俗古状揃宝箱』(W3-33)



●『文化新刻 永徳塵劫記大成』(文化二年刊)(W3-15)
 「塵劫記」は江戸前期の和算書で計量法、そろばんによる各種計算法その他を分りやすく説いている。奥付に「仙台書肆 国分町十九軒 池田屋源蔵板」とある。池田屋源蔵は「芳潤館」と称した国分町十九軒にある本屋である。裏表紙に「白石中町 渡邊豊吉」の署名があり、あわせて「文政八酉ノ四月吉日」と記されていることから、七代目甚蔵の息子である、九代目儀蔵(喜光)の所蔵であると推測される。

写真5 『文化新刻 永徳塵劫記大成』(W3-15)



②近世書籍の傾向

以上、紹介してきた書籍はごく一部である。渡辺家で所蔵している近世書籍は大きく次のように分類できる。

●往来物

さきに述べたとおり、習字の手本である『千字文』(W3-37)や女子用の教訓書である『女小学』(W3-31)など、近世の初等教科書である往来物が蔵書のおよそ三割強を占めている。また、『塵劫記』(W3-15)や『改算記』(W3-18-1)など算術指南書が複数点見られる点は商家の蔵書らしい。これら往来物の多くは仙台の本屋で出版されたものである。

●その他の書籍

『医療手引草』(W3-11)、『能毒凶鈔』(薬草の解説書、W3-12)など、医療関連の書籍が目立つ。『薬方全書』(W3-10)には「大坂心齋橋南四丁目 吉文字屋市兵衛」の名が見られる。吉文字屋は数代にわたり、元禄年間(一六八八〜一七〇四)から文政年間(一八一八〜一八三〇)にかけて活動した、大坂での江戸中期最大の書肆である。実用書や浮世草子の出版などを行っていた。こうした、仙台以外の本屋で出版された本は渡辺家の商業活動に伴って白石の渡辺家の元へ届いていたと推測される。

小説や読み物では、十返舎一九著『東海道中膝栗毛』(W3-2、16)や仮名垣魯文著『国姓爺一代記』(W3-3、13)などがある。

総じて実用的な書籍が多く、渡辺家にとって書籍はスキルアップのツールとしての意味合いが大きかったと想定される。一方で、十返舎一九の著作を愛読していたこともしのばれる。このように蔵書からは持ち主の趣味や関心事など、その内面性を読み取ることができ、その家を知る上でも貴重な手がかりとなる。

なお、渡辺家文書に収載される書籍の裏表紙には多く蔵書印が押されている。蔵書印としては以下の五種類が挙げられる。

(ア)「仙台・白石中町・渡部屋儀蔵」

(イ)「磐城白石・太物店・渡邊儀蔵」

(ウ)「仙台・白石中町・御塩問屋・渡部屋儀蔵」

(エ)「刈田・白石中町・渡部」

(オ)「奥州白石・太物店・渡辺儀蔵」

こうした蔵書印はその書籍の入手時期・あるいは保管場所によって使い分けがなされていたと考えられるが、現時点では推測の域を出ない。渡辺家の商業活動でこうした判・肩書がどのように使用されていたのかを分析する必要があり、今後の課題としたい。

【参考文献】

- ・鈴木俊幸『江戸の読書熱』(平凡社、二〇〇七年)
- ・宮城県史編纂委員会編『宮城県史一一 教育』(復刻版、一九八七年)
- ・東京都江戸東京博物館編『図表でみる江戸・東京の世界』(東京都歴史文化財団、二〇一一年)
- ・仙台市史編さん委員会編『仙台市史 通史編四・近世二』二〇〇三年

・「裳華房の歴史」ホームページ

<http://www.shokaboko.jp/history.html>

・中野三敏監修『江戸の出版』（ペリカン社、二〇〇五年）

8 商家・渡辺家所蔵の近代書籍

鬼丸 諒

本稿では渡辺家文書の中に含まれている、近代以降に出版された書籍（以下、近代書籍と表記）について概観し、その蔵書の特徴やそこから見えてくる近代における渡辺家の姿を探る。

①教科書

渡辺家文書に含まれる近代書籍のなかで、量的に最も大きなウエイトを占めるのが小学校用の教科書である。【表1】は渡辺家文書から教科書のみを抽出し、教科ごとに分類してその中で年代順に並べたものである。以下、教科ごとにその概要をまとめる（教科書の概要は、海後宗臣・仲新『近代日本教科書総説 目録篇』（講談社、一九六九年）による）。

〈修身〉

修身は道徳に関する内容を教える教科書である。渡辺家には四冊残されているが、そのうち『勸善訓蒙』は明治期の官僚であり啓蒙思想家の箕作麟祥が複数の洋書を翻訳したもので、欧米倫理学を紹介したものであ

る。小学校の教材としてはかなり高度であることが推測されるが、一般の読み物として普及したようである。明治初期には、このように欧米の書籍を訳した翻訳教科書が多かった。その一方で、『頭書女四季文附必要女大学』のように、江戸時代の主要な女性用教訓書である『女大学』を基にしたものもあった。『高等小学修身書』は「忠君一途」と冒頭に近衛忠熙の書が掲げられているように、忠孝が強調されているものであり、教訓・挿絵・例話により構成されている。

〈国語〉

国語の教科書は教科別では最も多く残っている。国語の中でも文章の読み方を習得させる読本と字の書き方や文法を習得させる文法書に大きく分けられるが、文部省による『小学読本』はその解説書など派生したものを含めると膨大である。渡辺家でも読本系の教科書が多数残されており、例に漏れず使用されていたようである。『小学日本文典』は、音便、言語の種類や品詞について説明されている文法書である。

〈算数〉

算数の教科書は一冊のみ確認できる。『数学教授本』は明治初年の比較的系統的な筆算書であり、整数の四則から分数・小数・比例までを取り扱っている。小学校の教科書としては程度がやや高めである。

〈地理〉

地理の教科書は十一冊残されている。『世界國盡』や『首書絵入世界都路』などは、草書体の大きめの文字で七五調の説明が施されている点に江戸時代の往来物の名残を感じさせる。ただし、内容に外国の地名が

含まれているところは近代的である。これも時期が進むと、『小学地理書』のように地理学の基礎知識・日本地理・外国地理が系統的にまとまった教科書が作られるようになる。

〈歴史〉

歴史の教科書は七冊確認できる。他の教科と同様に、歴史の教科書も明治初期には欧米人が著した欧米の歴史書を基にした翻訳教科書が盛んに出版されていたが、その後は『帝国小史』など日本史の教科書が多く作られるようになった。渡辺家に残されている外国史関係の教科書は文部省による『萬國史略』のみであり、他は『日本略史』『帝国小史』など日本史の教科書である。

〈理科〉

理科の教科書は一冊のみである。『訓蒙窮理図解』は、自然現象を通俗的に解説した明治初期の代表的な啓蒙的理科書である。著者である福沢諭吉は、国民一般を啓蒙するためには科学知識と理学思想を普及させることが重要であると考えており、この本を出版するに至った。当時最も広く一般に普及した啓蒙書・教科書である。

〈商業〉

商業についても一冊のみ確認できる。『開化商売往来』は『近代日本教科書総説 目録篇』に記載がないことから、あまり広くは普及しなかったものと考えられるが、書名から推測するに、江戸時代に広く普及していた往来物の一つである『商売往来』から派生した書籍であろう。体裁を見ても草書体の大きめの文字に逐一仮名や訓点が振られており、

読み方の習得を目的としているとみられることから、往来物の系譜をひくものと判断できる。内容は、冒頭に「開化之四民」と題してざんざり頭に帽子や洋服といった出で立ちの士農工商それぞれのイラストが描かれており、文明開化の時代潮流を表していると思われるが、本文は「味噌酒塩醋醬油味醂葡萄酒焼酎」など文章としては意味を成さない単語の羅列が主である。商取引を行う際に多用する単語を集めたものであるう。

商業の教科書は、他の教科ほどではないものの、時期が下ると増加して内容もより実用的なものになっていくが、渡辺家には残されていない。商家である渡辺家に商業の教科書がほとんど残されていないことは少々意外である。元々渡辺家の蔵書に含まれていなかったのか、ある時期に散逸してしまったのか、ここでは詳細を明らかにすることはできない。

以上のように、渡辺家に残された教科書についてその概要を見てきたが、出版年代に着目すると、明治十年（一八七七）以前のものと明治二十五年から明治三十四年にかけてのもの二つの時期にピークが見られる。それ以外の時期に出版された教科書は確認できず、元から存在しなかったのか、あったものの散逸してしまったのか定かではない。

また、各教科書の裏表紙に目を転じてみると、書き込みのあるものが散見される。特に「白石尋常高等小學校生徒渡邊豊吉持用」というように、教科書を使用していた人物が自分の名前を記したと思われるものが見受けられる。豊吉のほかには、卯吉・又四郎・儀兵衛や女性のタカ（たが・多加とも表記）という名前も確認できる。卯吉とタカは八代当

主儀蔵喜則の子どもであると考えられる。又四郎・豊吉・儀兵衛は、卯吉やタカの兄弟で十代当主となった惣吉の子どもであると考えられる。彼らがこれらの教科書を使って実際に学習していたことが推察されるのである。このように、教科書の書き込みを見ることがよって、渡辺家で育った子どもたちの様子まで垣間見ることができるのである。

② 一般書

渡辺家の近代書籍の中には教科書以外の書籍も含まれている。【表2】は教科書以外の近代書籍についてまとめたものである。教科書に比べて量は少ないものの、これを見ると渡辺家では実に様々な種類の書籍を蔵していたことがわかる。以下、この中のいくつかの書籍について概要を見ていきたい。

『商工世界 太平洋』は、日本経済から世界経済まで幅広く取り扱う実業雑誌である。大会社の取締役や大学の教授などが経済界に関する様々な論考を発表している。渡辺家の人々も商家として日本や世界の経済の動向を注視していたのだろうか。

『宮城縣温泉小誌』は、宮城県内にある温泉を紹介したものである。例言によれば、明治十四年にドイツのフランクフルトで開催された鉱泉学博覧会に日本から出品するために、内務省が各府県に各地の著名な温泉について調査するように命じた。編者の有田正誠は宮城県からの命を受けた二人の友人がまとめたものを編集して本書を著したということである。内容は作並温泉や定義温泉などのほか、白石関連では現在の小原

温泉のことであると思われる「小原旧湯」の記述がある。

『料理独案内』は、日本・中国・朝鮮および西洋の料理についてその調理方法をまとめたものである。緒言に「凡そ日本人の西洋人に比較して其身体の軟弱なると同時に忍耐の氣象に乏しき所以のものは（中略）日常用ゆる所の飲食物に依らざるはなし」とあるように、西洋人に比べて日本人は心も身体もひ弱であるという当時の認識が示されており、その原因が日々口にする食物に求められているところも興味深い。内容としては「オムレツ」「豆ソップ（スープ）」など現代にもありがちなものから、「鳩焼」「雉焼」など現代では見慣れないものまで種々のメニューが紹介されている。この本がどのような経緯で渡辺家に蔵されて、どのように活用されていたのか知るすべはないが、当時の渡辺家の食卓の様子が見えてきそうな好資料である。

以上、渡辺家に所蔵されている近代書籍について、教科書と教科書以外のものに分けて概要を見てきた。渡辺家は商家であるが、商業に関する書籍は思いのほか少なく、バラエティに富んだ蔵書構成であった。また、書籍を一冊ずつ見ていくと、教科書に子どもたちの名前が記されていることや料理本の記載内容などから、近代における渡辺家の日常生活の様子的一端を垣間見ることができた。このように、蔵書を検討することで商家・渡辺家のもう一つの側面が照らし出されるのである。

【表1】渡辺家文書近代書籍（教科書）

〈修身〉

| 箱番号 | 枝1 | 表題(内容) | 日付 | 西暦 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態 | 点数 | 備考 |
|-----|----|-----------------------|------------|-----------|-------------------------------|-----|----|--------|----|--|
| W4 | 3 | 頭書女四季文附必要 女大学全(女性教訓書) | 明治二巳年春 | 186903099 | 東京・本間屋・松延堂・伊勢屋庄之助・版 | | 冊 | | 1 | 墨書「明治十六年十月吉日・渡邊一氏藏書」あり |
| W5 | 54 | 勸善訓蒙下(教科書) | 明治六年 | 187399999 | 発兌書肆・東京神田鍛冶町・中外堂、紀伊國屋梅治良、箕作麟祥 | | 冊 | 表紙補修あり | 1 | 墨書「渡部豊吉」とあり |
| W5 | 41 | 小學修身 卷之四 | 明治二十五年壬辰六月 | 189206099 | 西澤之助 | | 冊 | 破損あり | 1 | 墨書「渡邊豊吉」とあり |
| W5 | 37 | 高等小学修身書 卷之一 | 明治三十一年四月一日 | 189804001 | | | 冊 | | 1 | 墨書「明治三十一年四月一日求之・白石小学校高等科第一学年級・渡邊豊吉持用」とあり |

〈国語〉

| 箱番号 | 枝1 | 表題(内容) | 日付 | 西暦 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態 | 点数 | 備考 |
|-----|----|------------|---------|-----------|-------------|-----|----|-----------|----|---|
| W5 | 40 | 小學教授書全 | (明治6年) | 191299999 | 発兌書肆・内藤傳右衛門 | | 冊 | 裏表紙破損あり | 1 | 墨書「渡邊儀平」あり |
| W5 | 36 | 小學日本文典 卷一二 | 明治七年第一月 | 187401099 | 田中義廉・著 | | 冊 | 帳はずれ | 1 | 蔵書印(大物店・盤城白石・渡邊儀蔵)あり |
| W2 | 8 | 小学読本 五 | 明治七年五月 | 187405099 | 文部省 | | 冊 | 表紙補修あり | 1 | 蔵書印(磐城白石・渡邊儀蔵・○大物店)、裏表紙に「明治九子の歳五月・渡邊卯吉」あり |
| W5 | 60 | 小學讀本(四) | 明治七年五月 | 187405099 | 那珂通高、稲垣千頼 | | 冊 | 破損・表紙補修あり | 1 | 墨書「此主・渡邊卯吉」・蔵書印(盤城白石・大物店・渡邊儀蔵)とあり |

| 箱 | 番号 | 枝1 | 表題(内容) | 日付 | 西暦 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態 | 点数 | 備考 |
|----|----|----|-------------------------------|--------------|-----------|---------------------------|-----|----|-----------------|----|-----------------------------------|
| W5 | 56 | | 小學讀本 | 明治七年十月 | 187410099 | 奥川藏、東京本石町二丁目・椀屋喜兵衛 | | 冊 | 破損あり | 1 | 墨書「渡邊宗吉」とあり |
| W3 | 26 | | 漢語註解大全 普通文章 | (明治8年) | 194599999 | 三谷演・編輯、青木東園・校并書 | | 冊 | | 1 | |
| W5 | 52 | | 小學掲圖 注解 初編全 | 明治八年第一月 | 187501099 | 甲府・温故堂・内藤傳右衛門 | | 冊 | 破損あり | 1 | 蔵書印(盤城白石・太物店・渡邊儀藏)あり |
| W2 | 9 | | 続開化小学用文全(「寒中見舞之文」「御用召風聴之文」など) | 明治八年十月三十一日 | 187510031 | 著者・喰代豹藏、出版人・岡村庄助(ほか2名) | | 冊 | | 1 | 奥付に蔵書印(磐城白石・渡邊儀藏・太物店)あり |
| W5 | 61 | | 小學讀本一 | 明治九年 | 187699999 | 奥川・蔵、東京本石町二丁目・椀屋喜兵衛 | | 冊 | | 1 | 墨書「渡邊卯吉所有物」、蔵書印(盤城白石・太物店・渡邊儀藏)とあり |
| W2 | 11 | | 尋常小学讀本(「太陽」「日の旗」など) | 明治二十年五月 | 188705099 | 文部省大臣官房図書課、発売所・大日本図書株式会社 | | 冊 | | 1 | 最終頁に「渡辺文四郎」あり |
| W2 | 16 | | 習字本 卷三 | 明治二十五年六月二日 | 189206002 | 著者兼筆者・三宅敬造、発行兼印刷者・北郷久芳 | | 冊 | | 1 | 裏表紙に「明治廿八年拾月吉日・磐城白石町・渡辺豊吉随用」あり |
| W5 | 43 | | 訂正 尋常小學讀本 卷之四 | 明治廿九年一月廿九日 | 189601029 | 伯爵・東久世通之助・閔、西澤之助・編、東京・國光社 | | 冊 | | 1 | |
| W5 | 33 | | 高等小學讀本字解 卷下 | 明治廿九年十一月二日 | 189611002 | 編輯者・東京京橋區築地二丁目二十一番地・川崎直衛 | | 冊 | | 1 | 裏表紙に「明治参拾年十一月購求・渡部又四郎」とあり |
| W5 | 35 | | 中学國文一の巻 | 明治三十年一月十五日 | 189701015 | 編輯者・小中村義象、今泉定介、発行者・吉川半七 | | 冊 | 破損・なかに一紙あり | 1 | |
| W2 | 7 | | 高等小学讀本 卷之三(「皇靈祭」「御国の民など」) | 明治三十拾貳年 | 189999999 | 著者・西澤之助、発行者・川崎又次郎・国光社 | | 冊 | 表紙補修あり | 1 | 裏表紙に「明治三十拾年白石小学校高等科第二学級・渡邊豊吉随用」あり |
| W5 | 55 | | 中學日本文典 上巻 | 明治三十二年二月二十八日 | 189902028 | 大林徳太郎、山崎庚午太郎 | | 冊 | 破損・表紙修復・なかに一紙あり | 1 | |

| 箱 | 番号 | 枝1 | 表題(内容) | 日付 | 西暦 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態 | 点数 | 備考 |
|----|----|----|---------------------------------------|------------|-----------|------|-----|----|----|----|--|
| W2 | 6 | | 尋常小学補習科読本 卷三 〔「花卜実」「果樹」「朝顔」 など〕 | 明治三十八年二月七日 | 190502007 | 新保馨次 | | 冊 | | 1 | 裏表紙に「渡邊○石 商店・磐城白石 町・醸造・味噌蔵 油部」 「磐城国白 石中町・○渡辺儀 蔵」あり |

<算数>

| 箱 | 番号 | 枝1 | 表題(内容) | 日付 | 西暦 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態 | 点数 | 備考 |
|----|----|----|--------|--------------|-----------|-----------------------------|-----|----|----|----|----|
| W2 | 15 | | 数学教授本 | 辛未(明治4年カ) 5月 | 187205099 | 壳弘所・東京室町 三丁目・紀伊国屋 源兵衛 | | 冊 | | 1 | |

<地理>

| 箱 | 番号 | 枝1 | 表題(内容) | 日付 | 西暦 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態 | 点数 | 備考 |
|----|----|----|------------------------------|------------|-----------|--|-----|----|--------------|----|---------------------------------------|
| W4 | 1 | | 世界國盡 貳(ヨーロッパ・ 北米) | (明治二年) | 186999999 | | | 冊 | | 1 | 墨書「寿丸・渡邊 氏」あり |
| W4 | 7 | | 世界國盡 参(南米) | 明治二年巳巳 | 186999999 | | | 冊 | | 1 | 裏表紙に「寿丸・ 渡邊氏」あり |
| W4 | 8 | | 頭書大全 世界国つくし | 明治二年巳巳初冬 | 186911099 | 福澤諭吉 | | 冊 | | 1 | 「寿丸印・渡邊氏」 とあり |
| W5 | 44 | | 小學讀本萬國地理訓蒙 二編 下(南北アメリカ大陸) | (明治5年) | 194599999 | 西村恒方・譯述 | | 冊 | | 1 | |
| W4 | 9 | 1 | 首書繪入 世界都路 亜細亜 洲一 | (明治五年壬申仲夏) | 187205099 | 仮名垣魯文 | | 冊 | なかにこ一紙あ り | 1 | 墨書「于時明治六 年酉三月吉日・此 主・渡部たか」あ り |
| W4 | 5 | | 首書繪入 世界都路 貳(ア ジア) | (明治五年壬申仲夏) | 187205099 | (仮名垣魯文) | | 冊 | なかにこ一紙あ り | 1 | 墨書「于時明治六 年酉三月吉日・渡 部たか」あり |
| W4 | 6 | | 首書繪入 世界都路 参(ア ジア) | 明治五年壬申仲夏 | 187205099 | 仮名垣魯文、東京 本石町二丁目角・ 萬發閣、江島喜兵 衛・発兌 | | 冊 | 破損あり | 1 | 墨書「明治六年酉 三月吉日・渡部多 加」あり |

| 箱番号 | 枝1 | 表題(内容) | 日付 | 西暦 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態 | 点数 | 備考 |
|-----|----|---------------|-------------|-----------|-------------------------------|-----|----|--------|----|---|
| W3 | 21 | 日本地理往来下 | 明治五年十一月 | 187211099 | 大阪心齋橋筋本町・梶田喜蔵(ほか4名) | | 冊 | 破損あり | 1 | |
| W2 | 12 | 日本地理乙種第二 | 明治廿六年十月三日 | 189310003 | 金港堂書籍株式会社編輯所 東京市日本橋区本町三丁目拾七番地 | | 冊 | 表紙補修あり | 1 | 裏表紙に「白石小学校高等第二学年級・渡邊豊吉」 「明治参拾二年求之」あり |
| W5 | 49 | 小學校用 日本地理乙種第一 | 明治廿七年一月三日 | 189401003 | 金港堂書籍株式会社編輯所・編輯 | | 冊 | 表紙補修あり | 1 | 墨書「白石尋常高等小學校生徒・渡邊豊吉・持用」とあり |
| W5 | 46 | 小學地理書 卷一 | 明治三十四年一月十五日 | 190101015 | 小林弘貞・著 | | 冊 | 表紙補修あり | 1 | 墨書「白石尋常高等小學校高等科第一学年級・渡邊儀兵衛」とあり |

〈歴史〉

| 箱番号 | 枝1 | 表題(内容) | 日付 | 西暦 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態 | 点数 | 備考 |
|-----|----|---------------------------|-------------|-----------|----------------|-----|----|--------|----|--|
| W5 | 58 | (日本畧史 卷一) | (明治6年) | 194599999 | 笠間益三 | | 冊 | 表紙補修あり | 1 | |
| W5 | 38 | 萬國史畧一 | 明治七年一月 | 187401099 | 師範学校・編輯 | | 冊 | 破損あり | 1 | 歳書印(大物店・盤城白石・渡邊儀蔵)あり |
| W5 | 51 | (日本畧史 上卷) | 明治八年四月 | 187504099 | 師範学校・編輯、木村正辞・編 | | 冊 | | 1 | 表紙に「刈田郡・渡邊卯吉殿」、裏表紙に「丁丑初秋・明治拾年九月初日・渡邊卯吉」 歳書印(盤城白石・大物店・渡邊儀蔵)とあり |
| W2 | 13 | 帝国小史 甲号卷之二 (「平清盛」「源頼朝」など) | 明治二十六年九月十六日 | 189309016 | 山縣悌三郎・著、文学社・発売 | | 冊 | 表紙補修あり | 1 | 裏表紙に「渡邊豊吉」あり |
| W5 | 50 | 帝国小史 (小學校用教科書) | 明治廿六年十二月廿七日 | 189312027 | 山縣悌三郎、文学社 | | 冊 | | 1 | |

| 箱 | 番号 | 枝1 | 表題(内容) | 日付 | 西暦 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態 | 点数 | 備考 |
|----|----|----|---------------|-------------|-----------|-----------------------|-----|----|--------|----|------------------------------------|
| W5 | 53 | | 帝國小史(小学校用教科書) | 明治参拾二年一月五日 | 189701005 | 山縣隼三郎 | | 冊 | | 1 | 墨書「白石小學校・高等科第一學年・渡邊豊吉・持用」とあり |
| W5 | 42 | | 小學新歴史 卷一 | 明治三十四年六月十六日 | 190106016 | 文學社編輯所・編纂、印刷兼発行者・小林義則 | | 冊 | 表紙補修あり | 1 | 墨書「白石町立尋常高等小學校・高等科第一學年・渡邊儀兵衛隨用」とあり |

<理科>

| 箱 | 番号 | 枝1 | 表題(内容) | 日付 | 西暦 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態 | 点数 | 備考 |
|----|----|----|------------------|----------|-----------|------|-----|----|------------------|----|----|
| W5 | 48 | | 訓蒙窮理圖解 卷之一(物理学書) | 明治元季戊辰初秋 | 186809099 | 福澤諭吉 | | 冊 | 蔵書印(盤城白石・渡辺儀藏)あり | 1 | |

<商業>

| 箱 | 番号 | 枝1 | 表題(内容) | 日付 | 西暦 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態 | 点数 | 備考 |
|----|----|----|--------|--------|-----------|------------------------|-----|----|----|----|--------------------------|
| W2 | 10 | | 開化商売往来 | 明治六年三月 | 187303099 | 萩原乙彦・訂、小室樵山・書、東京万青堂・発兌 | | 冊 | | 1 | 背表紙に蔵書印「盤城白石・渡辺儀藏・〇太物店あり |

【表2】 渡辺家文書近代書籍 (教科書以外)

| 箱 | 番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 枝5 | 表題(内容) | 日付 | 西暦 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態 | 点数 | 備考 |
|----|----|----|----|----|----|----|---|-------------|------------|---------------------------|-----|----|------------|----|---------------------------|
| W2 | 1 | | | | | | 抜句集全 (南山ほか多数の抜句写) | | 9999999999 | | | 冊 | | 1 | 蔵書印(刈田・白石・中町・渡部)あり |
| W2 | 3 | | | | | | 商工世界 太平洋第九巻第十四号 (鎌田栄吉「発作的感情的なる日本人に誤られたる奮闘主義」ほか論文掲載) | 明治43年7月13日 | 191007013 | 東京市日本橋区本町3丁目・博文館 | | 冊 | | 1 | |
| W2 | 14 | | | | | | 徳露貳年七月 鉱物筆記 (鉱物筆記帖) | (近代) | 1945999999 | | | 冊 | | 1 | 裏表紙に「松風仙人」あり |
| W2 | 17 | | | | | | 明治四十年年度実業夜学会通信簿 (4・5月) | 明治四十年年度 | 1907999999 | | 小関琢 | 冊 | | 1 | 背表紙に「保護者・渡邊儀藏、氏名・小関琢」あり |
| W2 | 18 | | | | | | 実業夜学会通信簿 (明治39年度) | 明治三十九年度 | 1906999999 | | 小関琢 | 冊 | ケースあり | 1 | 背表紙に「保護者・渡邊儀藏、生徒・小関琢」あり |
| W4 | 9 | 2 | | | | | (手書き地図) | (明治6年カ) | 1873999999 | (渡部たががカ) | | 状 | | 1 | W4-9-1のはさみこみ文書 |
| W4 | 10 | | | | | | 御手本 (手習いの指南書) | 明治十二歳卯一月 | 1879010999 | 渡邊常女 | | 冊 | | 1 | |
| W4 | 11 | | | | | | 御手本 (手習いの指南書) | 明治十四年九月 | 1881090999 | 渡部すゑ | | 冊 | 破損・なかに一紙あり | 1 | 裏表紙に「式千五百四拾五年四月十四日・渡辺末」あり |
| W4 | 12 | | | | | | 御手本 (手習いの指南書) | 明治拾九年四月吉日 | 1886040999 | 渡辺万 | | 冊 | | 1 | |
| W4 | 13 | | | | | | 御手本 (手習いの指南書) | 明治八歳亥七月吉辰日 | 1875070999 | 渡邊氏つね | | 冊 | 破損あり | 1 | |
| W5 | 39 | | | | | | 宮城県温泉小誌上 | 明治十五年初春 | 1882010999 | 有田正誠・編次、鈴木省三・校補、仙台・甘泉堂・発兌 | | 冊 | | 1 | 蔵書印(○太物店・盤城白石・渡邊儀藏)あり |
| W5 | 45 | | | | | | 醤油製造方法 | 明治二十年十二月廿八日 | 1887120228 | 渡邊儀藏 | | 冊 | | 1 | |

| 箱 | 番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 枝5 | 表題(内容) | 日付 | 西暦 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態 | 点数 | 備考 |
|----|----|----|----|----|----|----|------------------------------------|------------------|-----------|---|-----|----|------------|----|--|
| W5 | 47 | | | | | | 日本支那朝鮮西洋料理 附 日本衛生料理仕方 料理獨 案内 | 明治二十年三月廿 一日 | 188703021 | 蘆田東雄先生・太 校閱、飯塚榮太郎・纂 譯、東京・改良小説出 版舎・印行 | | 冊 | | 1 | |
| W5 | 57 | | | | | | 金銀圖録附言 全 | 明治十五年四月五 日 | 188204005 | 米沢商人・丁字 屋利平 | | 冊 | 表紙補修あ り | 1 | 朱筆「明治十五年 四月五日に米沢商 人・丁字屋利平よ り買いい受け」、裏 表紙に「明治十五 年四月五日此主 渡邊儀藏・七冊之 内」、蔵書印(盤 城白石・太物店・ 渡邊儀藏)とあり |
| W5 | 59 | | | | | | 農事雜報 | 明治三十七年二月 廿日 | 190402020 | 東京市神田區美 士代町・三光堂 印刷 | | 冊 | 破損あり | 1 | |
| W5 | 62 | | | | | | 菅原手習鑑(菅原太夫 本・菅原伝習鑑) | 延享三年丙寅種八 月廿一日 | 174608021 | 作者連名・竹田 出雲(ほか2名) | | 冊 | 破損あり | 1 | 裏表紙に「明治十 四年巳八月吉日・ 渡邊儀藏・店用」 とあり |
| W5 | 63 | | | | | | 枯尾尼全(俳諧集、芭蕉 翁終焉記、於義仲寺) | 元禄七年十月十六 日 | 169410016 | | | 冊 | 破損あり | 1 | 墨書「白石中町・ 渡部」とあり |
| W5 | 64 | | | | | | そか物語 五(軍記物語) | | 999999999 | | | 冊 | | 1 | 蔵書印(盤城白石 ・太物店・渡邊儀 藏) (ほか2点あり) |

9 明治期の渡辺家と醤油業

黒田 風花

渡辺家文書の中に「醤油製造方法」と題された明治期の冊子（文書番号W5-45）がある。裏表紙には、「該書冊ハ明治二十年十二月廿八日本県属収税官大河原郷士處詰某君ヨリ原本借用図写セシモノナリ」とあり、渡辺家で作成したものではなく、人から借りたものを写してつくった冊子である。内容は、まさしく表題の通り醤油の製造方法を記したものだ。以下、本書に従って明治期の醤油造りがいかなるものであったのかを確認し、その後渡辺家と醤油業の関わりについて考察していきたい。

①明治期の醤油製造

本書冒頭にはこのような文章が載せられている。

醤油製造方法

一、醤油ハ麴室ノ大小ニ応シ、予メ其石数ヲ定メ、何石仕込何石仕舞■
底ト称フル方言アリ、例ヘハ拾六石ヲ製スル麴室ハ、八石仕舞二斗底入
リト云ヒ、又造桶壹箇ニ仕込タル総石数ヲ指シ、何石仕込ト称フルモノ
ナリ、因テ茲ニ八石ニ斗仕舞ヲ製スル麴室ニ就キ一般醸造ノ顛末ヲ掲ケ
以テ之レガ要領ヲ示スヘシ

ち、多くの醤油を造るためにはより広い作業スペースが必要であったということだ。「石」とは容積の単位で、一石は約百八十リットルである。すなわち、ここで例にあげられている十六石は二千八百八十リットルということになる。あくまでも例としてあげられているだけであるため、渡辺家が実際にそれだけの量の醤油を製造していたというわけではないが、例としてあげられているからこそ、醤油を専門的に製造する業者がこれだけの量を製造することも有り得たのである。

次のページを見てみよう。

醤油原質石割合

元石三拾石 最上製

内 大豆十五石

小麦十五石

塩拾三石五斗 元石ニ対シ四分五厘

汲水ニ対シ五分

水式十七石 元石ニ対シ九水

元石式十八石 上製

内 大豆十四石

小麦十四石

塩拾四石 元石ニ対シ五分

汲水ニ対シ五分

水式拾八石 元石ニ対シ十水

元石式拾六石 並製

「醤油の製造量は「麴室」の大きさによって決める」とある。すなわ

内 大豆十三石

小麦十三石

塩拾四石三斗 元石二対シ五分五厘

汲水二対シ五分

水式拾八石六斗 元石二対シ十一水

元石式拾五石 下等製

内 大豆拾二石

小麦拾三石

塩拾三石八斗 元石二対シ五分五厘六毛

水式拾八石七斗五升 元石二対シ十一半水

ここには十六石の醤油を製造するための材料が記されている。「最上製」「上製」「並製」「下等製」という醤油の等級が存在していることがわかる。それぞれを比較すると、品質の高いものは大豆と小麦の割合が大きく、低いものは塩と水で嵩を増しているようだ。

高品質なものだけでなく、品質の低い醤油の造り方も記してあるということは、単に質の高いものを求めているだけではなかったということだろう。主要な材料である大豆や小麦が不作の時は、質を落とさなければ製造量が減って、全ての消費者に商品が行き渡らなくなってしまう。また、質を落とせば安価に提供できるため、経済的階層の低い消費者にも販売することができただろう。

整理番号W5-21-3に「醤油賣上帳」というものがある。その内

の「元受之部」という箇所にはいつどれだけの醤油を売ったのかが記載されているが、「生醤油」と「番醤油」という二つの項目に分かれている。生醤油は醤油のもろみをそのまま搾ってできた醤油で、番醤油は一度搾って生醤油を造ったあとのもろみに食塩水を加えて更に搾ったものである。つまり生醤油の方が番醤油よりも質が高いということだ。しかし、生醤油のみを購入したという人物は「醤油賣上帳」の中には見当たらず、全員が生醤油、番醤油ともに購入している。購入した量を比較すると生醤油の方が多いが、それでもやはり番醤油も必要としていたようである。その理由をはっきりと示す史料は現在確認できていないが、消費者は質の高い醤油も低い醤油も必要としており、渡辺家でもそのニーズに合わせて等級に差のある醤油を製造・販売していたことが分かる。

醤油の造り方についても少しだけ見てみよう。

製造順序

第一

一、小麦四石ヲ〔颯〕扇ニ掛ケ塵埃ヲ去リ、更ニ万斛籠ニ懸ケテ其細粒ヲ除キ、之レヲ熬釜ニ熬リハ是レヲ方言者、火仕掛ト云フ、翌日再ヒ〔颯〕扇ニ懸ケ塵ヲ除キ、碓ニテ挽キ割ルハ一粒ヲ二三分ト為シ、丸粒ナキヲ要ス、是レヲ挽キ割ト云フ

第二

一、大豆四石ヲ〔颯〕扇ニ懸ケ塵埃ヲ除去シ、半切桶ニ入レ洗滌スル事数回ニシテ、汚土ヲ去リ、枇豆ヲ除キ、次ニ釜底ニ〔サナ〕ト云フ器

械ヲ据エハサナト云フハ、大豆ノ釜底ニ附着ヲ除ク為メ用ユル器械ニシテ、杉ノ三寸ヨリ三寸五分角ヲ以テ造リタル木サナト唱へ、之レヲ釜底ニ据付ケ、其上ニ竹ヲ裂キ、竇ノ如ク編ミタルモノヲ敷ク、是レヲ竹サナト云フ、釜ノ上部へ繼輪ヲ懸ケ米糠ヲ煉リハ或ハ飯ヲ混シテ煉ルモアリ、之レヲ釜ト繼輪トノ間ニ詰メ、以テ水液ノ漏出ヲ防キ、而シテ曩ノ大豆ト水凡五石ヲ入レハ水ハ大豆ノ石量ニ対シ十二以上十三以内ノ目的ヲ以テ汲入レルト雖モ、其加減ハ大豆ヨリ水面七八寸上ルヲ度トス、釜ノ蓋ヲ覆ヒ、張切ヲナシハ梁ヨリ釜蓋ニ懸ケ、杉ノ二寸角、又ハ太キ竹ヲ張り、楔ヲ指テ止ム、又石ヲ以テ重シトナスアリ、予メ沸騰ヲ防キ煮ル事凡四時間ハ竈ノ構造ニヨリ、火ヲ与フル時間ニ多少ノ差異アリ、ニシテ、火ヲ去ルハ是レヲ仕掛ト云フ、一夜釜中ニ置キ熟サシム、是レヲ泊リ釜ト云

第三

一、麴ハ大豆、小麦ノ二原質ヲ以テ成ル、大豆四石、小麦四石ヲ合セテ一仕舞ト云フ、即チ一仕舞ノ麴ヲ製スルニハ、釜中ニ一夜置キタル大豆ヲ翌朝麴室ノ前ニ移シハ室前ニハ、大豆、小麦ヲ搔拈ケル為メノ板敷アリ、凡五寸厚ニ拈ケ、熱ヲ冷シ、予テ挽割置ク小麦ヲ混和シテ、麴板ニ盛ルハ是レヲ方言盛込ト云フ、其分量ハ麴板ノ緒数ニ依ルト雖モ、一枚一升三合乃至一升五合ヲ以テ通常トス、麴板八百枚ナレハ、即チ一升五合ハ一升五合ハ既ニ増殖シタル分量ニシテ麴ニ化シテ右モ同シ、盛リ平カニ均シ、而シテ是レヲ麴室ノ左右ニ排列シ、順次其上ニ積重ねハ是レヲ方言面取ハエト云フ、口ヲ閉チ熱ヲ与フ、其時間ハ甲乙僅差

アリト雖モ、例ハ午前第十時ヲ以テ室入トセハ、其翌午前第八時頃、稲白花ノ生スルヲ視テ搔キ冷マシ、竪ニ一線ノ畦ヲ画キ、麴板ヲ上下ニ積替へ、凡一時間室ノ戸ヲ開キ置キハ是レヲ方言一番冷シト云フ、又閉チテ温ヲ与フハ華氏八十五度、凡八時間ヲ過キ、午後五時頃ニ至リ再ヒ麴板ヲ搔キ、横ニ四線ノ畦ヲ画キ温ヲ冷ス事、前ノ如クスハ是レヲ方言二番冷シト云フ、又暫時ニシテ温ヲ与フハ華氏八十度、三日目ニ至リ薄黄色ヲ発ス、此時第二ノ大豆、小麦下底ハ大豆四石、小麦四石前記ノ如ク手續ヲ了シタルモノヲ混和シテ、前ノ如ク麴板へ盛り、同室ニヤサム、同四日目ニ至リ第二ノ分一番冷ノ儀、第一ノ分全ク製麴トナルヲ以テ室ヨリ出ス、而シテ第二ノ麴へ温ヲ与へ、二番冷ヲナス総テ前ノ如ク、同五日又第三ノ麴一ト底ヲ入レ、第二麴板ノ上ニ積ヲサム、同六日第二ノ麴ヲ出ス、以下如斯間断ナク新陳互ニ相代謝セシムルモノナリ

一、麴出来方ニ四種アリ、方言之レヲ霜降肌、黒寝、上ハ花、花交リ、ト唱入、其内チ外面白色ヲ呈シ、其割リ目ヨリ黄色花ヲ発スルヲ最上トナス、是レヲ霜降肌ト称フルナリ

一、麴室ハ四石、八石ハ四石仕舞二底入りナリ、十六石ハ八石仕舞二底入りノ大小アリ、其内十六石室ヲ以テ最モ多シハス、又多石ヲ製スルモノハ、製造場一ヶ所ニ拾六石室三ヶ所、或ハ四ヶ所ヲ造築セリ

以下、このように細かい製造工程が書き綴られている。ここで「[麴]扇」や「万斛籠」といった作業に必要な機械が登場する。また、「方言」や「是レヲ〇〇ト云フ」など、専門用語と考えられる言葉が記されてお

り、この後も同じような言い回しで多数紹介されている。これは、醤油がどの家庭でも製造されるものではなく、専門的に製造される産物であったことを意味するのではないだろうか。少なくともこの史料の作成者は、専門用語だけを並べただけでは読み手に伝わらないと判断したからこそ、このように記したのだろう。

それでは、なぜ渡辺家にはこのような冊子が伝来しているのだろうか。再び裏表紙を見てみると、一枚の名刺が貼付されている。そこには「渡儀商店味噌醤油部 主任 渡邊又四郎 磐城白石町」とある。本書を書き写した人物としては「渡邊儀蔵」と「秘書」とが記されているが、渡辺家の家業の一つ「渡儀商店」には「味噌醤油部」という一つの部局が存在し、その主任として渡辺家の一族を配するほど重要な産業だったからこそ、本書が必要だったのだろう。この渡辺家の醤油製造と販売については、次項で考察していく。

② 渡辺家と醤油業

渡辺家と醤油との関係は江戸時代から確認される。現在「渡辺家文書」中で年代が確認できるものとしては、弘化四年（一八四七）に「醤油造り人」である渡辺儀蔵が町検断である喜助次へ醤油を送ったことを示す史料が最も古いものである（整理番号W6-13-2-11-1）。

また、詳しい年代は不明だが江戸時代にもこのような史料も残っている。

（整理番号W6-38-6）

一、醤油拾盃

先日御願致置候通り、
たまり御かし被下度候、以上

田町

勝見四郎衛門

十一月十五日

渡部屋儀蔵殿

ここでは田町の勝見四郎衛門が、渡部屋儀蔵に醤油十盃をかしてほしいと頼んでいる。先に見た「醤油製造方法」では醤油は「石」で記されていたが、「盃」という単位ではかることもあったようだ。また、はじめに「醤油拾盃」と書かれているが本文中で「たまり」と言い換えられている。今日のたまり醤油とは、醤油もろみを搾るのではなく、もろみの中に漉し器を入れ、その中にたまった液を掬い取って精製するものである。ここでいう「たまり」が現在のたまり醤油と同じ物かどうかは不明だが、同じ物であったならば、「生醤油」、「番醤油」とは別の種類の醤油である。

このように、江戸時代の渡辺家は醤油の流通に関与していたことが分かるが、反面製造に関する史料は現在のところ確認されていない。わずかに「醤油造人」とされる史料（W6-11-38）があるものの、実態については今後の課題である。続いて、明治二年（一八六九）七月二十八日付の書状を見ると、「大畑屋兵助」が「渡邊屋甚蔵」に「醤油代金」

を請求していることが分かる（整理番号W7-15-178 目録情報は続刊報告書に掲載予定）。渡辺家が火屋から醤油を買ったということである。

渡辺家における醤油の醸造が、はっきりと分かるのは明治十八年（一八八五）からである。それは同年に醤油税が復活するためだ。醤油に対する課税は、明治四年（一八七二）には醤油の製造者に課された免許税（稼ぎ一人当たり三分）と醸造税（年ごとの醤油代の〇・五％）の二種類があった。しかし生活必需品への課税は不当なものだという理由で明治八年（一八七五）に一時撤廃となる。しかし生活必需品への課税は安定した税収を生み出すということで、軍備拡張のための財源として明治十八年に復活したのである。内訳としては、製造所一ヶ所につき五円と、製造量一石につき一円であった。以後、大正十五年（一九二六）に廃止されるまで課税が続くこととなる。

渡辺家には納税の事実を示す領収証が多く残っており、その中に醤油税を納めたことがわかるものもある。渡辺家の醤油に関する納税状況を示すのが表3である。表3に「営業税」或いは「醤油税」とのみ記されているものの多くは半期分の税が二円五十銭である。一年で五円ということを考えて、これが製造所に対する税であり、渡辺家では製造所を一家所運営していたことが分かる。そして造石税は期間でばらつきはあるものの、一期につき四十円から五十円の支払いが多いようだ。五十円を例にとると、製造量は一期で五十石、つまり九千リットルということになる。いかに生活必需品であるといえども、一期につき九千リットル

となると顧客も相当数いたと考えられる。渡辺家の醤油業は、それだけの数の消費者の台所のために必要なものであったのだろう。

【参考】国税庁ホームページ <https://www.nta.go.jp/index.htm> (1101 五年九月二十六日参照)

【表3】 醤油税納税状況（「渡辺家文書」所収の領収証類より作成）

| 明治 | 種類 | 金額 | 期間 |
|------|-----|------------|-----|
| 十八年 | 造石税 | 二十円八十二銭 | 二期 |
| 十九年 | 造石税 | 六十六円五十四銭八分 | 三期 |
| 十九年 | 営業税 | 二円五十銭 | 後半期 |
| 十九年 | 造石税 | 四十三円六十四銭八分 | 一期 |
| 十九年 | 醤油税 | 三十三円九十六銭五厘 | 二期 |
| 二十年 | 造石税 | 四十八円九十三銭三分 | 三期 |
| 二十年 | 醤油 | 二円五十銭 | 前半期 |
| 二十年 | 造石税 | 五十五円十二銭五厘 | |
| 二十年 | 醤油税 | 二円五十銭 | |
| 二十年 | 造石税 | 四十五円七十銭二厘 | |
| 二十一年 | 醤油税 | 二円五十銭 | |
| 二十一年 | 造石税 | 五十六円四千四分 | 三期 |
| 二十一年 | 造石税 | 四十七円二十五銭二厘 | |
| 二十一年 | 醤油税 | 二円五十銭 | |
| 二十一年 | 造石税 | 三十五円四十銭四厘 | 二期 |
| 二十二年 | 醤油税 | 二円五十二銭 | 後半期 |

| | | | |
|------|-------|-------------|-----|
| 二十二年 | 造石税 | 五十六円四十二銭五厘 | |
| 二十二年 | 造石税 | 四十円三十四銭五厘 | 一期 |
| 二十二年 | 造石税 | 四十円八十五銭一厘 | 四期 |
| 二十二年 | 営業税 | 二円五十銭 | 后半年 |
| 二十三年 | 造石税 | 六十三円九十八銭 | 三期 |
| 二十三年 | 営業税 | 二円五十銭 | 半年 |
| 二十三年 | 造石税 | 四十一円九十四銭五厘 | |
| 二十三年 | 営業税 | 二円五十銭 | 後半年 |
| 二十三年 | 造石税 | 四十円四十二銭二厘 | 二期 |
| 二十四年 | 醤油税 | 二円五十銭 | |
| 二十四年 | 醤油税など | 六十二円十七銭七厘 | |
| 二十四年 | 造石税 | 四十一円三十銭七厘 | |
| 二十四年 | 営業税 | 二円五十銭 | |
| 二十四年 | 造石税 | 四十二円八十一銭四厘 | |
| 二十九年 | 営業税 | 二円五十銭 | |
| 二十九年 | 造石税 | 四十二円十七銭八厘 | |
| 三十年 | 造石税 | 四十一円八十三銭七厘 | 三期 |
| 三十年 | 造石税 | 六十二円二十五銭五厘 | |
| 三十一年 | 造石税 | 六十三円八十五銭 | 一期 |
| 三十一年 | 造石税 | 二十三円十三銭九厘 | |
| 三十二年 | 造石税 | 四十三円五十一銭三厘 | |
| 三十三年 | 造石税 | 二百二十一円十九銭六厘 | |

10 書状の翻刻と解説

① 渡辺家書状にみる呉服・太物取引

本木 成美

白石中町を拠点としていた商家である渡辺家は、醤油・味噌醸造、太物（麻・綿織物）、呉服（絹織物）、古手、質屋、紙商、塩問屋など多角経営をしていたことが知られている。中でも太物、呉服等衣料品を扱う商売はその中心的な事例の一つである。渡辺家にはこうした衣料品商売に関して、注文・納品に際しての様々なやり取りをはじめ、その相場調査、商品の値段一覧など数多くの書状が残されている。ここではその一部を翻刻し、人々が暮らしていく上で欠かすことのできない「衣」がどのように供給されていたのか、その舞台裏を渡辺家の動きを事例に紹介していきたい。

まず、近世における衣料品の需要・供給の状況をおさえておきたい。近世初期の織物の需給状況を見ると、高級織物は一部の階級を対象に、輸入と西陣・堺機業によって供給されていた。近世中期になると、絹織物の消費は増加したが、とりわけ都市における町人・商人の台頭によって、高級織物の消費は増加した。その後、貨幣改鑄の行われた文政期（一八一八～一八三〇）には物価上昇・インフレ進行による所得増加・消費需要の増大に伴い、織物需要が増え、初期には高級織物であった縮緬が、庶民の手の届く織物となり、縹子帯・博多帯も流行した。一方で中世に

において庶民の衣服として用いていた麻織物に比べて保温性に富み、染色性も良い綿織物が衣料として普及したのは近世初期においてである。十八世紀前半頃までは農閑期農民の自給用として白木綿が製織され、その後綿・絹などの先染物へ移行していった。

次に、織物が生産される過程を見てみよう。農家で生産された糸は、糸商によって買い付けられ、機屋（機を織る職人）によって織られ、その生機（織り上げて織機からはずしたままの織物）を買い集めた買継商が受用する側の趣向に合わせて仕上げ加工を施し、各都市の間屋に卸されていた。すなわち、糸商→機屋→買継商→都市間屋という構造である。染色など生産手法の変化も見られるが、織物は近世を通じて概ねこうした過程で生産されたと推測される。

この右の紹介において、渡辺家は都市間屋に相当する。それでは、実際に渡辺家の書状から呉服・太物取引における一事例を見ていこう。

【書状 W6-8-1-9】

御地去月廿二日出御尊状、三月六日被達難有拜見仕候処、益御揃珍重候御義奉存候、然者下緒柄糸之義直段之処委敷御申越被下、則糸屋まで掛合致候処、其節者生糸高直ニ相成居候間、被申越之直段二者中々買調事相成不申候間、則御問合申上候間宜敷御承知被下候、且又紙布之義直段委細御有申被下候得共、是以前より者多分高直ニ相成候、いつれ其内注文被可申上候間御含置候以上、則左ニ

本行判 但し色仁余 下緒 壺

大小

此式拾匁前後之処

四拾匁前後ニ相成候

惠知判 同断 柄糸五分一

大小

十九匁前後之処

四拾匁程 四分一

大小

右之通之直段ニ御座候由、一応御問合申上候間、左様御承引可被下候、

尤二、三家問合申

候処、右同様ニ御座候間是又一（破損）、御承引置被下、先者右申来

候処早々

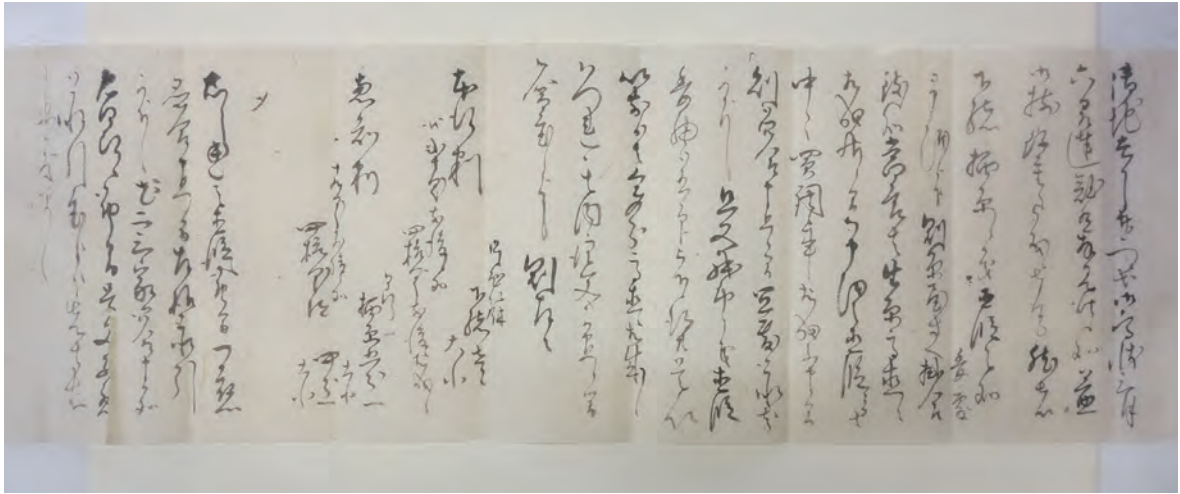
三月八日

弘運屋

五郎兵衛

渡邊儀蔵様

貴下



【解説】

まずこの書状の前提として、渡辺屋が下緒（刀・脇指・腰刀などの鞘につけて下げる紐。木綿や絹の組糸、あるいは革緒などが見られる）・柄糸（刀の柄に巻く組糸）の値段の委細を弘運屋へ伝え、弘運屋はそれを参考に糸屋に交渉していることが読み取れる。すなわち、渡辺屋（呉服・太物商）↕弘運屋↕「糸屋」という流通経路が想定できる。弘運屋に関する詳細は不明だが、「糸屋」が糸を扱う糸商のことを示すのであるとすれば、それと直接交渉をしている点からも機屋であると考えるのが妥当ではないだろうか。

この書状は弘運屋五郎兵衛から渡辺儀藏へ出されたものであり、生糸が高値になっており、渡辺屋の希望する値段で品物を納めることができないためどうすべきかを問い合わせるものである。生糸のみならず、紙や布に関しても値段が上がっているとの報告もしており、弘運屋が生糸以外の品物の調達も担っていた可能性が考えられる。あるいは、複数の生糸、紙、布の生産者に値段の相場を確認し、弘運屋以外のどこの家でも同様の値段であることを示すことで、従来の倍近い値段で商品を仕入れることを渡辺屋に納得させようとしているとも考えられる。いずれにせよ、原材料費の高騰に頭を抱える弘運屋の困り果てた様子が目に浮かぶ書状である。

【織物製品の原料・製品価格の変動】

近世における絹織物業は文化・文政期（一八〇四～一八三〇）、およ

び天保（一八三〇～一八四四）初期にかけて、発展の頂上にあつたが、様々な要因による影響を受けやすい産業でもあつた。こうした原料・製品価格の変動や需要の低下は、生産の減少はもとより、生産構造そのものの変革を促すことになったという。

ここではその一部を紹介しよう。

大正五年三月の「中外商業新報」（「日本経済新聞」の前身）には、「稚蚕期中に於ける天候は降雨多く低温多湿にして且つ気温の激変頻繁なりし為め蚕児は發育遅緩し生理上に悪影響を蒙りし」とあり、生糸生産のうえでは天候不順が繭の生育に影響し、不作となりうる事が分かる。生糸の不作により供給が減れば、その値段が上がることは当然のことであろう。

渡辺家所蔵の書状を見ると、木綿もまた天候不順の影響を大きく受けていることが分かる。「綿作之養生之節御日和統土用中も御照込能其後も詮断も有之盛長仕候処肝心之取入寒中之至り永々之雨天統間欠作二相成往々如何可相成心配仕候」（W6-50-24）とあり、収穫の直前で長雨が続き、欠作に陥った様子が分かる。

特に風水害・干害などによる凶作・飢饉が頻発し、多くの餓死者・流民を生じ、人口が減少した天保期には、農業経営もまた打撃を受け、農家副業としての織物業などの生産が停滞した。具体的な影響を挙げると、西陣では秋の凶作で米価が騰貴し、絹物が販売不振に陥り転業を余儀なくされた職人がいた。また、桐生では絹糸・綿糸の相場が引き上がったことにより絹物の需要が減退し、絹と木綿の注文割合が逆転し、

諏訪では綿・小倉糸が高値になり休業する者や仕事がなく他所へ出稼ぎに出る織師もいたという。

このように、衣料品商いは天候に左右される商売であつたことが分かる。また、そのみならず、天保の改革といった政治改革や、ペリー来航および開港などが織物業の物価変動・生産体制に大きな影響を与えた。天保の改革において、男女の衣類はすべて綿服とされ、絹織物一切の製造と使用、金銀糸や絹物、縮緬、孝かな染料を用いた華美・派手な色糸の使用などがすべて禁止され、絹織物の生産が減少した。反面、絹織物部門では販路拡大の好機に恵まれ、発展した山地が多い。また、開港に伴う生糸の大量輸出によつて国内供給量が不足・価格の急騰を招き、生産の縮小・織屋の採算割れなど、産地は苦境に陥つたという。ただし、白石・刈田の生糸は海外貿易用に生糸・真綿類を増産するに至り注目を集め、外貨獲得の有利な産物として各種の奨励策がとられたという。

そうであるからこそ市場相場を逐一確認することは非常に大切だったと推測され、今回紹介したような取引の書状が多く残されているのである。

【参考文献】

- ・貫秀高『日本近世染色業発達史の研究』（思文閣出版、一九九四年）
- ・永原慶二・山口啓二編『講座・日本技術の社会史 第三卷』（日本評論社、一九八三年）

・中外商業新報 1916.3.9-1916.3.11 (大正五年)

神戸大学附属図書館新聞記事文庫

<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/sinbun/index.html>

・宮城県史編纂委員会編『宮城県史九 産業I』(復刻版、一九八七年)

②お役人から醤油屋さんへ

黒田 風花

【書状 W6-3-96】

諸品直下ケ被仰渡候間、醤油直段精々吟味、正右衛門手前へ早速替出し候様可有之候、此段申遣候、以上、

検断

正右衛門

十二月十五日

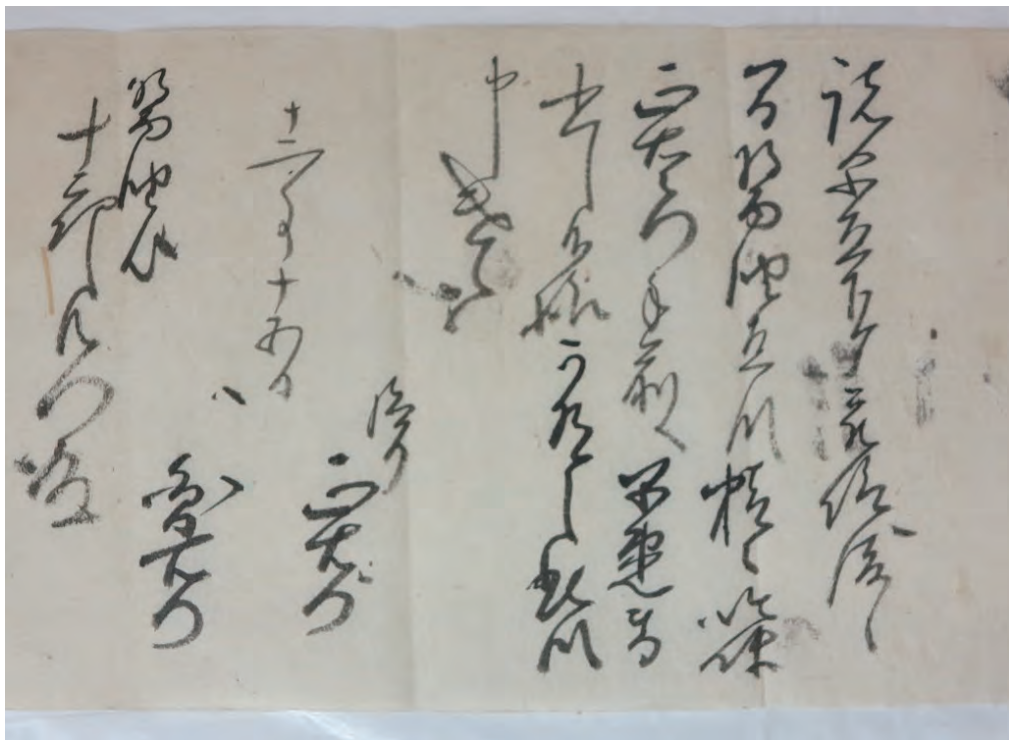
同

円右衛門

醤油屋

十郎左衛門殿

写真7 W6-3-96



この史料は江戸時代のものと考えられ、役人である検断から醤油屋の十郎左衛門にあてられた書状である。内容をまとめると、様々な品物の

値下げを仰せ渡されたので、醤油の値段もしつかりと調べて、正右衛門のところに変更した値段を伝えるように、とのことである。江戸時代には災害や不作、その他社会状況の変動による不況のため、幕府や藩から品物の値下げをするように命令されることもあった。この書状はそれを示す一つの史料といえる。

ここにあらわれる醤油屋の十郎左衛門という人物は、「白石町醤油造人・十郎左衛門」として覚書(W6-36-59)を送っている。江戸時代の渡辺家が醤油を製造するだけでなく、醤油を買って市場に卸す役割を担っていたことについては「9 明治期の渡辺家と醤油業」において述べたが、この醤油屋十郎左衛門は醤油を製造する側であった。

しかし、なぜ十郎左衛門にあてられた書状が「渡辺家文書」の中に残っているのだろうか。それは、恐らく十郎左衛門から渡辺家に、このような書状が届いたと伝えるために送られたからだろう。十郎左衛門は「醤油造人」で、渡辺家は「醤油造人」であり「醤油送り人」でもあった。つまり両者はビジネスパートナーであったといえる。共に商売を行う以上、いくらか様々な品物の値下げが行われているからといっても、十郎左衛門が勝手に価格の操作をするわけにはいかず、渡辺家と相談する必要があったために、この書状を渡辺家に送ったと考えられる。

③ 「町役人」 渡辺儀蔵の姿

鬼丸 諒

【書状 W6-12-209】

御別紙之通、旦那様分被仰渡候間、其御町切御町横目并赤子制禁役御郡村制禁役等被相除居候分共ニ取調、今日中御用ニ相入候間書上候様共ニ御首尾御座候間、御取調被指上候様仕度此段申達候、以上
(慶応二年) 五月廿一日

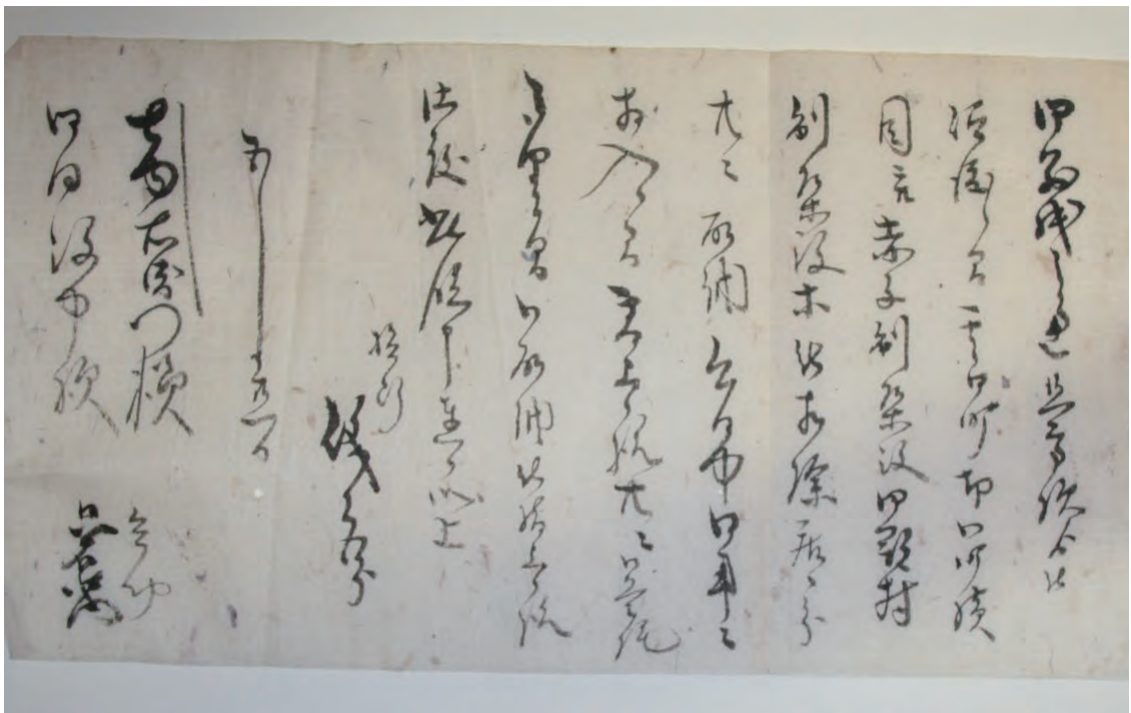
検断^{iv}
儀蔵

七郎右衛門様

御同役中様

今助

只右衛門



【解説】

本史料は、検断である渡辺儀蔵^vが「旦方様」より町横目などの役人に関する調査をして当日中に報告をするように命じられ、その旨を七郎右衛門らに伝えていたものである。「旦方様」の詳細や調査の経緯などその具体的内容についてはこの史料からは明らかにし得ないが、商家・渡辺家の当主が町役人としても活動していたことがうかがえる。

検断としての渡辺家の活動については、既刊の報告書において簡単に触れられているのみであるが、今回の調査によりその活動を示す書状が他にも見つかっている。^{vii}これらの書状の年代から、渡辺家は慶応元年（一八六五）六月から同二年六月までの少なくとも約一年の間、白石中町の検断役を勤めていたことになる。^{viii}

このように、渡辺家は既知のように白石を代表する商家として幅広く活躍するだけではなく、一時期検断として町の行政にも参画していたのであった。

【注】

i 旦方（だんぼう）…①檀家。檀徒。②自分と同等、またはそれ以上の男性を敬つていう語。③ダンポといって刀をさしている人をいうこともある。脱石ダンポは密石取締人。ダンポ契約は武士達の契約講である。④在郷に住む半農半士の足軽をいうこともある（以上、『仙台藩歴史用語辞典』（『仙台郷土研究』復刊第三五巻第一号（通巻二八〇号）、二〇一〇年）「旦方」の項より引用）。ここでは③あるいは④の意味か。

ii 町横目（まちよこめ）…町奉行直属の役人で、警察事務を担当する町同

心から選ばれ、これを指揮する役職。仙台城下以外でも領内の小城下町には規模を小さくしてこのような役職が設けられている（前掲『仙台藩歴史用語辞典』「町横目」の項）。

iii 赤子制禁役（あかごせいきんやく）…大肝入の支配下にあつて、赤子養育のをつかさどる役。役料はないが、諸役・郡役を免除され、筆紙墨料として養育費より、金二両が支給された（前掲『仙台藩歴史用語辞典』「赤子制導役」の項）。

iv 検断（けんだん）…本来は非違を檢察する職であつたが、仙台藩の検断は町場に置かれ、主として町場の行政、伝馬、運送をつかさどつた（前掲『仙台藩歴史用語辞典』「検断」の項）。

v 生没年から推測すると、八代当主の又四郎喜則であると考えられるが、九代豊吉喜光である可能性もある。

vi 白石市教育委員会『渡辺家文書調査報告書 仲間義定録』白石市文化財調査報告書第二十八集、白石市教育委員会、二〇〇四年、五ページ。

vii 例えば、W6―12―1、35、60、61、84など。

viii W6―12―60より、慶応二年六月に持病悪化のため辞職したことがうかがえる。

Ⅱ 目 録

| 箱 | 番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表 題 (内 容) | 作 成 年 月 日 | 差 出 人 | 受 取 人 | 形 態 | 状 態 / 備 考 |
|----|----|----|----|----|----|---|---------------|----------------------------|------------------|-----|---|
| W1 | 1 | | | | | (俳句集、一具ほか多数の写し) | 弘化二年 | 俳沙弥一具 | | 冊 | 蔵書印(磐城白石・渡邊儀蔵・○太物店) |
| W1 | 2 | | | | | 庭訓往来倭文鑑(全、謄写改正平仮名附) | 天保六年乙未四月 | 東郡地本錦絵問屋・錦耕堂・馬渡町二丁目・山口屋藤兵衛 | | 冊 | |
| W1 | 3 | 1 | 1 | | | (書状、御上様より紙問屋仰せ付けられ候につき) | (文化14年)十月十三日 | 後藤屋吉兵衛 | 渡部屋儀蔵様、同左吉様 | 状 | 包紙「中場方田書面在中本町江先年・せり場相立留書在中・仲間寄合吟味之筋開封致候事」共、W1-3-1-1～W1-3-1-3までこよりにて一括 |
| W1 | 3 | 1 | 2 | | | (書状、御上様より紙問屋仰せ付けられ候につき) | (文化14年)十月十三日 | 後藤屋吉兵衛 | 大畑屋味右衛門様、同九吉様 | 状 | |
| W1 | 3 | 1 | 3 | | | 此度後藤屋吉兵衛紙問屋被仰付候二付飛脚御紙面被下候二付啓之写(荷物直々相入候様につき) | 文化十四年十月十九日 | 大畑屋味右衛門、渡辺屋儀蔵 | 後藤屋吉兵衛様 | 状 | |
| W1 | 3 | 2 | | | | (書状、御直買成され候紙引受始末致しくれ候様に相頼まれ御儀品々仰せ遣わされ候所につき) | (文化14年) | 善助(ほか3名) | 松屋藤兵衛様 | 状 | 破損あり |
| W1 | 3 | 3 | | | | (書状、松屋長左衛門殿御名代を以諸紙直買致され、善助并若者共を以御内談申し達し候所につき) | (文化14年) | | 三浦屋藤兵衛様、黒田屋八郎兵衛様 | 状 | 破損あり |
| W1 | 3 | 4 | 1 | | | (書状写、諸紙値段段之義当五月中直下二取調申上置候につき) | (万延元年) | | | 状 | 端裏「壹」とあり |
| W1 | 3 | 4 | 2 | | | 乍恐奉願候御事(紙価格の値下げにつき) | 万延元年十月 | 御城下紙中場白石町商人・儀蔵(ほか3名) | 検断・清太郎殿(ほか5名) | 状 | 破損あり、W1-3-4-1およびW1-3-4-3を包む、端裏「二」とあり |
| W1 | 3 | 4 | 3 | | | 諸紙値段段事(上杉原・金菅庚ごつき五帖三分などにつき) | (万延元年十月) | | | 状 | 端裏「三」とあり |
| W1 | 3 | 5 | 1 | | | (書状、椿荷宿之義品々仰せ下され奉知仕候につき) | (安政6年)十二月二日 | 小西屋久兵衛、加藤直助 | 渡邊屋義蔵様(ほか2名) | 状 | 包紙「椿方一巻在中」「未之冬」十二月二日朝書共 |
| W1 | 3 | 5 | 2 | 1 | | (書状、皮緒受払始末仰せ付けられ候様成し下されたくにつき) | 安政六年十一月 | 刈田郡白石町検断・清太郎(ほか5名) | 大肝入・阿部伝右衛門殿 | 状 | 破損あり |
| W1 | 3 | 5 | 2 | 2 | | (書状、楮皮売買荷宿御吟味之上立置かれ候義ハ一紙心得も有るべく候につき) | (安政6年)十一月廿四日 | 大肝入阿部傳右衛門 | 検断衆 | 状 | W1-3-5-2,1に貼り付け |
| W1 | 3 | 5 | 3 | | | (書状、願書加筆、大肝入内覧相受け其上検断方へ指出仕るべく存じ奉り候につき) | (安政6年)十二月十四日 | 平兵衛 | 甚蔵様 | 状 | |
| W1 | 3 | 5 | 4 | | | (書状、城下諸紙中揚商売および紙値段段につき) | (安政6年11月) | | | 状 | |
| W1 | 3 | 5 | 5 | | | (覚、楮皮受け払いにつき) | (安政6年) | | | 状 | |
| W1 | 3 | 6 | | | | (書状、当五月中御趣意ヲ以直下ケ仰せ渡され、其節直下ケ取調申上置につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W1 | 3 | 7 | | | | (書状、御城下表紙類不足のため御達に罷成候につき) | (近世・年末詳)十一月末日 | 儀蔵(ほか3名) | 本町清四郎様(ほか12名) | 状 | |
| W1 | 3 | 8 | 1 | | | 天保九戌年新紙内々申合之覚(本町せり場十二月二日市より相出すなどにつき) | 天保九年戌十一月廿二日 | 宿・円治 | | 冊 | 包紙「寛政八年十二月中間屋ヨリ紙数切等有二付申参」共 |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|--|-----------------|--------------------------|-------------------|----|-------------------|
| W1 3 | 8 | 2 | | | 天保五年午ノ新紙内々申合之覚(本町せり場極月七日市より相出すなどにつき) | 天保五年午ノ十二月六日 | 宿・兵助 | | 冊 | |
| W1 3 | 8 | 3 | | | 乍恐口上書を以奉申上候御事(漣返シ紙并白紙類名取郡柳生村より漣出申候処、右漣返シ之義近年格別高直ニ相成候につき) | 寛政四年十一月 | 大町三丁目北村屋伊左衛門借屋・弥兵衛(ほか4名) | 青山五左衛門殿 | 冊 | |
| W1 3 | 8 | 4 | | | (覚、金吾赤二付白漣返紙四十状など、仲揚手元買直段申上候事につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W1 3 | 8 | 5 | | | 定(隠紙商売堅く御法度成し下され候所、近年猥りに罷成候につき) | 元文式年巳ノ十一月 | 両紙間屋 | | 冊 | |
| W1 3 | 9 | | | | (書状、正金手形差別無き取引につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W1 3 | 10 | | | | (書状、品切れのためちり紙送付依頼につき) | (近世・年末詳)十月十一日 | 後藤屋吉蔵(印、仙台・田町・後吉<羽吉>紙間屋) | 渡辺屋甚蔵様 | 状 | |
| W1 3 | 11 | | | | (書状、紙店々品切れにつき) | (近世・年末詳)九月卅日 | 三浦屋徳兵衛 | 義蔵様(ほか2名) | 状 | |
| W1 3 | 12 | | | | (書状、品切れのためちり紙送付依頼につき) | (近世・年末詳)十月四日 | 後藤屋吉蔵・宗助 | 渡部甚蔵(ほか3名) | 状 | |
| W1 3 | 13 | 1 | | | (書状写、諸紙買入金手形巻篇にては地元二不通用のため正金御引替成し下されたく候につき) | (万延元年10月) | | | 状 | 冒頭に「五」[右御請書左二]とあり |
| W1 3 | 13 | 2 | | | (書状写、楮無類之不作にて漣続き兼ね候義御座候間直揚成し下されたく候につき) | 万延元年十二月 | | | 状 | |
| W1 3 | 13 | 3 | | | (書状写、新紙高直のため紙漣利割り吟味につき) | 万延元年十一月 | 丸森紙仲揚・斉藤屋又三郎(ほか2名) | 加藤直輔様・小西久兵衛様・当番様中 | 状 | |
| W1 3 | 14 | | | | 乍恐口上書ヲ以奉願候御事(諸紙仲揚値下げにつき) | (万延元年10月) | | | 状 | |
| W1 3 | 15 | | | | (覚、正金巻切、杉原・六状より七半状などにつき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W1 3 | 16 | | | | (書状、対談の上直下之吟味仕らず叶わざる事に候所、忠八殿罷下り紙上ヲ以申上候につき) | (近世・年末詳)五月十一日 | 三浦屋徳兵衛、後藤屋吉蔵 | 渡邊屋義蔵様(ほか3名) | 状 | |
| W1 3 | 17 | 1 | 1 | | 天保十一年子新紙内々申合之覚(本町せり場十二月七日市より相出すなどにつき) | 天保十一年子十一月廿八日 | 宿平兵衛 | | 冊 | |
| W1 3 | 17 | 1 | 2 | | 万延元年申ノ十一月三日仲間寄合申合覚(本町せり場之義ハ十二月二日市より相出すなどにつき) | 万延元年申ノ十一月三日 | 当番・良吉 | | 冊 | |
| W1 3 | 17 | 2 | | | 天保十三年新紙内々申合之覚(本町せり場十二月二日市より相出しなどにつき) | 天保十三年十一月 | 当番儀蔵 | | 冊 | |
| W1 4 | | | | | 旧留書紙中揚方(包紙) | 安政六年 | | | 状 | 包紙共 |
| W1 5 | | | | | 道中記(善光寺・坂本などの記録) | 天保十年七月 | 渡部憲伴 | | 冊 | 破損あり |
| W1 6 | | | | | 讃州金毘羅道中記 并ニ宿附(大坂から各所への記録) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W1 7 | | | | | 当春紙直段書上(並杉原式状分より三状三分迄等) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W1 8 | | | | | 大坂ヨリ金毘羅道中記 | 天保十亥年九月 | 渡部憲伴 | | 冊 | 破損あり |
| W1 9 | | | | | 三河國八橋略縁記全 | (近世・年月日未詳) | 三河國碧海郡・八橋山無量寺 | | 冊 | |
| W1 10 | 1 | | | | (書状、七日のうち親類同道にて掛け合いにつき) | (近世・年末詳)七月十一日 | 善助 | 甚兵衛様(ほか2名) | 状 | 包紙「中間書付」共 |
| W1 10 | 2 | | | | (覚、新紙取引につき) | (文化10年)閏十一月二十四日 | 紙中揚中 | 黒田屋八郎兵衛様 | 状 | |
| W1 10 | 3 | 1 | | | (書状、此度万物高直のため黒田屋八郎兵衛へ相談につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | 後欠 |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-----|----|----|----|----|--|-----------------|--------------------|-----------------------------|----|-----------------------------|
| W1 | 10 | 3 | 2 | | 八郎兵衛江御挨拶之写(先日京屋便を以紙御店より御願書写并御物書下されにつき) | (近世・年未詳)十一月二日 | 高橋屋甚兵衛(ほか2名) | 黒田屋八郎兵衛殿 | 状 | |
| W1 | 10 | 4 | | | (書状、御日付様下さる節は御御道向旅歌罷成候由相聞得申候につき) | (近世・年未詳)十一月二十一日 | 八郎兵衛 | 忠兵衛様(ほか3名) | 状 | |
| W1 | 10 | 5 | | | 證文之事(諸紙御取開のため御元金相下され候内、正金五拾兩・改正五拾兩相渡され候につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W1 | 10 | 6 | | | (書状、紙高直のため当春中仰せ渡されにつき) | (近世・年未詳)四月六日 | 大畑屋兵助(ほか3名) | 後藤屋吉兵衛様、三浦屋惣藏様 | 状 | |
| W1 | 10 | 7 | 1 | | (書状、去月二十九日より黒田屋八郎兵衛紙問屋株式召し放たれにつき) | 文化十四年十月三日 | 紙問屋三浦屋惣藏 | 渡辺屋義藏様(ほか3名) | 状 | |
| W1 | 10 | 7 | 2 | | (書状、田町後藤屋吉兵衛殿方へ紙問屋仰せ付けられにつき) | (文化14年)十月八日 | 三浦屋惣藏 | 渡部屋儀藏殿(ほか2名) | 状 | |
| W1 | 10 | 8 | | | (書状、昨冬の手紙内容相談につき) | (近世・年未詳)七月十二日 | 善助 | 義藏様(ほか2名) | 状 | |
| W1 | 10 | 9 | | | (書状、当新紙直段相談成されたくにつき) | (文化10年)閏十一月二十五日 | 三浦屋藤兵衛、黒田屋八郎兵衛 | 渡部屋義兵衛、御仲間様中 | 状 | |
| W1 | 10 | 10 | | | (書状、新紙枚数取引につき) | (近世・年未詳)十一月十五日 | 黒田屋八郎兵衛、三浦屋藤兵衛 | 渡部屋忠兵衛様(ほか3名) | 状 | |
| W1 | 10 | 11 | | | (書状、紙直段につき) | (近世・年未詳)十二月六日 | 三浦屋藤兵衛 | 大畑屋兵助(ほか2名) | 状 | |
| W1 | 10 | 12 | | | (覚、紙取引メ六百六十御渡しにつき) | (近世・年未詳)七月十四日 | 武右衛門、味右衛門 | 中町・忠兵衛殿 | 状 | |
| W1 | 10 | 13 | | | (書状、諸紙高直のため中場共手元吟味につき、末尾に「御郡方へ書上に相成候御文」とあり) | 文政元年五月十九日 | 当番 | 松屋七左衛門殿 | 状 | W1-10.14.1~W1-10.14.4まきこみ一括 |
| W1 | 10 | 14 | 1 | | (覚、紙相場高直につき) | 文化八年十二月三日 | 当番 | 黒田屋八郎兵衛殿、三浦屋藤兵衛殿 | 状 | |
| W1 | 10 | 14 | 2 | | 寛政九年丁未六月廿五日善助殿被相登候二付願出申事(松屋長左衛門一身のため善助内談に及び候につき) | 巳(寛政9)ノ六月九日 | 甚兵衛(ほか2名) | 武門殿、庄三郎殿 | 状 | |
| W1 | 10 | 14 | 3 | | (書状、近年白紙などにつき) | (近世・年未詳)四月 | | 善助様 | 状 | |
| W1 | 10 | 14 | 4 | | (書状、紙方メリ仲間之内志人相立て相談につき) | (近世・年月日未詳) | | 検断・武右衛門殿 | 状 | |
| W1 | 10 | 15 | | | (覚、長町善助金子につき) | (近世・年月日未詳) | | 三浦屋藤兵衛殿、黒田屋八郎兵衛殿 | 状 | |
| W1 | 10 | 16 | | | 乍恐奉願上候事(白紙・塵紙など紙数不同につき) | (近世・年未詳)二月 | 中町・義兵衛(ほか3名) | 中町検断・武右衛門殿、長町検断・彦三郎殿 | 状 | |
| W1 | 10 | 17 | | | (願書写、諸紙不足につき) | 寛政八(年十一月) | 忠紙店三拾三人連判 | | 状 | |
| W1 | 10 | 18 | | | (書状、紙数不同につき) | (近世・年未詳)四月 | 中町・義兵衛(ほか3名) | | 状 | |
| W1 | 11 | | | | 貸金調 | 明治三十三年三月 | 渡辺儀藏・請求係 | | 冊 | |
| W1 | 12 | | | | (名取北方南長町役所連々大破につき修復書上帳) | 文久三年二月 | 南長町・問屋(印、仙台・長町・問屋) | 白石・〇、山万、<20久>、<姉生>、右御印・御店様中 | 冊 | |
| W1 | 13 | | | | (居所・人名書上、円七・甚之助関係23名) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W1 | 14 | | | | (願書、紙など買入の者御吟味につき) | (近世・年未詳)正月十三日 | 平兵衛 | 儀藏様 | 状 | |
| W1 | 15 | | | | 摂州須磨寺略縁起 | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W1 | 16 | | | | (覚、紙取引につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W1 | 17 | | | | 諸方指引扣(金銭勘定) | 文久元年酉十二月吉日 | 御改所 | | 冊 | |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|----------------------------|---------------|---|-------------|----|------------|
| W1 18 | | | | | 万通帳 | 文久元年十二月吉日 | 御改所 | | 冊 | |
| W1 19 | | | | | (大坂への道中書上、13~17日) | (近世・年月日未詳) | | | 冊 | |
| W1 20 | | | | | 道中記(8・9月四日市・元興寺・法隆寺などにつき) | (近世・年月日未詳) | 渡部氏 | | 冊 | |
| W1 21 | | | | | 口上(清右衛門・金巻兩余につき) | (近世・年月日未詳) | | 儀藏様 | 冊 | |
| W1 22 | | | | | 覚(地方産紙の売買改正につき) | (近世・年月日未詳) | | | 冊 | |
| W1 23 | | | | | 覚(庄藏紙取引につき) | (近世・年月日未詳) | | | 冊 | |
| W1 24 | 1 | 1 | | | (覚、宴会費・支払分など勘定につき) | (大正4年) | | | 状 | こより2点共 |
| W1 24 | 1 | 2 | 1 | | (覚、小崎分・角市分など金高勘定につき) | (大正4年) | | | 状 | こより共 |
| W1 24 | 1 | 2 | 2 | | (覚、曙めし代など諸色代金勘定につき) | (大正4年) | | | 状 | |
| W1 24 | 1 | 2 | 3 | | (覚、諸色代金受取につき) | 大正四年十一月二十七日 | 御旅館・志那忠支店 | 上様 | 状 | |
| W1 24 | 1 | 2 | 4 | | (覚、神楽料拾円受領につき) | 大正四年十一月廿八日 | 皇大神宮神楽殿 | 渡辺儀藏殿(ほか3名) | 状 | |
| W1 24 | 1 | 2 | 5 | | (覚、宿泊費領収につき) | (大正4年11月) | 伊勢山田停車場前・宇仁館支店 | 上 | 状 | |
| W1 24 | 1 | 2 | 6 | | (覚、御茶料領収につき) | (大正4年)十一月二十八日 | 伊勢山田停車場前・宇仁館支店 | 上 | 状 | 汽車運賃・時刻表付き |
| W1 24 | 1 | 2 | 7 | | (覚、赤帽手数料・新聞代など諸色代金領収につき) | (大正4年)十一月二十九日 | 金森四太郎(印、西区江戸堀・上通二丁目・金森四太郎) | 鈴木様(ほか3名) | 状 | 2紙1点 |
| W1 24 | 1 | 2 | 8 | | (覚、御宿料など諸色代金勘定につき) | (大正4年)十二月九日 | 山口力太郎(印、播州龍野町・初音旅館) | 上様 | 状 | |
| W1 24 | 1 | 2 | 9 | | (覚、御茶料領収につき) | 大正四年十二月八日 | 山口力太郎(印、播州龍野町十文字川・旅館初音事) | 上殿 | 状 | |
| W1 24 | 1 | 2 | 10 | | (覚、駅返りなど諸入用代金領収につき) | (大正4年)十二月七日 | 自由舎(印、岡山市上之町・御旅館自由舎) | 鈴木様 | 状 | |
| W1 24 | 1 | 2 | 11 | | (覚、油紙小包代金領収につき) | (大正4年) | 伊勢内宮宇治橋前・神宮御用達・中太商店 | 上殿 | 状 | |
| W1 24 | 1 | 2 | 12 | | (覚、箱入巻個送付につき) | (大正4年) | 山城や、元扱店・九州線鹿児島駅前・日本通送株式会社取引店・百貨運輸<ツル>明治運輸組本店 | | 状 | |
| W1 24 | 1 | 2 | 13 | | (覚、錫器箱入巻個送付につき) | (大正4年) | 高山商店、元扱店・九州線鹿児島駅前・日本通送株式会社取引店・百貨運輸<ツル>明治運輸組本店 | 鈴木富太郎殿 | 状 | |
| W1 24 | 1 | 3 | 1 | | (覚、酒・タバコなど諸色代金勘定につき) | (大正4年) | | | 状 | こより共、5紙1点 |
| W1 24 | 1 | 3 | 2 | | (覚、御茶料領収につき) | 大正四年十二月十五日 | 日本橋区室町三丁目・名倉本店・濱田平兵衛(印、名倉屋本店・濱田平兵衛) | 白石御連中様 | 状 | |
| W1 24 | 1 | 3 | 3 | | (覚、東京鉄一人・上野鉄一人の諸入用代金領収につき) | (大正4年) | 関本(印、日本橋区室三・関本) | 渡辺様 | 状 | |
| W1 24 | 1 | 3 | 4 | | (覚、御泊・車代など諸色代金領収につき) | (大正4年)十一月十五日 | 名倉屋本店(印、名倉屋本店・濱田平兵衛) | 白石御連様 | 状 | |
| W1 24 | 1 | 3 | 5 | | (覚、新聞代・御祝儀など諸色代金領収につき) | (大正4年) | 京都市藝屋町・柊家旅館(印、柊家) | 鈴木様 | 状 | 2紙1点 |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|-------------------------|-------------------|--|---------|----|-------|
| W1 24 | 1 | 3 | 6 | | 記(御乗車賃領収につき) | (大正4年) | 京都・終家旅館専属車庫場 | 上様 | 状 | 3紙1点 |
| W1 24 | 1 | 3 | 7 | | 御受(御茶代拾円・召使料参円領収につき) | (大正4年)十二月十二日 | 京都・終家(印) | 鈴木様御一同様 | 状 | |
| W1 24 | 1 | 4 | 1 | | 記(清酒沢之御寄樽代金領収につき) | 大正四年十二月十三日 | 石崎合資会社支店(印、神田区五軒町・東京第三支店・石崎合資会社) | 菊池寅吉様 | 状 | こより共 |
| W1 24 | 1 | 4 | 2 | | 記(御茶料二円領収につき) | (大正4年)十二月十日 | 神戸市相生町三丁目・旅館千秋楼 | 上様 | 状 | |
| W1 24 | 1 | 4 | 3 | | 記(酒代金六円六十銭領収につき) | 大正四年十二月十日 | 神戸市相生町三丁目・千秋楼 | 御旦那様 | 状 | |
| W1 24 | 1 | 4 | 4 | | 證(御茶料五十銭領収につき) | 大正四年十二月九日 | 高塚ホテル(印、山陽岡山駅前・高塚ホテル) | 御客様 | 状 | |
| W1 24 | 1 | 4 | 5 | | 記(車賃など諸色代金三円六銭領収につき) | 大正四年十二月九日 | 高塚ホテル(印、山陽岡山駅前・高塚ホテル) | 御客様 | 状 | 2紙1点 |
| W1 24 | 1 | 4 | 6 | | 記(御茶料参円領収につき) | 大正四年十二月九日 | 高松市・角田旅館 | 上様 | 状 | |
| W1 24 | 1 | 4 | 7 | | (覚、御向車・御車代など諸色代金領収につき) | (大正4年12月) | 高松市・角田旅館 | 上様 | 状 | |
| W1 24 | 1 | 4 | 8 | | 証(御茶料・御志領収につき) | (大正4)十二月八日 | 備後国尾道市停車場前・旅舎鶴水館 | 上様 | 状 | |
| W1 24 | 1 | 4 | 9 | | 記(たばこ・えはがき代など諸色代金領収につき) | (大正4年)十二月 | 尾道市海岸通停車場前・旅舎鶴水館 | 御上様 | 状 | |
| W1 24 | 1 | 4 | 10 | | 証(御茶料壹円ほか飯料・酒代領収につき) | (大正4年)十二月七日 | 宮崎もみぢ谷・岩惣 | 御上様 | 状 | 2紙1点 |
| W1 24 | 1 | 4 | 11 | | 御茶代拝受証(代金貳円) | (大正4年) | 下関停車場構内・鉄道旅館濱吉 | 上様 | 状 | |
| W1 24 | 1 | 4 | 12 | | 計算書(諸色代金五円七十五銭領収につき) | (大正4年)十一月六日 | 下関停車場構内鉄道待合所・鉄道旅館濱吉 | 上様 | 状 | |
| W1 24 | 1 | 4 | 13 | | 証(珊瑚拜見一本代金参円貳拾銭領収につき) | 大正四年十二月四日 | 長崎市本下町六番地・珊瑚珠売店・山岡藤次 | 上殿 | 状 | |
| W1 24 | 1 | 4 | 14 | | 領収証(写真代金につき) | 大正4年12月4日 | 本籠町・為政写真館(印、PHOTOGRAPHS NAGASAKI, JAPAN. TAMEMASA) | | 状 | |
| W1 24 | 1 | 4 | 15 | | 記(錫器代金貳拾円五拾貳銭領収につき) | 大正四年十一月二日 | 鹿児島市六日町一番戸朝日通・日照堂・高山鋳器商店 | 鈴木様 | 状 | |
| W1 24 | 1 | 4 | 16 | | 記(茶料壹円領収につき) | (大正4年) | 讃岐国金刀比羅内町・旅館・虎屋惣右衛門 | 上 | 状 | |
| W1 24 | 1 | 5 | | | 計算書(茶・赤帽代など諸色代金勘定につき) | (大正4年)十一月卅日~十二月六日 | | | 冊 | |
| W1 24 | 1 | 6 | | | 記(昼食代金壹円五十銭領収につき) | 大正四年十二月六日 | 耶馬溪耶馬橋元・旅館第一樓 | 上様 | 状 | |
| W1 24 | 1 | 7 | | | 証(油紙代など諸色代金領収につき) | 大正四年十二月六日 | 大分県別府温泉場・日名子益太郎 | 上殿 | 状 | |
| W1 24 | 1 | 8 | | | 証(茶料五円領収につき) | 大正四年十二月六日 | 大分県別府温泉場・霊泉館・日名子益太郎 | 上様 | 状 | |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|-------------------------------|---------------|-----------------------------|----------------------|----|-------------------------|
| W1 24 | 1 | 9 | | | 証(茶料五円領収につき) | 大正四年十二月二日 | 鹿児島市築町朝日通り・山城屋旅館 | 渡辺外四名様 | 状 | |
| W1 24 | 1 | 10 | | | 計算書(車代など諸色代金勘定につき) | (大正4年)十一月三十日 | 下関停車場構内鉄道待合所・鉄道旅館濱吉 | 上様 | 状 | |
| W1 24 | 1 | 11 | | | 記(宿泊料など諸色代金七円九十二銭領収につき) | 大正四年十二月五日 | 九鉄二日市駅・武蔵温泉場・大丸館<70大>山田大太郎 | 御客様 | 状 | |
| W1 24 | 1 | 12 | | | 領収証(本箱入りカステラ四つ代金四円四拾銭につき) | 大正四年十二月四日 | 長崎市船大工町(山ノ口)・福砂屋用証 | 上野屋様 | 状 | |
| W1 24 | 1 | 13 | | | 九州練列車食堂領収券 | (大正4年) | 九州練列車食堂営業・福岡・共進亭 | | 状 | |
| W1 24 | 1 | 14 | | | (覚、御弁代など諸色代金領収につき) | 大正四年十二月三日 | 熊本・御旅館<70研>研屋本店 | 山島金平様 | 状 | |
| W1 24 | 2 | 1 | | | 土産配分控 | (大正4年) | | | 状 | W1-24-21~15こよりにて一括、2紙1点 |
| W1 24 | 2 | 2 | | | 物品御引合伝票 | 大正四年十二月十二日 | たかしまや・飯田呉服店 | 上様 | 状 | |
| W1 24 | 2 | 3 | | | (伝票) | 大正4年 | 白木屋呉服店 | 渡辺様 | 状 | |
| W1 24 | 2 | 4 | | | 証(札入苧組代など諸色代金勘定につき) | 大正四年十二月十三日 | 日比野陶器店 | 白石・渡辺様 | 状 | |
| W1 24 | 2 | 5 | | | (覚、代金壹円五十銭領収につき) | 大正四年五月十五日 | 東京日本橋区新霞町三番地・宝来屋・福住吉兵衛 | 鈴木様、他御中様 | 状 | |
| W1 24 | 2 | 6 | | | (覚、代金拾貳円など諸色代金領収につき) | (大正4年) | 美や古表具本舗 | 上様 | 状 | |
| W1 24 | 2 | 7 | | | (覚、網代あみ文庫など諸色代金壹円貳拾貳銭領収につき) | 大正四年十月十三日 | 東京市日本橋区本石町四丁目式番地・上総屋号・福田利三郎 | 渡邊鏡藏様 | 状 | |
| W1 24 | 2 | 8 | | | (覚、菓子盆代金二円六十銭など勘定につき) | (大正4年) | 鹿児島市天神馬場・加藤商店 | 渡辺様 | 状 | |
| W1 24 | 2 | 9 | | | (覚、金拾四円五拾六銭領収につき) | 大正4年2月3日 | 白木屋呉服店 | 渡辺様 | 状 | |
| W1 24 | 2 | 10 | | | (覚、3号討銃など銃砲代金領収につき) | 大正四年十二月拾四日 | 日本銃砲店(東京市日本橋通三丁目一番地) | 上様 | 状 | |
| W1 24 | 2 | 11 | | | (覚、エリ巻き代金壹円九十二銭勘定につき) | 大正4年12月14日 | 石丸商店 | 上様 | 状 | |
| W1 24 | 2 | 12 | | | (覚、金着羽折組一本代貳円八拾銭ほか呉服代金領収につき) | 大正4年12月13、14日 | 日本橋・白木屋呉服店 | 渡辺様 | 状 | |
| W1 24 | 2 | 13 | | | (覚、衣服代金勘定につき) | 大正4年1月9日 | 桐野紋七商店 | 上様 | 状 | |
| W1 24 | 2 | 14 | | | (覚、白キヤラクニ足代金六拾銭ほか諸色代金領収につき) | 大正四年十二月十四日 | 虎印護鞆底発売元(東京市日本橋区室町三丁目)宮内清兵衛 | 名倉屋旅館内・渡辺様 | 状 | |
| W1 24 | 2 | 15 | | | (覚、丸形盆洗2組代金6円60銭ほか諸色代金勘定につき) | (大正4年) | 日照堂・高山錫器商店 | 渡辺様 | 状 | |
| W1 24 | 3 | | | | (覚、地方漫遊、日下与一ほか人名書上) | (大正4年) | | | 状 | 2紙1点 |
| W1 24 | 4 | | | | 旅行日程時間割(11月24日~12月15日) | 大正(4年) | | | 冊 | |
| W1 24 | 5 | | | | (送り状、時枝運送部廻送) | (大正4年) | 渡辺鏡藏 | 豊後・別府不老町・室澄小太郎殿 | 状 | |
| W1 24 | 6 | | | | (電報送達紙、フミミタシモノセキニオムカエスルなどにつき) | 大正4年11月23日 | キン | シロイシ・コウサンカイシヤ・ヤマダリハイ | 状 | 3紙1点 |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-----|----|----|----|----|--|--------------|--------------------------|---------------------|----|---------------------------|
| W1 | 24 | 7 | | | (電報送達紙、ミタトウホウミナツブジ) | 大正4年12月10日 | ススキ | ヲナテクヒウラギヤカタ・スズキトミタロ | 状 | |
| W1 | 24 | 8 | | | (電報送達紙、サンツカハナシキテク) | 大正4年11月20日 | カクノ | スズキトミタロウ | 状 | |
| W1 | 24 | 9 | | | (電報送達紙、イマミナブジ<ヤ>マチヤク) | 大正4年12月13日 | ナヤススキ | シロイシマチ スズキキクゾウ | 状 | |
| W1 | 24 | 10 | | | (電報送達紙、ミナカワリナイゴアソシソアラ) | 大正4年12月5日 | | スズキトミタロウ | 状 | |
| W1 | 24 | 11 | | | (送り状、石崎酒店清酒澤之鶴巻樽) | 大正4年12月13日 | 石崎合資会社東京支店(東京市神田区五軒町四番地) | 菊池寅〔 〕様 | 状 | 破損あり |
| W1 | 24 | 12 | | | (通知、トミタロウへ電報送付につき) | 大正4年11月28日 | カクマソ | スズキトミタロウ | 状 | |
| W1 | 25 | 1 | | | (覚、金沓両式朱余さし上げにつき) | (文久2年)二月十四日 | <ヤ>生>店 | ○印御尊店様 | 状 | 袋「文久2年四月改諸達等」下書井諸用人袋紙仲揚方共 |
| W1 | 25 | 2 | | | (覚、浅者三本など九本代金六切余勘定につき) | (文久2年) | | | 状 | |
| W1 | 25 | 3 | | | (覚、白紙取引につき) | (文久2年) | | | 状 | |
| W1 | 25 | 4 | | | 刈田郡白石町江去冬中請紙御改所被相定候紙(拙者共手前南道指し支えなどにつき) | (文久2年) | | | 状 | |
| W1 | 25 | 5 | | | (書状、地元買入れ直段にて御城下表で売り払いにつき) | 文久二年四月 | 刈田郡白石町検断・直治郎(ほか2名) | 大肝入・阿部養輔殿 | 状 | |
| W1 | 25 | 6 | 1 | | (覚、塵紙高直のため上申につき) | (文久2年)戊三月八日 | 御町横目・鈴木三郎(ほか3名) | | 冊 | |
| W1 | 25 | 6 | 2 | | (覚、塵紙高直のため上申・達書綴につき) | 文久二年二月 | 紙間屋・後藤屋吉兵衛、三浦屋徳兵衛 | | 冊 | |
| W1 | 25 | 7 | | | (書状、塵紙高直につき) | (文久2年) | | 肝入検断・円右衛門殿(ほか3名) | 冊 | |
| W1 | 25 | 8 | | | (書状、城下塵紙高直の吟味返書につき) | (文久2年)三月廿九日 | 肝入・武左衛門、飯肝入・栄吉 | 渡辺儀藏様、平兵衛様 | 状 | 包紙「同月同日渡辺儀藏様、平兵衛様」共 |
| W1 | 25 | 9 | | | (書状、塵紙買入れの吟味返書につき) | (文久2年)三月十六日 | | | 状 | 包紙共 |
| W1 | 25 | 10 | | | (書状、翌日早朝に紙御渡しにつき) | (文久2年)十二月廿一日 | 佐藤惣兵衛、白沢弥右衛門、順吉 | 小野奎之助様(ほか3名) | 状 | |
| W1 | 25 | 11 | | | (書状、売り払い直段中揚商人共申し出につき) | (文久2年)四月八日 | 松山・阿部養輔 | 松山・兵助殿 | 状 | |
| W1 | 25 | 12 | | | (書状、出入勘定のため金沓両式歩御渡し成し下されにつき) | 戊(文久2年)三月十五日 | 藤吉(印、金銭請取) | 渡辺儀藏様 | 状 | |
| W1 | 25 | 13 | | | (書状、新紙直段書上および調達のため登仙につき) | (文久2年)十二月十日 | 笹巻利兵衛(ほか2名) | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W1 | 25 | 14 | | | (覚、紙式百状代金式切余勘定につき) | (文久2年) | | | 冊 | |
| W1 | 25 | 15 | | | (書状、御役人様御出張御改めにつき) | 文久二年二月 | 刈田郡白石町・紙中揚商人・良吉(ほか3名) | | 状 | |
| W1 | 25 | 16 | | | 当新紙直段調書(上料紙、金沓切二付四拾七状々五拾状々) | (文久元年)十二月十日 | 笹巻利兵衛(ほか3名) | 渡辺義藏様 | 状 | |
| W1 | 25 | 17 | | | (書状、大肝入衆よりの伝達につき) | (文久2年)三月廿日 | 紙屋 | 佐兵衛様、茂右衛門様 | 状 | |
| W1 | 25 | 18 | | | (書状、別紙の通り伝達につき) | (文久2年)三月廿日 | 円卯右衛門、兵助 | 儀藏殿 | 状 | |
| W1 | 25 | 19 | | | (書状、塵紙の件運滞なくにつき) | (文久2年)三月廿日 | 阿部養輔 | 検断・兵助殿 | 状 | |
| W1 | 25 | 20 | | | (書状、城下塵紙高直につき) | (文久2年) | | | 状 | |

| 箱 | 番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表 題 (内 容) | 作 成 年 月 日 | 差 出 人 | 受 取 人 | 形態 | 状態／備考 |
|----|----|----|----|----|----|---------------------------------------|---------------|------------------------|----------------------------|----|----------|
| W1 | 25 | 21 | | | | (諸紙枚数不同、密売買などにつき覚帳) | (文久2年) | | | 冊 | |
| W1 | 25 | 22 | | | | (ちり紙高直吟味につき書上帳) | 文久3年二月 | 白石町 紙中揚商人・良吉 (ほか3名) | 三浦屋徳兵衛様、後藤屋吉 兵衛様 | 冊 | |
| W1 | 25 | 23 | | | | (御城下荷入れ不足迷惑につき書上帳) | (文久2年) | | | 冊 | |
| W1 | 25 | 24 | | | | (覚、新紙直段書上につき) | (文久2年) | | | 状 | 破損あり |
| W1 | 25 | 25 | | | | (覚、上杉原、地元、御城下直段につき) | (文久2年) | | | 状 | |
| W1 | 25 | 26 | | | | (書状、新紙直段につき) | (文久元年)十二月九日 | 紙中当番中(ほか2名) | 渡辺屋儀藏様(ほか3名) | 状 | |
| W1 | 25 | 27 | | | | 新紙直段御城下調書・右ノ新紙直段(杉原、中舟廻 しにつき) | (文久2年) | | | 状 | |
| W1 | 25 | 28 | | | | (覚、紙不足の訳につき) | 文久3年二月 | | | 状 | |
| W1 | 25 | 29 | | | | (覚(紙取引につき)) | (文久元年)十二月二十七日 | | | 状 | |
| W1 | 25 | 30 | | | | (書状、御城下表荷人不足につき) | (文久2年)三月十日 | | | 状 | |
| W1 | 25 | 31 | | | | (ちり紙高直および品切れにつき書上帳) | (文久2年) | | | 冊 | |
| W1 | 25 | 32 | | | | (書状、ちり紙高直のため御城下荷人不足につき) | (文久2年) | | | 状 | |
| W1 | 25 | 33 | | | | (書状、ちり紙不足および御場所相定め候につき) | (文久2年) | | | 状 | |
| W1 | 25 | 34 | | | | (去冬中直下ケ調書指出帳) | 戊(文久2年)二月十八日 | 田町 検断・中村源五右衛門 | | 冊 | |
| W1 | 25 | 35 | | | | (去年中より格類高直につき書上帳) | 文久元年十一月 | 佐藤惣六、永沢弥右衛門 | | 冊 | |
| W1 | 25 | 36 | 1 | | | (書状、御城下紙問屋申し来り、格者共仲問吟味につき) | (文久3年) | | | 状 | 包紙共、破損あり |
| W1 | 25 | 36 | 2 | | | (書状、新紙売直段につき) | (文久3年) | | | 状 | |
| W1 | 25 | 36 | 3 | | | (書状、新紙直段書上につき) | (文久3年)十二月六日 | 笹森屋理兵衛(ほか2名) | 渡部屋儀藏様(ほか2名) | 状 | |
| W1 | 25 | 36 | 4 | | | (書状、楮相場、紙直段上申につき) | (文久3年)十二月十日 | | | 状 | |
| W1 | 25 | 36 | 5 | | | (書状、九月十日通達の諸紙直段につき) | (文久3年)十二月十日 | 笹森屋理兵衛、斎藤屋又三 郎 | 渡部屋義藏様(ほか2名) | 状 | |
| W1 | 25 | 36 | 6 | | | (書状、出紙不足にて高直につき) | (文久3年) | | | 状 | |
| W1 | 25 | 36 | 7 | | | (袋) | (文久3年)十一月十二日 | 渡辺屋儀藏、阿子嶋屋佐兵 衛 | 御城下紙問屋・三浦屋徳兵 衛様、後藤屋吉兵衛様 | 袋 | |
| W1 | 25 | 36 | 8 | | | 当亥新紙直段書(杉原金巻切に四状五分より五状 五分につき) | 文久三年亥十二月十一日 | 阿子嶋屋佐兵衛(ほか2名) | 三浦屋徳兵衛様、後藤屋吉 兵衛様 | 状 | |
| W1 | 25 | 36 | 9 | | | (書状、杉原金巻歩に四状三分より五状五分など 買い入れ候直段につき) | (文久3年) | 平兵衛(ほか2名) | 検断・兵助(ほか2名) | 状 | |
| W1 | 25 | 36 | 10 | | | (書状、杉原など新紙地元買い入れ直段につき) | 文久三年十二月 | | 三浦屋徳兵衛様、後藤屋吉 兵衛様 | 状 | |
| W1 | 26 | | | | | (覚、金三分御渡しにつき) | (近世・年未詳)三月朔日 | | | 状 | 破損あり |
| W1 | 27 | | | | | (書状、御礼につき) | (近世・年月日未詳) | 大畑屋惣右衛門 | 渡辺屋豊吉様 | 状 | 後欠 |
| W1 | 28 | | | | | 口上(金巻阿余勘定につき) | (近世・年月未詳)七日 | | 儀藏様 | 状 | |
| W1 | 29 | | | | | 類焼見舞受納扣(白石町部・遠方之部) | 明治三十二年五月十三日 | 渡辺儀藏 | | 冊 | |
| W1 | 30 | | | | | (包紙大判、印押纏) | (近代・年月日未詳) | | | 状 | |
| W1 | 31 | | | | | (書状、臨時総会都合伺いにつき) | (近代・年未詳)四月十四日 | 丹野社長 | 渡辺儀藏様 | 状 | |
| W1 | 32 | | | | | 急順達 | (年未詳)十二月廿六日 | 佐兵衛 | 関助様(ほか8名) | 状 | |
| W1 | 33 | | | | | (覚、金三百六十九切余勘定につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |

| 箱 | 番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|----|----|----|----|----|----|---------------------------------|-----------------|------------------|-----------------|----|---------------|
| W1 | 34 | | | | | (覚、徳藏手舟人名書上) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | 破損あり |
| W1 | 35 | | | | | 取立分(平次郎・金四切六十八文などノ三百六十七切一朱につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W1 | 36 | | | | | 口上(金五十切差し上げにつき) | (近世・年月未詳)二十五日 | 佐兵衛 | 庄松様 | 状 | |
| W1 | 37 | | | | | 口上(御尊免<xxx>願い上げにつき) | (近世・年月未詳)廿日 | 山方・佐兵衛 | 寿丸御主人様 | 状 | |
| W1 | 38 | | | | | (覚、町横目・大旗忠左衛門殿歳暮金百疋などにつき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W1 | 39 | 1 | | | | 覚(大方四状代錢百廿六文など諸色代金勘定につき) | 戊(文久2年) | 渡辺儀藏 | 御中間様中 | 状 | W1-39-1~5仮綴一括 |
| W1 | 39 | 2 | | | | 覚(宿ちん式貫六百六十七文など諸色代金勘定につき) | 戊(文久2年)四月卅日 | 儀藏 | 御中間様中 | 状 | |
| W1 | 39 | 3 | | | | 覚(とちん金六百文など諸色代金勘定につき) | (文久2年)二月八日 | 庄藏 | | 状 | |
| W1 | 39 | 4 | | | | 覚(過帳金七貫百七十八文など諸色代金勘定につき) | (文久2年)正月日 | 中町・藏吉 | 平兵衛様 | 状 | |
| W1 | 39 | 5 | | | | (覚、上茶など献上品書上) | (文久2年) | | | 状 | |
| W1 | 40 | 1 | | | | (覚、とよ・同六五十など書上) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | 包紙・こより共、破損あり |
| W1 | 40 | 2 | | | | 覚(金五両書上) | (近世・年月未詳)十二月廿二日 | 御改所 | 儀藏殿 | 状 | 2紙1点 |
| W1 | 40 | 3 | | | | (覚、貞吉・三百五十状など取引15名書上) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W1 | 40 | 4 | | | | (覚、吉右衛門・四百六十歩紙取引につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W1 | 40 | 5 | | | | (覚、紙取引の人名・商品名書上) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | 2紙1点 |
| W1 | 40 | 6 | | | | (覚、善右衛門・二百五十状など紙取引につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W1 | 40 | 7 | | | | (覚、清四郎・百状など紙取引につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W1 | 40 | 8 | | | | 覚(喜四郎・金五両など紙取引につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W1 | 40 | 9 | | | | (覚、関助など人名書上) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | 破損あり |
| W1 | 40 | 10 | | | | 分方(忠治郎・六百状など紙取引につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W1 | 40 | 11 | | | | (書状、森氏出役につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W1 | 40 | 12 | | | | (覚、清太郎・百状など紙取引につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W1 | 41 | | | | | 覚(上料紙十七帖・鼻紙十五半々十七半迄など直段書上写しにつき) | (近世・年月未詳)九月一日 | 笹森ヤ利兵衛 | 渡部屋儀藏様、御中間中様 | 状 | 破損あり |
| W1 | 42 | | | | | (書状、楮直段引き上げにより当地紙直段引き上げにつき) | (近世・年月未詳)十二月十三日 | 渡辺屋甚藏、大畑屋平兵衛、中間中 | 三浦屋徳兵衛様、後藤屋吉兵衛様 | 状 | |
| W1 | 43 | | | | | 紙小売直段(上杉原六十錢四十五文などにつき) | (近代・年月日未詳) | | | 状 | |
| W1 | 44 | | | | | (覚、金一切に上料紙二十一状より二十三状までなどにつき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | 破損あり |
| W1 | 45 | | | | | (覚、三十枚・上中下の紙取引につき) | (文久2年) | | | 状 | |
| W1 | 46 | 1 | | | | (書状、紙取引高直之品相登り候につき) | (文久2年) | 佐兵衛、中間中 | 圓藏様、■■■様 | 状 | 破損甚大 |
| W1 | 46 | 2 | | | | (書状、紙直段御承引成し下されにつき) | (文久2年)四月十五日 | 菅野屋圓藏、後藤屋忠兵衛 | 阿古嶋佐兵衛様 | 状 | 破損あり |
| W1 | 46 | 3 | | | | 覚(下寄半り・金巻切に九状より拾状など紙取引につき) | (文久2年)四月十五日 | | 儀藏様、御中間中様 | 状 | 破損あり |
| W1 | 46 | 4 | | | | (断簡、上) | (文久2年) | | | 状 | |
| W1 | 46 | 5 | | | | (覚、杉原・四状より五状三歩など紙取引につき) | 文久二年戊十二月 | | 三浦屋徳兵衛殿、後藤屋吉兵衛殿 | 状 | 破損あり |
| W1 | 46 | 6 | | | | (覚、中船廻など紙取引につき) | (文久3年) | | | 状 | |
| W1 | 46 | 7 | | | | 刈田郡白石町諸紙小売直段書上(中船廻志状などにつき) | (文久3年)十一月 | 平兵衛、佐兵衛 | 儀藏様、佐兵衛様 | 状 | |

| 箱 | 番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|----|----|----|----|----|----|-------------------------------------|-------------------|------------------------------|---------------------------------|----|-------|
| W1 | 46 | 8 | | | | 御新紙直段書上(中舟廻金巻切二五状四分より五状五分などにつき) | 文久二年 | | | 状 | |
| W1 | 46 | 9 | | | | 寛永六百状追々出来次第荷入など紙取引につき) | (文久2年)八月十三日 | 圓藏、忠次 | 佐兵衛様、御中間中様 | 状 | |
| W1 | 46 | 10 | | | | (書状、諸紙高直掛け増しにつき) | (文久2年)四月十四日 | 佐兵衛 | 圓兵衛様 | 状 | |
| W1 | 46 | 11 | | | | 御城下売直段(杉原・金巻切二四状三分より五状三分などにつき) | (文久2年) | | | 状 | |
| W1 | 46 | 12 | | | | (書状、紙直段行き違いにつき) | (文久2年)四月十四日 | 笹森や利兵衛 | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W1 | 46 | 13 | | | | (書状、小原村にて紙買方仕りににつき) | 慶応元年九月 | 円藏、忠治 | 大畑屋半兵衛様、御仲間中様 | 状 | |
| W1 | 46 | 14 | | | | (書状、新紙直段書上・相場につき) | (慶応元年) | | | 状 | 2紙1点 |
| W1 | 46 | 15 | | | | (書状、当秋紙櫃外高直につき) | 丑(慶応元年)九月 | 連名 | | 状 | |
| W1 | 46 | 16 | | | | (書状、当秋格外紙高直につき) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W1 | 47 | | | | | (書状、楮高直につき) | 慶応元年十一月十四日 | 紙商八・円吉(ほか4名) | 検断・繁三助殿(ほか4名) | 状 | |
| W1 | 48 | | | | | (覚、御所出産の諸紙などにつき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W1 | 49 | 1 | | | | (覚、上小原村・大治郎など人名書上) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | 2紙1点 |
| W1 | 49 | 2 | | | | (錢五百式文無心につき証文) | (近世・年月未詳)正月廿三日 | | | 状 | 2紙1点 |
| W1 | 49 | 3 | | | | (書状断簡、紙漉御役所へ罷出候につき) | (近世・年月日未詳) | 弥右衛門 | 紙御改所二而・鈴木兵助殿、改役衆中 | 状 | 後欠 |
| W1 | 49 | 4 | | | | (覚、甚之助ほか紙取引につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | 破損あり |
| W1 | 49 | 5 | | | | (覚、浅之助・式百状など紙取引につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W1 | 50 | | | | | (ちり紙買受証文) | (近世・年月未詳)正月二十四日 | 中日庵七 | | 状 | |
| W1 | 51 | | | | | (断簡、包紙、大川原) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W1 | 52 | | | | | (覚、正右衛門・六切など紙取引につき) | (近世・年月日未詳)廿七日 | | | 状 | |
| W1 | 53 | | | | | (覚、杉原・廿状、正兵衛など紙取引につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W1 | 54 | | | | | (書状、金銭取立御案内につき) | (近世・年月日未詳) | 橋本藤左衛門 | 渡辺儀藏様 | 状 | |
| W1 | 55 | | | | | (書状、金銭払い込みにつき) | (近世・年月日未詳) | 渡辺又四様 | | 状 | 封筒共 |
| W1 | 56 | | | | | 仕之代(金貳十五錢領取につき) | (近代・年月日未詳) | 坂本 | 上様 | 状 | |
| W1 | 57 | | | | | (書状、私参上につき) | (明治21年)旧二月十六日 | (田町より)村上彦吉 | (○)渡部多七様 | 状 | 封筒共 |
| W1 | 58 | | | | | (書状、二週間御滞京の趣御通報につき) | (明治40年)十一月四日 | 渡部卯吉(磐城国刈田郡白石町<ヲウ>渡邊卯吉) | 桑嶋叔父上様(東京市本郷区駒込蓬菜町六・小柳館方・渡邊儀藏様) | 状 | 封筒共 |
| W1 | 59 | | | | | 諸相場(古新・式百式分など衣服相場覚) | (年未詳)四月 | 長山三・長谷川次良兵衛 | | 状 | |
| W1 | 60 | | | | | (書状、新年の挨拶につき) | (近代・年未詳)1月4日 | 長山三・次郎兵衛 | 渡邊儀藏様 | 状 | |
| W1 | 61 | | | | | (書状、新年の挨拶につき) | (近代・年未詳)1月4日 | 長谷川次郎兵衛、半七 | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W1 | 62 | | | | | (書状、新年の挨拶につき) | (近代・年未詳)1月11日 | 白塚代三郎 | 渡辺儀造様 | 状 | 封筒共 |
| W1 | 63 | | | | | (書状、年末の挨拶につき) | (近代・年月日未詳)十二月三十一日 | 石原善右衛門、喜平(仙台大門三丁目・石原善右衛門、喜平) | 渡辺儀三様、御店中様(白石中町) | 状 | 封筒共 |
| W1 | 64 | | | | | (書状、別紙の品御注文、何分直段精々御働き下されたくなど紙取引につき) | (年未詳)三月五日 | 涌井源兵衛 | 渡辺儀藏様、御店中様 | 状 | |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|--------------------------------------|--------------|---|--------------------|----|-------------------------|
| W1 65 | | | | | (書状、伊藤松五郎方より買い受けにつき) | (年未詳)五月十三日 | 菊地立次 | 寿丸店中・伊藤留次様 | 状 | 封筒共、破損あり |
| W1 66 | | | | | (書状、茶の本織式反、右品よりも下品にても宜敷御座候など呉服取引につき) | (年未詳)二月廿四日 | 新町・政吉 | 渡部屋内・清治郎様 | 状 | |
| W1 67 | | | | | (丸亀～姫路～大坂など西国道中記) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W1 68 | | | | | 生糸・真綿・蘭買方張(7月15日金二円・小原村権五郎殿などにつき) | 丑年(近代・年月日未詳) | 寿まる本店 | | 冊 | 綴綴・破損あり |
| W1 69 | | | | | (書状、塵紙払底品切れのため諸人迷惑につき) | (年月日未詳) | | | 状 | |
| W1 70 | | | | | 当春紙直投書上(上杉原・金巻切二付三状より三状五分まで、などにつき) | (近世・年未詳)三月六日 | | | 状 | |
| W1 71 | | | | | 鎌倉絵図 | (年月日未詳) | 鎌倉・伊三郎・板 | | 状 | |
| W1 72 | | | | | 金毘羅大権現■ | (年月日未詳) | 成功堂・蔵版 | | 状 | 破損あり |
| W1 73 | | | | | (金毘羅山周辺図) | (近世・年月日未詳) | 大坂さかい筋長堀橋南詰<ヤ ▽平>金毘羅出船所・平野屋 佐吉・浪華・香月齊王峰・画 | | 状 | 破損あり、W1-75と同 じもの |
| W1 74 | | | | | (罪人処罰書上、寿永3年2月と記載あり) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | 破損あり |
| W1 75 | | | | | (金毘羅山周辺図) | (近世・年月日未詳) | 大坂さかい筋長堀橋南詰<ヤ ▽平>金毘羅出船所・平野屋 佐吉・浪華・香月齊王峰・画 | 須■森 | 状 | 破損あり、W1-73と同 じもの |
| W1 76 | | | | | 扇屋夕霧文(袋、延宝六年午正月六日没、文政十年 迄星霜至百五十年) | (文政10年カ) | 吉田屋写形 | | 袋 | |
| W1 77 | | | | | 讃州象頭山十二景之圖 | (年月日未詳) | 金毘羅御守箱所・美玉堂、 画工・大坂・機月斎、彫刻・ 同・四海堂 | | 状 | 破損あり |
| W1 78 | | | | | 東北新聞 四千九百七十七號 | 明治四十年八月廿八日 | 東北新聞社 | | 冊 | |
| W1 79 | | | | | 東京株式新報 第二千七百六十二號(夕刊) | 明治四十年八月二十日 | 発行兼編輯人・久保田藤作 | | 冊 | |
| W1 80 | | | | | 東京株式新報 | 明治四十年八月十五日 | 日本橋区兜町五番地・松野 屋商店 | (宮城県白石町・渡邊儀蔵 様) | 冊 | 帯封共 |
| W1 81 | | | | | 東京株式日報 第四千七十四號 | 明治四十年八月九日 | 東京市日本橋区兜町二番 地・株式商況社・鈴木活版所 | | 状 | |
| W1 82 | | | | | 株式商報 第八十號 | 明治四十年七月二十日 | 半田商店内・株式商報 | | 状 | |
| W1 83 | | | | | (書状、渡辺儀蔵母逝去につき) | 三月廿七日 | 渡辺文四郎 | 小山いま様 | 状 | 封筒共 |
| W1 84 | | | | | 永楽通報(商業新聞附録) | 明治四十年八月一日 | | | 状 | |
| W1 85 | 1 | | | | 地券(刈田郡郡山村字五昇路四十九番) | 明治九年十二月廿日 | 大日本帝国政府・宮城県 | 山内省吾 | 状 | 帯封共、W1-85-1～8帯 封にて一括 |
| W1 85 | 2 | | | | 地券(刈田郡郡山村字五昇路四五百番) | 明治九年十二月廿日 | 大日本帝国政府・宮城県 | 山内省吾 | 状 | |
| W1 85 | 3 | | | | 地券(刈田郡郡山村字五昇路四百一番) | 明治九年十二月廿日 | 大日本帝国政府・宮城県 | 山内省吾 | 状 | |
| W1 85 | 4 | | | | 地券(刈田郡郡山村字五昇路四七十番) | 明治九年十二月廿日 | 大日本帝国政府・宮城県 | 半田嘉茂治 | 状 | |
| W1 85 | 5 | | | | 地券(刈田郡郡山村字五昇路四十二番) | (明治九年十二月廿日) | 大日本帝国政府・宮城県・主 事・柴田刈田郡長・富田広信 | 半田嘉平 | 状 | |
| W1 85 | 6 | | | | 地券(刈田郡郡山村字五昇路四七十八番) | 明治九年十二月廿日 | 大日本帝国政府・宮城県 | 半田嘉茂治 | 状 | |
| W1 85 | 7 | | | | 地券(刈田郡郡山村字五昇路四七十七番) | 明治九年十二月廿日 | 大日本帝国政府・宮城県 | 半田嘉茂治 | 状 | |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-----|----|----|----|----|--|----------------|--------------------------|-------------|----|---|
| W1 | 85 | | | | 地券(刈田郡郡山村字五昇路開七十一番) | 明治九年十二月廿日 | 大日本帝国政府・宮城県 | 半田嘉茂治 | 状 | |
| W1 | 86 | 1 | | | 地券(岩代国伊達郡桑折村字澤三十七番口号) | 明治廿一年一月十日 | 大日本帝国政府 | 佐藤新右工門 | 状 | |
| W1 | 86 | 2 | | | 地券(岩代国伊達郡桑折村字澤三十九番口号) | 明治廿一年十月廿七日 | 大日本帝国政府 | 佐藤新右工門 | 状 | |
| W1 | 86 | 3 | | | 地券(岩代国伊達郡桑折村字澤三十九番1号) | 明治廿一年十月廿七日 | 大日本帝国政府 | 佐藤新右工門 | 状 | |
| W1 | 86 | 4 | | | 地券(岩代国伊達郡桑折村字澤三十八番) | 明治十一年七月十日 | 大日本帝国政府 | 佐藤新右工門 | 状 | |
| W1 | 86 | 5 | | | 地券(岩代国伊達郡桑折村字澤三十五番) | 明治十一年七月十日 | 大日本帝国政府 | 佐藤新右工門 | 状 | |
| W1 | 86 | 6 | | | 地券(岩代国伊達郡桑折村字澤二十四番) | 明治十一年七月十日 | 大日本帝国政府 | 佐藤新右工門 | 状 | |
| W1 | 86 | 7 | | | 地券(岩代国伊達郡桑折村字澤三十七番1号) | 明治廿一年一月十日 | 大日本帝国政府 | 佐藤新右工門 | 状 | |
| W1 | 86 | 8 | | | 地券(岩代国伊達郡桑折村字館五十六番) | 明治十一年七月十日 | 大日本帝国政府 | 佐藤新右工門 | 状 | |
| W1 | 86 | 9 | | | 地券(岩代国伊達郡桑折村字館五十四番) | 明治十一年七月十日 | 大日本帝国政府 | 佐藤新右工門 | 状 | |
| W1 | 86 | 10 | | | 地券(岩代国伊達郡桑折村字館五十二番) | 明治十一年七月十日 | 大日本帝国政府 | 佐藤新右工門 | 状 | |
| W1 | 86 | 11 | | | 地券(岩代国伊達郡桑折村字館五十一番) | 明治十一年七月十日 | 大日本帝国政府 | 佐藤新右工門 | 状 | |
| W1 | 86 | 12 | | | 地券(岩代国伊達郡桑折村字館三十番) | 明治十一年七月十日 | 大日本帝国政府 | 佐藤新右工門 | 状 | |
| W1 | 86 | 13 | | | 地券(岩代国伊達郡桑折村字館二十九番) | 明治十一年七月十日 | 大日本帝国政府 | 佐藤新右工門 | 状 | |
| W1 | 86 | 14 | | | 地券(岩代国伊達郡桑折村字館五十五番) | 明治十四年十二月廿日 | 大日本帝国政府 | 佐藤新右工門 | 状 | |
| W1 | 86 | 15 | | | 地券(岩代国伊達郡桑折村字館五十三番) | 明治十四年十二月廿日 | 大日本帝国政府 | 佐藤新右工門 | 状 | |
| W1 | 87 | | | | 地券(岩代国伊達郡平沢村五番ノ内1号) | 明治十九年三月廿七日 | 伊達郡長・小池勉堂 | 佐藤新右工門 | 状 | 包紙共 |
| W1 | 88 | 1 | | | 地券(刈田郡郡山村字西鍛冶屋開十一番) | 明治十一年九月廿日 | 横山彦三郎 | 渡辺儀藏 | 状 | 包紙共、W1-88-1~3包紙にて一括 |
| W1 | 88 | 2 | | | 地券(刈田郡郡山村字西鍛冶屋開二十二番) | 明治十二年五月一日 | 柴田刈田郡長・富田広信 | 三沢小学校 | 状 | |
| W1 | 88 | 3 | | | 地券(刈田郡郡山村字西鍛冶屋開三十番) | 明治十二年五月一日 | 柴田刈田郡長・富田広信 | 三沢小学校 | 状 | |
| W1 | 89 | 1 | | | 地券(刈田郡郡山村字山田沢開二十三番) | 明治九年十二月廿日 | 大日本帝国政府・宮城県 | 八巻亀治 | 状 | 帯封共、W1-89-1~5帯封にて一括 |
| W1 | 89 | 2 | | | 地券(刈田郡郡山村字山田沢開二十四番) | 明治九年十二月廿日 | 大日本帝国政府・宮城県 | 半田嘉茂治 | 状 | |
| W1 | 89 | 3 | | | 地券(刈田郡郡山村字山田沢開五十二番) | 明治九年十二月廿日 | 大日本帝国政府・宮城県 | 半田嘉茂治 | 状 | |
| W1 | 89 | 4 | | | 地券(刈田郡郡山村字山田沢開五十三番) | 明治九年十二月廿日 | 大日本帝国政府・宮城県 | 半田嘉茂治 | 状 | |
| W1 | 89 | 5 | | | 地券(刈田郡郡山村字山田沢開五十四番) | 明治九年十二月廿日 | 大日本帝国政府・宮城県 | 半田嘉茂治 | 状 | |
| W1 | 90 | | | | (覚、八ツ森源藏ほか13名、村名・人名書上) | (年月日未詳) | | | 状 | 破損あり |
| W1 | 91 | | | | (覚、六百状・惣よりなど、ちり紙受け渡しにつき) | (年月日未詳) | | | 状 | 破損あり |
| W1 | 92 | 1 | | | 巨理町(駒蔵上判など半紙入方につき書上) | (近世・年未詳)十二月廿六日 | 検断御町町人・安右衛門 | 兵助様 | 状 | 破損あり、W1-92-1~2まきこみ一括 |
| W1 | 92 | 2 | | | (書状、御判代につき) | (近世・年未詳)十二月廿六日 | 兵助 | 清左衛門様(ほか4名) | 状 | 破損あり、W1-92-1の返書 |
| W2 | 1 | | | | 抜句集全(南山ほか多数の俳句写) | (年月日未詳) | | | 冊 | 蔵書印「刈田・白石・中町・渡部」あり |
| W2 | 2 | | | | 大字御成敗式目(貞永元年八月十日発布の副本) | 元禄十一年九月 | 山村屋 | | 冊 | 背表紙「渡辺屋喜市・渡辺屋文蔵」とあり |
| W2 | 3 | | | | 商工世界 太平洋 第九卷第十四号(鎌田栄吉「発作的感懐的なる日本人」に誤られたる書圖主義」ほか論文掲載) | 明治43年7月13日 | 東京市日本橋区本町3丁目・博文館 | | 冊 | |
| W2 | 4 | | | | 本朝文則 永寿庭訓往来絵 抄解 完 | 天保二年辛卯九月 | 東都書林・小伝馬町三丁目・葺屋重三郎(ほか2名) | | 冊 | 付箋1点を含む、裏表紙・背表紙に「丸印・渡邊豊吉」蔵書印「磐城白石・渡邊儀藏」○太物店あり |

| 箱 | 番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表 題 (内 容) | 作 成 年 月 日 | 差 出 人 | 受 取 人 | 形 態 | 状 態 / 備 考 |
|----|----|----|----|----|----|------------------------------------|--------------|---------------------------------------|-------|-----|---|
| W2 | 5 | | | | | 聖代御江戸往来 完 | 文化二乙丑年 | 書林・仙台国分町拾九軒・ 裳華房・伊勢屋半右衛門 | | 冊 | 裏表紙・背表紙に「白石中 町・丸印・わたなべや」とあり |
| W2 | 6 | | | | | 尋常小学補習科読本 卷三 (「花卜笑」「果樹」「朝 顔」など) | 明治三十八年二月七日 | 新保馨次 | | 冊 | 裏表紙に「渡儀○商店・ 磐城白石町・醸造・味噌 醬油部」「磐城国白石中 町・○渡辺儀藏」とあり |
| W2 | 7 | | | | | 高等小学読本 卷之三 (「皇靈祭」「御国の民など) | 明治三拾貳年 | 著作者・西澤之助、発行者・ 川崎又次郎・国光社 | | 冊 | 表紙補修あり、裏表紙に 「明治三拾貳年白石小学 校高等科第二学級・渡 邊吉随用」とあり |
| W2 | 8 | | | | | 小学読本 五 | 明治七年五月 | 文部省 | | 冊 | 表紙補修あり、蔵書印 「磐城白石・渡邊儀藏・ ○大物店」裏表紙に 「明治九子の歳五月・渡 邊吉」とあり |
| W2 | 9 | | | | | 純閑化小学用文全 (「寒中見舞之文」「御用召風聴 之文」など) | 明治八年十月三十一日 | 著者・喰代豹藏、出版人・岡 村庄助 (ほか2名) | | 冊 | 奥付に蔵書印「磐城白石・渡 邊儀藏・○大物店」あり |
| W2 | 10 | | | | | 開化商売往来 | 明治六年三月 | 萩原乙彦・訂、小室樵山・ 書、東京万青堂・発兌 | | 冊 | 背表紙に蔵書印「磐城白石・ 渡邊儀藏・○大物店」あり |
| W2 | 11 | | | | | 尋常小学読本 (「太陽」「日の旗」など) | 明治二十年五月 | 文部省大臣官房図書課、発 売所・大日本図書株式会社 | | 冊 | 最終頁に「渡辺文四郎」 とあり |
| W2 | 12 | | | | | 日本地理乙種第二 | 明治廿六年十月三日 | 金港堂書籍株式会社編輯 所 東京市日本橋区本町三 丁目拾七番地 | | 冊 | 表紙補修あり、裏表紙に 「白石小学校高等第二学 年級・渡邊豊吉」「明治参 拾二年求之」とあり |
| W2 | 13 | | | | | 帝国小史 甲号卷之二 (「平清盛」「源頼朝」など) | 明治二十六年九月十六日 | 山縣悌三郎・著、文学社・発 兌 | | 冊 | 表紙補修あり、裏表紙 に「渡邊豊吉」とあり |
| W2 | 14 | | | | | 徳霽貳年七月 鉱物筆記 (鉱物筆記帖) | (近代・年月日未詳) | 売弘所・東京室町三丁目・ 紀伊国屋源兵衛 | | 冊 | 裏表紙に「松風仙人」とあり |
| W2 | 15 | | | | | 数学教授本 | 辛未 (明治4年) 5月 | 著者兼筆者・三宅敬造、発 行兼印刷者・北郷久芳 | | 冊 | 裏表紙に「明治廿八年 拾月吉日・磐城白石町・ 渡邊豊吉随用」とあり |
| W2 | 16 | | | | | 習字本 卷三 | 明治二十五年六月二日 | | | 冊 | 背表紙に「保護者・渡邊儀 藏、氏名・小関琢」とあり |
| W2 | 17 | | | | | 明治四十年度実業夜学会通信簿 (4・5月) | 明治四十年年度 | | 小関琢 | 冊 | 背表紙に「保護者・渡邊儀 藏、氏名・小関琢」とあり |
| W2 | 18 | | | | | 実業夜学会通信簿 (明治39年度) | 明治三十九年度 | | 小関琢 | 冊 | クーラスあり、背表紙に 「保護者・渡邊儀藏、生 徒・小関琢」とあり |
| W3 | 1 | | | | | 証文手形案文 | (年月日未詳) | | | 冊 | 破損あり、蔵書印「<small>松屋茂兵衛」あり |
| W3 | 2 | | | | | 膝栗毛六編上編 | 文化丁卯春正月 | 十返舎一九 | | 冊 | 破損あり、蔵書印「磐城白 石・大物店・渡邊儀藏」あり |
| W3 | 3 | | | | | 父漢土母和朝 国姓爺一代記 初編 | 安政二乙卯仲夏 | 魯文・編、芳直・画、河内屋 茂兵衛 (ほか12名) | | 冊 | 破損あり、蔵書印「○仙 台・白石中町・御塩問 屋・渡部屋儀藏」あり |
| W3 | 4 | | | | | 竹女一代記 黄金花桜木双紙三編 | 弘化四甲丁未 | | | 冊 | 破損あり、蔵書印「○奥 州・白石中町・渡部屋儀 藏」あり |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|----------------------------|---------------|------------------------------|-----|----|---|
| W3 5 | | | | | (俳句集、「初沙や、さゝ波よせる、沖の風」など) | (年月日未詳) | 南侯・評 | | 冊 | 破損あり |
| W3 6 | | | | | 美紅葉(季節の和歌集) | (年月日未詳) | 撰者・含雪堂・華兄(ほか2名) | | 冊 | 破損あり |
| W3 7 | | | | | 徒連徒連都雀上(つれづれ都雀一の巻) | (年月日未詳) | | | 冊 | 破損あり、蔵書印「磐城白石・太物店・渡辺儀藏」渡辺好直」とあり |
| W3 8 | | | | | 徒連徒連都雀中末 | (年月日未詳) | | | 冊 | 破損あり、蔵書印「磐城白石・太物店・渡辺儀藏」渡辺好直」あり |
| W3 9 | | | | | 徒連徒連都雀中■(つれづれ都雀二の巻前半) | (年月日未詳) | | | 冊 | 破損あり、蔵書印「磐城白石・太物店・渡辺儀藏」渡辺好直」あり |
| W3 10 | | | | | 薬方全書 | 安永八年己亥初夏 | 大坂心齋橋南四丁目・吉文字屋市兵衛(ほか2名) | | 冊 | しおり2点、破損あり |
| W3 11 | | | | | 醫療手引草 上編 中 | 寶曆甲申(宝暦14年)孟春 | | | 冊 | 破損あり |
| W3 12 | | | | | 能毒圖鈔 卷之上(藥草解説書) | 安永二年己三月吉日 | 著者・喰代豹藏、出版人・岡村庄助(ほか2名) 蓋静翁道三 | | 冊 | 破損あり |
| W3 13 | | | | | 国姓爺一代記(三編) | (年月日未詳) | 仮名垣魯文・編、錦耕堂・梓 | | 冊 | 破損あり、裏表紙に「渡辺義藏・明治十年八月吉日」蔵書印「仙台・白石中町・御塩問屋・渡辺屋儀藏」あり |
| W3 14 | | | | | (書物、滑稽本) | (年月日未詳) | 十返舎一九 | | 冊 | 破損あり |
| W3 15 | | | | | 文化新刻 永徳塵劫記大成 全(計算方法) | 文化二年乙丑歳正月 | 国分町十九軒・池田屋源藏・版 | | 冊 | 裏表紙に「文政八西ノ四月吉日・佐藤正吉良・藤原知克・白石中町渡辺豊吉(花押)」とあり |
| W3 16 | | | | | 膝栗毛八編中(東海道中膝栗毛・中巻) | (年月日未詳) | | | 冊 | 破損あり、蔵書印「磐城白石・太物店・渡辺儀藏」あり |
| W3 17 | | | | | 五代目宗桂 手鑑指南抄 全(将棋指南書) | 貞享三年春正月吉日 | 西澤氏・跋 | | 冊 | 破損あり |
| W3 18 | | | | | 大増補改算記綱目大全 | 明和元甲申季夏 | 芝神明前・奥村喜兵衛(ほか3名) | | 冊 | 破損・表紙修復あり |
| W3 18 | | | | | 覚(真原卷壹両式分位などにつき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W3 19 | | | | | 犬神太郎暴悪譚(絵草子) | (年月日未詳) | 墨川亭雪麿・作、芳鶴・画 | | 冊 | 破損あり、蔵書印「如田・白石・中町・渡部」とあり |
| W3 20 | | | | | (覚、道中記) | (年月日未詳) | | | 冊 | 破損あり |
| W3 20 | | | | | 式書附(旅先の出来事・地名・景観など書上) | (年月日未詳) | | | 冊 | W3-20-2~10まきこみ一括 |
| W3 20 | | | | | 三書附(旅先の出来事・地名・景観など書上) | (年月日未詳) | | | 冊 | |
| W3 20 | | | | | 四書附(旅先の出来事・地名・景観・珍品など書上) | (年月日未詳) | | | 冊 | |
| W3 20 | | | | | 南朝見物 五書附(旅先の出来事・地名・景観など書上) | (年月日未詳) | | | 冊 | |
| W3 20 | | | | | 六書目(旅先の出来事・地名・景観など書上) | 九月十二日~十月卅日 | | | 冊 | |
| W3 20 | | | | | 七書目(旅先の出来事・地名・景観など書上) | (年月日未詳) | | | 冊 | |

| 箱 | 番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表 題 (内 容) | 作 成 年 月 日 | 差 出 人 | 受 取 人 | 形 態 | 状 態 / 備 考 |
|----|----|----|----|----|----|---|---------------------|-----------------------------|-------|-----|------------------------------------|
| W3 | 20 | 8 | | | | (付箋・日野九郎左衛門) (断簡) | (年月日未詳) 天明三年五月二日 | | | 状 | |
| W3 | 20 | 9 | | | | (覚・道中記) | (年月日未詳) | | | 状 | |
| W3 | 20 | 10 | | | | 日本地理往来 下 | 明治五年十一月 | | | 冊 | 破損あり |
| W3 | 21 | | | | | | 嘉永三年二月吉日 | 大阪心斎橋筋本町・梶田喜蔵(ほか4名) 安斎善嗣 | | 冊 | 破損あり |
| W3 | 22 | | | | | 経穴要記全(表紙「婦産帯記」享保十五年中秋に「守美」が写す、人体のツボ指南書) | | | | 冊 | 破損あり |
| W3 | 23 | | | | | みすなれ樟三(内題「水瓢樟三」100名による俳句集) | (年月日未詳) | | | 冊 | |
| W3 | 24 | | | | | 水瓢樟三(内題「兎手柏 十五」俳句集) | (年月日未詳) | | | 冊 | |
| W3 | 25 | | | | | 論語 渡辺家(和歌集) | (年月日未詳) | 奥州・仙台国白石・太物店・渡辺氏 | | 冊 | 破損あり |
| W3 | 26 | | | | | 漢語註解大全 普通文章 | (近代・年月日未詳) | 三谷演・編輯、青木東園・校并書 | | 冊 | |
| W3 | 27 | | | | | 俳諧連理の枝 坤 | 寛延三庚午年仲夏 | 彫工・日本橋二丁目・斤且 | | 冊 | 破損あり |
| W3 | 28 | | | | | 桃乃■(四季の俳句集) | 元禄六年西歳五月 | 井筒屋庄兵衛(ほか3名) | | 冊 | |
| W3 | 29 | | | | | 新撰早割 江戸相場(算術指南書) | (年月日未詳) | 最上流・格齋先生 | | 冊 | 破損あり、朱印「仙之助」あり |
| W3 | 30 | | | | | 藁邦句集全編 下(荷翁句集巻の下) | 天明四甲辰立冬十二月 | 著者・凡董 | | 冊 | 破損あり |
| W3 | 31 | | | | | 女小学(女性教訓書) | 文化十二年秋 | 仙台国分町十九軒・いせ屋半右衛門 | | 冊 | 破損・なかに一紙あり |
| W3 | 32 | | | | | 大学(儒学・朱子学参考書) | 文久三年七月廿七日 | 佐藤文之助 | | 冊 | 表紙破損あり、蔵書印「○・奥州白石・太物店・渡辺儀蔵」あり |
| W3 | 33 | | | | | 新刻改正 通俗古状御宝箱 | 文化八年正月 | 仙台国分町十九軒・地本問屋(ほか4名) | | 冊 | 破損あり |
| W3 | 34 | | | | | 和註妙法蓮華経 巻第八 | 延寶第四丙辰天孟秋 | 中村五兵衛 | | 冊 | 破損あり |
| W3 | 35 | | | | | 頭書長曆 全 | 貞享五戊辰季春 | 小森善左衛門(ほか1名) | | 冊 | 破損あり |
| W3 | 36 | | | | | 庭訓往来 | 明和九壬辰年中■ | 伊勢屋() | | 冊 | 破損・表紙修復あり、蔵書印「碧城白石・太物店・渡辺儀蔵」渡邊儀助あり |
| W3 | 37 | | | | | 千字文 全 | 享和三癸亥臘月 | 仙台国分町十九軒・伊勢屋半右衛門 | | 冊 | 破損あり |
| W3 | 38 | | | | | (断簡、全) | (年月日未詳) | | | 状 | 破損あり |
| W4 | 1 | | | | | 世界國盡 貳(ヨーロッパ・北米) | (明治二年) | | | 冊 | 墨書「寿丸・渡邊氏」あり |
| W4 | 2 | | | | | 改正新刻 教訓女孝経講釋 | (年月日未詳) | 東都書物問屋・馬喰町四丁目・吉田屋文三郎・板 | | 冊 | 破損あり |
| W4 | 3 | | | | | 頭書女四季文附必要 女大全(女性教訓書) | 明治二巳年春 | 東京・本間屋・松延堂・伊勢屋庄之助・板 | | 冊 | 墨書「明治十六年十月吉日・渡邊一氏藏書」あり |
| W4 | 4 | | | | | 文玉百人一首 全 | (近世・年月日未詳) | 江戸書林・山静堂・山崎屋清七・藏板 | | 冊 | |
| W4 | 5 | | | | | 首書繪入 世界都路 貳(アジア) | (明治五年壬申仲夏) | (仮名垣魯文) | | 冊 | なかに一紙あり、墨書「于時明治六年西三月吉日・渡部たが」あり |

| 箱 | 番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表 題 (内 容) | 作 成 年 月 日 | 差 出 人 | 受 取 人 | 形 態 | 状 態 / 備 考 |
|----|----|----|----|----|----|----------------------|-------------|--------------------------------|-------|-----|--|
| W4 | 6 | | | | | 首書繪入 世界都路 参(アジア) | 明治五年壬申仲夏 | 仮名垣魯文、東京本石町二丁目舟・萬波閣、江島喜兵衛・発兌 | | 冊 | 破損あり、墨書「明治六年西三月吉日・渡部多加あり」 |
| W4 | 7 | | | | | 世界國盡 参(南米) | 明治二年己巳 | | | 冊 | 裏表紙に「寿丸・渡邊氏」あり |
| W4 | 8 | | | | | 頭書大全 世界国つくし | 明治二年己巳初冬 | 福澤諭吉 | | 冊 | 蔵書印「寿丸印・渡邊氏」あり |
| W4 | 9 | 1 | | | | 首書繪入 世界都路 亜細亞洲 一 | (明治五年壬申仲夏) | 仮名垣魯文 | | 冊 | なかに一紙あり、墨書「守時明治六年西三月吉日・此主・渡部たか」あり |
| W4 | 9 | 2 | | | | (手書き地図) | (明治6年カ) | (渡部たか) | | 状 | W491のほさみごみ文書 |
| W4 | 10 | | | | | 御手本(手習いの指南書) | 明治十二年卯一月 | 渡邊常女 | | 冊 | |
| W4 | 11 | | | | | 御手本(手習いの指南書) | 明治十四年九月 | 渡部すゑ | | 冊 | 破損・なかに一紙あり、裏表紙に「武千五百四拾五年四月十四日・渡辺末」あり |
| W4 | 12 | | | | | 御手本(手習いの指南書) | 明治拾九年四月吉日 | 渡辺万 | | 冊 | |
| W4 | 13 | | | | | 御手本(手習いの指南書) | 明治八歳亥七月吉辰日 | 渡邊氏つね | | 冊 | 破損あり |
| W4 | 14 | | | | | 萬宝商賈往来(寺子屋の教科書) | 文政四辛巳年八月 | 書林・仙臺國分町十九軒・裳華房・伊勢屋半右衛門 | | 冊 | 「白石中・わたなべ儀助」とあり |
| W4 | 15 | 1 | | | | 賜版 六論衍義大意 全 | 天保十五年甲辰五月 | 江戸日本橋・須原屋茂兵衛 | | 冊 | 包紙共、W4151~6包紙にて一括、「秀明治六年西十二月吉日・渡邊つね」あり |
| W4 | 15 | 2 | | | | 女大学(女性の教訓書) | 嘉永四年辛亥秋(八月) | | | 冊 | 表紙補修あり、裏表紙に「中町・渡辺氏常女」とあり |
| W4 | 15 | 3 | | | | 女今川岸姫松 全(寺子屋の女子用教科書) | 弘化四丁未年正月 | 東都書肆・繪本・錦繪・松林堂・藤岡屋 | | 冊 | 裏表紙に「渡辺屋おつね」とあり |
| W4 | 15 | 4 | | | | 女中庸 全(女性の教訓書) | (近世・年月日未詳) | | | 冊 | 表紙補修あり、裏表紙に「中町・渡辺氏常女」とあり |
| W4 | 15 | 5 | | | | 女小學 全 | (年月日未詳) | | | 冊 | 裏表紙に「渡辺屋おつね」とあり |
| W4 | 15 | 6 | | | | 嘉永改正 女庭訓寶文庫 全 | (年月日未詳) | 東都書林・池田若次郎(まか2名) | | 冊 | 表紙補修あり、裏表紙に「秀明治六年西十二月吉日求之・此主・渡邊氏つね」とあり |
| W5 | 1 | | | | | (財布) | (年月日未詳) | | | 財布 | |
| W5 | 2 | | | | | 御達簿 | 明治十八年西四月吉日 | 渡辺儀蔵 | | 冊 | 破損あり |
| W5 | 3 | | | | | 小作人名簿 | 明治式十志年 | 渡邊儀蔵 出店 編理人・渡邊卯吉 | | 冊 | 破損あり |
| W5 | 4 | | | | | 諸品通 | 明治三拾三年 | 磐城国白石中町 武百五拾三番地・＜v>和洋雜貨商・高橋越兵衛 | 渡邊儀造殿 | 冊 | |
| W5 | 5 | | | | | 店御帳 | 明治三拾三年二月廿七日 | 渡邊商店 | | 冊 | 破損あり |
| W5 | 6 | | | | | 白石紙商組合規約 | 明治十九年壹月 | 白石本郷・渡邊儀蔵(印、ほか50名) | | 冊 | 破損あり |

| 箱 | 番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表 題 (内 容) | 作 成 年 月 日 | 差 出 人 | 受 取 人 | 形 態 | 状 態 / 備 考 |
|----|----|----|----|----|----|------------------------------|-----------------|-------------------|-----------------------------|-----|-------------------------|
| W5 | 7 | | | | | 店卸帳 | 明治卅三年度・卅四年三月二三日 | | | 冊 | 破損あり |
| W5 | 8 | | | | | 印刷物臺帳(保険会社郵便及経費支払内訳帳) | 明治廿八年十月 | 営業人・渡邊儀蔵 | | 冊 | |
| W5 | 9 | | | | | 金銭出入帳 | 明治三十一年度十月廿日 | 壽丸本店・太物之部 | | 冊 | 破損あり |
| W5 | 10 | | | | | 東京大相撲星取表(宮城県白石町) | (近代・年月日未詳) | 宮城県白石町・渡邊儀蔵殿 | | 冊 | 破損あり |
| W5 | 11 | | | | | 明治三十年度店卸帳 | 明治三十年度 | 白石町・渡邊儀蔵 | | 冊 | 破損あり |
| W5 | 12 | | | | | 物品拂渡明細帳 | 明治廿九年第一月 | 渡邊儀蔵 | | 冊 | 破損あり |
| W5 | 13 | | | | | 物品受人明細帳 | 明治廿九年第一月 | 渡邊儀蔵 | | 冊 | 破損あり |
| W5 | 14 | | | | | 累代靈位帖(刊行物、未使用) | 大正庚申(9年)夏日 | (渡邊佐吉) | | 冊 | |
| W5 | 15 | 1 | | | | 乘取覚帳 | 明治廿三度寅八月吉日 | 渡邊氏 | | 冊 | |
| W5 | 15 | 2 | | | | (家内平和根元ノ事など教訓書) | 天保八年三月 | | | 冊 | |
| W5 | 16 | | | | | ○(金銭取引勘定帳) | (年月日未詳) | | | 冊 | |
| W5 | 17 | | | | | 拳銃携帯許可證(第三一四二號、米國製五連発壹挺、護身用) | 昭和五年五月二十八日 | 宮城県白石警察署(印) | 宮城県刈田郡白石町大字白石字仲町四十九番地・渡辺又四郎 | 状 | 注記:渡辺又四郎=明治17年1月8日生まれ |
| W5 | 18 | | | | | (商用日記) | (年月日未詳) | | | 冊 | 破損あり |
| W5 | 19 | | | | | 紙算牒 | 元治二年正月吉日 | | | 冊 | 破損あり |
| W5 | 20 | | | | | 沽貸及び沽差計調々 | 明治三拾四年拾月一日 | | | 冊 | 破損あり |
| W5 | 21 | 1 | | | | (醬油仕込帳) | (明治卅三年) | | | 冊 | 前欠・破損あり、W5-21-1~5まきごみ一括 |
| W5 | 21 | 2 | | | | 醬油仕込帳(第〇九七四五号) | 明治三十三年一月 | 刈田郡白石二百六十一番地・渡邊儀蔵 | | 冊 | 帳はずれ、破損あり |
| W5 | 21 | 3 | | | | 醬油賣上帳(第〇九七四五号) | 明治三十三年一月 | 刈田郡白石二百六十一番地・渡邊儀蔵 | | 冊 | 破損あり |
| W5 | 21 | 4 | | | | (原品札之部) | (明治卅三年) | | | 冊 | 前欠・破損あり |
| W5 | 21 | 5 | | | | 醬油麴製造帳(第〇九七四五号) | 明治三十三年一月 | 刈田郡白石二百六十一番地・渡邊儀蔵 | | 冊 | 破損あり |
| W5 | 21 | 6 | | | | 醬油槽掛帳(第〇九七四五号) | 明治三十三年一月 | 刈田郡白石二百六十一番地・渡邊儀蔵 | | 冊 | 破損あり |
| W5 | 22 | | | | | 惣勘定差引残記帳 | 明治参拾六年・参拾八年 | | | 冊 | 破損あり |
| W5 | 23 | | | | | 日記帳 | 明治参拾九年壹月 | 壽丸醬油部 | | 冊 | 破損あり |
| W5 | 24 | | | | | 味噌醬油倉明細調 | 明治三拾五年三月吉日 | 渡儀商店味噌醬油部主任・渡邊又四郎 | | 冊 | 破損あり |
| W5 | 25 | | | | | 金銭出納帳(味噌・醬油取引) | 明治参拾六年第四月 | | | 冊 | 破損あり |
| W5 | 26 | | | | | 製糸揚返場出品検査簿 | 明治十八年七月三日 | 刈田組第壹區 | | 冊 | 帳はずれ、破損あり |
| W5 | 27 | | | | | 樽帳(醬油取引) | 自明治参拾八年壹月 | 寿・北醬油部 | | 冊 | 破損あり |
| W5 | 28 | | | | | 醬油仕込帳 | 明治参拾壹年一月 | 渡邊儀蔵 | | 冊 | 破損あり |
| W5 | 29 | 1 | | | | 醬油原品売拂帳 | 明治参拾八年度 | | | 冊 | 破損あり、W5-29-1~5 仮綴一括 |
| W5 | 29 | 2 | | | | 糶製造帳(第〇九七四五號) | 明治参拾八年 | | | 冊 | |
| W5 | 29 | 3 | | | | 醬油仕込帳 | 明治参拾八年度 | | | 冊 | |

| 箱 | 番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表 題 (内 容) | 作 成 年 月 日 | 差 出 人 | 受 取 人 | 形 態 | 状 態 / 備 考 |
|----|----|----|----|----|----|--|--------------|--|-----------------------------|-----|-----------|
| W5 | 29 | 4 | | | | 醤油樽掛帳 | 明治参拾八年度 | | | 冊 | |
| W5 | 29 | 5 | | | | 醤油売捌帳 | 明治参拾八年度 | | | 冊 | |
| W5 | 30 | | | | | 諸仕切綴(明治35年6~12月領収証綴) | 明治三十五年六月 | | | 冊 | 破損あり |
| W5 | 31 | | | | | (寛、渡邊佐吉など株主書上) | 明治廿三年・廿四年 | 有限責任白石興産會社 | | 冊 | 帳はずれ、破損あり |
| W5 | 32 | 1 | | | | 約定証(醸造酒類販売につき) | 大正五年四月三日 | 大竹吉兵衛(ほか2名) | 米澤市・長谷川吉藏殿 | 状 | |
| W5 | 32 | 2 | | | | 土地及建物売渡証 | (近代・年月日未詳) | 大竹吉兵衛(印) | 渡辺フサ殿 | 状 | |
| W5 | 32 | 3 | | | | (合資会社大竹商店登記) | 大正五年正月拾貳日 | 大竹吉兵衛 | 福島區裁判所桑折出張所 裁判所書記・鈴木喜右工門 | 冊 | |
| W5 | 32 | 4 | | | | 借家證 | 大正五年八月拾貳日 | 大竹吉兵衛(印) | 渡辺フサ殿 | 状 | |
| W5 | 32 | 5 | | | | 不動産賣渡證(登記済) | 大正三年六月十九日 | 賣主:大竹喜兵衛、渡邊フサ(代書・吉田藤十郎) | | 冊 | |
| W5 | 32 | 6 | | | | 合資会社設立定款 | (大正5年カ) | 大竹吉兵衛(印)(ほか4名) | | 冊 | |
| W5 | 32 | 7 | | | | 出資金受領証 | 大正五年九月廿九日 | 大竹麻黄組合長・大竹吉兵衛(印) | 渡邊勘六殿 | 状 | |
| W5 | 32 | 8 | | | | 金圓借用證(壹千円也、無利子) | 大正三年六月拾壹日 | 借用人・渡邊フサ(印)、保證人・大竹吉兵衛(印) | 大沼退三殿 | 状 | |
| W5 | 32 | 9 | | | | 証(金銭受領につき) | 大正五年十月十一日 | 伊達郡桑折町・高橋安左衛門(印) | 白石町・渡辺儀藏殿 | 状 | |
| W5 | 32 | 10 | | | | 麻黄組合決算表 | 大正五年拾月一日 | | | 冊 | |
| W5 | 32 | 11 | 1 | | | (土地売買契約証書) | 昭和十年四月一日 | 渡辺又四郎(ほか2名) | | 状 | 封筒共 |
| W5 | 32 | 11 | 2 | | | 契約書(土地売り戻しにつき) | 昭和拾年四月廿日 | 宮城県刈田郡白石町大字白石字中町四拾九番地・賣戻人・渡邊又四郎(印)(ほか2名) | | 状 | |
| W5 | 32 | 11 | 3 | | | (書状、契約証紛失のため見つけ次第返送につき) | 昭和拾年四月拾六日 | 桑折町・大竹吉兵衛(印) | 渡辺又四郎様 | 状 | |
| W5 | 32 | 12 | 1 | | | 可賦金収領証 | (大正5年) | 渡辺儀藏(印) | 大竹吉兵衛殿 | 状 | |
| W5 | 32 | 12 | 2 | | | 契約証書(控、土地売り戻しにつき) | 昭和拾年 | 宮城県刈田郡白石町大字白石字中町四拾九番地・賣戻人・渡邊又四郎(印)(ほか1名) | | 状 | |
| W5 | 32 | 12 | 3 | | | 契約証書(土地売り戻しにつき) | (昭和10年) | 宮城県刈田郡白石町大字白石字中町四拾九番地・賣戻人・渡邊又四郎(印)(ほか2名) | | 冊 | |
| W5 | 32 | 13 | 1 | | | (書状、土地など遺産名義の念書につき) | 昭和十八年十二月十一日 | 渡邊又四郎 | 渡邊儀藏様 | 状 | 封筒共 |
| W5 | 32 | 13 | 2 | | | 念書(土地契約につき) | 昭和十八年拾月卅日 | 福島県伊達郡桑折町字本町巷番地・契約人・大竹吉兵衛(印) | 渡辺又四郎殿 | 状 | |
| W5 | 32 | 13 | 3 | | | (断簡、メモ) | (近代・年月日未詳) | | | 状 | |
| W5 | 32 | 13 | 4 | | | (書状、協議事項により多忙のため延引、および別紙念書・登記申請書差し上げにつき) | (昭和)十八年十二月十日 | 大竹吉兵衛 | 渡辺儀藏様 | 状 | |
| W5 | 32 | 13 | 5 | | | 遺産相続所有権移転(土地面積などの詳細書上) | 昭和拾八年拾壹月拾壹日 | | 大竹エイ | 冊 | |
| W5 | 32 | 14 | 1 | | | 相続財産課税価格決定通知書(壹千参百七拾四圓也) | 大正六年九月十二日 | 大河原税務署長(印) | 刈田郡白石町中町四九・渡邊又四郎殿 | 状 | 封筒共 |

| 箱 | 番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表 題 (内 容) | 作 成 年 月 日 | 差 出 人 | 受 取 人 | 形態 | 状態／備考 |
|----|----|----|----|----|----|-----------------------------|----------------|----------------------------------|--------------|----|---|
| W5 | 32 | 14 | 2 | | | 領収證書(相続税拾四圓四拾八錢につき) | (大正) 6. 10. 11 | 白石郵便局分任出納官吏・三等郵便局長・鈴木清之輔(印) | 納人・白石町・渡邊又四郎 | 状 | |
| W5 | 32 | 14 | 3 | | | (登録税につき証書) | (近代・年月日未詳) | | 大竹 | 状 | |
| W5 | 32 | 14 | 4 | | | 領収証(大正4年度県税地租割後期志門拾六錢五リにつき) | 大正四年十一月貳日 | 桑折町収入役・角田皆立(印) | 渡辺フサ | 状 | |
| W5 | 32 | 14 | 5 | | | (宅地税五門四拾六錢五リ領収証) | 大正四年 | 桑折町収入役・角田皆立(印) | 渡辺フサ | 状 | |
| W5 | 33 | | | | | 高等小學讀本字解 卷下 | 明治廿九年十一月二日 | 編輯者・東京京橋區築地二丁目二十一番地・川崎直衛 | | 冊 | 裏表紙に「明治参拾年十一月購求・渡部又四郎」とあり |
| W5 | 34 | | | | | (断簡、白紙) | (近代・年月日未詳) | | | 状 | |
| W5 | 35 | | | | | 中学國文一の卷 | 明治三十年一月十五日 | 編輯者・小中村義象、今泉定介、発行者・吉川半七 | | 冊 | 破損・なかに一紙あり |
| W5 | 36 | | | | | 小學日本文典 卷一二 | 明治七年第一月 | 田中義廉・著 | | 冊 | 帳はずれ、蔵書印「警城白石・大物店・渡邊儀藏」あり |
| W5 | 37 | | | | | 高等小學修身書 卷之一 | 明治三十一年四月一日 | | | 冊 | 墨書「明治三十一年四月一日求之・白石小学校高等科第壹学年級・渡邊豊吉持用」とあり |
| W5 | 38 | | | | | 萬國史畧 一 | 明治七年一月 | 師範学校・編輯 | | 冊 | 破損あり、蔵書印「警城白石・大物店・渡邊儀藏」あり |
| W5 | 39 | | | | | 宮城縣温泉小誌 上 | 明治十五年初春 | 有田正誠・編次、鈴木省三・校補、仙台・甘泉堂・発売 | | 冊 | 蔵書印「○・警城白石・大物店・渡邊儀藏」あり |
| W5 | 40 | | | | | 小學教授書 全 | (明治・年月日未詳) | 発売書肆・内藤傳右衛門 | | 冊 | 破損あり、裏表紙に墨書「渡邊儀兵衛」「渡邊儀平」とあり |
| W5 | 41 | | | | | 小學修身 卷之四 | 明治二十五年壬辰六月 | 西澤乙助 | | 冊 | 破損あり、裏表紙に墨書「渡邊豊吉」とあり |
| W5 | 42 | | | | | 小學新歴史 卷一 | 明治三十四年六月十六日 | 文學社編輯所・編纂、印刷兼発行者・小林義則 | | 冊 | 表紙補修あり、裏表紙に墨書「白石町立尋常高等小學校・高等科第壹学年・渡邊儀兵衛随用」とあり |
| W5 | 43 | | | | | 訂正 尋常小學讀本 卷之四 | 明治廿九年一月廿九日 | 伯爵・東久世通禧・関、西澤之助・編、東京・國光社 | | 冊 | |
| W5 | 44 | | | | | 小學讀本萬國地理訓蒙 二編下(南北アメリカ大陸) | (近代・年月日未詳) | 西村恒方・譯述 | | 冊 | |
| W5 | 45 | | | | | 醬油製造方法 | 明治二十年十二月廿八日 | 渡邊儀藏 | | 冊 | |
| W5 | 46 | | | | | 小學地理書 卷一 | 明治三十四年一月十五日 | 小林弘貞・著 | | 冊 | 表紙補修あり、墨書「白石尋常高等小學校高等科第壹学年級・渡邊儀兵衛」とあり |
| W5 | 47 | | | | | 日本支那朝鮮西洋料理 附日本衛生料理仕方料理觸案内 | 明治二十年三月廿一日 | 蘆田東雄先生・校閲、飯塚榮太郎・纂譯、東京・改良小説出版舎・印行 | | 冊 | |
| W5 | 48 | | | | | 訓蒙算理圖解 卷之一(物理学書) | 明治元季戊辰初秋 | 福澤諭吉 | | 冊 | 蔵書印(盤城白石・大物店・渡辺儀藏)あり |
| W5 | 49 | | | | | 小學校用 日本地理乙種第一 | 明治廿七年一月三日 | 金港堂書齋株式会社編輯所・編輯 | | 冊 | 表紙補修あり、墨書「白石尋常高等小學校生徒・渡邊豊吉・持用」とあり |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|--------|----|----|----|----|---|----------------|-------------------------------|--------|----|---|
| W5 50 | | | | | 帝國小史(小学校用教科書) | 明治廿六年十二月廿七日 | 山縣佛三郎、文學社 | | 冊 | |
| W5 51 | | | | | (日本學史上卷) | 明治八年四月 | 師範學校・編輯・木村正幹・編 | | 冊 | 表紙に「和田郡・渡邊卯吉殿」裏表紙に「丁丑初秋・明治拾年九月初日・渡邊卯吉」蔵書印「警城白石・太物店・渡邊儀藏」もあり |
| W5 52 | | | | | 小學挿圖 注解 初編全 | 明治八年第一月 | 甲府・温故堂・内藤傳右衛門 | | 冊 | 破損あり、蔵書印「警城白石・太物店・渡邊儀藏」あり |
| W5 53 | | | | | 帝國小史(小学校用教科書) | 明治参拾二年一月五日 | 山縣佛三郎 | | 冊 | 墨書「白石小學校・高等科第一學年・渡邊豊吉・持用」とあり |
| W5 54 | | | | | 勸善訓蒙下(教科書) | 明治六年 | 発兌書肆・東京神田鍛冶町・中外堂、紀伊國屋梅治良、箕作麟祥 | | 冊 | 表紙補修あり、墨書「渡部豊吉」とあり |
| W5 55 | | | | | 中學日本文典 上卷 | 明治三十二年二月二十八日 | 大林徳太郎、山崎庚午太郎 | | 冊 | 破損・表紙修復・なかに一紙あり |
| W5 56 | | | | | 小學讀本 | 明治七年十月 | 奥川藏、東京本石町二丁目・梶屋喜兵衛 | | 冊 | 破損あり、墨書「渡邊宗吉」とあり |
| W5 57 | | | | | 金銀圖録附言 全 | 明治十五年四月五日 | 米沢商人・丁字屋利平 | | 冊 | 表紙補修あり、朱筆「明治十五年四月五日に米沢商人・丁字屋利平より買い受け」裏表紙に「明治十五年四月五日此主渡邊儀藏・七冊之内」蔵書印「警城白石・太物店・渡邊儀藏」あり |
| W5 58 | | | | | (日本學史 卷一) | (近代・年月日未詳) | 空間益三 | | 冊 | 表紙補修あり |
| W5 59 | | | | | 農事雜報 | 明治三十七年二月廿日 | 東京市神田區美土代町・三光堂印刷 | | 冊 | 破損あり |
| W5 60 | | | | | 小學讀本(四) | 明治七年五月 | 那珂通高、稲垣千穎 | | 冊 | 破損・表紙補修あり、墨書「此主・渡邊卯吉」蔵書印「警城白石・太物店・渡邊儀藏」とあり |
| W5 61 | | | | | 小學讀本一 | 明治九年 | 奥川・藏、東京本石町二丁目・梶屋喜兵衛 | | 冊 | 墨書「渡邊卯吉所有物」蔵書印「警城白石・太物店・渡邊儀藏」とあり |
| W5 62 | | | | | 菅原手習鑑(菅原太夫・菅原伝習鑑) | 延享三年丙寅癸八月廿一日 | 作者連名・竹田出雲(ほか2名) | | 冊 | 破損あり、裏表紙に「明治十四年巳八月吉日・渡邊儀藏・店用」とあり |
| W5 63 | | | | | 杵尾巳全(俳諧集、芭蕉翁終焉記、於義仲寺) | 元禄七年十月十六日 | | | 冊 | 破損あり、墨書「白石中町・渡部」とあり |
| W5 64 | | | | | そか物語 五(軍記物語) | (年月日未詳) | | | 冊 | 蔵書印「警城白石・太物店・渡邊儀藏」ほか2点あり |
| W6 1 1 | | | | | (覚、金五両など金子勘定につき、包紙「弘化四年三月廿日迄 實物方書付入」として再利用) | (弘化4年3月20日) | | | 状 | 破損あり |
| W6 1 2 | | | | | 覚(金貳切御渡し下されにつき) | (近世・年未詳)八月廿六日 | 古藤屋の彦三郎 | 上ノ義藏様 | 状 | |
| W6 1 3 | | | | | 預物通帳 | 弘化三年午正月吉日 | 白石中町・渡部 | | 冊 | 破損あり |
| W6 1 4 | | | | | 覚(玉細拾壹枚、此者へ御渡し下されにつき) | (近世・年未詳)正月十八日 | 中町・萬助 | しちや儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 1 5 | | | | | (覚、手形紛失のため元利御請取につき) | 午(弘化3年カ)十二月十三日 | 小せきや慶治 | 渡部屋義藏様 | 状 | 破損あり |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-----|----|----|----|----|------------------------------------|-----------------|---------------|-----------------|----|-------|
| W6 | 1 | 6 | | | 覚(夏羽織一枚など商品代金三河勘定につき) | (近世・年月日未詳) | 大畑屋平兵衛 | 渡義様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 1 | 7 | | | 覚(生糸六百匁程など勘定につき) | (近世・年月日未詳)五月十四日 | 土国屋平三郎 | 渡部様 | 状 | |
| W6 | 1 | 8 | | | 覚(生糸八百匁につき) | (近世・年月日未詳) | 佐藤屋彦三郎 | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 1 | 9 | | | (書状、古金拜借仕候金子御免成し下されにつき) | (近世・年月未詳)八月二日 | 佐彦 | 大渡義様 | 状 | |
| W6 | 1 | 10 | | | 覚(金莖切巻朱成し下されにつき) | (近世・年月未詳)三月七日 | 下より・佐彦 | 渡義様 | 状 | |
| W6 | 1 | 11 | | | 覚(金式切御渡し下されたくにつき) | (近世・年月未詳)三月朔日 | 佐藤屋彦三郎 | 義藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 1 | 12 | | | (覚、去年中御預り申上置候糶白のうち巻積、此者へ御渡し下されにつき) | (近世・年月未詳)正月廿日 | 長町・順藏(印) | 義藏様 | 状 | |
| W6 | 1 | 13 | | | 口上(手形紛失のため大妻二俵御渡し下されにつき) | (近世・年月未詳)十月 | 長町・順藏(印) | 義藏様 | 状 | |
| W6 | 1 | 14 | | | 覚(極上の質物・巻貫百文にて御渡しにつき) | (近世・年月未詳)正月十四日 | 長次郎(印) | わたなへ様 | 状 | |
| W6 | 1 | 15 | | | 口上(先日御直段尋ね通り御勘定につき) | (近世・年月未詳)十月三日 | 山内勇之丞 | 渡部義藏様 | 状 | |
| W6 | 1 | 16 | | | 覚(金式切、此者へ御渡し下されにつき) | (近世・年月未詳)六月廿三日 | 佐藤屋彦三郎 | 大渡義様 | 状 | |
| W6 | 1 | 17 | | | (覚、米妻数量書上) | (近世・年月未詳)十月八日 | 生酒屋三郎次(印) | 渡部屋義藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 1 | 18 | | | (覚、小原村与八郎殿御預り小倉男帯代金手形紛失につき) | (近世・年月未詳)十月廿七日 | 長町・順吉(印) | 中町・義藏様 | 状 | |
| W6 | 1 | 19 | | | 覚(紺縮結巻反古脇指巻腰代銭式貫八百文につき) | (近世・年月未詳)七月十八日 | 長町・順吉(印) | 御店様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 1 | 20 | | | (書状、右の通り品物おふちに御引き下され候につき) | (近世・年月日未詳)十月廿三日 | 逗代長・十左衛門 | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 1 | 21 | | | (書状、郡山村の進左衛門諸事につき) | (近世・年月未詳)三月廿日 | 佐藤進左衛門 | 渡部屋儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 1 | 22 | | | (書状、此度御恩借につき) | (近世・年月未詳)三月七日 | あわさ | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 1 | 23 | | | (書状、御預かりの半天模様、此者に御渡し下されにつき) | (近世・年月未詳)二月十七日 | 丹野喜兵衛(印) | 渡部屋庄兵衛様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 1 | 24 | | | 覚(半天巻枚など代銭八百文にて御渡し下されにつき) | (近世・年月未詳)二月十一日 | 長町・順吉(印) | しちや儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 1 | 25 | | | 覚(正月二十八日子供あわせ巻枚御預かり、今日持参につき) | (近世・年月未詳)二月二十二日 | 古西や岩三郎(印、白石町) | 渡辺儀三郎様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 1 | 26 | | | (書状、常田村徳治の件につき) | (近世・年月未詳)二月十九日 | 寸効 | 渡辺儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 1 | 27 | | | (包紙) | (近世・年月日未詳) | 大畑屋新吉 | 渡部庄松様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 1 | 28 | | | 覚(上目録、四百帖指し上げにつき) | (近世・年月未詳)三月廿一日 | 大畑屋兵助、新吉 | 渡部屋儀藏様、庄松様、又四郎様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 1 | 29 | | | 覚(半天巻など質入れにつき) | (近世・年月未詳)三月廿三日 | 長町・文七 | 中町・渡部屋義藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 1 | 30 | | | 覚(目録五百帖下されたくにつき) | (近世・年月未詳)三月廿二日 | <ワ>様 | <ワ>様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 1 | 31 | | | 口演(御手形二切、此者へ御渡し下されたくにつき) | (近世・年月未詳)三月 | 新川より・善八 | 中町・義藏様 | 状 | |
| W6 | 1 | 32 | | | 覚(金四切、此者へ御渡し下されたくにつき) | (近世・年月未詳)三月廿日 | 永藏 | わたなへ屋儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 1 | 33 | | | 覚(御世話係、また御目録百五十帖御預かり下されにつき) | (近世・年月未詳)三月廿二日 | <ワ>久> | <ワ>様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 1 | 34 | | | (書状、正金莖御貸し渡し下されたくにつき) | (近世・年月未詳)二月廿八日 | 岩治郎 | 中町・渡辺屋様 | 状 | |
| W6 | 1 | 35 | | | (覚、去月廿四日巻切、男帯巻本持参につき) | (近世・年月未詳)三月五日 | 庄六 | 渡部屋義藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 1 | 36 | | | (書状、仙府より送金なく、今日送金に引当などにつき) | (近世・年月未詳)三月七日 | 阿子嶋屋佐藏 | 渡部庄松様 | 状 | 破損あり |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-----|----|----|----|----|---|---------------------|-----------------|------------|----|-------|
| W6 | 1 | 37 | | | 口上(徳治屋よりしちもの御預かり仕候、手形なくし仕候処、此者へ御渡し下されたくにつき) | (近世・年未詳)二月十六日 | 中町・武兵衛 | 義藏様 | 状 | |
| W6 | 1 | 38 | | | 覚(米彦俵代金貳歩御渡しにつき) | (近世・年未詳)八月廿八日 | 彦三郎 | 上ノ・義藏様 | 冊 | |
| W6 | 1 | 39 | | | (覚、この品物七百文にて御渡し下されたくにつき) | (近世・年未詳)五月十二日 | 中町・甚兵衛 | 庄彦様 | 状 | |
| W6 | 1 | 40 | | | (書状、沓切にいかへほどの利足か御尋ねにつき) | (近世・年未詳)十一月十三日 | 大内辰五郎 | 中町・渡部義藏様 | 状 | |
| W6 | 1 | 41 | | | (書状、金子指し上げ、および白米四斗八八俵御取引につき) | (近世・年未詳)八月三日 | 下分・彦三郎 | 上ノ・庄松様 | 状 | |
| W6 | 1 | 42 | | | 覚(嶋(綿)・布代金一分につき) | 午(弘化3年カ)十月二十四日 | 下より・庄兵衛(印) | 義藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 1 | 43 | | | 口上(きぬあいにしま買ひにつき) | (近世・年未詳)四月十四日 | おりん | 中町・銀藏様 | 状 | |
| W6 | 1 | 44 | | | 覚(枚三分板五間ほど、金三朱借り置きにつき) | (近世・年未詳)九月九日 | 後小路木挽・周藏(印) | 渡邊屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 1 | 45 | | | (覚、御世話様ながら一俵、この者に御渡し下されたくにつき) | (近世・年未詳)八月十三日 | 作右衛門(印) | 中町二而・儀左衛門様 | 状 | |
| W6 | 1 | 46 | | | 覚(脇指一巾、代金貳切半御出し下されにつき) | (近世・年未詳)十一月廿一日 | 辰五郎 | 渡部様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 1 | 47 | | | 口上(右品物へ四、五日のうち、銭貳貫文御貸し下されたくにつき) | (近世・年未詳)十月十日 | 双員 | 渡辺や儀藏様 | 状 | |
| W6 | 1 | 48 | | | 口上(茶弁慶・黒男帯、二、三日中に請方仕り、羽織と御取替につき) | (近世・年未詳)九月四日 | 長町・順吉(印) | 中町・渡辺義藏様 | 状 | |
| W6 | 1 | 49 | | | (覚、此ものまちかへなきもの、しなものおわたし下されたくにつき) | (近世・年月日未詳) | 三の内(印) | わたなへとの | 状 | |
| W6 | 1 | 50 | | | 覚(まさかり沓丁代銭三百文御渡し下されにつき) | 午(弘化3年カ)十一月四日 | 八ツ森屋敷・新藏(印) | | 状 | |
| W6 | 1 | 51 | | | (覚、嶋の綿入沓枚・たはこ入代銭貳貫貳百文受取につき) | (近世・年未詳)正月廿二日 | 亘理町通・柴藏 | 中町・渡屋義藏様 | 状 | |
| W6 | 1 | 52 | | | 覚(古茶嶋沓反代銭沓貫貳百文御渡し下されにつき) | (近世・年未詳)二月初日 | 長町・順吉 | 中町・渡義様 | 状 | |
| W6 | 1 | 53 | | | 覚(裕沓つ・半てん沓つ、質物元利御勘定につき) | 午(弘化3年カ)十二月二十七日 | 大畑屋貞藏(印・中町・大畑屋) | 渡部甚義様 | 状 | |
| W6 | 1 | 54 | | | 口上(紙・布・帯など三品代銭六百文御渡し下されにつき) | (近世・年未詳)極月十八日 | 長町・順吉(印) | 質屋義藏殿 | 状 | |
| W6 | 1 | 55 | | | (覚、黒ほじ代銭九百四拾文、うち四百文勘定につき) | (近世・年未詳)九月廿三日 | | | 状 | |
| W6 | 1 | 56 | | | 覚(白木綿二つ代銭貳貫文・朱色二枚代銭九百文勘定につき) | (近世・年未詳)五月廿四日、七月十一日 | | | 状 | |
| W6 | 1 | 57 | | | (書状、御手札貳切紛失のため此者へ御願ひにつき) | 午(弘化3年カ)二月廿日 | 三郎兵衛 | 中町・義藏殿 | 状 | |
| W6 | 1 | 58 | | | (断簡) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | 開披不能 |
| W6 | 1 | 59 | | | 覚(金沓切、半分御渡しにつき) | (近世・年未詳)二月十六日 | 佐藤 | 甚助様 | 状 | |
| W6 | 1 | 60 | | | (書状、布百反代金五拾切御かし下されたくにつき) | (近世・年未詳)十二月二日 | 大平 | 渡庄様 | 状 | |
| W6 | 1 | 61 | | | 口上(絹一枚代金一両にて願ひ上げにつき) | (近世・年未詳)十二月廿日 | 長町・順吉(印) | 渡辺屋義藏様 | 状 | |
| W6 | 1 | 62 | | | 覚(絹布六反・羽織地一反など期限延引願ひにつき) | (近世・年未詳)正月二十五日 | 大畑新吉 | 庄屋儀藏様、庄松様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 1 | 63 | | | 言上(御手形六切指上につき) | (近世・年未詳)三月十四日 | 喜三郎 | 義藏様 | 状 | |
| W6 | 1 | 64 | | | (書状、来月まで金五両請かた依頼につき) | (近世・年未詳)正月廿六日 | 大畑屋新吉 | 渡辺屋庄松様 | 状 | |
| W6 | 1 | 65 | | | 口上(銭一貫四百文指上、質物の羽織下されにつき) | 未(弘化4年カ)ノ正月晦日 | 新寺町・庄七 | 渡部儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 1 | 66 | | | (書状、請状指上のため御渡し願ひにつき) | 未(弘化4年カ)ノ正月 | 長町・順吉 | 渡辺屋義兵衛様 | 状 | |
| W6 | 1 | 67 | | | (覚、ち、み三反・衣五十六疋買入につき) | (近世・年未詳)十二月十二日 | 大平 | 渡義様 | 状 | 破損あり |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|------|----|----|----|----|-------------------------------------|----------------|----------------|------------|----|--------------|
| W6 1 | 68 | | | | 口上(杉板預け置き、代金忠切借用につき) | (近世・年未詳)二月十五日 | 大町<叶>・丈之助 | 中町・渡部や儀藏様 | 状 | |
| W6 1 | 69 | | | | 覚(はおりなど質入れ、かし料願いにつき) | (近世・年未詳)十二月晦日 | 新■ | 渡部様 | 状 | 破損あり |
| W6 1 | 70 | | | | 口上(手札紛失につき) | 午(弘化3年カ)二月十九日 | 新町 | 中町・渡辺屋様 | 状 | |
| W6 1 | 71 | | | | 口上(質入れのため正金貳歩半分借用願いにつき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 1 | 72 | | | | (書状、利足一ヶ月分用捨願いにつき) | (近世・年未詳)正月四日 | 大畠屋新吉 | 渡部儀藏様、庄松様 | 状 | 破損あり |
| W6 1 | 73 | | | | (書状、昨日御重物御礼につき) | (近世・年未詳)十二月二十日 | 水月楼 儀兵衛 | 渡辺旦那 | 状 | 破損あり |
| W6 1 | 74 | | | | 口上(質入れ借用金、この者に御渡し下されにつき) | (近世・年未詳)正月十一日 | 水月楼様 | 渡辺様 | 状 | |
| W6 1 | 75 | | | | 言上(借用金三切返済、質物返還依頼につき) | (近世・年未詳)五月十七日 | 梁屋清八 | 丸印様 | 状 | |
| W6 1 | 76 | | | | 覚(手札御渡し下されにつき) | (近世・年未詳)十一月廿四日 | 鈴木久兵衛 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 1 | 77 | | | | (書状、刀質入れのため借用金額いにつき) | (近世・年未詳)十二月十五日 | 中町(印、奥州白石・大畑屋) | 儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 1 | 78 | | | | (書状、品々此度延引なく相渡しにつき) | (近世・年未詳)極月十四日 | 大平 | 渡儀様 | 状 | 破損あり |
| W6 1 | 79 | | | | (書状、此度限り金三十両借用につき) | (近世・年未詳)十二月廿日 | 長町・清八(印) | 上 | 状 | 破損あり |
| W6 1 | 80 | | | | (覚、質入代金御渡し下されにつき) | (近世・年月日未詳) | 本町・栄治 | 中町・渡部屋庄松様 | 状 | |
| W6 1 | 81 | | | | 口上(先刻御預り仕置候品御渡しにつき) | (近世・年未詳)十一月廿六日 | 長町・順吉 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 1 | 82 | | | | (書状、品不足代金指上、および品物御渡し成し下されたくにつき) | (近世・年未詳)九月十九日 | 下ノ・左兵衛 | 慶治様 | 状 | |
| W6 1 | 83 | | | | (書状、五月中預り下され候米一俵請取につき) | (近世・年未詳)極月廿四日 | 長町・庄松 | 中町・儀藏様 | 状 | |
| W6 1 | 84 | | | | (書状、昨日徳四郎受取の庄吉方品物につき) | (近世・年未詳)八月廿二日 | 大畑屋平兵衛 | 渡部屋儀藏様、庄松様 | 状 | |
| W6 1 | 85 | | | | (書状、去年廿九日質入紙類買い受けにつき) | (近世・年未詳)正月四日 | 千葉順吉 | 渡邊屋義兵衛様 | 状 | 破損あり |
| W6 1 | 86 | | | | 口上(ゆかたなど御渡しにつき) | (近世・年未詳)十月十四日 | 小田屋源右衛門 | 渡部儀藏様 | 状 | |
| W6 1 | 87 | | | | (書状、右の品ものへ三百疋御かし下されたくにつき) | (近世・年月日未詳) | 本町・栄治 | 中町・庄松様 | 状 | |
| W6 1 | 88 | | | | (書状、質物代錢四百文御渡し下されたくにつき) | (近世・年未詳)三月五日 | 大畑屋新吉(印) | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 1 | 89 | | | | 口上(紙布五反さし上候につき) | (近世・年未詳)四月十日 | 大畑屋平兵衛 | 渡部屋義藏様 | 状 | |
| W6 1 | 90 | | | | (書状、今日金子五両入用になり、紙百六十疋預けにて御貸し下されにつき) | (近世・年未詳)五月十二日 | 本町より・阿子嶋茂右衛門 | 中町・渡邊義藏様 | 状 | |
| W6 1 | 91 | | | | (書状、手形三切分代、今朝御願い、仕置候につき) | (近世・年未詳)四月四日 | 本町・源右衛門(印) | 中町・渡部義藏様 | 状 | |
| W6 1 | 92 | | | | おほへ(願い置き候品の手形紛失につき) | 午(弘化3年カ)ノ七月十六日 | 本町・安平 | 中町・渡儀藏様 | 状 | |
| W6 1 | 93 | | | | 口上(当七月まで差置候ゆかた御渡しにつき) | (近世・年未詳)七月晦日 | 曲竹源三郎(印、<ヤ>三>) | 棟梁・銀藏殿 | 状 | |
| W6 1 | 94 | | | | (書状、五間半のほか古板すべて売却、金貳切半御借用などにつき) | (近世・年未詳)七月十四日 | 長町・八五郎 | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 1 | 95 | | | | 口上(長次郎、正金壹両余など御渡し下されたくにつき) | (近世・年未詳)正月廿九日 | 長町・順吉 | 中町・渡部や様 | 状 | |
| W6 1 | 96 | | | | (書状、質物代御渡し下されたくにつき) | (近世・年未詳)八月一日 | 渡部儀兵衛(ほか6名) | 渡部甚藏殿 | 冊 | 包紙・こより共、破損あり |
| W6 2 | 1 | | | | 御月御金請取通 | 嘉永六年正月 | 菊池庄兵衛(印)(ほか5名) | 渡部甚藏殿 | 冊 | 破損あり |
| W6 2 | 2 | | | | 御月御金請取通 | 安政二年卯正月 | 菊池庄兵衛(印)(ほか5名) | 渡部甚藏殿 | 冊 | 破損あり |
| W6 2 | 3 | | | | 御月御金請取通 | 安政六年未正月 | 菊池庄十郎(ほか5名) | 渡部甚藏殿 | 冊 | 破損あり |
| W6 2 | 4 | | | | 御月御金請取通 | 安政七年申正月 | 菊池庄十郎(ほか7名) | 渡部甚藏殿 | 冊 | 破損あり |
| W6 2 | 5 | | | | 御月御金請取通 | 嘉永七年寅正月 | 菊池庄兵衛(印)(ほか5名) | 渡部甚藏殿 | 冊 | 破損あり |
| W6 2 | 6 | | | | 御月御金請取通 | 萬延二年酉正月 | 菊池庄重郎(ほか7名) | 渡部甚藏殿 | 冊 | 破損あり |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-----|----|----|----|----|----------------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------|----|-------------------|
| W6 | 2 | 7 | | | 御月割金調 御月割金請拂調(金拾切・日下仁右衛門など書上) | (近世・年月日未詳) 弘化二乙巳年十一月 | | | 状 | 破損あり |
| W6 | 2 | 8 | | | (断簡、白紙) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | 破損あり |
| W6 | 2 | 9 | | | (御月割金調) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | 破損あり |
| W6 | 2 | 10 | | | 口上(目方共大丈夫につき) | (近世・年月未詳) 癸月九日 | 大三郎 | 渡義様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 2 | 11 | | | 覚(勤高式拾八人・受取高巻分ト五匁勘定につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 | 2 | 12 | | | 覚(大工式拾八人手間賃受取、残り巻分ト巻匁五分五厘勘定につき) | (近世・年月未詳) 四月十五日 | 大工・勝治 | 渡部や様 | 状 | |
| W6 | 2 | 13 | | | 覚(岩沼泊代錢百八十文などメ七百拾九文勘定につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | 破損あり |
| W6 | 2 | 14 | | | 覚(金壹河御戻り金相渡され請取候につき) | 申(万延元)七月朔日 | 渡部甚兵衛 | 長右衛門様 | 状 | W6-215-1~8こよりにて一括 |
| W6 | 2 | 15 | 1 | | 覚(水車御役代錢九貫九百貳拾文手形) | 申(万延元)ノ七月十七日 | 渡邊甚兵衛 | 元木徳右衛門殿 | 状 | 破損あり |
| W6 | 2 | 15 | 2 | | 覚(水車御役代錢八貫文請取につき) | 申(万延元)ノ七月廿九日 | 渡邊甚兵衛 | 本木徳右衛門殿 | 状 | |
| W6 | 2 | 15 | 3 | | 覚(水車御役代錢八貫四百文請取につき) | 申(万延元)七月廿二日 | 渡部甚兵衛 | 本木徳右衛門殿 | 状 | |
| W6 | 2 | 15 | 4 | | 万延元年申夏御年貢請取覚(夏御納金) | 申(万延元)ノ七月十三日 | 渡部甚兵衛 | 小関吉之助殿、吉田忠左衛門殿 | 状 | |
| W6 | 2 | 15 | 5 | | 覚(馬代錢拾四貫文につき) | 申(万延元)七月十四日 | 渡邊甚兵衛 | 小関吉之助殿、吉田忠左衛門殿 | 状 | 破損あり |
| W6 | 2 | 15 | 6 | | 覚(馬代錢貳拾貫文上納のうち返金分請取につき) | 申(万延元)七月十四日 | 渡部甚兵衛 | 小関吉之助殿、吉田忠左衛門殿 | 状 | |
| W6 | 2 | 15 | 7 | | 覚(小役代錢七拾貳貫文上納相渡され請取につき) | 申(万延元)七月十四日 | 渡部甚兵衛 | 小関吉之助殿、吉田忠左衛門殿 | 状 | |
| W6 | 2 | 15 | 8 | | 覚(金百四切五分壹リ八毛勘定につき) | (近世・年月未詳) 八月七日 | 菊池庄兵衛 | 渡部甚藏様 | 状 | |
| W6 | 2 | 16 | | | (断簡) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 | 2 | 17 | | | 覚(御貸上金貳百貳拾切上納・受取につき) | 卯(近世)十二月廿九日 | 斎藤弥平次 | 渡部甚藏殿 | 状 | |
| W6 | 2 | 18 | | | (包紙) | (元治元年)十一月廿七日 | 奥山幸助(印、奥州・仙台・国分町<ヲ名>奥山) | 白石中町・渡部屋儀兵衛様 | 状 | |
| W6 | 3 | 1 | | | 覚(手形引き渡しにつき) | (元治元年) | 渡部屋儀藏(印、刈田・白石中町・渡部) | 五十次・丈六屋 | 状 | |
| W6 | 3 | 2 | | | 口上(染紙布二反など品物送付願ひにつき) | (元治元年)十二月七日 | 奥幸 | 渡義様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 3 | | | 口上(金子五河渡辺屋より借用につき) | (元治元年)十二月廿七日 | 渡辺嘉平(印、仙台・大町一丁目・渡辺屋) | 小形孫四郎様 | 状 | |
| W6 | 3 | 4 | | | 口上(華紙取引につき) | (元治元年)十七日 | <ヲ有>より | 寿丸様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 5 | | | 口上(金子五河渡辺屋より借用につき) | (元治元年)十二月九日 | 大町やより | 渡辺様 | 状 | |
| W6 | 3 | 6 | | | (書状、紙面御届けにつき) | (元治元年)十二月廿七日 | 源兵衛 | 小原村・忠次郎様 | 状 | |
| W6 | 3 | 7 | | | (書状、紙など品物送付依頼につき) | (元治元年)十二月十四日 | 後藤や吉兵衛 | 大畑平兵衛(3か2名) | 状 | |
| W6 | 3 | 8 | | | 口上(茶嶋<縮>三反入わた入巻つ御らん下されにつき) | (元治元年)十二月廿一日 | 国分丈助 | 儀藏様 | 状 | |
| W6 | 3 | 9 | | | (書状、相払い候残り分かし置候につき) | (元治元年)十二月廿六日 | 山和 | 渡庄様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 10 | | | 口上(出紙のため金二両貸し付け願ひにつき) | (元治元年)十二月十七日 | 大畑屋平兵衛(印) | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 3 | 11 | | | | | | | 状 | |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-----|----|----|----|----|---|----------------|-----|----------------------------|----|-------|
| W6 | 3 | 12 | | | (書状、上納の事につき) | (元治元年)十一月卅日 | 直悅 | 義藏様 | 状 | |
| W6 | 3 | 13 | | | (書状、残金七両不足、此度使い、御座候につき) | (元治元年)十一月十九日 | | 渡邊屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 3 | 14 | | | (書状、桑嶋氏下拵屋家産譲渡につき) | (元治元年)十一月廿三日 | | 白石・渡辺儀藏様 | 状 | |
| W6 | 3 | 15 | | | (書状、百八拾兩の直段ならば請取了承宜しき哉などにつき) | (元治元年)十二月十五日 | | 白石中町・渡邊屋儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 16 | | | (書状断簡、四両御入用のため全体二両位を貸し置き候につき) | (元治元年) | | | 状 | 後欠 |
| W6 | 3 | 17 | | | 口上(城下商売の伺いにつき) | (元治元年)十二月十七日 | | 寿丸御主人様 | 状 | |
| W6 | 3 | 18 | | | (覚、金五両請取につき) | (元治元年)十三日 | | 佐兵衛 | 状 | |
| W6 | 3 | 19 | | | 口演(金吾阿借願いにつき) | 子(元治元年)ノ十二月十三日 | | 平兵衛 | 状 | |
| W6 | 3 | 20 | | | 口代(増代御勘定下されたくにつき) | (元治元年)十二月十二日 | | 鈴木 | 状 | |
| W6 | 3 | 21 | | | (書状、新規開店紙商売につき) | (元治元年)十月十一日 | | 菅原屋安兵衛 | 状 | |
| W6 | 3 | 22 | | | (書状、御戻し叶わず御挨拶申し上げなどにつき) | (元治元年)十一月五日 | | 相原今兵衛 | 状 | |
| W6 | 3 | 23 | | | (覚、中奉書五帖など紙取引につき) | 子(元治元年)ノ十月十四日 | | わた(印、<カ>さ>仙臺・大町三丁目) | 状 | |
| W6 | 3 | 24 | | | (書状、薄切など無く遅延につき) | 子(元治元年)ノ十二月十一日 | | 猪野屋作兵衛 | 状 | |
| W6 | 3 | 25 | | | (書状、下店には商品無くにつき) | (元治元年)十二月十四日 | | 〇久 | 状 | |
| W6 | 3 | 26 | | | 口上書(小奉書など発しかね候につき) | (元治元年)十一月朔日 | | 渡辺屋■太郎 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 27 | | | (覚、醬油御渡しにつき) | (元治元年)十二月二十一日 | | 郡山・秀之助 | 状 | |
| W6 | 3 | 28 | | | (書状、荷物造り方相成候につき) | (元治元年)十二月廿八日 | | 三兵衛 | 状 | |
| W6 | 3 | 29 | | | (書状、金銭受取につき) | (元治元年)十二月卅日 | | 元七 | 状 | |
| W6 | 3 | 30 | | | (書状、買い入れ直段吟味につき) | (元治元年)九月十三日 | | 平内 | 状 | 2紙1点 |
| W6 | 3 | 31 | | | (覚、先月中留守、および金子返済の延引願いにつき) | (元治元年)十二月廿七日 | | 文七 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 32 | | | 口上(御拜借金のうち此度御利足ともに金式切半指上につき) | (元治元年)十二月廿九日 | | 圓吉 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 33 | | | (覚、金吾切借、および御歳暮の御礼につき) | (元治元年)十二月廿八日 | | つゝみ | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 34 | | | (覚、はな紙式百帖代金三切ト三百六十文請取につき) | (元治元年)正月二日 | | 河村屋庄助 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 35 | | | (書状、金子四両御貸し下されたく、御承服に相成候につき) | (元治元年)十二月廿八日 | | 鈴木席之進 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 36 | | | (書状、生糸相場別条無く、過日六日大行権平殿より生糸少し買い入れ置き、帰宅の上直段仕切約定につき) | (元治元年)九月八日 | | 庄吉 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 37 | | | (書状、福島へ用向きのため罷越候につき) | (元治元年)十一月十四日 | | 相原太兵衛 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 38 | | | (覚、江戸桜代錢八百廿五文受取につき) | (元治元年)九月三日 | | 大和屋兵助(印、<カ>七>仙台・大町五丁目・大和屋) | 状 | |
| W6 | 3 | 39 | | | (書状、三拾数の御勘定、金三両三歩さし上候につき) | (元治元年)九月廿一日 | | | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 40 | | | (覚、忠兵衛殿雑用代錢九百文などメ七貫八百四十文勘定につき) | 子(元治元年)八月廿日 | | 三浦銀藏 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 41 | | | 口上(借入金残高詳細につき) | (元治元年) | | | 状 | |
| W6 | 3 | 42 | | | (覚、判紙拾帖など代銀五百十八両勘定につき) | (元治元年)七月二十一日 | | 相太 | 状 | 破損あり |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-----|----|----|----|----|--|----------------|----------------------|-------------|----|--------------------------|
| W6 | 3 | 43 | | | (表) 吸もの・かも、かれないさし身などにつき (書状、御郡産紙の城下紙間屋衛入れにつき) | (元治元年) | | | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 44 | | | (書状、注文品の手違いにつき) | (元治元年) | | | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 45 | | | 口上(預け置き品の見請け依頼につき) | (元治元年)十二月十二日 | 佐兵衛 | 寿丸御主人様 | 状 | |
| W6 | 3 | 46 | | | (書状、世間相場ならば致し方これなく、直段の義は御出情下されたく願ひ上げにつき) | (元治元年)十一月一日 | ちりや太吉 | 渡辺義藏様(〇様) | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 47 | | | 覚(大冊三十帖など三品急使をもって御送り下されたくにつき) | (元治元年)十一月十四日 | 原野屋(印、仙台<サカクニ>大町四丁目) | 渡儀様 | 状 | |
| W6 | 3 | 48 | | | (書状、先日も申上候三十枚御出荷下されたくにつき) | (元治元年)十一月八日 | 大谷屋兵吉 | 渡辺義藏様 | 状 | |
| W6 | 3 | 49 | | | (書状、生糸料二十切借用願ひにつき) | (元治元年)十一月十三日 | 権大夫 | 義藏様 | 状 | |
| W6 | 3 | 50 | | | (書状、嶋地四拾反余り出来につき) | (元治元年)十一月十八日 | 斎藤源左衛門 | 渡辺儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 51 | | | (覚、金銭勘定につき) | (元治元年) | | | 状 | |
| W6 | 3 | 52 | | | (書状案、千四百状など紙直段書上につき) | (元治元年)十二月十五日 | 渡辺屋儀藏 | 大石屋太藏様、御店中様 | 状 | 裏面に墨書十一月八日、白石中町、渡邊儀藏様とあり |
| W6 | 3 | 53 | | | (書状、金子借用願ひにつき) | (元治元年)十一月十六日 | 勇右衛門 | 義藏様 | 状 | |
| W6 | 3 | 54 | | | (書状、願ひ候品御遣わし下されたくにつき) | (元治元年)十一月十一日 | <ヤヤ太> | 〇様 | 状 | |
| W6 | 3 | 55 | | | (書状、大奉書五帖・松島五十言など紙取引につき) | (元治元年)霜月十一日 | 佐藤屋栄助 | 渡部屋儀藏様、御店中 | 状 | |
| W6 | 3 | 56 | | | (書状、御願ひ申上候金拾弍両拜借の件につき) | 子(元治元年)ノ十一月十六日 | 長町・因良 | 〇御印様、御質■様 | 状 | |
| W6 | 3 | 57 | | | (書状、金一切・四人など直段吟味願ひにつき) | (元治元年)十一月十一日 | | 渡辺義藏様 | 状 | |
| W6 | 3 | 58 | | | 覚(金式拾三両御預かりにつき) | (元治元年)十一月四日 | 義藏 | 直二郎様 | 状 | |
| W6 | 3 | 59 | | | (書状、先日除去の品物目方御改めにつき) | (元治元年)十一月三日 | 米竹和助 | 渡部甚藏様、豊藏様 | 状 | |
| W6 | 3 | 60 | | | (書状、明十七日出紙につき) | (元治元年)十二月十六日 | <カ久>平兵衛 | 寿丸御主人様 | 状 | |
| W6 | 3 | 61 | | | (書状、町内頼母子につき) | (元治元年)十一月十八日 | <カ久>平兵衛 | 寿丸御主人様 | 状 | |
| W6 | 3 | 62 | | | (書状、金子御請取にも相成候につき) | (元治元年)十一月十日 | 大川や太兵衛 | 〇御主人様 | 状 | |
| W6 | 3 | 63 | | | (書状、金子借用につき) | (元治元年)十一月廿日 | 儀藏(印) | 角田和助様 | 状 | |
| W6 | 3 | 64 | | | (覚、熊澤様ほか人数書上につき) | (元治元年)十一月六日 | ちり屋太藏 | 渡辺儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 65 | | | (書状、金子は今日御拜借申上候につき) | (元治元年)十二月十六日 | <カ久>平兵衛 | 寿丸御主人様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 66 | | | (覚、旅籠志人前式百八拾文など諸色代金勘定につき) | (元治元年)十一月廿六日 | 義藏 | | 状 | |
| W6 | 3 | 67 | | | (覚、飛脚之仁御呼び寄せにつき) | (元治元年) | | | 状 | |
| W6 | 3 | 69 | | | (覚、調役ご差出候分七両ト三百六拾五文勘定につき) | (元治元年) | | | 状 | |
| W6 | 3 | 70 | | | (覚、桂油五斗入拾五俵御預け、および金拾五両拝借につき) | 子(元治元年)十二月十四日 | 周五郎 | 〇御印殿、御質場殿 | 状 | |
| W6 | 3 | 71 | | | (書状、生糸格好の品に相成、是非御直談待ち居り候につき) | (元治元年)十一月九日 | 源左衛門 | 渡部屋御内・藤兵衛殿 | 状 | |
| W6 | 3 | 72 | | | (覚、昨日願ひ上げの金十両、此者に下されにつき) | (元治元年)十一月廿四日 | つゝみ | 義藏様 | 状 | |
| W6 | 3 | 73 | | | (覚、長町への御祝義、御米にて然るべき哉御伺いにつき) | (元治元年) | 〇 | 寿丸様 | 状 | |
| W6 | 3 | 74 | | | | | | | 状 | |

| 箱 | 番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|----|----|-----|----|----|----|--|--------------|-----------------|---------------------|----|-------|
| W6 | 3 | 75 | | | | (書状、今日御医師あらし御入来無く、御相伴下されたくにつき) | (元治元年)十二月九日 | 佐吉 | 儀藏様 | 状 | |
| W6 | 3 | 76 | | | | (書状、生糸追々気配宜敷、江戸為替相場金百七拾兩位、および百人拾兩位などにつき) | (元治元年)十二月十二日 | 従福島・中屋平兵衛代・吉郎兵衛 | 白石・渡邊屋儀藏様、豊吉様、御店衆中様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 77 | | | | 覚(紙半紙など紙代金五切三朱余勘定につき) | 子(元治元年)ノ極月四日 | 渡辺屋儀藏 | 菊地屋庄右衛門様 | 状 | |
| W6 | 3 | 78 | | | | (書状、福しまふ相頼候上白半紙弍切分、代金は此者に御払い下されたくにつき) | (元治元年)極月十日 | 芝屋長右衛門 | 渡部甚兵衛様 | 状 | |
| W6 | 3 | 79 | | | | (覚、代銭弍百五十九文勘定につき) | (元治元年) | | | 状 | |
| W6 | 3 | 80 | | | | (覚、諸役金御取立のため明日中相納めにつき) | (元治元年)十二月二日 | 受持請取・正右衛門 | 中町・渡辺屋儀藏殿 | 状 | |
| W6 | 3 | 81 | | | | (書状、船の義御恩用につき) | (元治元年)十一月廿日 | 角山和兵衛 | 寿丸御兄様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 82 | | | | (書状、七分金のことにつき) | (元治元年)十二月二日 | 角山和助 | ○御主人様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 83 | | | | (書状、金廿兩成し下され御礼につき) | (元治元年)十二月十七日 | <ヲ久>平兵衛 | 寿丸様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 84 | | | | (書状、半田より御出張のため金四拾五兩・印形差上候につき) | (元治元年)十二月二日 | 同(渡部)左吉 | 渡部儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 85 | | | | (書状、弍赤金拾五兩ほど出金に相成候につき) | (元治元年)十二月三日 | 源左衛門 | 藤兵衛殿 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 86 | | | | (書状、梁川へ明廿八日出張につき) | (元治元年)十一月廿七日 | 桑頭与一郎 | 渡辺兄上様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 87 | | | | (覚、醬油仕上がり直段日記帳につき) | (元治元年)十六日 | 儀藏 | 豊吉殿 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 88 | | | | (書状、わけ方のため御手代様たりとも一寸御越し下されたくにつき) | (元治元年)十二月七日 | <ヲ久> | ○様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 89 | | | | (覚、半田御返金方につき) | (元治元年)十二月三日 | 渡辺儀藏 | 米竹直次様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 90 | | | | (書状、北小諏訪のため登仙につき) | (元治元年)廿八日 | 豊吉 | 儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 91 | | | | (覚、歟五丁代金勘定につき) | (元治元年)十二月十日 | | 郡山・三次殿 | 状 | |
| W6 | 3 | 92 | | | | (覚、なら屋荷入れにつき) | (元治元年) | | | 状 | |
| W6 | 3 | 93 | | | | (覚、金二十三切、藤兵衛様持ち分などにつき) | (元治元年) | | | 状 | |
| W6 | 3 | 94 | | | | (断簡、寿廿三兩) | (元治元年) | | | 状 | |
| W6 | 3 | 95 | | | | (書状、金銭拝借願いにつき) | (元治元年)十二月十五日 | | | 状 | 後欠 |
| W6 | 3 | 96 | | | | (書状、諸品直下び仰せ渡され、醬油直段吟味につき) | (元治元年)十二月十五日 | 検断・正右衛門、同・円右衛門 | 醬油屋十郎左衛門殿 | 状 | |
| W6 | 3 | 97 | | | | (覚、二十七匁長尺薄色一反など勘定につき) | (元治元年)四月廿一日 | 渡辺屋儀藏 | 大野様、御元懸様 | 状 | |
| W6 | 3 | 98 | | | | (書状、金子拜借につき) | (元治元年)十二月十四日 | つづみ | 義藏様 | 状 | |
| W6 | 3 | 99 | | | | (書状、大竹権兵衛殿商人留守中より受取相送り申上候につき) | (元治元年)十一月廿三日 | 御存々 | 豊吉様 | 状 | |
| W6 | 3 | 100 | | | | (書状、先刻願い上げ候仙台表入用金不用につき) | (元治元年)十二月十八日 | 多山和助 | ○御主人様 | 状 | |
| W6 | 3 | 101 | | | | (覚、常次殿かし金十兩ほか書上) | (元治元年) | | | 状 | |
| W6 | 3 | 102 | | | | 覚(川喜多金五拾六兩三分八リなど金弍百七拾兩・十匁丸九分九リ勘定につき) | (元治元年) | | | 状 | |
| W6 | 3 | 103 | | | | (覚、親類佐藤清吉妹久、今三日病死につき) | (元治元年) | 宮町々・佐藤清左衛門 | 白石中町二而・渡部義藏様(ほか2名) | 状 | |
| W6 | 3 | 104 | | | | (書状、下店相應の仕舞仕り、および太物代金四拾弍兩につき) | (元治元年) | | | 状 | 後欠 |
| W6 | 3 | 105 | | | | 覚(渡義様分、並三十日行志駄などにつき) | (元治元年) | | | 状 | |

| 箱 | 番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表 題 (内 容) | 作 成 年 月 日 | 差 出 人 | 受 取 人 | 形 態 | 状 態 / 備 考 |
|----|----|-----|----|----|----|--|----------------|------------------|------------------|-----|---------------|
| W6 | 3 | 106 | | | | 覚(紙代金十両御届けにつき) | (元治元年)十二月廿五日 | 高喜(印、仙台<カネ吉>二日町) | 渡義様 | 状 | |
| W6 | 3 | 107 | | | | 覚(荷出し割三百五十文など代銭十貫六百文勘定につき) | (元治元年)九月廿三日 | 紙間屋 | 〇様 | 状 | |
| W6 | 3 | 108 | | | | 覚(〇印分<カ久>分、メ金拾七両勘定につき) | 子(元治元年)ノ十二月廿六日 | 渡部屋儀藏 | 糸屋吉兵衛様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 109 | | | | 覚(取合三十本代銭貳貫文受取につき) | (元治元年)十二月廿六日 | 柳町五十集屋・加藤屋喜兵衛 | 上 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 110 | | | | (覚、旧冬御留主中に為替手形七百両請取につき) | (元治元年)正月十五日 | 和助 | 義藏様 | 状 | |
| W6 | 3 | 111 | | | | (書状、金拾切毎年拝借のところ、当年も拝借成し下されたくにつき) | (元治元年)十二月十八日 | 渡辺内 | 渡辺様 | 状 | |
| W6 | 3 | 112 | | | | (書状、水耕村市治へ御手本紙注文につき) | (元治元年)瓶月六日 | 水耕野村・谷津亀之輔 | 白石中町二而・渡辺儀藏様 | 状 | |
| W6 | 3 | 113 | | | | (書状、昨日御輝みの品出来、御請取下されたくにつき) | (元治元年)十二月廿四日 | 源左衛門 | 渡辺屋御内・藤兵衛殿 | 状 | |
| W6 | 3 | 114 | | | | (書状、明朝百切持参の上、商品引き替えにつき) | (元治元年)十二月廿六日 | 源左衛門 | 渡辺屋御内・藤兵衛殿 | 状 | |
| W6 | 3 | 115 | | | | (書状、白石へ急用申し遣わし候間、御城下より幸便で御届け成し下されたくにつき) | (元治元年) | 渡辺屋内・平次郎 | 国分町・大石屋左吉様 | 状 | |
| W6 | 3 | 116 | | | | (覚、大判三十枚など取引につき) | (元治元年)十二月十日 | 加直 | 〇御店様 | 状 | |
| W6 | 3 | 117 | | | | (書状、昨日紙御送り下され、橋原御持合無き由の御咄のため丸森衆へ注文仕候につき) | (元治元年)十二月廿四日 | ()カ | 田町二而・渡儀様 | 状 | 破損甚大 |
| W6 | 3 | 118 | | | | (覚、並三十枚一箇など取引につき) | (元治元年)十二月廿五日 | 松長 | 渡儀様 | 状 | |
| W6 | 3 | 119 | | | | (書状、先達中表呉座御注文の件、仕切残金二重に受取のため謝罪につき) | 子(元治元年)ノ十二月朔日 | 増田より・佐藤屋長治 | 白石町・渡部義藏様 | 状 | |
| W6 | 3 | 120 | | | | (書状、廿切取り扱ひにつき) | (元治元年)十二月廿八日 | つつみ | 義藏様 | 状 | |
| W6 | 3 | 121 | | | | (書状、昨日悪路のため昨夜三徳様へ罷出、および今朝舟徳様へ罷出など報告につき) | (元治元年)十一月廿三日 | 柳町カ・平次郎 | 白石・〇御主人様 | 状 | |
| W6 | 3 | 122 | 1 | | | (書状、先月中カ風邪にて漸く今日出勤、借入金貳拾両返済につき) | (元治元年)十二月五日 | 忠太郎 | 儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 122 | 2 | | | (書状、御宅にて頂戴仕り、重畳有り難く御礼を申し上げにつき) | (元治元年)十一月廿九日 | 高澤屋傳吉 | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 3 | 123 | | | | (書状、先年店物不払いのため年々御足目米壹俵つ、御指向のところ、去冬、当年御勘弁下されたにつき) | (元治元年)十二月 | 越平左衛門 | 渡部儀藏様 | 状 | |
| W6 | 3 | 124 | | | | (書状、此度注文の品大急ぎ御送り下されたくにつき) | (元治元年)十二月十一日 | 相原太兵衛(印、仙台) | 渡邊屋義藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 125 | | | | (書状、生糸の儀引合申候、今日百六拾両位に相成候などにつき) | (元治元年)十一月廿八日 | 中屋平兵衛 | 渡邊屋儀藏様、豊吉様、御座衆中様 | 状 | |
| W6 | 3 | 126 | | | | (書状、為替金仲源殿方千三百五拾両、中田屋方千六百五拾両手形振り回れなどにつき) | (元治元年)十一月十八日 | 越後屋惣兵衛 | 権兵衛殿 | 状 | W6-3-160と関連あり |
| W6 | 3 | 127 | | | | (覚、御登せ金の儀、御問い合わせにつき) | (元治元年)正月四日 | 角山和助 | 寿丸御主人様 | 状 | |
| W6 | 3 | 128 | | | | (書状、代金御送り下されたくにつき) | (元治元年)十一月廿三日 | 増田町カ・長治 | 白石町・渡部義藏様 | 状 | |
| W6 | 3 | 129 | | | | 覚(御状壹通受取につき) | (元治元年)九月廿三日 | 名取屋清七(印、仙台・大町) | 上 | 状 | |
| W6 | 3 | 130 | | | | 覚(滞り金九拾両につき) | 元治元年七月十五日 | 同氏(渡部)豊吉、渡部儀藏 | 片平與左衛門様 | 状 | |
| W6 | 3 | 131 | | | | (断簡、白紙) | (元治元年) | | | 状 | |
| W6 | 3 | 132 | | | | 覚(亥十二月分金五両など引メ金貳拾貳両余勘定につき) | (元治元年)十二月五日 | 儀藏 | 留次様、圓七様 | 状 | |

| 箱 | 番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表 題 (内 容) | 作 成 年 月 日 | 差 出 人 | 受 取 人 | 形 態 | 状 態 / 備 考 |
|----|----|-----|----|----|----|--|---------------|-----------------------------|--------------|-----|---------------|
| W6 | 3 | 133 | | | | (書状、一昨日越河詰御役人御出役につき) | (元治元年)十二月廿日 | 菅ノ・留治 | 寿丸ノ・藤兵衛様 | 状 | |
| W6 | 3 | 134 | | | | ○<ヲル久>渡江申上候事(七月分長町へ駄賃未払いのため持参致すべくにつき) | (元治元年) | | | 状 | |
| W6 | 3 | 135 | | | | (書状、此度四色百本計り買い求めにつき) | (元治元年)十二月十二日 | 境長 | 渡義様 | 状 | |
| W6 | 3 | 136 | | | | (覚、ちり紙上物苧筒など書上) | (元治元年) | | | 状 | |
| W6 | 3 | 137 | | | | (書状、当新紙出来のため上・中直段仰せ下されたく引合致すにつき) | (元治元年)十二月十二日 | 幸助 | 白石町・渡邊や儀藏様 | 状 | |
| W6 | 3 | 138 | | | | (書状、新紙早速御手配式十帖計り相揃えなどにつき) | (元治元年)十二月十一日 | 渡邊屋藤三郎(印、仙台<弥大>大町二丁目紙店・渡邊屋) | 渡邊屋儀藏様、御〔 〕様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 139 | | | | (書状、先達注文申し上げ当日までの出紙などにつき) | (元治元年)十二月十一日 | 佐藤屋栄助(印、仙台・大町) | 渡辺屋儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 140 | | | | (覚、ちり紙三筒など紙類注文につき) | (元治元年)十二月十一日 | 三浦 | ○御主人様、藤兵衛様 | 状 | |
| W6 | 3 | 141 | | | | (書状、入用の品御願い申し上げにつき) | 子(元治元年)十二月十一日 | 糸屋吉兵衛 | 渡辺儀藏様、御店様中 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 142 | | | | (書状、真綿にて金三両貸し候哉御尋ねにつき) | (元治元年)拾月七日 | ○豊吉 | 御兄様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 143 | | | | (覚、嶋ち・み五反仕上りなど商品数量書上) | (元治元年)廿八日 | | | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 144 | | | | (覚、上ちり紙式筒・さ栄など五人分商品数量書上) | (元治元年) | | | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 145 | | | | (袋) | (元治元年) | 仙府大町・佐藤屋栄助 | 白石中町・渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 3 | 146 | | | | (書状、買い入れの品物御地着到、売り払い申したくなどにつき) | (元治元年)十二月三日 | 若柳分・最上屋平治郎 | 御旦那様、豊吉様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 147 | | | | (覚、諸紙類売買につき) | (元治元年)十二月五日 | 鈴木分 | 本家・渡部様 | 状 | |
| W6 | 3 | 148 | | | | (書状、商品売買につき) | (元治元年)廿二日 | | | 状 | |
| W6 | 3 | 149 | | | | (書状、御金漆、御城下表へ質入仕りたくなどにつき) | (元治元年)十月廿二日 | 最上屋平治郎 | ○御主人様、豊吉様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 150 | | | | (覚、諸紙類売買につき) | (元治元年)十二月十六日 | 蘭安(印、仙台) | 渡義様 | 状 | |
| W6 | 3 | 151 | | | | (書状、拝借の諸品当月廿七日まで御貸し下されにつき) | (元治元年)十二月七日 | | | 状 | |
| W6 | 3 | 152 | | | | (書状、苧筒に百八拾両など品々直段相談につき) | (元治元年)十二月七日 | 才藤屋兵三郎 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 153 | | | | (書状、書き入れのところ清次郎急々入用渡し居りにつき) | (元治元年) | 藤兵衛 | 本家・渡部屋豊吉様 | 状 | |
| W6 | 3 | 154 | | | | (書状、白織拾五反・嶋八反など四拾反請取、および脇指菅本御預かりにつき) | (元治元年)十二月十三日 | 斎藤隠左衛門 | 渡部儀藏様 | 状 | |
| W6 | 3 | 155 | | | | (書状、十三日和洲・十四米谷に着し御安心下され、および志津川糸百三拾五両より七両など相場直段書上につき) | (元治元年)九月十五日 | 内藤兵衛 | 御主人様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 3 | 156 | | | | (書状、断簡) | (元治元年) | <ヲル久>平兵衛 | 寿丸御主人様 | 状 | 後欠 |
| W6 | 3 | 157 | | | | (断簡、千状・久右衛門、六百状・貞次) | (元治元年) | | | 状 | 前後欠 |
| W6 | 3 | 158 | | | | 記(あわび代銀式貫三百七十六両など諸色代銀書上) | (元治元年) | | | 状 | |
| W6 | 3 | 159 | | | | (断簡) | (元治元年) | | | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 160 | | | | (書状、為替組合の義、仲源殿方金千三百五拾両、中田屋方金千六百五拾両覚書につき) | (元治元年)十一月十八日 | | | 状 | W6-3-126と関連あり |
| W6 | 3 | 161 | | | | (覚、白半紙など商品名書上) | (元治元年) | | | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 162 | | | | (書状、油・生糸の取引につき) | (元治元年)廿三日 | 庄松 | 甚蔵様 | 状 | 破損あり |

| 箱 | 番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|----|----|-----|----|----|----|--|---------------|----------------------------------|-----------------|----|----------------|
| W6 | 3 | 163 | | | | (覚、嶋ち、み六反取引、および昨夕豊吉様に御頼みの件などにつき) | (元治元年)十一月廿九日 | 権大夫 | 義藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 164 | | | | (書状、品物を村田町へ買入れにつき) | (元治元年)十二月廿二日 | | ○御旦那様 | 状 | 破損あり、端裏に「急」とあり |
| W6 | 3 | 165 | | | | (書状、紙取引のうち、ちり紙計り買入れにつき) | (元治元年)十二月廿二日 | 豊吉 | 御兄様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 166 | | | | (書状、大切な御寄合へ参館仕るなどにつき) | (元治元年)十一月晦日 | | 寿丸御主人様 | 状 | 前欠、破損あり |
| W6 | 3 | 167 | 1 | | | (書状、荷物式箇御送り成し下され、隨に入帳仕候につき) | (元治元年)十二月朔日 | 小西松五郎 | | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 167 | 2 | | | (断簡、急用) | (元治元年) | 御叔家より・泰右衛門 | 白石中町二番・渡部屋儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 167 | 3 | | | (断簡) | (元治元年) | | | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 168 | | | | 寛(年内入用品につき) | (元治元年)十二月廿五日 | 渡部屋嘉二郎 | 渡部屋儀藏様、御店中様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 169 | | | | 寛(金五拾両借用につき) | (元治元年)九月廿二日 | 渡辺屋儀藏(印) | 中屋伝右衛門様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 170 | | | | (書状、金子支払いに困り入り、金五拾両拝借願いにつき) | (元治元年)十一月晦日 | 長浜屋文吉 | 日下屋彦兵衛様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 3 | 171 | | | | (書状、金三拾両持参にて勘定のほか、残金支払いにつき) | (元治元年)十月十日 | まつや安兵衛 | 渡辺儀藏様 | 状 | |
| W6 | 3 | 172 | | | | (書状、生草御買、遊ばされ、柳町へ御立ち寄り下されにつき) | (元治元年)十二月廿四日 | 柳町か・斉藤屋幸助 | 渡辺屋甚藏様 | 状 | |
| W6 | 3 | 173 | | | | (書状、江戸為替にて地品の御相談につき) | (元治元年)十二月十八日 | 津嶋屋惣兵衛 | 渡辺屋義藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 3 | 174 | | | | (袋、金拾両相渡) | (元治元年)十二月十一日 | 佐藤屋菊助(印、仙府・大町) | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 4 | 1 | 1 | | | (覚、金七十八両余勘定につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | こより共 |
| W6 | 4 | 1 | 2 | | | 覚(残金百九兩二歩に相成候につき) | (近世・年未詳)七月廿二日 | 久野屋孫助 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 4 | 1 | 3 | | | 覚(金六百両、三ツ井より請取につき) | (近世・年未詳)七月 | はせ川次郎吉、藤七 | 渡辺屋儀藏殿 | 状 | |
| W6 | 4 | 1 | 4 | | | 差引(金百廿二両勘定につき) | (近世・年未詳)八月五日 | はせ川次郎吉、藤七(印) | 渡辺屋義藏殿 | 状 | |
| W6 | 4 | 1 | 5 | | | 丑ノ暮出入調(九月十一日金銀勘定などにつき) | 亥(近世)ノ七月 | ○店 | 丁<ヤ>三>御店様 | 状 | |
| W6 | 4 | 1 | 6 | | | 差引寛(四月三日金廿両長岡屋勘七殿相渡しにつき) | (近世・年未詳)七月 | 長谷川次郎吉、藤七 | 渡辺屋儀藏殿 | 状 | |
| W6 | 4 | 2 | 1 | | | 寛(金子勘定につき) | (慶応2年)十二月 | 丁子屋甚兵衛 | 渡辺儀藏様 | 状 | こより共 |
| W6 | 4 | 2 | 2 | | | 仕切書(メー貫百八拾五目) | (慶応2年)十二月八日 | 佐野屋丹兵衛(印) | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 4 | 2 | 3 | | | 調書(八月廿三日四貫八九兩などにつき) | 寅(慶応2年)ノ十二月 | 伊勢屋利平、惣七 | 渡辺屋儀藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 4 | 2 | 4 | | | 宗調書(十月廿一日六百両飛脚持ちなどにつき) | (慶応2年)十二月 | 佐野屋久右衛門、庄助 | 渡辺屋儀藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 4 | 2 | 5 | | | 調書(反物七拾四反・六拾弍反代、および駄賃金メ七拾八両五分ト拾弍七分九リ勘定につき) | 寅(慶応2年)十一月 | さのや丹兵衛(印、江戸・大傳馬壹・佐野屋・丹兵衛) | 渡部屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 4 | 2 | 6 | | | 調書(益前引残り・反物代金メ八拾弍両三分ト八百廿九文勘定につき) | 寅(慶応2年)十一月 | 佐野屋丹兵衛(印、野州<イ>リヤ木>宇都宮・寺町・佐野屋丹兵衛) | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 4 | 2 | 7 | | | 仕切書(粗拾反など反物メ式拾反代銀九百弍拾九匁六分) | (慶応2年)九月廿八日 | 佐野屋丹兵衛(印、野州<イ>リヤ木>宇都宮・寺町・佐野屋丹兵衛) | 渡邊屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 4 | 2 | 8 | | | 仕切書(松島など反物メ六十二反代銀弍貫四百九十六匁・駄賃金三両弍朱ト弍百四十五文につき) | (慶応2年)九月 | さのや丹兵衛(印、江戸・大傳馬壹・佐野屋・丹兵衛) | 渡辺屋儀藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|------|----|----|----|----|--|--------------|---------------------------------|------------------|----|-------|
| W6 4 | 2 | 9 | | | 仕切書(頓兵五反代銀貳百貳拾八匁五分) | (慶応2年)九月五日 | 佐野屋丹兵衛(印、野州<イリヤ木>宇都宮・寺町・佐野屋丹兵衛) | 渡邊屋儀藏様 | 状 | |
| W6 4 | 2 | 10 | | | 仕切覚(ふ・津など反物代銀貳貫四百五拾五匁七分) | 席(慶応2年)八月晦日 | 佐野屋久右衛門、孝助(印、野州・佐野屋) | 渡邊屋儀藏様、豊吉様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 4 | 2 | 11 | | | 仕切書(薄・花など反物メ七十四反代銀貳貫八十匁匁分九厘・小印持添金三匁貳朱ト貳百八十文) | (慶応2年)八月 | 佐野屋丹兵衛(印、江戸・大傳馬壺・佐野屋・丹兵衛) | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 冊 | |
| W6 4 | 2 | 12 | | | 仕切覚(終など反物メ百四拾九反代銀四貫八百九拾匁三分四厘) | (慶応2年)八月廿五日 | いせや利平(印、<ヤヤ平>堀江壺・伊勢屋・金銀不用) | 渡邊屋儀藏様、豊吉様、御店中様 | 冊 | |
| W6 4 | 2 | 13 | | | 覚(桐・菊など反物仕切につき) | 寅(慶応2年)八月廿八日 | 外村忠兵衛、久次郎(印、<イリヤ●>外忠・金銀不用) | 渡辺儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 4 | 2 | 14 | | | 覚(草柄など反物代金メ三拾兩三朱ト三百八匁請取につき) | (慶応2年)八月廿四日 | 丁子屋甚兵衛(印、江戸・堀留町貳丁目・丁子屋甚兵衛) | 渡邊屋儀藏様、豊吉様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 4 | 2 | 15 | | | 仕切書(白紺小倉など反物代銀メ壹貫五百廿八匁五分) | 寅(慶応2年)八月廿六日 | 佐野屋丹兵衛 | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 4 | 2 | 16 | | | 仕切書(ち・奴など反物代銀メ壹貫三百拾六匁匁分七厘) | 寅(慶応2年)八月廿二日 | 佐野屋丹兵衛 | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 4 | 2 | 17 | | | 大物惣仕切之覚(メ金七拾貳匁分ト壹匁分九厘) | 慶応二丙寅十一月 | 長谷川次郎吉、藤七(印、<ヤヤ三>大傳馬) | 渡邊屋儀藏殿 | 冊 | |
| W6 4 | 2 | 18 | | | 覚(利・奴など反物代銀メ貳百七拾八匁五分八厘仕切につき) | 寅(慶応2年)十一月三日 | 佐野屋丹兵衛 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 4 | 2 | 19 | | | 覚(白雲など反物十反代銀メ六百匁勘定につき) | (慶応2年)十月廿一日 | 佐野屋久右衛門、佐助(印、佐野屋) | 渡辺屋儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 4 | 2 | 20 | | | 差引書(盆前殘金などメ金七拾五兩ト十匁分八厘勘定につき) | (慶応2年)十月十五日 | 長谷川源右衛門 | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 4 | 2 | 21 | | | 仕切書(柿・社など反物代金メ七拾四兩貳分ト十匁分七厘) | (慶応2年)十月 | 長谷川源右衛門代・儀兵衛(印、<ヤヤ三>金銀不用) | 渡部屋儀藏殿 | 冊 | |
| W6 4 | 2 | 22 | | | 仕切覚(反物節廿反代銀六百三拾匁) | 寅(慶応2年)十月十四日 | 佐野屋丹兵衛(印、野州<イリヤ木>宇都宮・寺町・佐野屋丹兵衛) | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 4 | 2 | 23 | | | 直附書(落・寺など反物百四拾反ト七拾枚につき) | (慶応2年)十月十日 | 長谷川次郎吉、孝助(印、<ヤヤ三>大傳馬・金銀不用) | 渡邊屋儀藏様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 5 | 1 | | | | (書状、万物高直にて口銭尽くし候につき) | (元治2年)正月十二日 | つつみ | 義藏様 | 状 | こより共 |
| W6 5 | 2 | | | | (書状、壹兩三分三朱獻金につき) | (慶応元年)三月朔日 | 角山和助 | 渡義様 | 状 | |
| W6 5 | 3 | | | | (書状、旧冬の払い方につき) | (元治2年)正月十三日 | つつみ | 義藏様 | 状 | |
| W6 5 | 4 | | | | (書状、式朱利五拾匁貸し入れ御手配下されたくにつき) | (元治元年)十二月三日 | 森六 | 渡辺儀藏様 | 状 | |
| W6 5 | 5 | | | | 覚(金子先払い延引につき) | (元治2年)正月十二日 | つつみ | 義藏様 | 状 | |
| W6 5 | 6 | | | | 追落(並ミ拾枚折一円品切のため早速御送り成し下され願ひ上げにつき) | (元治2年)正月十二日 | 小西屋松五郎 | 寿丸御主人様 | 状 | |
| W6 5 | 7 | | | | 口上(金五拾兩御拜借仰せ付けられたくにつき) | (慶応元年)三月朔日 | 山方佐兵衛 | 渡辺豊吉様 | 状 | |
| W6 5 | 8 | | | | (書状、小奉書出来次第早々御送り下されたくにつき) | (元治元年)十一月十日 | 大川や | 渡辺義藏様 | 状 | |

| 箱 | 番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|----|----|----|----|----|----|--|---------------|------------------------|-------------|----|-------|
| W6 | 5 | 9 | | | | 覚(小奉書三拾状など早速御送り成し下されたく願ひ上げにつき) | (元治2年)二月廿七日 | 佐孝 | 渡儀様、御店様 | 状 | |
| W6 | 5 | 10 | | | | 覚(紙代金20切、後払い御願ひにつき) | (元治2年)二月廿六日 | つ、み | 義藏様 | 状 | |
| W6 | 5 | 11 | | | | (覚、金拾七切巻朱、通帳の方へ指上などにつき) | (元治2年)正月二日 | つ、み | 義藏様 | 状 | |
| W6 | 5 | 12 | | | | (書状、此度金五両御入帳下されなどにつき) | (元治2年)二月廿六日 | 十九屋駒吉 | 渡邊屋義藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 5 | 13 | | | | 覚(金式十切下されたくなどにつき) | (元治2年)二月廿六日 | つ、み | 義藏様 | 状 | |
| W6 | 5 | 14 | | | | (書状、先日御留主中に金廿五両御入金などにつき) | (元治2年)二月廿二日 | <ヤ上>千右衛門 | ○御主人様 | 状 | |
| W6 | 5 | 15 | | | | (書状、小子義にわかには伊勢参上出立、手形金三十両御戻しの御取り計らい下されにつき) | 丑(元治2年)ノ正月十八日 | | | 状 | |
| W6 | 5 | 16 | | | | (覚、藤倉方金四十切など小銭にて御貸し下されたくにつき) | (元治2年)二月三日 | つ、み | 義藏様 | 状 | |
| W6 | 5 | 17 | | | | (書状、昨日番頭藤兵衛へ約諾の金五切恩借致したくにつき) | (元治2年)二月十七日 | 田町・石井佐平左衛門 | 中町・渡部義藏様 | 状 | |
| W6 | 5 | 18 | | | | 覚(鳴ち、み拾巻反、金拾両紙方へ御渡し下されなどにつき) | (元治2年)二月廿二日 | つ、み | 義藏様 | 状 | |
| W6 | 5 | 19 | | | | (書状、金五十両添、ちり紙厚巻駄も御遣わし下さるべくなどにつき) | (元治2年)二月廿五日 | ろしや定吉 | 白石・渡邊屋義藏様 | 状 | |
| W6 | 5 | 20 | | | | (書状、金七両にて別紙手配の品注文申し上げにつき) | (慶応元年)六月朔日 | 塩屋長左衛門(印、<ケニ本>仙台大町三丁目) | 渡部儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 5 | 21 | | | | 口上(此度荷物御送り下され、大船廻し相成るべく正味金百十両入用などにつき) | (慶応元年) | 渡部屋(印、仙台大町一丁目・紙の店) | 渡儀様 | 状 | |
| W6 | 5 | 22 | | | | (書状、年来御正例にも有り、右の直段ならば巻反にもならずにつき) | (元治2年)正月十三日 | 権大夫 | 義藏様 | 状 | |
| W6 | 5 | 23 | | | | (書状、直段高下は融通宜敷祈念のこと、白石渡儀買方通帳借用申し入れなどにつき) | (慶応元年)九月十六日 | 武沢十藏 | 沢口安治殿 | 状 | |
| W6 | 5 | 24 | | | | (書状、金三両恩借致したく、来早春には繰り出すため右借用致さず候ては不都合につき) | (元治元年)極月十九日 | 田町・石井佐平左衛門 | 中町・渡部義藏様 | 状 | |
| W6 | 5 | 25 | | | | (書状、去夏中藤兵衛殿方生糸御取組に相成、内混にて拙翁品々仲済申し上げにつき) | (元治2年)二月五日 | 才藤兵三郎 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 5 | 26 | | | | (書状、ちみ直段の様、三十四宛に御取組下され、しかし三十三宛に御仕切ならば聊かも利徳無しにつき) | (元治2年)正月十七日 | 次郎右衛門 | 中町・儀藏様 | 状 | |
| W6 | 5 | 27 | | | | (書状、新年の御祝詞申上候、旧臘御仲間の糸代金受取などにつき) | 丑(元治2年)正月二日 | 和野 | 庄松様 | 状 | |
| W6 | 5 | 28 | | | | (書状、斎藤屋飛脚の為替金廿五両御渡しなどにつき) | (元治2年)正月十一日 | 佐藤屋栄助 | 渡部屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 5 | 29 | | | | 覚(白ち、み八反、および金式十切下されるところ紙漉き申し受けなどにつき) | (元治2年)二月廿四日 | つ、み | 義藏様 | 状 | |
| W6 | 5 | 30 | | | | (書状、御尊店様へ御出荷御願ひ申上、去冬中御拝借分夏まで御恩借願ひ上げにつき) | (元治2年)二月二日 | <カ久>平兵衛 | 寿丸御主人様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 5 | 31 | | | | (書状、春中ら諸品高直御買ひ置ききの絹布・木綿、定めて御利運につき) | 子(元治元年)十一月廿八日 | 同性<ヤ>・佐助 | 渡邊儀藏様(○印様行) | 状 | |
| W6 | 5 | 32 | | | | (書状、金三十両送り御入帳下されなどにつき) | 丑(元治2年)正月三日 | 大石屋大二郎 | 渡邊儀藏様 | 状 | 破損あり |

| 箱 | 番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|----|----|----|----|----|----|---|--------------|-----------------|---------------|----|-------|
| W6 | 5 | 33 | | | | 覚(御指引・平内殿上納方などメ金拾切ト式拾三貫三百五拾文指上につき) | (元治2年)二月朔日 | 円四郎 | 渡邊屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 5 | 34 | | | | (覚、紙料金四十切など勘定につき) | (元治2年)二月二日 | つゝみ | 義藏様 | 状 | |
| W6 | 5 | 35 | | | | (覚、金式拾切借用御頼みのところ、拾切にて間に合い別紙証文の通りにつき) | (元治元年)十二月廿七日 | 小嶋・内夕 | 徳兵衛殿 | 状 | 破損あり |
| W6 | 5 | 36 | | | | (書状、圓七股へ御用立の金子のうち残金三両不足につき) | (元治元年)十一月廿九日 | 渡邊屋儀藏 | 皆野屋圓吉様、阿子嶋彦吉様 | 状 | |
| W6 | 5 | 37 | | | | (書状、頼母子のため金五切御渡しにつき) | (元治2年)正月廿一日 | つゝみ | 儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 5 | 38 | | | | (書状、糸方御割わけいただき御礼、御拜借金などにつき) | (元治2年)二月三日 | 大畑屋平兵衛 | 寿丸御主人様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 5 | 39 | | | | (書状、現物三百帖さし上、六木のわりをもって代金真戴などにつき) | (元治2年)正月六日 | <ヲ久>平兵衛 | 寿丸御主人様 | 状 | |
| W6 | 5 | 40 | | | | (書状、旧冬御送り候、御申し訳無く御用捨てされにつき) | (元治2年)二月一日 | 加藤王林 | 渡辺屋儀藏様、御店様中 | 状 | 破損あり |
| W6 | 5 | 41 | | | | (覚、七日までに金式十切払いにつき) | (元治2年)正月九日 | つゝみ | 義藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 5 | 42 | | | | 大急品物拂(ちり紙上々一帖などメ金式拾五両相済につき) | (元治2年)二月一日 | つゝみ | ○御店様 | 状 | |
| W6 | 5 | 43 | | | | (書状、金五両に高喜五両の都合十両、御尊店様分持参につき) | (元治2年)正月四日 | <ヲ久>平兵衛 | 寿丸御主人様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 5 | 44 | | | | (書状、先日度々帳出し御願い申上候につき) | (元治2年) | 長町より・新井屋英松 | 中町の・渡辺豊吉様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 5 | 45 | | | | (書状、越後にて生糸買入れなどにつき) | (元治2年)二月十一日 | 最上屋平内 | ○御主人様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 5 | 46 | | | | (書状、本家より先年中御預りの書類などにつき) | (元治2年)正月六日 | <ヤ上>千右衛門 | ○御主人様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 5 | 47 | | | | 口上(嶋ちゝみ式反御入帳成し下さるべくにつき) | (元治元年)十二月廿九日 | つゝみ | 義藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 5 | 48 | | | | (書状、金不足甚だ困り入り御拝借願いにつき) | (元治2年)正月十日 | 新井屋英松 | 寿丸・豊吉様、御店様中 | 状 | |
| W6 | 5 | 49 | | | | (書状、ちり紙直段の義、いささかの利分無く取り附い下されたくにつき) | (元治2年)十六日 | | | 状 | |
| W6 | 5 | 50 | | | | 覚(手形にて金三切を御戻しにつき) | 元治元年五月八日 | 渡部儀藏(印) | 米竹直次殿 | 状 | 破損あり |
| W6 | 5 | 51 | | | | 口上(預け候金子につき) | (元治2年)正月廿八日 | 当かた | 渡部様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 5 | 52 | | | | 口上(畳のへり式反・さし糸き把につき) | (元治2年)正月十四日 | 鎌先・一条千代松 | 本家・渡部屋儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 5 | 53 | | | | (書状、借入金につき) | (元治2年)二月朔日 | 小嶋隆店々 | 藤兵衛殿 | 状 | |
| W6 | 5 | 54 | | | | (書状、約束の通り金拾切、此者に御貸し遣わされたくにつき) | (元治元年)十二月廿九日 | 山岸新右衛門 | 渡部儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 5 | 55 | | | | 口演(醬油を通帳名をもって御直渡し申候につき) | (元治2年)正月晦日 | 上小原大通り・高橋忠次郎(印) | 白石中町・渡辺屋儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 5 | 56 | | | | (書状、反物三十反など大急にて御送り下されたくにつき) | 丑(元治2年)正月三日 | 糸屋七右衛門 | 渡部屋儀藏様、御店様中 | 状 | 破損あり |
| W6 | 5 | 57 | | | | (書状、荷物壹箇御送り下され無事着入帳仕りにつき) | (元治2年)正月二日 | 左原兵衛 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 5 | 58 | | | | (書状、昨年中御勘定預り長々申し訳無く、また未だ病中のため御用捨てされたくにつき) | (元治2年)正月四日 | <ヤ上>千右衛門 | ○御印様 | 状 | |
| W6 | 6 | 1 | | | | 覚(中奉書など紙取引につき) | (文久3年) | 山さきや良助 | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 6 | 2 | | | | 覚(中奉書など紙取引につき) | (文久3年)十二月晦日 | 山さきや良助 | 渡部屋儀藏様、御店中様 | 状 | |

| 箱 番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表 題 | (内 容) | 作 成 年 月 日 | 差 出 人 | 受 取 人 | 形 態 | 状 態 ／ 備 考 |
|---------|----|----|----|----|-----------------------------------|------------------|---|----------------------|-------------|--------|-----------------------|
| W6 | 6 | 3 | | | 寛(金布鶴染四反・金切紫染四反など布取引につき) | い(文久3年)十二月廿五日 | かしまや八郎右衛門、与兵衛 | 渡部屋儀藏様 | 状 | | |
| W6 | 6 | 4 | | | 送り(新水引拾本など売り捌き願いにつき) | 亥(文久3年)十二月廿五日 | 紙屋喜太郎 | 白石中町・渡辺屋儀藏様 | 状 | | |
| W6 | 6 | 5 | | | 仕切書(百四拾三番・帯地・女帯地など金額書上) | (文久3年)十一月廿七日 | 福田屋佐助、八郎左衛門 (印) | 渡部儀藏様、御店衆中様 | 状 | | |
| W6 | 6 | 6 | | | 寛(花・組掛など反物直段書上) | 亥(文久3年)十二月十日 | 小倉屋和助 | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | | |
| W6 | 6 | 7 | | | 寛(海気・黒端子など織物取引につき) | 亥(文久3年)十月十八日 | 甲州・菅谷作兵衛 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | | |
| W6 | 6 | 8 | | | 寛(反物直段書上) | (文久3年)十二月十九日 | さのや久右衛門 | 渡辺屋儀藏様、豊吉様 | 状 | | |
| W6 | 6 | 9 | | | 寛(地しま・帯地など直段書上) | (文久3年)十二月廿五日、廿七日 | 加島屋八郎右衛門、与兵衛 | 渡部屋儀藏様 | 状 | | |
| W6 | 6 | 10 | | | 寛(大物直段書上) | い(文久3年)十二月廿七日 | 加島屋八郎右衛門、与兵衛 | 渡部屋儀藏様、御店 | 状 | | |
| W6 | 6 | 11 | | | 寛(麻薦・金巻両巻分三朱など書上) | 亥(文久3年)十二月 | 光力屋清次郎(印) | 白石・渡辺儀藏様 | 状 | | |
| W6 | 6 | 12 | | | 寛(金五拾貳両余・忠九など書上) | 亥(文久3年)ノ極月 | 中屋久十兵衛(印) | 渡辺屋儀藏様 | 状 | | |
| W6 | 6 | 13 | | | 寛(納戸百丈三尺五寸など取引につき) | (文久3年)十一月廿五日 | 半田や吉兵衛 | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | | |
| W6 | 6 | 14 | | | 寛(銀67匁ほか取引につき) | (文久3年)十月十日 | <イタ> | ○様 | 状 | | |
| W6 | 6 | 15 | | | 寛(結城島<縮>拾五反など銀六百八十一匁六分勘定につき) | (文久4年)正月五日 | いまた店 | 御本店様 | 状 | | |
| W6 | 6 | 16 | | | 寛(銀九百三十七匁七分勘定につき) | (文久3年)極月 | 半田や吉兵衛 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | | |
| W6 | 6 | 17 | | | 直附寛(問屋まき田貳反代銀五匁七分など勘定につき) | (文久3年)十一月廿五日 | 長谷川次郎吉、豊七(印) | 渡辺屋儀藏様 | 状 | | |
| W6 | 6 | 18 | | | 寛(改金割代廿把代金貳両請取につき) | (文久3年)十一月十一日 | (印) <ケニ> 東都・現金・ 壳弘所・彌留二丁目・さめ かいや忠兵衛 | 長山御店様 | 状 | | |
| W6 | 6 | 19 | | | 寛(銀二貫百八十一匁など勘定につき) | (文久3年)閏十一月 | 吉井屋兵右衛門、兵助、弥 七(印) | 渡辺義藏様、御店衆中様 | 状 | | |
| W6 | 6 | 20 | | | 調書(佐吉持・金巻分三朱など勘定につき) | 亥(文久3年)十一月 | 佐野屋丹兵衛(印)、野州・宇 都宮・寺町・佐野屋丹兵衛 | 渡部屋儀藏様 | 状 | | |
| W6 | 6 | 21 | | | 宗調書(盆前差引などメ金拾両巻歩・百六拾七文勘定につき) | 亥(文久3年)十二月 | 小倉屋和助、早助(印) <ワ 辻> 奥州福島本町) | 渡部や儀藏様、御店中様 | 状 | | |
| W6 | 6 | 22 | | | 宗調寛(九月廿日金六両巻分余などメ金貳拾八両余勘定につき) | 亥(文久3年)十二月 | 佐惣屋久右衛門、立兵衛 (印) | 渡邊屋儀藏様、豊吉様、御 店衆中様 | 状 | | |
| W6 | 6 | 23 | | | ○太物仕切寛 | 文久三癸亥十二月朔日 | 長谷川次郎吉、半七(印)、江 戸・大傳馬一・金銀不用) | 渡部屋儀藏殿 | 冊 | | |
| W6 | 6 | 24 | | | 寛(美丹散五ほか諸色代銀壹貫百七拾文うち七百弐文受取につき) | 亥(文久3年)十二月十二日 | 忠治 | 渡辺様 | 状 | | |
| W6 | 6 | 25 | | | 惣日録(代金差引メ三拾五両三分余勘定につき) | 文久三亥十二月 | 川喜田久太夫(ほか2名) | 渡邊屋儀藏殿 | 状 | | |
| W6 | 6 | 26 | | | 寛(あや小紙九十式枚ほか紙代銀メ百三拾貳匁四分御入帳下されにつき) | (文久3年)十一月九日 | 山崎屋良助 | 渡部屋儀藏様、御店衆中様 | 状 | | |
| W6 | 6 | 27 | | | 仕切書(真岡細五反など諸色代金メ三拾四両余) | 亥(文久3年)ノ十一月三日 | 川喜田久太夫(印)(ほか2名) | 渡邊屋儀藏殿 | 冊 | | |
| W6 | 6 | 28 | | | 寛(花千草拾反引合につき) | (文久3年) | <ワ> さ>店 | | 状 | | |
| W6 | 6 | 29 | | | 寛(淺黄壹枚など諸色代銀メ百弐式分勘定につき) | (文久3年)十月十六日 | 吉野屋幸八 | 上 | 状 | | |
| W6 | 6 | 30 | | | 寛(古絹裏貳枚代銀七拾五匁勘定につき) | (文久3年)十二月二日 | 吉田屋幸八 | 渡邊屋儀藏様 | 状 | | |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|------|----|----|----|----|--------------------------------------|---------------|-------------------------|------------------|----|---------------|
| W6 6 | 31 | | | | 直附書(松山結城縮拾反三十などにつき) | 亥(文久3年)九月廿九日 | 中屋平三郎(印・大町) | 渡邊屋儀藏様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 6 | 32 | | | | 仕切書(絹綿九寸など綿代金貳百八十六匁九分) | (文久3年)八月廿一日 | 佐野屋久右衛門代・直兵衛 | 渡邊屋儀藏様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 6 | 33 | | | | 仕切書(木十反・席四反など諸色代銀×壹貫四十四匁五分) | (文久3年)八月廿日 | 佐野屋久右衛門、直兵衛(印) | 渡邊屋儀藏様、豊吉様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 6 | 34 | | | | 仕切書(伊・呂・波×銀百五拾六匁) | (文久3年)十一月七日 | 佐野屋丹兵衛 | 渡邊屋儀藏様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 6 | 35 | | | | 仕切書(結城襟付はら掛拾枚代金百貳拾五匁) | (文久3年)十月廿八日 | さのや丹兵衛 | 渡邊屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 6 | 36 | | | | 寛(産五反代銀九拾三匁五分記帳につき) | 亥(文久3年)十月十日 | 佐野屋丹兵衛 | 渡邊屋儀藏様 | 状 | |
| W6 6 | 37 | | | | 仕切書(拾反代銀貳百三拾壹匁記帳) | (文久3年) | 佐野屋丹兵衛 | 渡邊屋儀藏様 | 状 | |
| W6 6 | 38 | | | | 仕切書(結城取合拾反代銀三百九拾貳匁) | 亥(文久3年)九月廿八日 | 佐野屋丹兵衛 | 渡邊屋儀藏様 | 状 | |
| W6 6 | 39 | | | | 仕切書(伯・他など諸色代銀×三百九拾七匁九分七リ入帳) | 亥(文久3年)九月廿四日 | 佐野屋丹兵衛 | 渡邊屋儀藏様 | 状 | |
| W6 6 | 40 | | | | 仕切書(泳・私など反物代銀貳貫三百七拾八匁六分四リ記帳) | 亥(文久3年)八月十一日 | 佐野屋丹兵衛 | 渡邊屋儀藏様 | 冊 | |
| W6 6 | 41 | | | | 直附書(泡五反代銀十九匁七分など書上) | (文久3年)十月五日 | 川喜田久次夫、又兵衛(印) | 渡邊屋儀藏様、御店御中様 | 状 | 破損あり |
| W6 6 | 42 | | | | 直附書(五反代銀貳拾匁五分など書上) | (文久3年)十月十一日 | 長谷川次郎吉、豊七(印) | 渡邊屋儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 6 | 43 | | | | 直附書(拾反代銀など書上) | (文久3年) | 長谷川次郎吉、豊七(印) | 渡邊屋儀藏様、豊吉様 | 状 | 破損あり |
| W6 6 | 44 | | | | 直附書(連・五反代銀廿壹匁貳分など書上) | (文久3年)九月十四日 | 長谷川次郎吉、豊七(印) | 渡邊屋儀藏様、御店中様 | 状 | 破損あり |
| W6 6 | 45 | | | | 直附書(加・五反代銀廿匁四分など書上) | (文久3年)九月 | 長谷川次郎吉、豊七(印) | 渡邊屋儀藏様、御店中様 | 状 | 破損あり |
| W6 6 | 46 | | | | 直附書(銘貳式・ます田五反など書上) | (文久3年)七月廿一日 | 長谷川次郎吉、豊七(印) | 渡邊屋儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 7 | 1 | | | | (書状、先払いの儀願い上げ、および今日払い方などにつき) | (文化9年)七月十四日 | 権大夫 | 甚藏様 | 状 | |
| W6 7 | 2 | | | | (書状、代金のうち廿切願い上げにつき) | (文化9年)七月七日 | 権大夫 | 義藏様 | 状 | |
| W6 7 | 3 | | | | (書状、小子戻り越河買方致し、および○印御都合次第浪山下されなどにつき) | (文化9年)六月四日 | 越河村お・最上屋平次郎 | 白石・渡部屋儀藏様、豊吉様 | 状 | 包紙共 |
| W6 7 | 4 | | | | (書状、御留主の由にて払い方今日まで延引などにつき) | (文化9年)四月朔日 | つゝみ | 義藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 7 | 5 | | | | (書状、理三郎借用金返済につき) | (文化9年)七月三日 | 権大夫 | 儀藏様 | 状 | |
| W6 7 | 6 | | | | 寛(嶋ち、み四反など取引につき) | (文化9年)七月十日 | つゝみ | 義藏様 | 状 | |
| W6 7 | 7 | | | | (書状、代金五匁分先払いにつき) | (文化9年)七月十四日 | 権大夫 | 儀藏様 | 状 | |
| W6 7 | 8 | | | | (片倉小十郎加増など様子書) | 文化九年三月初日 | | | 状 | こより共 |
| W6 7 | 8 | | | | (御家中惣土庭上三群居而拜見御規式記録) | (文化9年) | | | 状 | 前後欠、帳はずれ、破損あり |
| W6 8 | 1 | | | | 寛(七月十三日金三匁受取につき) | (近世・年未詳)七月廿三日 | 吉田屋吉兵衛 | 渡部屋儀藏様 | 状 | こより共 |
| W6 8 | 1 | | | | 寛(唐紙百十枚など紙類二品・百二十巴、白石商人義藏へ売り渡しにつき) | 亥(近世)五月八日 | 大石屋太吉(印)、湯村証次郎(印)(ほか5名) | 御仲御会所 | 状 | 破損あり |
| W6 8 | 1 | | | | 寛(梅吉反など三拾四反、イ拾反など三拾反、反物銘附数量につき) | 亥(近世)三月廿三日 | 中屋伝右衛門(印)、北越・巻町・中屋) | 渡邊屋儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 8 | 1 | | | | 寛(布類百廿反代銀貳百四十匁、白石商人儀藏へ売り渡しにつき) | (近世・年未詳)五月八日 | 佐藤屋忠兵衛(印)(ほか6名) | 御仲御会所 | 状 | 破損あり |
| W6 8 | 1 | | | | (書状、三藏門壹貫目壹箱代銀八拾匁売り捌き依頼につき) | (近世・年未詳)六月廿一日 | 京屋弥兵衛、文助 | 渡邊屋儀藏様、御店中様 | 状 | 破損あり |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-----|----|----|----|----|-------------------------------|---------------|---------------------------------|------------------|----|-------|
| W6 | 8 | 1 | 6 | | 覚(御城下松五郎さまより届け金請取につき) | 戊(近世)十二月廿一日 | 山田屋忠次郎(印、奥州・白石・山田屋) | 渡辺屋藤兵衛様 | 状 | |
| W6 | 8 | 1 | 7 | | 覚(女帯地・鼠三本など商品・金額書上) | 戊(近世)正月 | 鶴見屋伝右衛門 | 渡辺甚藏様 | 状 | |
| W6 | 8 | 1 | 8 | | 覚(品々白石商人儀蔵へ売り渡しにつき) | (近世・年未詳)五月七日 | 仲方改所・善助 | | 状 | |
| W6 | 8 | 1 | 9 | | (書状、生糸高騰のため買い調え困難につき) | (近世・年未詳)三月八日 | 弘運屋五郎兵衛 | 渡辺儀藏様 | 状 | |
| W6 | 8 | 1 | 10 | | (覚、紙・布など諸色直段書上) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 | 8 | 1 | 11 | | 覚(万金丹八拾文など乗代銭メ壹貫貳百廿文勘定につき) | 戊(近世)正月十日 | キ・忠二 | 渡邊儀藏様 | 状 | |
| W6 | 8 | 1 | 12 | | 送り(琉球包荷物四箇継ぎ送り依頼状) | い(近世)の三月三日 | 越河町問屋場・圓吉 | 藁川町御問屋様 | 状 | |
| W6 | 8 | 1 | 13 | | 送り(白石町渡辺屋行き延包荷物四つ継ぎ送り依頼状) | 亥(近世)四月廿二日 | 越河町問屋場・圓吉 | 藁川町御問屋様 | 状 | |
| W6 | 8 | 1 | 14 | | 覚(半林散五つ代銭九百文など乗代金メ一貫五百文勘定につき) | (近世・年未詳)二月十三日 | 伊沢屋順吉 | 渡邊屋様 | 状 | |
| W6 | 8 | 1 | 15 | | 覚(古風合羽仕立代銭八百文など勘定につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 | 8 | 1 | 16 | | 覚(羽織など代金勘定につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 | 8 | 1 | 17 | | 覚(諸紙代金三朱勘定につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 | 8 | 1 | 18 | | 覚(女わた人など諸色代金勘定につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 | 8 | 1 | 19 | | 覚(給など諸色代銭メ貳貫九百五拾文勘定につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 | 8 | 1 | 20 | | 注文書(紙・布・薄羽織地五拾反などにつき) | (近世・年未詳)正月十一日 | 奈良屋作兵衛、長三郎 | 渡辺屋儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 8 | 1 | 21 | | 覚(竹六島細取合銀五百四匁など諸色代銀勘定につき) | (近世・年未詳)四月十五日 | 新宅儀兵衛 | 御本家・豊吉様 | 状 | |
| W6 | 8 | 1 | 22 | | (覚、中伝・七十九匁貳歩余など商人名・金額書上) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | 前欠カ |
| W6 | 8 | 1 | 23 | | 覚(金貳十八匁貳分壹朱借用につき) | 亥(近世)正月十一日 | 佐野屋久右衛門、直兵衛 | 渡辺屋儀藏様、豊吉様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 | 8 | 1 | 24 | | 覚(金壹両受取につき) | 戊(近世)九月十八日 | | <ヤ三>御店様 | 状 | |
| | | | | | | | (印、東都<ヤ三>現金・堀留二丁目・唐弓弦・さめがいや忠兵衛) | | | |
| W6 | 8 | 1 | 25 | | (書状、代銭壹百文相渡し願い、上げにつき) | (近世・年未詳)四月廿一日 | ミヤ川(印) | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 8 | 1 | 26 | | 覚(貳十七・十貳反など反物代金勘定につき) | 亥(近世)三月廿五日 | 中屋伝右衛門(印、北越・巻町・中屋) | 渡辺屋甚藏様 | 状 | |
| W6 | 8 | 1 | 27 | | 覚(上紺二反代銀貳百拾匁など勘定相済につき) | (近世・年未詳)三月廿四日 | 沢沼七右衛門 | 渡辺屋甚藏様 | 状 | |
| W6 | 8 | 1 | 28 | | 覚(万金丹代銭百貳拾文など乗代銭書上) | 亥(近世)正月十九日 | 城前屋忠二 | 渡辺儀藏様 | 状 | |
| W6 | 8 | 1 | 29 | | 覚(銀三匁五分など金銭書上) | (近世・年未詳)三月七日 | 新町・才藤万治郎(印) | 中町・渡部甚藏様 | 状 | |
| W6 | 8 | 1 | 30 | | (覚、金壹両壹分・四拾貳文など金銭書上) | (近世・年未詳)二月七日 | 箱月丈助(印) | 上 | 状 | |
| W6 | 8 | 1 | 31 | | 覚(吉田屋・百人拾六匁六分余など商人名・金額勘定につき) | (近世・年未詳)五月九日 | (印、山形・十日町・吉田屋) | 渡部屋甚藏様 | 状 | |
| W6 | 8 | 1 | 32 | | 送り書(品物送付のため改め、販売依頼につき) | (近世・年未詳)二月五日 | 吉田屋吉兵衛 | 渡辺屋甚藏様 | 状 | |
| W6 | 8 | 1 | 33 | | 覚(五拾壹匁一斗一升など書上) | (近世・年未詳)十二月 | 佐藤茂林大 | 渡部甚藏様 | 状 | |
| W6 | 8 | 1 | 34 | | 覚(銀貳百三匁四分受取につき) | (近世・年未詳)八月十一日 | 吉田屋吉兵衛 | 渡辺屋甚藏様 | 状 | |
| W6 | 8 | 1 | 35 | | 覚(本状持参者に金銭御渡し願いにつき) | (近世・年未詳)四月二日 | 齋川問屋(印、刈田郡・才川町・問屋) | | 状 | |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|------|----|----|----|----|-----------------------------------|----------------|------------------|---------------------------|----|------------------------|
| W6 8 | 1 | 36 | | | (覚、薄地片衣付地など諸色直段書上) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 8 | 1 | 37 | | | 覚(代金勘定につき) | 亥(近世)七月 | 菊池屋駒吉 | 御店様 | 状 | |
| W6 8 | 1 | 38 | | | 覚(四わり六〇・百丁代金巻切勘定につき) | (近世・年月未詳)七月 | 菊池や新吉 | 〇御店様 | 状 | |
| W6 8 | 1 | 39 | | | 送状事(近江屋佐吉持にて〇丈巻式簡) | (近世・年月未詳)四月十日 | 佐野屋久右衛門、直兵衛(印) | 白石・渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 8 | 1 | 40 | | | (覚、阿正十五反・五十九反入など書上) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 8 | 1 | 41 | | | 送り状之事(〇巻包式簡) | (近世・年月未詳)五月八日 | 長谷川次郎吉(印、大傳馬一) | 奥州越河・村上武右衛門殿、同白石・渡辺屋儀藏殿 | 状 | 付箋あり |
| W6 8 | 1 | 42 | | | 送り状之事(〇疏久包式十簡) | (近世・年月未詳)二月十九日 | 長谷川次郎吉 | 奥州越河・村上武右衛門殿、同白石・渡辺屋儀藏殿 | 状 | |
| W6 8 | 1 | 43 | | | 送り状之事(巻包巻固<マツ>) | (近世・年月未詳)七月廿一日 | 長谷川次郎吉(印、大傳馬一) | 奥州越河・村上武右衛門殿、同白石・渡辺屋儀藏殿 | 状 | 破損あり |
| W6 8 | 1 | 44 | | | 送り状之事(〇巻包式簡) | (近世・年月未詳)四月十一日 | 江戸・川喜田久大夫(印) | 奥州越河・中目屋武右衛門殿、同所白石・渡邊屋儀藏殿 | 状 | |
| W6 8 | 2 | 1 | | | (書状、メ金五拾三両三歩・式厘勘定願いにつき) | 寅(近世)六月 | 吉井屋兵右衛門(印)(ほか2名) | 渡邊儀藏様、御店御衆中様 | 状 | こより・付箋共 |
| W6 8 | 2 | 2 | | | (書状、〇印様御注文の豊四反代銀二百三拾匁など紙類取り揃えにつき) | (近世・年月未詳)四月 | 吉井屋兵右衛門 | 伊勢屋金之助様 | 状 | |
| W6 8 | 2 | 3 | | | 覚(手綱四反など諸取引御入帳願いにつき) | (近世・年月未詳)六月六日 | 吉井屋兵右衛門 | 渡部義藏様 | 状 | |
| W6 8 | 2 | 4 | | | 御注文覚(伊印・百式拾八両分など商品取り揃え相送りにつき) | (近世・年月未詳)四月十二日 | 吉井屋兵右衛門(印)(ほか2名) | 奥州南部・福田屋金三郎様、御店々衆中様 | 状 | |
| W6 8 | 2 | 5 | | | 覚(銀三貫四百八十三匁七分取引につき) | 寅(近世)ノ五月廿四日 | 中屋伝右衛門 | 白石・渡邊儀藏様 | 状 | |
| W6 8 | 2 | 6 | | | 覚(改印三反など取引につき) | 寅(近世)五月九日 | 中屋傳右衛門 | 渡邊儀藏様 | 状 | |
| W6 8 | 2 | 7 | | | 覚(紙取引十七番・三十五番、子印三反など諸取引につき) | 寅(近世)四月十五日 | 中屋傳右衛門(印) | 渡邊儀藏様 | 状 | |
| W6 8 | 2 | 8 | | | 覚(北門十三反・神奈川晒十反など諸取引につき) | 寅(近世)ノ五月九日 | 中屋伝右衛門 | 〇様 | 状 | |
| W6 8 | 2 | 9 | | | 覚(式色形・十反など紙取引銀九百〇三包内取書上につき) | 寅(近世)正月廿五日 | 中傳 | 〇様 | 状 | |
| W6 8 | 3 | 1 | | | 覚(銀八百九拾四匁五分など勘定につき) | (近世・年月未詳)五月十八日 | 会店 | 〇御草店様 | 状 | こより共 |
| W6 8 | 3 | 2 | | | 覚(メ金五百九拾兩など金銭取り含み願いにつき) | 乙丑(慶応元年)五月六日 | 長谷川太郎兵衛(印) | 渡邊儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 8 | 3 | 3 | | | 覚(金百廿六兩・三百五十七匁勘定につき) | (近世・年月未詳)五月八日 | 三浦屋権四郎(印) | 渡辺儀藏様(ほか2名) | 状 | |
| W6 8 | 3 | 4 | | | 覚(金三兩など売り上げ代金受取につき) | (近世・年月未詳)四月七日 | 松屋又衛 | 菊八様 | 状 | |
| W6 8 | 3 | 5 | | | 覚(源七受取代金五拾匁引合願いにつき) | 丑(慶応元年)二月三日 | 三浦屋権四郎(印) | 渡辺儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 8 | 3 | 6 | | | 送り書(大巾など長尺書上) | 子(元治元年)八月廿五日 | よし田や吉兵衛 | 渡邊屋甚藏様 | 状 | |
| W6 8 | 3 | 7 | | | 覚(金六百貳兩受取につき) | 子(元治元年)十六日 | 吉田屋吉兵衛 | 渡邊屋甚藏様 | 状 | |
| W6 8 | 3 | 8 | | | 覚(錢壹貫貳百三拾文書上) | 丑(慶応元年)二月十日 | 鈴木屋左吉 | 渡邊屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 8 | 3 | 9 | | | 覚(白木綿廿八枚代銀七百八匁四分などメ金六兩余勘定につき) | 巳(明治2年)四月七日 | 三浦とみ | 渡辺儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 8 | 3 | 10 | | | 覚(傳藏より金貳貳分請取のため御渡し願いにつき) | 丑(慶応元年)二月七日 | 鈴木屋幸吉 | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 8 | 3 | 11 | | | 覚(金九百兩書上) | 丑(慶応元年)二月十五日 | 会店 | 〇御草店様 | 状 | |
| W6 8 | 4 | 1 | | | (書状、御注文品へ折り合いつかず誠に残念につき) | (近世・年月未詳)九月廿一日 | さのや久右衛門、直厚 | 渡辺屋義藏様、御店中様 | 状 | こより共、なかに一紙あり、端裏に〇廿七とあり |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-----|----|----|----|----|--|----------------|-----------------------------|----------------------|----|--------------|
| W6 | 8 | 4 | 2 | | (書状、此度秋中夕追々御手合いにつき) | (近世・年未詳)十二月十七日 | さのや久右衛門、直厚 | 渡辺屋儀藏様、豊七様 | 状 | 端裏に「〇廿七」とあり |
| W6 | 8 | 4 | 3 | | (書状、紙など諸品高騰のため紙・羽織など何程に出来相成候儀何とも申しかねにつき) | (近世・年未詳)九月廿一日 | 山屋作兵衛 | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 8 | 4 | 4 | | (書状、兼ねてご注文のところ当年品不足のため延引申し訳なくにつき) | (近世・年未詳)十月廿五日 | 長谷川吉郎治(印) | 渡辺儀藏様、御店中様 | 状 | 端裏に「儀藏拜」とあり |
| W6 | 8 | 4 | 5 | | (書状、品もの小人衆持ち、嶋屋便にて御届けなどにつき) | (近世・年未詳)十月五日 | 川喜田久大夫(印)、文兵衛 | 渡辺屋義藏様、豊吉様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 8 | 4 | 6 | | 寛(縮・紙・布百拾疋反など書上) | (近世・年未詳)九月廿一日 | 東山屋八郎兵衛 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 8 | 4 | 7 | | (書状、此度御注文分、別紙仕切書の通り御造り申し上げにつき) | (近世・年未詳)十一月十七日 | 福田屋仁助、留吉(印) | 渡部屋儀藏様、御尊店衆中様 | 状 | |
| W6 | 8 | 4 | 8 | | (書状、目録書差し出しにつき) | (近世・年未詳)十二月朔日 | 川喜田久大夫、文次郎(印) | 渡辺屋義藏様 | 状 | |
| W6 | 8 | 4 | 9 | | (書状、先日の注文品出荷延引お詫びにつき) | (近世・年未詳)十月十一日 | さのや丹治郎、宗十郎 | 渡辺屋儀藏様、豊吉様、御尊御店中様 | 状 | |
| W6 | 8 | 4 | 10 | | (書状、長帯直段差し送り、また追々御注文下されにつき) | (近世・年未詳)九月 | さのや久右衛門 | 渡辺屋義藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 8 | 4 | 11 | | (書状、注文の品出荷、代金勘定につき) | (近世・年未詳)九月十五日 | 長谷川次郎右衛門、豊七(印) | 渡辺屋儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 8 | 4 | 12 | | (書状、注文品差し送り、金子都合次第お支払い願いににつき) | (近世・年未詳)十一月九日 | 長谷川太郎兵衛(印) | 渡辺儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 8 | 4 | 13 | | (書状、先日注文の古縮裏出来、差し送りににつき) | (近世・年未詳)十一月二日 | 吉田屋孝八 | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 8 | 4 | 14 | | (書状、別紙の通り注文、先注文分ともに出来次第仕送り御願いににつき) | (近世・年未詳)十一月廿一日 | 奈良屋作兵衛、辰三郎 | 渡辺屋儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 8 | 4 | 15 | | (書状、兼ねてからの相場直段の義、延引申し訳なく、米・塩など相場報知につき) | (近世・年未詳)十月廿五日 | 三浦屋権四郎 (<ヤ>三>店) | 渡辺儀藏様、豊吉様、御店中様(〇御印様) | 状 | 端裏に「〇様」とあり |
| W6 | 8 | 4 | 16 | | (書状、下店不調法のため御詫びなどにつき) | う(近世)七月九日 | 三浦屋権四郎 | 渡辺義藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | 端裏に「〇様」とあり |
| W6 | 8 | 4 | 17 | | (書状、先達の品物代金、此度佐藤屋源七をもって御預り申し上げにつき) | (近世・年未詳)十月廿九日 | 三浦屋権四郎(印、<ヤ>三>羽州山形・三権・金銀不用) | 渡辺義藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 8 | 4 | 18 | | (書状、先便去る十八日御注文のうち、取り合わせ御案内・諸用申し上げにつき) | (近世・年未詳)十月十一日 | 長谷川次郎吉、豊七(印、大傳馬一・金銀不用) | 渡部や儀藏様、豊吉様 | 状 | 端裏に「〇サマ」とあり |
| W6 | 8 | 4 | 19 | | (書状、此度取り合わせ荷物無事御引合、記帳成し下されたくにつき) | (近世・年未詳)九月十八日 | 長谷川次郎吉、豊七(印、大傳馬一・金銀不用) | 渡辺屋儀藏様、豊吉様 | 状 | 端裏に「〇サマ」とあり |
| W6 | 8 | 4 | 20 | | (書状、兼ねて御注文のうち漸々入荷分取り合わせ小人持ちにて引合につき) | (近世・年未詳)八月廿九日 | 長谷川次郎吉、豊七(印、大傳馬一・金銀不用) | 渡辺屋儀藏様、豊吉様 | 状 | 端裏に「〇サマ」とあり |
| W6 | 8 | 4 | 21 | | (書状、此度紐屋号弦式袋御注文、今便飛脚出し無事入手成し下されたくなどにつき) | (近世・年未詳)十一月廿五日 | 長谷川次郎吉、豊七(印、大傳馬一・金銀不用) | 渡辺屋儀藏様、豊吉様 | 状 | 端裏に「〇サマ」とあり |
| W6 | 8 | 4 | 22 | | (書状、此度惣調書別紙にて差し送り、よろしく御算用願い上げにつき) | (近世・年未詳)十一月廿四日 | 佐野屋丹兵衛(ほか2名) | 渡部屋儀藏様、御店中様 | 状 | 端裏に「渡儀サマ」とあり |
| W6 | 8 | 4 | 23 | | (書状、今便惣仕賃同封のため御引合下されにつき) | (近世・年未詳)二月二日 | 川喜田久大夫、文兵衛(印、大傳馬一・金銀不用) | 渡邊屋義藏様 | 状 | |
| W6 | 8 | 4 | 24 | | (書状、麻苧苧筒急御用ながら有り合わせ申さず、脇方より取り寄せ差上につき) | (近世・年未詳)十月廿六日 | 光白屋清藏(印) | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|------|----|----|----|----|--|----------------|---------------------------|----------------|----|---------------------|
| W6 8 | 4 | 25 | | | (書状、当中御願いの太物代金三拾両余、京屋飛脚をもって御送り、たしかに入帳仕り、下店消帳などにつき) | (近世・年未詳)七月廿五日 | 長谷川源右衛門、惣兵衛(印、<ヤ三>) | 渡辺屋義藏様、庄奈様 | 状 | 端裏に「渡義サマ」とあり |
| W6 8 | 4 | 26 | | | (書状、京屋飛脚便より金百壹両貳歩請取、および松山じま御品切などにつき) | (近世・年未詳)七月廿二日 | 長谷川次郎吉、豊七(印、大傳馬一) | 渡辺屋義藏様、豊吉様 | 状 | 端裏に「○サマ」とあり |
| W6 8 | 4 | 27 | | | (書状、御却七月十二日出の金三拾四両余御入金の件につき) | (近世・年未詳)十月八日 | 川喜田久太夫、文兵衛(印、<ビ川>大傳馬、河喜田) | 渡邊屋義藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 8 | 4 | 28 | | | (書状、当節誠ご誦品不足のため差し支えなどにつき) | (近世・年未詳)八月十六日 | さのや久右衛門 | 渡邊屋義藏様、豊七様 | 状 | 端裏に「○サマ」とあり |
| W6 8 | 4 | 29 | | | (書状、御注文の綿九寸折り合ひなく御断り、別紙直段書送付につき) | (近世・年未詳)八月廿四日 | さのや久右衛門 | 渡邊屋義藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 8 | 4 | 30 | | | (書状、兼ねて御注文のうち出来候分、此度別紙の通り出荷につき) | (近世・年未詳)八月十三日 | 佐野屋丹兵衛(ほか2名) | 渡辺屋儀藏様、豊吉様、貴店中 | 状 | 端裏に「わた儀サマ」とあり |
| W6 8 | 4 | 31 | | | (書状、注文の品出荷延引などにつき) | (近世・年未詳)十一月十八日 | 三浦屋権四郎 | 渡辺儀藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | |
| W6 8 | 4 | 32 | | | (書状、秋口御用向仰せ付けられ候品々出来につき) | (近世・年未詳)十二月朔日 | 長谷川次郎右衛門、豊七(印) | 渡辺や儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 8 | 4 | 33 | | | (書状、高直のところ夏物仕込みのため引き立て願ひにつき) | (近世・年未詳)十二月五日 | 長谷川源右衛門 | 渡部屋儀藏様(ほか3名) | 状 | |
| W6 8 | 4 | 34 | | | (書状、別紙注文書の品、目方などにつき) | (近世・年未詳)八月六日 | 川喜田久太夫(印)(ほか2名) | 渡辺屋儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 8 | 5 | 1 | | | (包紙、申年ろ丑年迄十月三日改) | (近世・年未詳)十月三日 | | | 状 | 破損あり |
| W6 8 | 5 | 2 | | | (覚、小麦四斗入四俵指上、金子借用につき) | (近世・年未詳)九月二日 | いち町・あら井屋駒次郎 | 中町・渡辺様、御店様中 | 状 | 破損あり |
| W6 8 | 5 | 3 | | | 口代(此人慥か成る仁に御座候につき) | (近世・年未詳)極月廿九日 | 小関武右衛門(印) | 渡部儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 8 | 5 | 4 | | | 覚(六斗入拾俵・五斗入六俵、運賃勘定につき) | 未(近世)ノ十一月廿五日 | 利七 | ○御店様 | 状 | |
| W6 8 | 5 | 5 | | | 覚(六斗入八俵・五斗入拾貳俵、御預り手形申上につき) | 未(近世)ノ十一月廿四日 | 英次 | ○様御店様中 | 状 | |
| W6 8 | 5 | 6 | | | (覚、此者へ品物御かし成しくだされたくにつき) | (近世・年未詳)十二月十四日 | 柳町々・渡部要藏 | 本家・渡部質店様 | 状 | 破損あり |
| W6 8 | 5 | 7 | | | (覚、質札見失い候につき) | (近世)ノ三月十八日 | 阿部豊治郎(印) | 渡辺要藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 8 | 5 | 8 | | | 覚(ちみ四十壹反など商品書上につき) | (近世・年未詳)六月廿四日 | <カ久>平兵衛 | ○御質店様(寿丸御主人様) | 状 | 破損あり |
| W6 8 | 5 | 9 | | | (書状、生糸壹貫指上申候間、金廿五両御貸付成し下されたくにつき) | (近世・年未詳)二月十二日 | | | 状 | 破損あり |
| W6 8 | 5 | 10 | | | (覚、茶袋人かたな壹本、金三歩で売り渡しにつき) | (近世・年月日未詳) | 売主・源右衛門 | 東・渡辺様 | 状 | 破損甚大 |
| W6 8 | 5 | 11 | | | 覚(ジ一腰請取につき) | (近世・年未詳)正月十三日 | 武田幸七家来柴山源右衛門(印) | 渡辺屋藤兵衛様 | 状 | 破損あり |
| W6 8 | 5 | 12 | | | 口上(金拾両ばかり借り仕置候間、品物指上候につき) | (近世・年未詳)九月十三日 | <ヤ土>印 | ○質屋様 | 状 | |
| W6 8 | 5 | 13 | | | (書状、生糸三貫五百拾壹包にて金貳拾五両御貸し下されたくにつき) | (近世・年未詳)七月二日 | 大畑屋平兵衛(<カ久>平兵衛) | 寿丸御主人様 | 状 | |
| W6 8 | 5 | 14 | 1 | | 為後日一札之事(生糸質入の手形再発行下され、私手元にて所持罷在につき) | 元治元年子ノ九月廿八日 | 右品主・鈴木新三郎(印) | 渡辺儀藏殿、御手代衆中 | 状 | W6-8-5-14-1-2まきこみ一括 |
| W6 8 | 5 | 14 | 2 | | 覚(生糸壹貫四百六十包など質入れ、金拾七両借入につき) | 子(元治元年)七月四日 | | 利兵衛殿 | 状 | |
| W6 8 | 5 | 15 | | | (書状、絹一反などおつかわしくだされたくにつき) | (近世・年月日未詳) | ほこ | おみかどの、おきみどの | 状 | |
| W6 8 | 5 | 16 | | | 口上(金子入用のため質物貳拾両計の品物指上候につき) | (近世・年未詳)五月十四日 | 平兵衛 | 質屋儀藏様 | 状 | |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|------|----|----|----|----|---|---------------|-------------------------|---------------|----|-------------------------------|
| W6 8 | 5 | 17 | | | 入記(黒袖・松山五反など織物書上につき) | 亥(近世)五月十五日 | <ヤ三>印 | | 状 | こより共、こより付箋「一、金十四両也、谷沢屋半兵衛上とあり |
| W6 8 | 5 | 18 | | | 覚(梁河袖など織物二十五書上につき) | (近世・年未詳)十月 | | | 状 | |
| W6 8 | 5 | 19 | | | (覚、薄色六十反など商品書上につき) | 戊(近世)正月五日 | | | 状 | 前欠か、帯封「戊正月五日各平三拾五両入記」共 |
| W6 8 | 5 | 20 | | | 入記覚(メ式百反分の織物商品書上につき) | 戊(近世)正月五日 | | | 状 | |
| W6 8 | 5 | 21 | | | (書状、此度の品物にて金三十五両御貸し下されたくにつき) | (近世・年未詳)正月五日 | 山万・佐兵衛 | 寿丸御主人様 | 状 | |
| W6 8 | 5 | 22 | | | 入記(足利縮五拾反・白地縮式反など商品・数量書上につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | 後欠 |
| W6 8 | 6 | 1 | | | (覚、米借用につき) | (近世・年未詳)十二月 | | 利吉殿、傳之助殿 | 状 | こより共、こより付箋「子年分最上仕切巻、丑正月改」とあり |
| W6 8 | 6 | 2 | | | 覚(借入金)の利足勘定願いにつき) | (近世・年未詳)九月朔日 | 高橋 | 渡辺屋義藏殿 | 状 | |
| W6 8 | 6 | 3 | | | (書状、からむし六丁代金勘定願いにつき) | (近世・年未詳)八月廿二日 | 菅野屋留治 | 渡部屋様 | 状 | |
| W6 8 | 6 | 4 | | | (書状、残金沓分勘定につき) | (近世・年未詳)三月廿四日 | 彦五郎 | 渡部屋藤兵衛様 | 状 | |
| W6 8 | 6 | 5 | | | 覚(御月御金三月分不足のため追々受取手形につき) | 丑(近世)四月十日 | 渡部甚藏 | 岩沢龍五郎殿 | 状 | |
| W6 8 | 6 | 6 | | | (書状、買物に対し貸金準備中につき) | (近世・年未詳)五月四日 | 慶治 | 庄松様 | 状 | |
| W6 8 | 6 | 7 | | | (覚、本紙手形と引替に金子借用につき) | (近世・年月未詳)十日 | 為三郎 | 栗吉様 | 状 | 前欠か |
| W6 8 | 6 | 8 | | | (書状、借金願い、および此者に金子御渡し下されたくにつき) | (近世・年未詳)十二月三日 | 太郎右衛門 | 甚藏殿 | 状 | W6-8-6-10と関連あり |
| W6 8 | 6 | 9 | | | (書状、手形勘定願いにつき) | (近世・年未詳)六月廿七日 | 菅野屋留治 | 渡部屋様 | 状 | |
| W6 8 | 6 | 10 | | | 生糸入記左ニ(気仙メ沓貫四百三拾三反にて御預金六拾切借受覚) | 亥(近世)ノ十二月三日 | 太郎右衛門 | 甚藏殿 | 状 | W6-8-6-8と関連あり |
| W6 8 | 6 | 11 | | | (書状、先達願い置き候髪斗目に代わり御望みの品送付致したくにつき) | (近世・年未詳)五月十九日 | 短か町・大平 | 渡邊御本店様 | 状 | |
| W6 8 | 6 | 12 | | | 覚(上衫原百帳など紙類代金拾両借用につき) | 申(万延元年)ノ四月三日 | <ヲ久> | | 状 | |
| W6 8 | 6 | 13 | | | (書状、賈人品取り戻しのため金拾両・利足沓両支払いにつき) | (近世・年月未詳)二日 | 阿子島輩治(印) | 渡部儀藏様 | 状 | |
| W6 8 | 6 | 14 | | | (書状、五斗指上候間、金五両御借用願いにつき) | 巳(安政4年)七月八日 | 下小原村・要三兵衛(印) | (本家)渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 8 | 6 | 15 | | | 借用証文之事 | 安政六年未八月十日 | 小関屋利吉(印) | 渡辺甚藏殿 | 状 | 包紙「午十月三日・小関利吉殿」共 |
| W6 8 | 6 | 16 | | | (書状、男帯地五拾疋など商品代金式拾五両手配及びかね、早春中に返信致したくにつき) | 申(万延元年)十二月卅日 | 平兵衛 | 渡辺屋儀藏様、渡辺屋佐吉様 | 状 | |
| W6 8 | 6 | 17 | | | (書状、荷六斗入七俵など商品代金拾両寄歩願い上げにつき) | (近世・年未詳)十二月朔日 | 利七 | ○御店様 | 状 | |
| W6 8 | 6 | 18 | | | (書状、六斗入拾俵など商品代金七拾両式歩を御かし渡し願いにつき) | 丑(近世)ノ十一月廿八日 | 長町・利七 | ○御店様御中 | 状 | |
| W6 8 | 6 | 19 | | | 覚(古南鍛など代金式拾五両御預り)下され候につき) | (近世・年未詳)十一月廿日 | 菅野屋留次(印、奥州白石本町<ヤヲ十>菅野屋) | 渡部屋旦那様 | 状 | |
| W6 8 | 6 | 20 | | | (書状、金廿五両御かし下されたくにつき) | (近世・年未詳)二月卅日 | 菅野屋留次(印、奥州白石本町<ヤヲ十>菅野屋) | 渡部屋旦那様、番頭様中 | 状 | なかに付郵点あり、端裏に「金式拾五両相添」とあり |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|------|----|----|----|----|---|-----------------|-----------------------------|--------------------|----|-------|
| W6 8 | 6 | 21 | | | 覚(〇式簡書上) | (近世・年未詳)九月六日 | 渡邊屋儀藏(印) | | 状 | |
| W6 8 | 6 | 22 | | | (書状、降込に相成候請賃遣わされ候願いにつき) | (近世・年未詳)九月六日 | 斎川問屋 | 貫中川二而・渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 8 | 6 | 23 | | | (書状、金五兩御拝借につき) | (近世・年未詳)正月六日 | きくちや林之助 | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 8 | 6 | 24 | | | (書状、旧冬中御預り仕候古金拾兩につき) | 申(万延元年)ノ正月廿二日 | 十町・卓次 | 渡部義藏様、御店様中 | 状 | |
| W6 8 | 6 | 25 | | | 覚(黒相中揃・坪なし・六拾人・十式本口など書上) | 辰(安政3年)十二月廿六日 | | | 状 | |
| W6 8 | 6 | 26 | | | 覚(金六切借用につき) | 寅(安政元年)ノ四月十一日 | 小関慶治(印) | 渡部庄松様 | 状 | |
| W6 8 | 6 | 27 | | | 口上(金壹兩御渡し願いにつき) | (近世・年月日未詳) | 中原より・常治 | 白石中町二而・甚藏様 | 状 | |
| W6 8 | 6 | 28 | | | (書状、手配品届き申さず御待ち願いにつき) | (近世・年月日未詳)八月廿日 | | | 状 | |
| W6 8 | 6 | 29 | | | 口上(金貳拾切御立願いにつき) | (近世・年月未詳)正月六日 | 大町・榎左衛門 | 中町・渡邊甚藏様 | 状 | |
| W6 8 | 6 | 30 | | | 覚(金貳歩指上につき) | (近世・年月未詳)四月六日 | 佐藤屋常之助 | 庄松様 | 状 | |
| W6 8 | 6 | 31 | | | (覚、五巻三など数字書上) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 8 | 6 | 32 | | | 口上(指紙御送り願いにつき) | (近世・年月未詳)六月五日 | 鳥進 | 〇御店様 | 状 | |
| W6 8 | 6 | 33 | | | 口上(金御渡し願いにつき) | (近世・年月未詳)八月九日 | 小原より・常治 | 中町二而・甚藏様、本町二而・権兵衛様 | 状 | |
| W6 8 | 6 | 34 | | | 口上(大豆拾貳俵御願いにつき) | (近世・年月未詳)十一月廿二日 | 三治(印、白石ノ斎藤屋、新町) | 渡部様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 1 | | | 覚(銀壹貫八百文など受取につき) | (近世・年月未詳)六月十八日 | 伊沢屋順吉 | 渡辺屋様 | 状 | こより共 |
| W6 8 | 7 | 2 | | | 覚(忠兵衛殿三ツ割壹貫六十七文など、銀拾八匁・錢貳十五貫五百十七文勘定につき) | (近世・年月未詳)正月二日 | 田町・紙惣 | 渡義様、次平様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 3 | | | 覚(売上金拾四兩貳歩式朱請取につき) | (近世・年月未詳)四月十一日 | 南田町・後藤屋長吉(印) | 渡辺屋儀藏様、同治兵衛様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 4 | | | 覚(金拾兩、鶴見屋十右衛門借用につき) | (近世・年月未詳)四月廿八日 | 金次郎(印、<ヤ>〇>仙台・白石・長町・大和屋) | 渡辺屋源兵衛様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 5 | | | 覚(から紙判拾四匁など、銀八百廿五匁・錢貳貫文受取につき) | 寅(近世)ノ十一月九日 | 小西屋久兵衛(印) | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 6 | | | 覚(売上金廿八兩・八拾三匁受取につき) | (近世・年月未詳)十一月十日 | 小谷屋拾兵衛 | 高橋屋甚兵衛様、御店様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 7 | | | 覚(売上金五兩貳分式朱受取につき) | (近世・年月未詳)十月廿日 | 奥畑屋忠吉(印) | 旦那様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 8 | | | 覚(金壹分式朱取り計らいにつき) | (近世・年月未詳)正月十日 | 奥七平(印、<ヲ>名>奥州・仙台・國分町・奥山) | 渡義様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 9 | | | 覚(御見却壹反代錢貳貫九百文など売上金受取につき) | (近世・年月未詳)十一月十日 | 佐野屋長兵衛(印) | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 10 | | | 覚(御障子拾貳代銀三拾七匁五分など取引につき) | (近世・年月未詳)十月廿五日 | 小西屋久兵衛 | 渡義様、御店中様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 11 | | | 覚(売上金貳兩貳分・錢百六十七文請取につき) | (近世・年月未詳)十一月二日 | 加藤屋正兵衛(印、仙臺・大町四丁目・加藤屋) | 上 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 12 | | | 覚(宇田屋百枚代など商品代金、貳兩壹分余勘定につき) | (近世・年月未詳)十一月六日 | 紙屋清治(印、<ヲ>花咲>仙台・大町五丁目・かみや) | 渡邊屋儀藏様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 13 | | | 覚(本三の三帖代銀拾三匁五分など書上) | (近世・年月未詳)十月廿七日 | 大石屋太吉 | 渡義様、御店中様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 14 | | | 覚(江戸桜百六十八本代銀八匁受取につき) | (近世・年月未詳)十一月十日 | 大和屋兵助(印、仙台・大町五丁目・大和屋) | 白石ノ正松様、御店様中 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 15 | | | 覚(上々切はり五包代など諸紙代銀、百三十四匁勘定につき) | 寅(近世)ノ十一月朔日 | 小西屋久兵衛(印、仙台・大町四丁目・小西屋久兵衛) | 渡部屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 16 | | | 覚(利兵衛式十把代など諸色代錢、貳十一貫百四十三文受取につき) | (近世・年月未詳)十一月二日 | 河内屋源治(印、<ヲ>ヤ川>仙台・大町四丁目・河内屋) | 渡部屋儀藏様 | 状 | |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|------|----|----|----|----|-----------------------------------|----------------|------------------------|----------------|----|-------|
| W6 8 | 7 | 17 | | | 覚(中綿・糸綿代など諸色代金百八拾六切・銭六貫七拾六文請取につき) | (近世・年未詳)十一月二日 | 白鳥屋茂兵衛(印) | 渡邊屋義藏様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 18 | | | 覚(代金七拾九切八分余勘定につき) | (近世・年未詳)十一月朔日 | 白石屋庄藏(印) | 渡邊屋義藏様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 19 | | | 覚(八雲俵舩足代など諸色代金三両壹歩式未請取につき) | (近世・年未詳)十一月二日 | 米澤屋(印、<ヤカヲ>仙台・国分町・米澤屋) | 渡邊屋義藏様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 20 | | | 覚(皮羽織壹反など商品・数量書上) | (近世・年未詳)二月 | 主人 | ○店へ | 状 | |
| W6 8 | 7 | 21 | | | 覚(式三から紙割十帖御改め御入帳下されにつき) | (近世・年未詳)十二月三日 | 大石屋太吉 | 渡儀様、御店中様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 22 | | | 覚(切元結銀刀五包代銀三十四匁勘定につき) | トラ(近世)十月十一日 | 小西久兵衛 | 渡部屋義藏様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 23 | | | 覚(絞表紙五拾枚書上) | (近世・年未詳)九月廿二日 | 大いしや多吉 | ○様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 24 | | | 覚(地紙式拾把代銀廿四匁など書上) | (近世・年未詳)九月六日 | 佐平(印、<ヤカ>仙台・大町三丁目) | ○様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 25 | | | 覚(染取五反代銀百五十匁受取につき) | (近世・年未詳)九月二十二日 | 河内屋源治 | 忠兵衛様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 26 | | | 覚(亀ノ子・きんちやくなど商品書上) | (近世・年未詳)十二月十六日 | 柴二郎 | 甚藏殿 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 27 | | | 仕切(組たび十・きんちやく五など商品代金メ六両式歩式米・百七文) | (近世・年未詳)十二月十五日 | 米澤屋六兵衛(印) | 渡邊屋義藏様、御店中様 | 状 | 前欠 |
| W6 8 | 7 | 28 | | | 覚(調劑九代銀拾八匁七分五リ受取につき) | (近世・年未詳)九月晦日 | 渡邊善三郎 | 渡邊儀藏様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 29 | | | 覚(小下壹貫七百目代八十五本御入帳願い上げにつき) | (近世・年未詳)二月廿八日 | <ヤカ> | ○様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 30 | | | 覚(朱雀國十五箱・同木つみ十つ代金式兩余勘定につき) | (近世・年未詳)三月廿四日 | 奈良屋八兵衛 | 上 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 31 | | | 覚(銭メ九貫七百文など書上) | 卯(近世)三月廿八日 | 中屋惣兵衛(印) | 忠兵衛様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 32 | | | 覚(荷造り繩蓮代錢五百文など書上) | う(近世)ノ三月廿二日 | 増田町・佐藤屋長次(印) | 渡辺儀藏様、御店様中 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 33 | | | 覚(持明院・三貫文など代錢書上) | (近世・年未詳)五月六日 | 石井屋善吉 | 渡辺屋様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 34 | | | 覚(足袋十二足代金十四兩余など請取につき) | (近世・年未詳)十二月廿二日 | 相沢屋六之丞 | 渡部屋儀助様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 35 | | | 覚(白小判十五帖代銀八百二拾目など商品代金四拾壹兩余勘定につき) | (近世・年未詳)十二月廿日 | 渡辺源三郎 | 渡儀様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 36 | | | 覚(高紙刺三十九帖代錢貳貫九百七十目指上、入手下されにつき) | (近世・年未詳)十二月廿日 | 紙屋清治 | 渡儀様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 37 | | | 覚(御完金式兩三朱請取につき) | (近世・年未詳)五月十三日 | 田町・渡邊屋嘉藏 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 38 | | | 覚(五六・三張代金式拾五兩式未請取につき) | (近世・年未詳)五月十九日 | さわ口安次(印、<ヤカ>澤口) | 白石ノ儀兵衛様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 39 | | | 覚(六つかん付六八・五張など諸色代金式拾三兩余請取につき) | (近世・年未詳)六月十日 | 伏見屋長兵衛 | 渡邊屋儀藏様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 40 | | | 覚(紺地代など諸色代銀メ九十六匁七分五リ受取につき) | (近世・年未詳)六月九日 | い勢屋店(印、仙台・大町四丁目) | 渡邊屋儀藏様、治兵衛様 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 41 | | | 覚(<ヤカ>十印売上代錢五貫八百文請取につき) | う(近世)五月十七日 | 国分町・中村屋新七(印、仙台・国分町) | 上 | 状 | |
| W6 8 | 7 | 42 | | | 覚(上々細み布五枚代錢拾三貫五百文受取につき) | (近世・年未詳)五月十六日 | 沢口安次(印、<ヤカ>仙台・河原町・澤口) | 上 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 1 | | | 覚(下寄書状代金壹朱など代物相添え願い上げにつき) | (近世・年未詳)六月廿七日 | 小笠原清見 | 白石町・渡辺屋様、御取次様中 | 状 | こより共 |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|------|----|----|----|----|--|----------------|-------------------------------|------------------|----|---------------------|
| W6 8 | 8 | 2 | | | 覚(もくろく式状御貸し渡し下されたらにつき) | (近世・年未詳)七月廿日 | 亘理・内 | 渡辺屋御店 | 状 | 後欠 |
| W6 8 | 8 | 3 | | | 覚(上々杉原巻など商品代金莖両式朱・百六十九文取引につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 8 | 8 | 4 | | | 覚(塩巻俵御渡し下されたらにつき) | (近世・年未詳)十一月廿一日 | 番丁・小嶋 | 本家・渡部様 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 5 | | | (書状、佐の丹より紙面着仕候につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | 後欠 |
| W6 8 | 8 | 6 | 1 | | (断簡、口上) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 8 | 8 | 6 | 2 | | (書状、別紙の通り申し参り、今夕都合相渡し申さずにつき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | 後欠 |
| W6 8 | 8 | 7 | | | 覚(金莖両三分式朱勘定につき) | (近世・年未詳)七月廿五日 | 最上屋平内 | 渡部甚藏様 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 8 | | | (書状、出張の節、スポンジタ御送り下され御札につき) | (近世・年月日未詳) | 飯淵 | | 状 | 前後欠、破損あり |
| W6 8 | 8 | 9 | | | (書状、御周旋をもって拝借の三国志、誠に面白く御札につき) | (近世・年未詳)八月八日 | 一問太 | 甚藏様 | 状 | 破損あり、端裏に「三国志添上候」とあり |
| W6 8 | 8 | 10 | | | (覚、鼠半紙拾帖など此者へ御渡し下されたらにつき) | 未(近世)六月廿八日 | 円田村・源治(印) | 白石町・渡部屋儀藏様、御店様中 | 状 | 前欠カ、破損あり |
| W6 8 | 8 | 11 | | | (書状、店拜用の分、いかほど有るか、まず金式拾切指上などにつき) | 未(近世)ノ七月十一日 | 日下村・我妻善五郎 | 白石中町二而・渡辺儀藏様 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 12 | | | (覚、金九切受取下されにつき) | (近世・年未詳)七月七日 | 義七郎 | 義藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 8 | 8 | 13 | | | (書状、御願い置きの羽織、此者へ御渡し下されたらにつき) | (近世・年未詳)七月十五日 | 斎川カ・保科物兵衛(印)、 カ五ノ磐城・斎川・保科屋 | 白石中町二而・渡辺屋甚藏様 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 14 | | | 覚(さつてかた三反御遣し下されたらにつき) | (近世・年未詳)七月五日 | つ、み | 義藏様 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 15 | | | 覚(次下番五帖御貸し願いにつき) | (近世・年未詳)七月六日 | 最上屋平内 | ○甚藏様 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 16 | | | (断簡、薄色・三尺など) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 8 | 8 | 17 | | | (断簡、白紙) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 8 | 8 | 18 | | | (書状断簡、残暑甚敷御座候処) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | 後欠 |
| W6 8 | 8 | 19 | | | 覚(重箱ふた・丁ちん箱など諸色代金莖両・五貫百文勘定につき) | (近世・年未詳)五月十四日 | 忠藏 | 渡部様 | 状 | 破損あり |
| W6 8 | 8 | 20 | | | 人日記(黒絹巻反など呉服商品・数量書上) | (近世・年未詳)四月廿三日 | <ヤサ>店 | 渡辺屋殿 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 21 | | | 覚(小倉五寸代銭拾文など書上) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 8 | 8 | 22 | | | (書状、四月廿日残金の元利御勘定などにつき) | (近世・年未詳)六月廿九日 | 慶吉 | 渡辺屋半兵衛様 | 状 | 前欠 |
| W6 8 | 8 | 23 | | | (覚、金六拾両などメ千百式十九両勘定につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | 前後欠 |
| W6 8 | 8 | 24 | | | (書状、先日御払い下され候品物、不向きの子の様子のため御取り改め願いにつき) | (近世・年未詳)七月四日 | 上小原・大隈忠治郎 | 白石中町ノ渡邊屋儀藏様 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 25 | | | 覚(素もめん・御納戸中品物・直段書上) | (近世・年未詳)八月十日 | 川井 | 義藏様 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 26 | | | 覚(十九日拾式切分、嶋四反など商品数量・金額書上) | 未(近世)の六月廿六日 | 渡部屋儀藏 | 忠治郎様 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 27 | | | 覚(金三両式分巻朱など書上) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 8 | 8 | 28 | | | (書状、御用向の細沢山仰せ付けられ御札につき) | (近世・年未詳)六月廿五日 | 渡辺屋儀藏 | 斎藤屋伝六様、伝兵衛様、御店中様 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 29 | | | (書状、取調書、正の表をもって申し上げ、御勘弁願いにつき) | (近世・年月日未詳) | 上西茂吉 | 渡部儀藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 30 | | | (書状、十六日晚に帰宅するまで商品御貸し下されたらにつき) | (近世・年未詳)九月十一日 | 山崎右八郎 | 御本家・渡部御店様 | 状 | |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|------|----|----|----|----|----------------------------------|----------------|----------------------|-------------|----|----------|
| W6 8 | 8 | 31 | | | おほへ(杉原三帖など此者へ御貸し下されたくにつき) | (近世・年未詳)八月十二日 | 巨理・助原忘内 | 渡部屋御店 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 32 | | | おほへ(小袖沓ツ・うす糸切五尺寸など代金、此者より御払いにつき) | (近世・年月日未詳) | | 本家渡邊御手代中 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 33 | | | おほへ(金沓両代米式斗五升にて金五両式分売買につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 8 | 8 | 34 | | | 覚(金三分三朱代錢五百文、かたや沓反など勘定につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | 後欠か |
| W6 8 | 8 | 35 | | | おほへ所(永四貫百拾文・青沓貫三百七拾文など勘定につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 8 | 8 | 36 | | | (絵図、家屋描写) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 8 | 8 | 37 | | | (書状、繁多のなか御気の毒に御座候得共、此渡し御願み申すにつき) | (近世・年未詳)八月四日 | 林 | 渡辺屋御みせ中当用 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 38 | | | 覚(メ金沓分三朱勘定につき) | 已(近世)ノ十月八日 | | おきく殿 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 39 | | | 覚(薄色三反代銀百三拾五匁など御受けにつき) | (近世・年未詳)八月四日 | 寿丸店 | 宮留様 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 40 | | | (書状、旦那様いまだ帰り下りに相成申さずにつき) | (近世・年未詳)七月十日 | 本町より・午之助殿 | 渡辺屋内二而・半兵衛様 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 41 | | | 覚(金四両三分など金銭書上) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 8 | 8 | 42 | | | (書状、一統御寄合相成候につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | 後欠 |
| W6 8 | 8 | 43 | | | 覚(金式朱など金銭書上) | 未(近世)の七月十八日 | 渡邊屋儀蔵 | 兵吉様 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 44 | | | 覚(ばだこけだしなど書上) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 8 | 8 | 45 | | | 覚(細龍幽沓丈六尺売上金三分沓朱請取につき) | (近世・年未詳)八月廿二日 | 渡辺屋儀蔵(印) | 上様 | 状 | 紙背に書状覚あり |
| W6 8 | 8 | 46 | | | 覚(不多紙沓反など代金入帳につき) | (近世・年未詳)九月二日 | 宇傳兵衛 | 本家・渡辺様 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 47 | | | (書状断簡、何角用向) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 8 | 8 | 48 | | | 覚(金一両余勘定につき) | (近世・年未詳)八月七日 | | | 状 | |
| W6 8 | 8 | 49 | | | 覚(金沓両式分朱勘定につき) | (近世・年未詳)八月十五日 | 渡儀 | 上 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 50 | | | おほへ(紅玉水引沓把など商品書上) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 8 | 8 | 51 | | | (書状、堅板一枚御渡し下されにつき) | (近世・年未詳)八月廿一日 | 一条 | 渡部様 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 52 | | | 覚(紙五帖半紙に取替御渡しにつき) | (近世・年未詳)十二月二日 | 清水小路・一間太 | 中町・甚蔵様 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 53 | | | (覚、品物借用願いにつき) | (近世・年未詳)六月廿九日 | 巨理・潔志や | | 状 | |
| W6 8 | 8 | 54 | | | 覚(品物代金勘定につき) | (近世・年未詳)正月十八日 | 寿丸 | 隣ノ亀吉様 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 55 | | | 覚(半紙など四品都合依頼につき) | (近世・年未詳)九月十二日 | <ヤ>上> | ○様 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 56 | | | (覚、たばこ一箱代金支払いにつき) | (近世・年未詳)七月八日 | 平内 | 御旦那様 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 57 | | | 覚(金沓切など米金支払いにつき) | 未(近世・年未詳)六月廿八日 | 丸森町 | 白石町・渡部様 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 58 | | | 覚(上々杉原沓帖など商品書上) | (近世・年月日未詳) | つゝみ | 白石・渡辺屋様 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 59 | | | 覚(代金請取につき) | (近世・年未詳)七月朔日 | 渡義(印、奥州・白石・中町・渡部屋) | 上 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 60 | | | 覚(紙類追加依頼につき) | (近世・年未詳)七月廿日 | 慶吉 | 渡辺屋甚蔵様 | 状 | |
| W6 8 | 8 | 61 | | | 覚(料紙・旗半紙代金勘定につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 8 | 8 | 62 | | | 覚(代金書上) | (近世・年未詳)三月廿五日 | | | 状 | |
| W6 8 | 8 | 63 | | | 覚(金子引替証文につき) | 未(近世)の八月廿日 | 渡辺儀蔵(印、奥州・白石・中町・渡部屋) | 上 | 状 | |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|------|----|----|----|----|---|---------------|-------------------------------|-----------------|----|------------|
| W6 8 | 8 | 64 | | | 覚(商品代金二分式朱請取につき) | 未(近世)八月廿日 | 渡辺屋儀藏 | 上 | 状 | |
| W6 8 | 9 | 1 | | | 覚(木印紺十文廿足など指し送りにつき) | (元治元年)十一月廿九日 | 鈴木屋幸吉(印) | 渡辺屋儀藏様 | 状 | こより共 |
| W6 8 | 9 | 2 | | | 覚(糸綿代金八両・錢七百文など受取につき) | (元治元年)十一月七日 | わたや龍二(印・山形・片町三・越後屋) | 栄八様 | 状 | |
| W6 8 | 9 | 3 | | | 覚(無印式百四拾三匁・薄色十反など差し上げにつき) | 子(元治元年)十一月十七日 | <ヤ三>店 | ○御主人様 | 状 | |
| W6 8 | 9 | 4 | | | 覚(白式反代銀拾貳匁引合につき) | 子(元治元年)十月二日 | <ヤ三>店 | ○<ヤ三>御印様 | 状 | |
| W6 8 | 9 | 5 | | | 覚(薄色十反・銀貳百貳拾七匁など引合につき) | (元治元年)十月二日 | 三浦屋権四郎 | 渡辺様 | 状 | |
| W6 8 | 9 | 6 | | | 覚(銀百四拾七匁・黒五反など引合につき) | (元治元年)九月廿五日 | 長谷川吉郎治(印・羽州・最上山形・十日町・長谷川吉郎治) | 渡辺儀藏様・豊吉様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 8 | 9 | 7 | | | 覚(松山結城貳拾反代銀八百匁など引合につき) | 元治元年甲子八月廿六日 | 長谷川吉郎治(印・羽州・最上山形・十日町・長谷川吉郎治) | 渡辺儀藏様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 8 | 9 | 8 | | | 覚(結城嶋拾反代銀貳百九拾匁など引合につき) | 子(元治元年)八月廿日 | 三浦屋権四郎(印・<ヤ三>羽州山形・三権・金銀不用) | 渡辺儀藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | |
| W6 8 | 9 | 9 | | | 覚(薄色拾六反代銀三百貳拾匁など引合につき) | (元治元年)九月十六日 | 丸角 | 御本家様 | 状 | |
| W6 8 | 9 | 10 | | | (書状・銀貳百拾匁<カサカサ>内など御用向につき) | (元治元年)八月廿九日 | 三浦屋権四郎 | 渡辺儀藏様、御店中様 | 状 | 端裏に「○様」とあり |
| W6 8 | 9 | 11 | | | 覚(たび・股引・脚半・中綿代など諸色代金六兩三匁式朱・錢壹貫百四拾三文勘定につき) | (元治元年)九月 | 白万 | 寿丸・御店様 | 状 | 破損あり |
| W6 8 | 9 | 12 | | | 覚(秩薄敷・小袖綿代など諸色代金參拾兩請取につき) | 子(元治元年)八月十四日 | 長谷川吉郎治 | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | 破損あり |
| W6 8 | 9 | 13 | | | 覚(○御印残金・<ヤ三>御印代金貳拾四兩壹分式朱ト銀六匁式分九リ受取につき) | 子(元治元年)八月廿日 | 長谷川吉郎治(印・<カサカサ>長谷川) | 渡部儀藏様、渡部佐吉様 | 状 | |
| W6 8 | 9 | 14 | | | 覚(代銀三貫九百七拾匁六分三リ受取につき) | 子(元治元年)七月五日 | 三浦屋権四郎(印・<ヤ三>羽州・山形) | 渡辺儀兵衛様、豊吉様、御店中様 | 状 | |
| W6 8 | 9 | 15 | | | 覚(代金六拾壹兩奈不足、うち五拾兩請取につき) | 子(元治元年)七月 | 長谷川吉郎治(印・<カサカサ>長谷川) | 渡辺儀兵衛様、御店中様 | 状 | 破損あり |
| W6 8 | 9 | 16 | | | 覚(晒帳代など諸色代金拾五兩三分余勘定につき) | 癸亥(文久3年)十一月吉日 | 長谷川吉郎治(印・<カサカサ>羽州・山形・十日町・長谷川) | 渡辺儀藏様、御店中様 | 状 | 破損あり |
| W6 8 | 9 | 17 | | | 仕切書(播州結城・小倉袴地など惣メ銀六貫四十四匁七分) | 亥(文久3年)八月 | 長谷川吉郎治(印・<カサカサ>長谷川) | 渡辺儀藏様、庄奈様 | 冊 | |
| W6 8 | 9 | 18 | 1 | | 仕切書(古手などメ銀貳貫百廿三匁) | 亥(文久3年)八月 | 長谷川吉郎次 | 渡邊儀藏様 | 状 | |
| W6 8 | 9 | 18 | 2 | | 覚(キ無地など含メ銀壹貫八拾貳匁五分勘定につき) | (文久3年)十一月八日 | 長谷川吉郎治(印・<カサカサ>長谷川) | 渡邊屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 8 | 9 | 18 | 3 | | 仕切書(中丸古手・中布段など惣合メ銀貳貫六百九十六匁九分四リ) | 亥(文久3年)十月廿四日 | 長谷川吉郎治(印・<カサカサ>長谷川) | 渡邊屋儀藏様、御店衆中様 | 冊 | |
| W6 8 | 10 | 1 | | | 仕切覚(雁皮紙・小倉帯地・琉久などメ銀拾九貫百六拾七匁七分七リ) | 丑(近世)九月十三日 | 長谷川吉郎治(印・<カサカサ>羽州・最上山形・十日町) | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 冊 | |
| W6 8 | 10 | 2 | | | 覚(残き代銀十五匁五分三リ・御座綿代銀百五匁など書上) | 丑(近世)九月十三日 | 三浦屋権四郎(印・<ヤ三>羽州山形・三権・金銀不用) | 渡辺儀藏様、豊吉様 | 冊 | |
| W6 8 | 10 | 3 | | | (書状・中布段引合代銀メ三貫百七十匁壹分などにつき) | (近世・年未詳)九月廿二日 | 三浦屋権四郎(印・<ヤ三>羽州山形・三権・金銀不用) | 渡辺儀藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | |
| W6 8 | 10 | 4 | | | 覚(白木綿など諸色代銀メ三貫八百八匁五分六リ勘定につき) | 丑(近世)十月廿七日 | 三浦屋権四郎(印・<ヤ三>羽州山形) | 渡辺儀藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-----|----|----|----|----|--|---------------|--------------------------|------------------|----|------------|
| W6 | 8 | 10 | 5 | | (書状、此度金廿五兩受取、および薄色五反代銀百八十七匁五分など、壹貫三百六匁勘定につき) | 丑(近世)十一月卅日 | 三浦屋権四郎、宗吉 | 渡辺儀藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 8 | 10 | 6 | | 覚(上緋・白木綿代など諸色代銀三貫五百三十匁勘定につき) | 寅(近世)五月七日 | 三浦屋権四郎 | 渡辺儀藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 8 | 10 | 7 | | 入日記(釋布、百五拾八文書上) | 寅(近世)正月十二日 | 井上屋多右衛門(印、庄内・鶴岡・井上) | 高橋伊之助様 | 状 | |
| W6 | 8 | 10 | 8 | | (書状、村田表迄出張仕り、および極月分さし引など、銀五貫百六拾匁引合につき) | 寅(近世)八月十三日 | 山新宅二而・三浦屋宗吉(印、羽州山形) | ○御主人様、豊吉様、御店中様 | 状 | 端裏に「○様」とあり |
| W6 | 8 | 10 | 9 | | (書状、荷造船かた荷着無く、出情相觸き意、浪など、七四百四拾六反連絡につき) | (近世・年未詳)五月十八日 | <ヤ三>店 | ○御主人様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 8 | 10 | 10 | | 覚<ヤ三>木綿代銀十三匁など書上) | (近世・年未詳)五月廿四日 | <ヤ上> | ○様 | 状 | |
| W6 | 8 | 10 | 11 | | 覚(五月十日、金四百四拾三匁分など書上) | 卯(近世)七月日 | 三浦屋権四郎 | 渡辺儀藏様(ほか2名) | 状 | |
| W6 | 8 | 10 | 12 | | 覚(上緋拾反代銀四百四拾五匁など諸色代銀、三貫六百拾九匁勘定につき) | 卯(近世)五月十七日 | 三浦や権四郎(印) | 渡辺儀藏様(ほか2名) | 状 | |
| W6 | 8 | 10 | 13 | 1 | 覚(十一月十二日、式百廿五文など書上) | (近世・年未詳)五月十九日 | 丸郎 | 御本家様 | 状 | こより共 |
| W6 | 8 | 10 | 13 | 2 | 覚(金中五半代銀、式百拾式匁五分など諸色代銀、壹貫百六匁分勘定につき) | 卯(近世)四月十八日 | 三浦や権四郎(印) | 渡辺儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 8 | 10 | 13 | 3 | 覚(本綿五反代銀、式百匁など諸色代銀、壹貫三百八拾式匁余請取につき) | う(近世)五月十三日 | 米津屋勘兵衛(印)、仁三郎 | 鶴岡屋仙右衛門様、渡邊儀藏様 | 状 | |
| W6 | 8 | 10 | 13 | 4 | 覚(三六五茶縮めん指三丈代銀四百七十四匁五分など諸色代銀、壹貫廿九匁五分受取につき) | (近世・年未詳)五月十二日 | 市むらや茂助(印) | 渡邊儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 8 | 10 | 13 | 5 | 覚(金式朱・錢三貫三百五拾文受取につき) | 酉(近世)五月十一日 | 三浦屋権四郎(印) | 渡辺儀藏様 | 状 | |
| W6 | 8 | 10 | 13 | 6 | (書状、四拾四五・上之値七反代銀三百十一匁五分など諸色代銀、四百四十一匁壹分差し上げにつき) | (近世・年未詳)五月拾日 | 三浦屋権四郎(印)、兎吉 | 渡辺義藏様(ほか2名) | 状 | |
| W6 | 8 | 11 | 1 | | 覚(本緋あさの屋など銀六百五拾匁取引につき) | (近世・年未詳)五月十三日 | 小倉屋和助(印、奥州<ヤ上>福島・本町・小倉屋) | 渡辺屋儀藏様、御店衆中様 | 状 | こより共 |
| W6 | 8 | 11 | 2 | | 覚(六丈七尺代銀五百六十九匁五分など勘定につき) | (近世・年未詳)五月十八日 | 小倉屋和助(印、奥州<ヤ上>福島・本町・小倉屋) | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 8 | 11 | 3 | | 覚(小納戸吳呂女帯、本代銀八拾式匁五分指し上げにつき) | (近世・年未詳)七月十二日 | <ヤ三>店 | ○御店様 | 状 | |
| W6 | 8 | 11 | 4 | | 覚(御燭百五拾丁代錢八百廿匁文勘定につき) | 寅(近世)三月廿三日 | 信濃屋交治(印、<ヤ三>出光・伊達・信夫・梁川) | 本家・渡辺様 | 状 | |
| W6 | 8 | 11 | 5 | | 覚(紺もとり十足代銀百六拾五匁など注、文品指し上げにつき) | (近世・年未詳)四月廿一日 | 鈴木屋幸吉(印) | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 8 | 11 | 6 | | 覚(七寸金切黒廿反など取引につき) | (近世・年未詳)五月十四日 | 中屋吉太郎 | 渡辺屋儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 8 | 11 | 7 | | 覚(極上本緋代銀五百六十五匁勘定につき) | (近世・年未詳)四月廿四日 | 小倉屋和助(印、奥州<ヤ上>福島・本町・小倉屋) | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 8 | 11 | 8 | | 仕切書(上便り拾反代銀五百廿五匁など代銀、三貫四百三拾四匁三分) | (近世・年未詳)二月廿五日 | 福田屋佐助(印、<ヤ三>地太物卸・福田屋佐助) | 渡辺屋儀藏様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 | 8 | 11 | 9 | | 仕切書(柳川三反代銀、式百五拾五匁など代銀、九百三拾七匁五分) | (近世・年未詳)正月廿九日 | 留屋安兵衛、又左衛門 | 渡辺屋義藏様、豊吉様、御店衆中様 | 状 | |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-----|----|----|----|----|--|---------------|------------------------------|--------------------|----|-------|
| W6 | 8 | 11 | 10 | | 直附覚(楚納戸織地五反代銀百七拾四匁五分などメ銀貳貫六百六拾匁につき) | 寅(近世)四月十九日 | 吉田屋孝八、久兵衛 | 渡部屋儀藏様、半兵衛様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 8 | 11 | 11 | | おほへ(詠縮面<ヤ>代金三朱受取につき) | (近世・年未詳)五月二日 | 山田屋(印)、<カ>奥州・白石・山田屋) | 彦兵衛様 | 状 | |
| W6 | 8 | 11 | 12 | | 覚(納戸織色代銀五百廿匁受取などにつき) | (近世・年未詳)六月十二日 | 紅縮屋八郎右衛門 | 渡部義藏様 | 状 | |
| W6 | 8 | 11 | 13 | | 調書覚(縮面<ヤ>類銀高四百三拾九匁などメ銀五貫三百八拾三匁六分七リ勘定につき) | 寅(近世)六月 | 吉田屋幸八、久兵衛 | 渡邊儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 8 | 11 | 14 | | 覚(ノモ上リ唐青リ毛通し五枚御一覽下されにつき) | (近世・年未詳)五月廿五日 | <カ>十>店 | 寿〇様 | 状 | |
| W6 | 8 | 11 | 15 | | 覚(黒羽織・羽織緒代など諸色代銀貳百七拾五匁七分五リ受取につき) | (近世・年未詳)四月六日 | 丁子や久吉 | 渡部屋義藏様 | 状 | |
| W6 | 8 | 11 | 16 | | 覚(品物・数量・金額書上) | 寅(近世)五月 | 細田屋佐助(印、奥州・会津・若松・細田屋) | 渡部義藏様 | 状 | |
| W6 | 8 | 11 | 17 | | 覚(金額書上) | (近世・年未詳)五月廿八日 | 谷屋安兵衛 | 渡辺屋儀藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 8 | 11 | 18 | | 覚(絹織物数量書上) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 | 8 | 11 | 19 | | (断簡、奈良屋代金につき) | (近世・年月日未詳) | | 古河・奈良屋久次郎殿 | 状 | |
| W6 | 8 | 11 | 20 | | 直附書(送付品物書上、および無地到着報知依頼につき) | 寅(近世)ノ四月十五日 | 中屋半兵衛(印、奥州・福島・本町・中屋) | 渡辺屋儀藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 8 | 11 | 21 | | 仕切書(結キ式反・白綾襪三拾六掛などメ銀貳貫百拾貳匁九分) | (近世・年未詳)三月卅日 | 谷屋安兵衛、又右衛門代(印、谷屋安兵衛) | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 8 | 11 | 22 | | 覚(結キ・茶袴・太織袴代など貳拾品メ銀壹貫四百四拾六匁六分五リ勘定につき) | (近世・年未詳)三月十八日 | 谷屋安兵衛、又右衛門代(印、野州・足利下町・谷屋安兵衛) | 渡邊屋義藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 8 | 11 | 23 | | 直附書(三十六八・猪替り十反など書上) | 寅(近世)二月廿九日 | 中屋平兵衛 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 8 | 11 | 24 | | 覚(糸わた式拾九貫匁・中わた拾貫三拾匁代金勘定につき) | (近世・年未詳)廿一日 | やま大 | 寿丸様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 8 | 11 | 25 | | 覚(ハ〇白縮面・十〇詠縮面など御入帳下されにつき) | (近世・年未詳)三月六日 | <カ>吉>店 | 渡邊儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 8 | 11 | 26 | | 仕切書(太郎柴・百五十八文など書上) | (近世・年未詳)二月六日 | 谷屋安兵衛、又右衛門 | 渡邊屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 8 | 11 | 27 | | 仕切書(金貳十六匁志歩式朱・五拾文受取につき) | (近世・年未詳)二月廿六日 | 谷屋安兵衛、又右衛門 | 渡辺屋義藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 8 | 11 | 28 | | 覚(白川内志志反代金百六拾八匁勘定につき) | (近世・年未詳)二月十日 | 奈良屋八兵衛(印) | 上 | 状 | |
| W6 | 8 | 11 | 29 | | 覚(襟地・百六拾四文など布直段書上) | 寅(近世)三月六日 | 山田屋榮助 | 渡部屋様 | 状 | |
| W6 | 8 | 11 | 30 | | 覚(白本綿四十反・銀壹貫貳百七十式匁の金相場につき) | (近世・年未詳)正月 | 加嶋屋八郎右衛門 | 渡部屋義藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 8 | 11 | 31 | | 覚(羽織緒・絹糸久練代など諸色代銀三百九匁受取につき) | 丑(近世)十二月十四日 | 丁子や久吉 | 渡部屋義藏様 | 状 | |
| W6 | 8 | 11 | 32 | | 覚(圧子色・岸嶋代銀四百三拾八匁勘定につき) | (近世・年未詳)三月十四日 | 菅谷作兵衛 | 渡邊屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 8 | 11 | 33 | | 仕切書(鼠甲斐絹・御納戸代銀四百六拾八匁) | 丑(近世)十二月九日 | 甲州・菅谷作兵衛(印、<カ>谷>甲州郡内・菅谷作) | 奥州白石御城下・渡邊儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 8 | 11 | 34 | 1 | 仕切書(太織中・小倉帯代など諸色代銀五貫六百三十式匁分式リ) | 丑(近世)十二月四日 | 谷屋安兵衛、又右衛門 | 渡邊屋義藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | こより共 |
| W6 | 8 | 11 | 34 | 2 | 仕切書(太織帯・綾エリ・小倉帯代など諸色代銀メ壹貫十五匁五リ) | (近世・年未詳)十一月十日 | 谷屋安兵衛、又右衛門 | 渡邊屋義藏様、豊松様、御店中様 | 状 | |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-----|----|----|----|----|---------------------------------------|---------------|--------------------------------------|--------------|----|-------|
| W6 | 8 | 11 | 34 | 3 | 仕切書(大織・手織しま・小倉帯代など諸色代銀メ三貫百三十匁四分七リ) | (近世・年未詳)十月十八日 | 谷屋安兵衛、又右衛門代(印、野州・足利下町・谷屋安兵衛) | 渡邊屋義藏様 御店中様 | 冊 | |
| W6 | 8 | 11 | 34 | 4 | 仕切書(九寸・絹キ代など諸色代銀メ壹貫七百八十八匁七分) | (近世・年未詳)九月廿日 | 谷屋安兵衛、又右衛門代(印、野州<ツルカケター->足利下町・谷屋安兵衛) | 渡邊屋義藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 8 | 12 | 1 | | 覚(出府御待ち申上候につき) | (万延元年)晦日 | 大川屋 | 渡義様 | 状 | こより共 |
| W6 | 8 | 12 | 2 | | 覚(品物・数量書上) | (万延元年) | | | 状 | |
| W6 | 8 | 12 | 3 | | 覚(品物・金額書上) | (万延元年)十一月廿六日 | | 渡辺甚藏殿 | 状 | |
| W6 | 8 | 12 | 4 | | 覚(品物・金額書上) | (万延元年)十二月廿六日 | 三浦徳兵衛 | 渡義様 | 状 | |
| W6 | 8 | 12 | 5 | | 覚(大石屋太吉殿・佐藤屋栄助殿・加藤直助殿参着御引き渡しにつき) | (万延元年)三月廿七日 | 渡部屋儀藏(印) | 三浦徳兵衛殿 | 状 | |
| W6 | 8 | 12 | 6 | | (覚、八印桶井屋・十三印相原など勘定につき) | (万延元年) | | | 状 | |
| W6 | 8 | 12 | 7 | | 覚(銀六拾匁、白石商人義兵衛売り渡しにつき) | 申(万延元年)五月廿三日 | 三浦屋徳兵衛(ほか4名) | 御仲御会所 | 状 | |
| W6 | 8 | 12 | 8 | | 覚(右用貳貫文書上) | 申(万延元年)五月廿九日 | 昏問屋 | 大平様 | 状 | |
| W6 | 8 | 12 | 9 | | 覚(<ツル中>)印千七百四拾壹番、中リ金改正壹両につき) | 申(万延元年)四月 | 賑民講会所(印) | 小西屋久兵衛殿 | 状 | 破損あり |
| W6 | 8 | 12 | 10 | | 覚(久高三百八十四貫文書上) | (万延元年)五月廿九日 | <社司> | 〇様 | 状 | |
| W6 | 8 | 12 | 11 | | 覚(三念目中より七百八拾五番など相渡しにつき) | 申(万延元年)ノ四月 | 賑民講会所(印) | 小西屋久兵衛殿 | 状 | |
| W6 | 8 | 12 | 12 | | 覚(御役代銭壹貫百拾文にて売り渡しにつき) | 申(万延元年)ノ五月廿三日 | 佐々木や善作(印)(ほか3名) | 御仲御会所 | 状 | |
| W6 | 8 | 12 | 13 | | 覚(白石商人萬藏、御役代銭百文にて売り渡しにつき) | 申(万延元年)七月廿二日 | 大石屋直吉(印)(ほか3名) | 御仲御会所 | 状 | |
| W6 | 8 | 12 | 14 | | 覚(改正拾切・拾本などメ金改正拾五切勘定につき) | 申(万延元年)ノ正月 | 小久 | 御三家様 | 状 | |
| W6 | 8 | 12 | 15 | | (断簡・三浦払・下りの用など費用覚) | (万延元年) | | | 状 | |
| W6 | 8 | 12 | 16 | | (書状・染布五十二反運送見届けにつき) | 申(万延元年)五月廿九日 | 山崎元七 | (増田・長町)見届仲取殿 | 状 | |
| W6 | 8 | 12 | 17 | | 覚(大みの十帖・小みの四十二など紙類数量・価格書上) | (万延元年)三月二日 | 大引や左吉 | 渡辺義藏様 | 状 | |
| W6 | 8 | 12 | 18 | | 覚(調劑丸三拾箇代金貳両にて買い上げにつき) | (万延元年)五月廿三日 | 渡屋善兵衛 | 渡邊儀藏様 | 状 | |
| W6 | 8 | 12 | 19 | | 覚(上々太もの十、代金勘定につき) | (万延元年)三月卅日 | 大いしや | 〇様 | 状 | |
| W6 | 8 | 12 | 20 | | 覚(青番極上式十帖代銀四十三匁・黄番極上式十帖代銀四十九匁など勘定につき) | 申(万延元年)ノ正月十九日 | 小西屋久兵衛 | 渡邊屋庄松様、御店中殿 | 状 | |
| W6 | 8 | 12 | 21 | | 覚(菅笈五十式受取につき) | (万延元年)閏三月廿日 | 加藤直輔(印、仙臺・加藤屋紙店・直助・叶) | 渡部屋様 | 状 | |
| W6 | 8 | 12 | 22 | | 覚(奉書十五状受取につき) | (万延元年)三月廿二日 | 大いしや | 〇様 | 状 | |
| W6 | 8 | 12 | 23 | | 覚(中奉書拾状・大奉書五状受取につき) | 申(万延元年)ノ閏三月廿日 | 小西久兵衛(仙臺大町四丁目・小西屋久兵衛) | | 状 | |
| W6 | 8 | 12 | 24 | | 覚(店賃金三両など紙面欠け遣い返上につき) | (万延元年)八月廿日 | す原屋 | 〇御主人様 | 状 | |
| W6 | 8 | 12 | 25 | | 覚(送り荷物拾三箇引き渡し願いにつき) | (万延元年)閏三月 | 渡部屋儀藏(印、奥州白石中町・渡部屋) | 三浦屋忠兵衛様 | 状 | |
| W6 | 8 | 12 | 26 | | 覚(小原上下店ちん銭六百三拾文などメ金拾五切勘定につき) | (万延元年) | | | 状 | |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|------|----|----|----|----|-----------------------------------|---------------|------------------------------|------------------|----|-------------|
| W6 8 | 12 | 27 | | | 入証(本名正・八百五拾帖など紙類書上) | (万延元年) | | | 冊 | |
| W6 8 | 12 | 28 | | | (書状、蚊包御相談申上などにつき) | (万延元年)五月廿日 | | 渡部儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 8 | 12 | 29 | | | 覚(入板之義、表兵殿行禮に御届申上候につき) | (万延元年)二月十八日 | 佐藤屋惣兵衛(印、仙臺・大町三丁目) | 渡義様 | 状 | |
| W6 8 | 12 | 30 | | | 覚(六八拾紙代金貳貳拾五切など証文の品御請取成されにつき) | (万延元年)十二月二日 | 藤田屋栄助 | 白石様 | 状 | |
| W6 8 | 12 | 31 | | | 注文書(中敷・延半紙などにつき) | (万延元年) | 松長 | 渡儀様 | 状 | |
| W6 8 | 12 | 32 | | | 覚(糸納上品のため代金受け渡し願いにつき) | 申(万延元年)閏三月十日 | 小西屋久兵衛 | 渡辺屋庄松様 | 状 | |
| W6 8 | 12 | 33 | | | (覚、イノセ・岩間など取引先・数量書上) | (万延元年) | | | 状 | |
| W6 8 | 12 | 34 | | | (覚、ちり紙・芳賀屋など商品・取引先書上) | (万延元年) | | | 状 | 破損あり |
| W6 8 | 12 | 35 | | | 覚(五月廿一日・雑用式笺など勘定につき) | (万延元年)五月廿九日 | 三浦屋 | 渡辺様 | 状 | |
| W6 8 | 12 | 36 | | | 覚(白石渡辺屋方々伝五郎殿届金貳分式朱受取につき) | (万延元年)十一月廿七日 | 井澤屋清之助(印、奥州仙台・大町四丁目<ヤ一田>井澤屋) | 上 | 状 | |
| W6 8 | 12 | 37 | | | (覚、間屋払改拾壹切など金銭書上) | (万延元年) | | | 状 | |
| W6 8 | 12 | 38 | | | (書状、昨日仕切分代金御渡し下されたくにつき) | (万延元年)五月廿九日 | 久兵衛 | 儀藏様 | 状 | |
| W6 8 | 12 | 39 | | | 霊方萬金丹(薬用効能につき) | (年月日未詳) | 勅許調合所・勢州朝察岳・野間因幡掾 | | 状 | |
| W6 8 | 13 | 1 | | | ○百四拾八巻(下嶋縮代銀百七拾四匁四分など勘定覚) | 子(近世)八月廿日 | <ヤ三>店 | 渡儀様 | 状 | 破損あり |
| W6 8 | 13 | 2 | | | ○百四拾六(中上布段九代銀七百四拾貳匁勘定覚) | 子(近世)八月廿日 | <ヤ三>店 | 渡儀様 | 状 | 破損あり |
| W6 8 | 13 | 3 | 1 | | 覚(早掛三十代銀四拾五匁など諸色代銀メ七百九拾七匁五分受取につき) | 亥(近世)拾月四日 | 山田や庄兵衛(印、羽州・山形七日町<ヤ正>山田屋) | 阿居津屋佐兵衛様 | 状 | こより共、破損あり |
| W6 8 | 13 | 3 | 2 | | 覚(極上仲渡代金壹歩など諸色代金メ三両貳歩受取につき) | (近世・年未詳)九月十六日 | 山形十日町・笹間屋富吉(印) | 仙台白石・御苗忠兵衛様 | 状 | |
| W6 8 | 13 | 3 | 3 | | 覚(白石より送り金五両貳歩受取につき) | 亥(近世)九月三日 | 山田や庄兵衛(印、羽州・山形七日町<ヤ正>山田屋) | 阿居津屋佐兵衛様 | 状 | |
| W6 8 | 13 | 4 | | | 覚(布代金貳百拾九匁・八分差し上げにつき) | (近世・年未詳)十二月一日 | 吉田屋吉兵衛 | 渡部屋甚藏様 | 状 | |
| W6 8 | 13 | 5 | | | 覚(紙拾五反依頼につき) | (近世・年未詳)十月五日 | 鈴木屋太兵衛(印、<ヤ吉>鈴木屋、山形十日町) | 渡部屋儀藏様、御座中様 | 状 | |
| W6 8 | 13 | 6 | | | ○百四拾七(中上買・四百五拾七匁など商品相場価格につき覚) | (近世・年未詳)四月廿日 | <ヤ三>店 | 渡儀様 | 状 | |
| W6 8 | 13 | 7 | | | ○百六拾四(小袖○御印分百包など取引覚) | 子(近世)八月廿日 | <ヤ三>店 | ○御店様 | 状 | |
| W6 8 | 13 | 8 | | | ○百四拾五(中布段九代銀五百九拾五匁など勘定につき) | 子(近世)八月廿日 | <ヤ三>店 | 渡儀様 | 状 | |
| W6 9 | 1 | | | | (包紙、江戸井最上迄請用) | 丑(近世)正月 | | | 状 | こより共 |
| W6 9 | 2 | | | | (書状、注文品のうち一部遅延、および高直により納入見本減少につき) | (近世・年未詳)八月十一日 | 長谷川源右衛門 | 渡部屋儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 9 | 3 | | | | (書状、商品高直のため納入遅延につき) | (近世・年未詳)八月五日 | 長谷川次郎吉、豊七 | 渡辺屋義藏様、豊吉様 | 状 | 端裏に「〇廿二」とあり |
| W6 9 | 4 | | | | (書状、商品出荷につき) | (近世・年未詳)八月十八日 | さのや久右衛門、直兵衛 | 渡辺屋儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 9 | 5 | | | | (書状、相場直段・出荷、および代金皆済願いにつき) | (近世・年未詳)八月廿二日 | 佐野屋丹兵衛、文吉、源七 | 渡辺屋儀藏様、豊吉様、御店衆中様 | 状 | 端裏に「渡儀様」とあり |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-----|----|----|----|----|---|----------------|---------------------------------------|--------------------|----|----------------------------|
| W6 | 9 | 6 | | | 覚(金三十一両・銀四匁四分・手形と引替証文につき) | (近世・年未詳)五月廿五日 | 渡辺屋儀藏(印、奥州・白石・中町・渡部屋) | 廣屋幸三郎様 | 状 | |
| W6 | 9 | 7 | | | (書状、注文品高直、および品切ならば申し付け下されにつき) | (近世・年未詳)八月廿九日 | 長谷川吉二郎 | 渡辺儀藏様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 | 9 | 8 | | | (書状、商品納入・代金支払いにつき) | (近世・年未詳)十一月廿日 | 三浦や権四郎 | 渡辺儀藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 9 | 9 | | | (書状、商品受け渡しにつき) | (近世・年未詳)九月廿六日 | <ヤ三>十右衛門 | 儀藏様 | 状 | |
| W6 | 9 | 10 | | | (書状、商品出荷につき) | 子(近世)閏十一月六日 | 三浦や権四郎 | 渡辺儀藏様 | 状 | |
| W6 | 9 | 11 | | | (書状、国もの代金御渡し願につき) | (近世・年未詳)十二月十七日 | 小倉屋和助 | 渡部屋正松様、御尊店中様 | 状 | |
| W6 | 9 | 12 | | | (書状、紙・布など入用のため御有り合わせだけ買い申したくにつき) | (近世・年未詳)十二月十五日 | 小倉屋和助 | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 9 | 13 | | | (書状、諸色高直のため染物売捌などにつき) | (近世・年未詳)十二月五日 | 川喜田久太夫、傳兵衛(印、大傳馬壹) | 渡邊屋儀藏様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 | 9 | 14 | | | (書状、秋中御用向の品々仕切書などにつき) | (近世・年未詳)十二月朔日 | 長谷川次郎吉(印、大傳馬)、豊七 | 渡部や儀藏様、豊吉様 | 状 | 端裏に「〇廿二」とあり |
| W6 | 9 | 15 | | | (書状、時節の鳴きかけ御惠贈につき) | (近世・年未詳)十二月十一日 | 奈良屋作兵衛、辰三郎 | 渡邊屋儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 9 | 16 | | | (書状、京都にて謀反露頭、および入船につき) | (近世・年未詳)八月朔日 | 佐野屋丹兵衛(ほか2名) | 渡部屋儀藏様(ほか2名) | 状 | |
| W6 | 9 | 17 | | | (書状、大物調書送付願につき) | (近世・年未詳)十二月十五日 | 佐野屋久右衛門(ほか2名) | 渡辺屋儀藏様(ほか2名) | 状 | 端裏に「〇廿七」とあり |
| W6 | 9 | 18 | | | (書状、衆人口上御承引などにつき) | (近世・年未詳)十月二日 | 三浦屋権四郎(印)(ほか2名) | 渡辺儀藏様(ほか2名) | 状 | |
| W6 | 9 | 19 | | | (書状、過日罷下り候節の御厚情御礼につき) | (近世・年未詳)十二月十六日 | 佐野屋丹兵衛、貞兵衛 | 渡部屋儀藏様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 | 9 | 20 | | | (書状、衆八殿御都合米口入につき) | (近世・年未詳)十一月十六日 | 三浦屋権四郎、<ヤ三>宗吉 | 渡辺儀藏様(〇御主人様)(ほか2名) | 状 | |
| W6 | 9 | 21 | | | (書状、飛脚便をもって当春中御願い申し上げ候代金、御登せ下されにつき) | (近世・年未詳)九月十一日 | 川喜田久太夫、伝兵衛(印) | 渡邊屋儀藏様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 | 9 | 22 | | | (書状、秋もの御証文御せ付けなどにつき) | (近世・年未詳)八月廿一日 | 長谷川次郎吉(印、大伝馬)<ヤ三>金銀不用) | 渡辺屋儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 9 | 23 | | | (書状、御品切物あり、および多少に限らず御注文御せ付け候様願いにつき) | (近世・年未詳)九月廿五日 | 長谷川源右衛門、同惣兵衛(印、<ヤ三>金銀不用) | 渡邊屋儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 9 | 24 | | | (書状、常林寺衣地の儀、今夜飛脚便をもって御送り申上候などにつき) | (近世・年未詳)十月廿三日 | 長谷川源右衛門、同惣兵衛 | 渡邊屋儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 10 | 1 | | | 調書覚(銀壹貫三百七十六匁三分、此金貳両三歩三朱・五文換算につき) | 子(元治元年)十二月 | 佐野屋久右衛門、直兵衛(印、野州<クニ>鉄砲町・金銀不用、佐野屋久右衛門) | 渡邊屋儀藏様、豊吉様、御店衆中様 | 状 | こより共、こより付紙「子年分江戸仕切巻・丑正月改あり |
| W6 | 10 | 2 | | | 調書(足袋七十足代銀三百六拾壹匁余など、銀四貫七百六拾匁余、金相場調へ御算用下されにつき) | 子(元治元年)十二月 | 佐野屋丹兵衛(印、野州<イリヤ木>宇都宮・寺町・佐野屋丹兵衛) | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 10 | 3 | | | 仕切覚(宮・薄花十反代銀貳百四拾三匁など書上) | (元治元年)八月十五日 | 佐野屋久右衛門、直兵衛 | 渡邊屋儀藏様、豊吉様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 | 10 | 4 | | | 覚(芝五分・式貳尺代銀百三拾四匁貳分など品物三点請取につき) | (元治元年)八月十日 | 小澤屋嘉兵衛(印、<ワカ>江戸・富沢町・小澤屋) | <ヤ三>惣兵衛様 | 状 | |
| W6 | 10 | 5 | | | 〇大物仕切書(いよ嶋・三百七拾壹匁、三拾反にて銀壹貫百拾六匁など直段書上) | 子(元治元年)ノ十二月五日 | 川喜田久太夫、吉兵衛、伝兵衛(印) | 渡邊屋儀藏様 | 冊 | |
| W6 | 10 | 6 | | | 〇大物仕切書(冬五反代銀貳拾壹匁余など書上) | 元治元年甲子十一月 | 長谷川次郎吉、豊七 | 渡邊屋儀藏様 | 冊 | |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|--------------------------------------|---------------|------------------------------|-----------------|----|-------|
| W6 10 | 7 | | | | 別仕切(常林寺衣之代など金拾両分御送金につき) | (元治元年)十月廿三日 | 長谷川源右衛門、同惣兵衛(印、<ヤ三>金銀不用) | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 10 | 8 | | | | 仕切覚(峰金紙巻疋など取引につき) | (元治元年)十月廿三日 | 長谷川源右衛門、同惣兵衛(印、<ヤ三>金銀不用) | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 10 | 9 | | | | 仕切覚(巻反銘巻白・四反巻分などメ三拾巻反代金拾三両五分につき) | (元治元年)八月十一日 | 長谷川源右衛門、同惣兵衛(印、<ヤ三>金銀不用) | 渡辺屋儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 10 | 10 | | | | 覚(殊春五分・式丈巻尺代金貳両余請取につき) | (元治元年)九月十九日 | 小澤屋嘉兵衛(印) | <ヤ三>惣兵衛様 | 状 | |
| W6 10 | 11 | | | | 仕切書(遊繩代など諸品御引合御證帳願いにつき) | 子(元治元年)八月廿二日 | 佐野屋丹兵衛(印、<ヤヤ木>字都宮・寺町・佐野屋丹兵衛) | 渡辺屋儀藏様、御店衆中様 | 册 | |
| W6 10 | 12 | | | | 直附書(冬花地五反代金などにつき) | (元治元年)八月廿五日 | 長谷川次郎吉、豊七(印) | 渡辺儀藏様 | 册 | |
| W6 10 | 13 | | | | 直附書(伊予留嶋市・三拾反代金などにつき) | (元治元年)八月廿四日 | 高久兵衛、佐兵衛(印) | 渡辺屋儀藏様 | 册 | |
| W6 10 | 14 | | | | 仕切書(薄花包代銀貳百四拾き匁などにつき) | 子(元治元年)之九月廿四日 | 長谷川源右衛門、宗兵衛(印、<ヤ三>金銀不用) | 渡部屋儀藏様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 11 | 1 | | | | (書状、品物利足支払い御難忍願いたくにつき) | (慶応元年)六月十二日 | 片与左衛門 | 渡豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 2 | | | | (書状、奥仙にて国産の下紙、御店に御出し置き願いにつき) | (慶応元年)五月九日 | 佐藤新右衛門 | 白石中町・渡邊屋甚藏様 | 状 | |
| W6 11 | 3 | | | | (書状、荷物壹個無賃のため残り上総屋へ引合につき) | (慶応元年)三月七日 | 三浦屋又十郎 | 渡邊豊吉様、藤兵衛様、御店中様 | 状 | |
| W6 11 | 4 | | | | (覚、式十五両入、八両半反入式両・十五反入、メ三十五両入など勘定につき) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 11 | 5 | | | | (書状、金三十切借借依頼、此方に下されたぐにつき) | (慶応元年)六月十日 | つつみ | 豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 6 | | | | (口上、紙・布・ちちみ巻反御届け成し下されたぐにつき) | (慶応元年)六月十日 | 御城下か・真兵衛 | 白石・渡義様御内・藏兵衛様 | 状 | |
| W6 11 | 7 | | | | (書状、上々様々相頼まれ候注文物御覧につき) | (慶応元年)六月十七日 | 小橋市左衛門 | 渡部甚藏様 | 状 | |
| W6 11 | 8 | | | | 覚(温廻代金拾八切など指引メ拾六切御算用願いにつき) | (慶応元年)六月十日 | 渡辺屋儀藏 | 桐右衛門様 | 状 | |
| W6 11 | 9 | | | | 覚(金三両御かし渡し下されたぐにつき) | (慶応元年)十五日 | 日平内 | ○御店様 | 状 | |
| W6 11 | 10 | | | | (書状、小切紙代金七両式分式朱御受取遊ばされたくにつき) | 丑(慶応元年)五月六日 | 澤口安左衛門 | 渡部屋小旦那様、御店様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 11 | | | | (書状、先刻紙面をもって御願い置き候儀につき) | (慶応元年)閏五月四日 | 権大夫 | 豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 12 | | | | (書状、武忠様只今御入来、および拙宅へ御尊来下されたぐにつき) | (慶応元年)六月十九日 | 鈴木味右衛門 | 渡部儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 13 | | | | (袋、御城下か急用) | (慶応元年)三月十一日 | 松屋長左衛門 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 11 | 14 | | | | (袋、御城下か急用) | (慶応元年)■月廿一日 | 〔 〕町・八百屋泰兵衛 | 白石中町・渡邊儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 15 | | | | (袋、金壹両二朱) | (慶応元年) | 伊達・掛田・桑折・直郎(印、奥州伊達掛田<ヤ久>桑折) | 白石・〔 〕吉様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 16 | | | | (袋) | (慶応元年)三月九日 | 八百屋留蔵(印、奥州・梁川<ヤキ>八百屋) | 白石・中町・渡辺儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 17 | | | | (断簡、御塩駄送可被下) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 11 | 18 | | | | (書状、丁甚荷物、拙店へ御届けにつき) | (慶応元年)十一月一日 | 本吉 | 豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 19 | | | | 覚(ちり紙貳百枚、御役人様御註文のため御納め下されたぐにつき) | 丑(慶応元年)六月十八日 | 今野良藏 | 白石・渡辺屋儀藏様 | 状 | |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|---|--------------|-------------|--------------------|----|------------------|
| W6 11 | 20 | | | | (書状、生糸問屋御役金当年分受負の儀、仲間評議の上挨拶仕るべくにつき) | (慶応元年)六月六日 | 検断・甚左衛門 | 渡辺屋儀藏様、仲間衆中 | 状 | |
| W6 11 | 21 | | | | (書状、紙布方の義、相越し下さるべく候につき) | (慶応元年)六月十一日 | 源左衛門 | 渡部屋御内・藤兵衛殿 | 状 | |
| W6 11 | 22 | | | | (書状、箱館表変地などにつき) | (慶応元年)五月廿九日 | 佐藤庄右衛門 | 桑嶋与一郎様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 23 | | | | (書状、今般仙台御国産の種、当町美のや殿組合引受につき) | (慶応元年)五月廿九日 | 佐藤新左衛門 | 渡辺豊吉様、御店衆中様 | 状 | 破損あり、端裏に「渡辺氏」とあり |
| W6 11 | 24 | | | | (書状、御店様にて御働きまい下されたくにつき) | (慶応元年)六月廿日 | 八分屋谷兵衛 | 渡部儀藏様、御店様中 | 状 | |
| W6 11 | 25 | | | | (書状、是非々々おかし下されたく申上候につき) | (慶応元年)二月十二日 | 太郎右衛門 | 豊吉様 | 状 | 後欠カ |
| W6 11 | 26 | | | | (書状断簡、御立替金少々につき) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 11 | 27 | | | | (書状、大南部様御役江差上候書状につき) | 寅(慶応2年)五月八日 | 佐藤新右衛門 | 渡辺豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 28 | | | | (書状、昨日仰せ付けのかたひら地を今晚納入につき) | (慶応元年)六月十八日 | 菅野八郎治 | 渡部儀藏様 | 状 | |
| W6 11 | 29 | | | | (書状、当十八日祖父・父二十三回忌法事供養につき) | (慶応元年)六月十三日 | 八巻味右衛門 | 渡辺儀藏様 | 状 | |
| W6 11 | 30 | | | | (書状、小生早速御目にかかりに罷出、および遅参あしからず御承引下されたく候につき) | (慶応元年)六月十六日 | 梁川・八巻味右衛門 | 白石・中町・渡辺儀藏様 | 状 | |
| W6 11 | 31 | | | | (書状、鋪地購入に際し利口か御尋ねにつき) | (慶応元年)六月十日 | 乗附・直郎 | 渡辺豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 32 | | | | (書状、今夕御出に成られ、先方御世話などにつき) | (慶応元年)十二月 | 左吉 | 豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 33 | | | | (覚、たな上・十切・式貫文など書上) | (慶応元年) | | 豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 34 | | | | (書状、明朝迄に借金返済都合につき) | (慶応元年)六月十三日 | つゝみ | 豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 35 | | | | (書状、しばらく金拾両借用願いにつき) | (慶応元年)六月九日 | 権大夫 | 豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 36 | | | | (書状、御本紙の通り石数如何御書き出し候哉につき) | 丑(慶応元年)六月十七日 | 清右衛門 | 各々様中 | 状 | |
| W6 11 | 37 | | | | (書状、別紙の通り場所入、良藏殿より申し参り御通達につき) | (慶応元年)六月十七日 | 儀藏 | 清右衛門様(3か2名) | 状 | |
| W6 11 | 38 | | | | (書状、醬油造人方、石高書上などにつき) | (慶応元年)六月十四日 | 今野仮肝入・良藏 | 白石町・醬油造人・儀藏様、御同役中様 | 状 | |
| W6 11 | 39 | | | | (六五あ印代金貳両三分式米など勘定につき) | (慶応元年)三月廿八日 | 渡辺屋豊吉 | 太平町・小旦那様 | 状 | |
| W6 11 | 40 | | | | (断簡、小見普門) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 11 | 41 | | | | (書状、先刻願い上げの金拾両下されにつき) | (慶応元年)六月廿一日 | 権大夫 | 義藏様 | 状 | |
| W6 11 | 42 | | | | (書状、鳴ちぢみ五反代金拾両、および紙料ご依頼などにつき) | (慶応元年)六月十九日 | つづみ | 義藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 43 | | | | (書状、糸紙料金四十切不払いにつき) | (慶応元年)六月廿一日 | | 義藏様 | 状 | |
| W6 11 | 44 | | | | (書状、金五両請取につき) | 丑(慶応元年)六月十八日 | 渡辺儀藏 | 源左衛門(様) | 状 | 文書書きかけ |
| W6 11 | 45 | | | | (書状、金四十切渡しかね申し訳なくにつき) | (慶応元年)六月十二日 | 三郎右衛門 | 豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 46 | | | | (書状、御判紙御改め、ならびに御勤務御役金などにつき) | (慶応元年)九月廿四日朝 | 齋藤屋進吉 | 渡辺義藏殿 | 状 | |
| W6 11 | 47 | | | | (書状、金子此度行き違いあり、後便をもって送付などにつき) | (慶応元年)三月廿一日 | 澤口安左衛門 | 渡邊屋小旦那様、御店様中 | 状 | |
| W6 11 | 48 | | | | (書状、金子先送りのところ枚原上中百状など延引につき) | (慶応元年)三月一日 | 佐藤屋栄助(印、仙台) | 渡部屋儀藏様、東兵衛様 | 状 | |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-----|----|----|----|----|--|---------------|------------|----------------|----|---------------|
| W6 | 11 | 49 | | | (書状、下代金御勘定延引につき) | (慶応元年)七月十八日 | 山本屋長兵衛 | 渡部儀藏様、豊吉様、藤兵衛様 | 状 | |
| W6 | 11 | 50 | | | 覚(ちり紙極上物苅筒など大急入用につき) | (慶応元年)月未詳)八日 | 松長(印、三丁目) | 渡儀様 | 状 | |
| W6 | 11 | 51 | | | 覚(商品送付願いにつき) | (慶応元年)月未詳)十七日 | 松長 | 渡儀様 | 状 | |
| W6 | 11 | 52 | | | (書状、商品出荷願いにつき) | (慶応元年)三月十一日 | 松屋長左衛門 | 渡辺儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 11 | 53 | | | (書状、注文の品大急送願いにつき) | (慶応元年)四月初日 | 松屋長左衛門 | 渡辺儀藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 11 | 54 | | | 覚(紙類送付願いにつき) | (慶応元年) | 三浦 | ○様 | 状 | |
| W6 | 11 | 55 | | | (書状、品物受領のため入帳につき) | (慶応元年)三月十一日 | 奈良屋作兵衛、善兵衛 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 11 | 56 | | | (書状、大急のため商品一部でも手配送付の依頼につき) | (慶応元年)九月十一日 | 越後屋物兵衛 | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 11 | 57 | | | (書状、周藏殿一部買い上げ申し出のため糸の販売先相談につき) | (慶応元年)十月二日 | 左吉 | 豊吉様 | 状 | |
| W6 | 11 | 58 | | | (書状、商品の一部不都合のため悪しからず承知下されたくにつき) | (慶応元年)五月十八日 | 松屋友兵衛 | 渡辺屋豊吉様、御店中様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 11 | 59 | | | (書状、勘定および品物受け渡しのため御来臨願いにつき) | (慶応元年)五月十八日 | 松屋長左衛門 | 渡辺豊吉様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 11 | 60 | | | (書状、下り紙高直の様子なるも在庫は元値段にて売却、商品到着次第入帳の依頼、および支払金延引などにつき) | (慶応元年)五月十八日 | 小西屋久兵衛、店貞藏 | 渡辺儀藏様、御店中様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 11 | 61 | | | (書状、まずもって金拾五両指し上げにつき) | (慶応元年)五月十九日 | 取太店 | 渡儀様 | 状 | 端裏に「拾五両相添」とあり |
| W6 | 11 | 62 | | | (書状、荷物御送り下され、代金支払いなどにつき) | (慶応元年)四月廿日 | 大引や左吉 | 白石町・渡邊儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 11 | 63 | | | 覚(大判三拾四反苅筒など注文品御送り下されにつき) | (慶応元年)四月廿日 | 高わらや喜右衛門 | 渡邊屋儀藏様、御店衆中 | 状 | |
| W6 | 11 | 64 | | | 覚(次下上物つや宜しきところ、および紙商品御送りにつき) | (慶応元年)四月十九日 | 松屋長左衛門(印) | 渡部屋儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 11 | 65 | | | (書状、雨天に御座候、五十澤持参遊ばされ候につき) | (慶応元年)四月廿一日 | <お喜>店 | 糸吉様御店・○藤兵衛様 | 状 | |
| W6 | 11 | 66 | | | 覚(縞紙・下寄小舟・大判・小判など紙類大急ぎ御送り下されたき旨願書につき) | (慶応元年)四月廿三日 | 高橋屋喜右衛門 | ○東兵衛様 | 状 | |
| W6 | 11 | 67 | | | 覚(糸屋吉兵衛殿金三拾切など右兵衛取立分につき) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 | 11 | 68 | | | (書状、江戸表にて御世話になり、早々任せ切り成し下されなごにつき) | (慶応元年)五月六日 | 左吉 | 豊吉様 | 状 | |
| W6 | 11 | 69 | | | (覚、二十四人代金貳両余勘定につき) | (慶応元年) | | | 状 | 前後欠 |
| W6 | 11 | 70 | | | (書状、大船通巻丸注文申上候につき) | (慶応元年)六月初日 | <お喜> | ○様 | 状 | |
| W6 | 11 | 71 | | | (書状、紙代金御勘定につき) | (慶応元年)六月二日 | 下小原村より・要三郎 | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 11 | 72 | | | (書状、不幸により物入り多く、金拾両御かし下されたくにつき) | (慶応元年)六月初日 | 権() (大夫カ) | □(豊カ)吉様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 11 | 73 | | | (書状、金廿切御かし下されたくにつき) | (慶応元年)六月五日 | 権大夫 | 豊吉様 | 状 | |
| W6 | 11 | 74 | | | (書状、金九両貳歩遣わし、小刃巻本下されたくにつき) | (慶応元年)六月二日 | 番丁 | 中町様 | 状 | |
| W6 | 11 | 75 | | | (書状、御願い申上候上下代につき) | (慶応元年)四月廿日 | 升澤隠居 | 御本店・豊吉様 | 状 | |
| W6 | 11 | 76 | | | (書状、ちり紙御買方御配金につき) | (慶応元年)四月五日 | 平兵衛 | 佐兵衛様、豊吉様 | 状 | |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|-----|----|----|----|-----------------------------------|---------------|------------------------|-----------------|----|-------|
| W6 11 | 77 | | | | 覚(金六十切御貸し下されにつき) | (慶応元年)四月八日 | つゝみ | 豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 78 | | | | (書状断簡、願書) | (慶応元年) | 市右衛門 | 茂林太様 | 状 | 前欠カ |
| W6 11 | 79 | | | | 口上(才田塩御拝借願いにつき) | (慶応元年)四月六日 | 佐兵衛 | 豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 80 | | | | 口上(御尊来願いにつき) | (慶応元年・月未詳)六日 | 山方・佐兵衛 | 寿丸・豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 81 | | | | 口上(四、五日間拝借願いにつき) | (慶応元年)四月六日 | 伝藏 | 豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 82 | | | | 口上(十二日頃までに出来のため商品到着日報知につき) | (慶応元年)四月三日 | 山五郎 | 寿丸様 | 状 | |
| W6 11 | 83 | | | | (書状、一部でも商品の都合依頼につき) | (慶応元年)四月廿日 | 平兵衛 | 豊吉様、万右衛門様 | 状 | |
| W6 11 | 84 | | | | 口上(借金十両のうち五両返済、残り五両は一部猶予下されたくにつき) | (慶応元年・月未詳)十五日 | 平内 | ○豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 85 | | | | (書状、商品大急送付依頼につき) | (慶応元年)正月十日 | <カ久> | 白石宿・渡辺儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 86 | 1 | | | (書状、薄地大急に三反注文につき) | (慶応元年)三月十七日 | 澤口安左衛門 | 渡辺屋小旦那様、御店様中 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 86 | 2 | | | (断簡、御城下成行之義者弥増諸方) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 11 | 87 | | | | (書状、直段高直のためちり紙御出情下されたくにつき) | (慶応元年)三月十八日 | 留世屋作兵衛 | 渡部屋儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 88 | | | | (書状、取り集めの金子御入金などにつき) | (慶応元年)三月五日 | 加藤直助 | 渡辺屋儀藏様、豊吉様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 89 | | | | (書状、何年何時も勝手の筋ばかりも御見継下されたくにつき) | (慶応元年)正月十六日 | 御城下分河岸屋真兵衛 | 白石町・渡辺屋豊吉様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 90 | | | | (書状、荷物運送の代金支払いにつき) | (慶応元年)三月十六日 | 糸屋吉郎兵衛 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 91 | | | | 覚(白石渡辺屋より荷物きつ・手紙吉通請取につき) | (慶応元年)三月十五日 | 奈良屋八兵衛(印、仙台国分町・奈良屋八兵衛) | 上 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 92 | | | | (書状、金四両を宜敷御入帳成し下されたくにつき) | (慶応元年)三月十七日 | 松屋長左衛門(印) | 渡部豊吉様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 93 | | | | (書状、此度荷物寄筒御送り下され内金指し上げにつき) | (慶応元年)三月十七日 | 相原太郎兵衛 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 94 | | | | (書状、紙・布代金入帳仕候などにつき) | (慶応元年)十一月十八日 | 相原屋徳之助 | 渡部屋儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 95 | | | | (書状、横紙式帖積居方へ御廻し御頼みにつき) | (慶応元年)五月四日 | 石井久三太郎 | 中町・〔 〕(渡辺)屋藤兵衛様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 96 | | | | 覚(先日より願い上げ候、鳴すみ四反など荷物の件につき) | (慶応元年)六月五日 | 権太夫 | 豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 97 | | | | 口上(醤油方石数書上につき) | (慶応元年) | 角山・五兵衛 | 寿丸・豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 98 | | | | (書状、金子十両たびたび売り付け請取につき) | (慶応元年)閏五月廿八日 | 権太夫 | 豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 99 | | | | (書状、御便りをもって縮反御送り下され、儘に受取候などにつき) | (慶応元年)閏五月廿五日 | 澤口安左衛門 | 渡邊屋儀藏様、藤兵衛様 | 状 | |
| W6 11 | 100 | | | | (書状、紙・布毎度送り申候処、御入帳成し下されたくにつき) | (慶応元年)閏五月廿八日 | 渡辺屋儀藏、豊吉 | 澤口安左衛門様、御店中様 | 状 | |
| W6 11 | 101 | | | | (書状、願い置きの子につき) | (慶応元年)六月七日 | 源左衛門 | 豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 102 | | | | (断簡、七日金額書上) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 11 | 103 | | | | (書状、願い置きの子につき) | (慶応元年)六月七日 | 権太夫 | 豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 104 | | | | 覚(金二切指し上げにつき) | (慶応元年)閏五月十八日 | 四郎右衛門 | 渡部義藏殿 | 状 | |
| W6 11 | 105 | | | | (書状、<カ久>様への指し上げ願いにつき) | (慶応元年)閏五月六日 | <ヤヤ> | ○様 | 状 | |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-----|----|-----|----|----|---|---------------|---------------|-------------|----|-------|
| W6 | 11 | 106 | | | (書状、高崎御札御下のため御落手成されにつき) | (慶応元年)五月十八日 | 長谷川次郎吉、藤七(印) | 渡辺屋義藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 11 | 107 | | | (書状、きぬきれなど商品および代金送付願につき) | (慶応元年)閏五月十七日 | 金右衛門 | 豊吉様 | 状 | |
| W6 | 11 | 108 | | | (書状、為替金九両壹分三朱・廿二文差し送り御荷御改め下されたくにつき) | (慶応元年)五月十六日 | 木村屋勘兵衛 | 渡邊儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 11 | 109 | | | 寛(兼ち、み三反・たきち、み三反、金十兩のうち廿切御かし下されたくにつき) | (慶応元年)閏五月九日 | 権大夫 | 豊吉様 | 状 | |
| W6 | 11 | 110 | | | 寛(品物の義取調請取願につき) | (慶応元年)三月五日 | 大いしや吉兵衛 | 渡邊儀藏様 | 状 | |
| W6 | 11 | 111 | | | (書状、金十兩入用の御御貸し下されたく願い上げにつき) | (慶応元年)閏五月廿二日 | <ゾガミー>平田 | ○御旦那様 | 状 | |
| W6 | 11 | 112 | | | (書状、先日願い上げ候紙御勘定につき) | (慶応元年)閏五月廿三日 | 奈良屋要三郎 | 渡部屋甚藏様 | 状 | |
| W6 | 11 | 113 | | | (書状、表三十枚大急ぎ送り、ちり紙御註文式簡計りも御送り下されたくにつき) | (慶応元年)閏五月九日 | 佐藤屋菊助 | ○豊吉様、藤兵衛様 | 状 | |
| W6 | 11 | 114 | | | (書状、此度白式切大急入用にて五拾反ほど御売払成し下されたくにつき) | (慶応元年)五月廿七日 | 高橋屋喜左衛門、善兵衛 | 渡辺屋義藏様、御店様中 | 状 | |
| W6 | 11 | 115 | | | (書状、願い上げの布縮、早速御送りにつき) | (慶応元年)閏五月二日 | 木村屋久兵衛 | 関屋治助様 | 状 | |
| W6 | 11 | 116 | | | 寛(たまり式拾盆、明日中参上にて御勘定、および三拾枚折式十四百求明日まで御預けにつき) | (慶応元年)三月八日 | 上小原肝入・源兵衛 | 渡部屋甚藏様 | 状 | |
| W6 | 11 | 117 | | | (書状、桑折表へ上紙縮々遣わし、名取表拾三枚代金壹両差し上げなどにつき) | (慶応元年)三月八日 | 桑頭与一郎 | 渡邊豊吉様 | 状 | |
| W6 | 11 | 118 | | | (覚、薄地拾四反出来、および紙式拾四下されたくにつき) | (慶応元年)三月十四日 | 石井 | 渡部様 | 状 | |
| W6 | 11 | 119 | | | (断簡、彦左衛門) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 | 11 | 120 | | | (書状、正二御月割納め、三月分も来月十日納め候につき) | (慶応元年)三月七日 | 齋藤源左衛門 | 渡部豊吉様 | 状 | |
| W6 | 11 | 121 | | | 寛(たまり五貫下され願み入りにつき) | (慶応元年)八月五日 | 山岸庄右衛門 | 渡部屋殿 | 状 | |
| W6 | 11 | 122 | | | 寛(ちり紙三状御渡し願いにつき) | (慶応元年) | 万右衛門、清三郎 | 渡辺屋義藏様、惣太様 | 状 | |
| W6 | 11 | 123 | | | (覚、うめん直段・注文書につき) | うし(慶応元年)三月五日 | 小西屋義兵衛 | 渡屋<ヤ>藤兵衛様 | 状 | |
| W6 | 11 | 124 | | | (書状、先達申上候御用立につき) | (慶応元年)三月二日 | 国分町より・善山幸助 | 白石中町・渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 11 | 125 | | | (書状、江戸御安着につき) | (慶応元年)三月廿四日 | 客より | 丸角様、寿丸様 | 冊 | |
| W6 | 11 | 126 | | | (書状、御役金残納拾五両手形引替につき) | (慶応元年)三月十八日 | 斎藤吉郎兵衛、義兵衛 | 渡邊儀藏様 | 状 | |
| W6 | 11 | 127 | | | (書状、万次切き反・並鴨三反、都合五反指上により金五切借願いにつき) | (慶応元年)三月十二日 | 中町二而・本家様 | | 状 | |
| W6 | 11 | 128 | | | (書状、ちり紙壹状御願いにつき) | (慶応元年)三月十五日 | 文嘉 | ○豊吉様 | 状 | |
| W6 | 11 | 129 | | | (覚、嶋ちちみ拾反代金六十切など書上) | (慶応元年)三月十二日 | つゝみ | 豊吉様 | 状 | |
| W6 | 11 | 130 | | | 口上(大判鼻紙千貳百状指上、金五兩御渡し願いにつき) | 玉(慶応元年)ノ三月廿二日 | 奈良屋より・要三郎 | 渡部屋甚藏様 | 状 | |
| W6 | 11 | 131 | | | (覚、鞆式丁借り上げにつき) | (慶応元年)三月八日 | 渡部屋二而・石井佐三左衛門 | | 状 | |
| W6 | 11 | 132 | | | (書状、荷物御送り入帳・大奉書五状など下され願いにつき) | (慶応元年)三月十七日 | 小西屋久兵衛、松五郎 | 渡邊屋儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 11 | 133 | | | (包紙、金三兩相添) | (慶応元年)七月朔日 | 仙臺・長左衛門 | しろ石・渡邊儀藏様 | 状 | 破損あり |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|-----|----|----|----|--|-------------|--------------------------|---------------------|----|-------------|
| W6 11 | 134 | | | | (包紙、金拾五両添) | (慶応元年) | 佐〔 〕 | 渡部屋儀蔵様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 135 | | | | 覚(大舟巻つ受取につき) | (慶応元年)三月十六日 | 渡部屋儀蔵(印)、仙臺大町二丁目・紙店・渡邊屋) | 渡邊屋儀蔵様 | 状 | |
| W6 11 | 136 | | | | (書状、拾五両封金をもって御渡しにつき) | (慶応元年)三月十五日 | 佐藤屋菊助 | 渡部屋豊吉様、藤兵衛様 | 状 | |
| W6 11 | 137 | | | | (書状、昨年来の御厚情有難き仕合につき) | (慶応元年)三月五日 | 川喜田久太夫、傳兵衛(印)、伊兵衛(印) | 渡辺屋儀蔵様、御店中様 | 状 | |
| W6 11 | 138 | | | | (書状、掛屋之者共石の巻へ帰宅仕らざるなど勘弁願いにつき) | (慶応元年)三月十六日 | 加藤直助 | (白石中町二而) 渡部屋儀蔵様、覚太様 | 状 | 端裏に「切封用拾」など |
| W6 11 | 139 | | | | (書状、たゆりかす三歩分金子おかし下されにつき) | (慶応元年)五月三日 | つ、み | 豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 140 | | | | (書状、油取合につき) | (慶応元年)三月廿七日 | 八十屋四里蔵 | 渡辺儀蔵様、御店衆中 | 状 | |
| W6 11 | 141 | | | | (書状、見本の下紙御世話下されたき願いにつき) | (慶応元年)四月十六日 | 佐藤新左衛門 | 渡邊豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 142 | | | | (書状、ちり紙上納につき) | (慶応元年)四月廿五日 | <ヤ>上>文右衛門 | 寿丸御方様 | 状 | |
| W6 11 | 143 | | | | (覚、刈田郡白石町醬油造り巻ケ年七拾石書上) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 11 | 144 | | | | (書状、金百切御遣い下され願いにつき) | (慶応元年)六月四日 | 源左衛門 | 豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 145 | | | | (断簡、白紙) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 11 | 146 | | | | 覚(金貳両など御渡し下されたくにつき) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 11 | 147 | | | | (書状、荷物御送りのため檣に入手につき) | (慶応元年)六月八日 | 山本屋長兵衛 | 渡辺屋儀蔵様、豊吉様、藤兵衛様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 148 | | | | (書状、かへ控へ金十五両御改め入帳依頼につき) | (慶応元年)六月九日 | ちやたり・ちか蔵 | 渡辺屋儀蔵様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 149 | | | | 覚(たまり拾貫、此者へ御貸し渡し下されたくにつき) | (慶応元年)五月廿日 | 一条義蔵 | 渡部甚蔵様 | 状 | |
| W6 11 | 150 | | | | (書状、過日閏月廿九日荷物三箇御送り成されなどにつき) | (慶応元年)六月八日 | 佐藤屋栄助(印)、仙台大町三丁目<ヲ>さ> | 渡部儀蔵様、豊吉様、藤兵衛様 | 状 | |
| W6 11 | 151 | | | | 覚(材木代など諸色代金三朱勘定につき) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 11 | 152 | | | | (書状、明日御千代様仙表へ御越しのため用向依頼申し上げたくにつき) | (慶応元年)五月十三日 | <ヲ>久>平兵衛 | 寿丸・豊吉様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 153 | | | | (書状、緋〇布貳拾反および鼻紙注文につき) | (慶応元年)五月八日 | 御城下・高橋屋喜右衛門 | 白石二而・渡部屋義蔵様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 154 | | | | (書状、此段の御小人衆へ遣わされず、および江戸富沢町佐の丹へ張物注文につき) | (慶応元年)五月九日 | 左吉 | 豊吉様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 155 | | | | 覚(支払方など代銭五貫文借用仕りたにつき) | (慶応元年)五月十日 | つ、み | 豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 156 | | | | 覚(並ち、み巻反など御入帳につき) | (慶応元年)五月廿一日 | つ、み | 豊吉様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 157 | | | | 口演(新通紛失のため古通へ御写し下されにつき) | (慶応元年)五月廿日 | 新山村・秀之助 | 渡部や義蔵様 | 状 | |
| W6 11 | 158 | | | | 覚(鳴ち、み貳反など御入帳、および金貳十切を此者へ御貸し下されたくにつき) | (慶応元年)五月十六日 | 権太夫 | 豊吉様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 159 | | | | 覚(たまりかす正三箇分、此者に御渡し下されにつき) | (慶応元年)五月十八日 | つ、み | 渡部様 | 状 | |
| W6 11 | 160 | | | | (書状、品物の到着催促につき) | (慶応元年)閏五月朔日 | 大川原本町・りう | 渡辺儀蔵様 | 状 | |
| W6 11 | 161 | | | | (書状、昨日依頼の借用金受け渡し方法として、今日二十切および来月四日までに二十切と取り組み下されにつき) | (慶応元年)五月廿七日 | 権太夫 | 豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 162 | | | | 覚(糸・紙高直のため借用金願いなどにつき) | (慶応元年)七月廿六日 | 権太夫 | 豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 163 | | | | 口上(留守中御祝儀進上につき) | (慶応元年)五月十三日 | 堤 | 豊吉様 | 状 | |

| 箱 | 番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表 題 (内 容) | 作 成 年 月 日 | 差 出 人 | 受 取 人 | 形 態 | 状 態 / 備 考 |
|----|----|-----|----|----|----|---|--------------|------------------------|---------------|-----|--------------------|
| W6 | 11 | 164 | | | | (書状、鼻紙二千九百五十帖出利のため借用金額いにつき) | (慶応元年)五月七日 | 栗三郎 | 中町にて・甚蔵様 | 状 | |
| W6 | 11 | 165 | | | | (書状、今日・明日中に借金品御渡し下されたくにつき) | (慶応元年)閏五月四日 | 権太夫 | 豊吉様 | 状 | |
| W6 | 11 | 166 | | | | (書状、貴様彼此者同道致すにつき) | (慶応元年)六月十八日 | <カ山> | ○御主人様 | 状 | |
| W6 | 11 | 167 | | | | (書状、此度の金子にて紙送付催促につき) | (慶応元年)四月八日 | 澤口安左衛門 | 渡辺屋小旦那様 | 状 | |
| W6 | 11 | 168 | | | | (書状、代金支払のため御仕切時勘定依頼につき) | (慶応元年)六月六日 | 国分町・奥幸 | 白石中町・渡儀様 | 状 | |
| W6 | 11 | 169 | | | | (書状、薪送付のため近日中勘定などにつき) | (慶応元年)五月六日 | 越河町・才藤清三郎 | 白石中町にて・渡辺屋儀蔵様 | 状 | |
| W6 | 11 | 170 | | | | (書状、代数未記載のため序列代数書上依頼につき) | (慶応元年)五月五日 | 佐藤荒五郎 | 渡辺儀蔵様 | 状 | |
| W6 | 11 | 171 | | | | (書状、御陣所より及六無用の上意・厳命につき) | (慶応元年)四月廿九日 | 与一郎 | 豊吉様 | 状 | なかに断簡1点を含む |
| W6 | 11 | 172 | | | | (書状、火災後の類焼など詳細、および遠路の見舞感謝につき) | (慶応元年)四月廿九日 | 桑嶋与惣右衛門、与一郎 | 渡辺儀蔵様、同豊吉様 | 状 | |
| W6 | 11 | 173 | | | | (書状、品物の受け渡し催促につき) | (慶応元年)三月二日 | 大引や吉蔵 | 白石・渡辺義蔵様 | 状 | |
| W6 | 11 | 174 | | | | 口上(難波のため壹朱銀壹両分など送金願いにつき) | (慶応元年)四月二日 | <ジガミー> | ○御店様 | 状 | |
| W6 | 11 | 175 | | | | (書状、金十両を二、三日の間借用致したくにつき) | (慶応元年)四月十日 | <ジガミー>平内 | ○豊吉様 | 状 | |
| W6 | 11 | 176 | | | | 寛(たき嶋三反など入帳につき) | (慶応元年) | つ、み | 義蔵様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 11 | 177 | | | | (書状、紙の方銀方へ指し向け候様に承知、および紙代・布代金につき) | (慶応元年)四月三日 | つ、み | 豊吉様 | 状 | |
| W6 | 11 | 178 | | | | (書状、貸代金御受取下されにつき) | (慶応元年)四月二日 | 儀兵衛 | 寿丸・豊吉様 | 状 | 端裏に「書状壹通在中」 とあり |
| W6 | 11 | 179 | | | | (書状、当春糸不足の上、紙すき方へも金子相渡し申さず、金六十切御かし下されたくにつき) | (慶応元年)四月三日 | つ、み | 豊吉様 | 状 | |
| W6 | 11 | 180 | | | | 寛(並ちぢみ壹反入帳などにつき) | (慶応元年)四月十八日 | つ、み | 豊吉様 | 状 | |
| W6 | 11 | 181 | | | | (書状、来ル十三日婚姻相整いのため御来臨御待ち申し上げにつき) | (慶応元年)四月十日 | 桑嶋与惣右衛門、与一郎 | 渡邊儀蔵様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 11 | 182 | | | | (書状、注文の紙布六拾反ばかり残り、急々御送り成し下されたくにつき) | (慶応元年)四月十一日 | 奈良屋作兵衛、善兵衛 | 渡辺屋儀蔵様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 11 | 183 | | | | 口上(只今困り入りのため何卒御繰り合わせ成し下されたくにつき) | (慶応元年)四月十八日 | 本町・鍋田屋喜四郎 | 渡儀様 | 状 | 端裏に「金壹歩分相添」 とあり |
| W6 | 11 | 184 | | | | 寛(大版式反など御送り成し下されたくにつき) | (慶応元年)閏五月六日 | <カ中>(印) | ○御店様 | 状 | |
| W6 | 11 | 185 | | | | (書状、困り入りのため金十両御貸し下されたくにつき) | (慶応元年)五月二日 | 平内 | ○豊吉様 | 状 | |
| W6 | 11 | 186 | | | | 寛(藤倉方の金四十切、およびち、み方紙糸三十切は今日まで払い方につき) | (慶応元年)五月三日 | つ、み | 豊吉様 | 状 | |
| W6 | 11 | 187 | | | | 寛(すじ紙式拾状御渡し申し下されにつき) | (慶応元年) | 桑折・みのや場蔵(印、奥州・美濃屋・桑折町) | 白石・渡邊や御本宅様 | 状 | |
| W6 | 11 | 188 | | | | (寛、金七両たな上・式米たまり上など書上) | (慶応元年) | | | 状 | 前欠 |
| W6 | 11 | 189 | | | | 寛(小麦壹石・大豆壹石四斗を御請取御入帳成し下されたくにつき) | (慶応元年)五月廿七日 | 丸大 | ○様 | 状 | |
| W6 | 11 | 190 | | | | 寛(米・味噌汁代など諸色代錢貳貫六百十四文勘定につき) | (慶応元年)五月九日 | 鈴木屋幸右衛門 | 上 | 状 | |
| W6 | 11 | 191 | | | | (書状、金拾両御かし下されたくにつき) | (慶応元年)閏五月廿五日 | [] | 豊吉様 | 状 | 破損あり |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|-----|----|----|----|--|---------------|-------------------------------------|----------------|----|-------|
| W6 11 | 192 | | | | (書状、こん女帯び武布など下されたくにつき) | (慶応元年)四月朔日 | 渡辺儀藏様、豊吉様、藤兵衛様 | | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 193 | | | | 覚(金十両、十日までに御かし下され候につき) | (慶応元年)三月五日 | つ、み | 豊吉様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 194 | | | | (書状、金子御貸し下されたくにつき) | (慶応元年)三月五日 | つ、み | 中町・豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 195 | | | | 覚(メ金二十両借用につき) | (慶応元年)三月五日 | つ、み | 豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 196 | | | | (書状、兎二角首尾能く都合に相成、目出度きことに御座候などにつき) | (慶応元年)三月四日 | 山水ノ・義兵衛 | 寿丸・豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 197 | | | | (書状、白御栞格子など式一反紙布縮注文につき) | (慶応元年)二月十一日 | 十九屋三藏、駒吉 | 渡辺屋義藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 198 | | | | (封筒) | (慶応元年)四月廿九日 | 伊達掛田・桑嶋与惣左衛門、与一郎(印、<ヲ久>奥州・桑島・伊達・掛田) | 白石町・渡辺儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 199 | | | | (封筒) | (慶応元年)四月十日 | 掛田・桑嶋与一郎(印、<ヲ久>奥州・桑島・伊達・掛田) | 白石仲町・渡辺儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 200 | | | | (書状、油式樽御遣わし下され、櫃に入手仕りにつき) | (慶応元年)二月廿日 | 八巻留藏 | 渡部儀藏様、御店御中様 | 状 | |
| W6 11 | 201 | | | | (書状、紙相場などにつき) | うし(慶応元年)三月十五日 | 丸森町・小野屋義兵衛 | 渡部屋藤兵衛様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 202 | | | | 覚(七月廿三日温廻八〇掛など代金拾両受領につき) | 子(元治元年)極月 | 渡辺屋儀藏 | 小野屋儀兵衛様、御店中様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 203 | | | | (書状、小倉帯巻本などにつき) | (慶応元年)三月十五日 | <ヲ上> | ○藤兵衛様 | 状 | |
| W6 11 | 204 | | | | 覚(金拾両成し下されたく願い上げにつき) | (慶応元年)三月廿九日 | つ、み | 豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 205 | | | | 覚(白ち、み三反清切御けし下され候などにつき) | (慶応元年)三月廿九日 | つ、み | 豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 206 | | | | (書状、せんき病のため早速御入金のところ全快次第罷出御知らせにつき) | (慶応元年) | <ヲ上>千左衛門 | ○豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 207 | | | | 覚(紙之方代金四十八切など勘定につき) | (慶応元年)三月十八日 | つ、み | 豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 208 | | | | (断簡、たな上代金沓朱などメ金五両式分) | (慶応元年) | | | 状 | 前後欠 |
| W6 11 | 209 | | | | (書状、只今番頭ちちみ売り付けに参り候につき) | (慶応元年)十二月十八日 | つ、み | 豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 210 | | | | (書状、状数八千余も御座候間、直段六十九状迄は相働き、御引合ならば早速御覽下されたくにつき) | (慶応元年)三月十三日 | 川村屋正助 | 寿丸御店・藤兵衛様 | 状 | |
| W6 11 | 211 | | | | (書状、先達弥左衛門殿へ相渡し候風呂敷御戻し下されたくにつき) | (慶応元年)三月十六日 | 仙台々・奥山幸助 | 白石中町・渡辺や藤兵衛様 | 状 | |
| W6 11 | 212 | | | | 覚(岩井様生糸買方御通入用、三浦徳兵衛方へ儀歳より払い置きにつき) | (慶応元年) | (印、刈田・白石・質方・割判・〇渡部) | | 状 | 後欠 |
| W6 11 | 213 | | | | (断簡、外二紙三枚細引御注文被下度) | (慶応元年) | | 竹権兵衛様、御店中様 | 状 | 前欠 |
| W6 11 | 214 | | | | 覚(嶋ちちみ式反出来につき) | (慶応元年)三月廿六日 | つ、み | 豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 215 | | | | (書状、御用の品のため参上すべきところ、せんきにて平取仕居候、委細は全快の上申し上げたくにつき) | (慶応元年)三月十五日 | <ヲ上>千左衛門 | <ヲ久>御主人様 | 状 | |
| W6 11 | 216 | | | | (書状、一昨日御引合仕候品出来の御知らせにつき) | (慶応元年)三月廿六日 | 川村や庄輔 | 寿丸御店・藤兵衛様 | 状 | |
| W6 11 | 217 | | | | (書状、紙千五百状指上候間、金式拾五切御借用成し下されたく御願い申し上げますにつき) | (慶応元年)三月八日 | 下小原村々・要三郎 | 渡部屋甚藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 218 | | | | (書状、代錢拾貫文ちん払いのため御渡し下されたくにつき) | (慶応元年)五月十四日 | つ、み | 豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 219 | | | | (書状、遠方へ金子遣わしのため式歩金と式拾七切御取替下されたく御願いにつき) | (慶応元年)四月廿五日 | 与左衛門 | 和助様、豊吉様 | 状 | |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|-----|----|----|----|--|-------------|------------------------|-----------------|----|-----------|
| W6 11 | 220 | | | | 覚(万ち・み吉反など御入帳下されたくにつき) | (慶応元年)四月廿六日 | つ・み | 豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 221 | | | | (書状、借金年々御蔵米吉俵つつ御指向のところ、去年中金吉切にて御承済下され、今日右金御送りのため御受取下されたくにつき) | (慶応元年)四月廿五日 | 本澤平左衛門 | 渡部儀藏様 | 状 | |
| W6 11 | 222 | | | | (書状、澤口安治殿より預り候分送り安着につき) | (慶応元年)四月晦日 | 山たきや良助 | 渡辺儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 11 | 223 | | | | (断簡、上・馬場丁・太斎貞之助) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 11 | 224 | | | | (断簡、吉河也・たな上) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 11 | 225 | | | | (書状、紙高存外不足のうち申聞候につき) | (慶応元年)正月廿三日 | 川口村・栄治 | 白石中町・渡辺屋藤兵衛様 | 状 | |
| W6 11 | 226 | | | | 覚(万ちちみ吉反、並ちちみ吉反御入帳などにつき) | (慶応元年)四月晦日 | つ・み | 義藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 11 | 227 | | | | (書状、質物など別而御世話様に相成候につき) | (慶応元年)五月二日 | 竹右衛門 | 渡辺儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 228 | | | | (書状、種紙は相揃い、下紙手配仕らずうち早不足にて高直につき) | (慶応元年)四月十三日 | 佐藤新右衛門 | 渡辺豊吉様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 229 | | | | (封筒) | (慶応元年)六月八日 | 山本屋長兵衛(印、仙台・大町三丁目・山本屋) | 白石・渡辺屋儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 11 | 230 | | | | (書状、十一日御認メ候状有難く拜見につき) | (慶応元年)六月十三日 | 義藏 | 御叔父様(渡部庄松様)、豊吉殿 | 状 | 破損あり |
| W6 12 | 1 | | | | (書状、大庄屋より油指上候などにつき) | (慶応元年)七月廿日 | 本多 | 検断・儀藏様 | 状 | こより共、破損あり |
| W6 12 | 2 | | | | (書状、御普請金拾両御かし下されたくにつき) | (慶応元年)七月朔日 | 健三郎 | 儀藏様 | 状 | |
| W6 12 | 3 | | | | (書状、甚だ困り入り金子五切借用御願いにつき) | (慶応元年)七月朔日 | 渡辺甚大夫 | 渡邊儀藏様 | 状 | |
| W6 12 | 4 | | | | (書状、賃端代払い込み手形、当方にて金三切分御遣わし下されたく通帳相添えにつき) | (慶応元年)六月廿一日 | 斎藤治左衛門 | 渡辺儀藏様 | 状 | |
| W6 12 | 5 | | | | (書状、角山方御都合に相成候ハ、御渡し下されたくにつき) | (慶応元年)正月廿八日 | 山水ノ・義兵衛 | 寿丸御主人様 | 状 | |
| W6 12 | 6 | | | | (書状、金子借用などにつき) | (慶応元年)六月廿三日 | 堤 | 義藏様 | 状 | |
| W6 12 | 7 | | | | (書状断簡、先日御談じの御免屋敷につき) | (慶応元年) | | | 状 | 後欠 |
| W6 12 | 8 | | | | (書状、伺いの上、買入の意願い、上げ候につき) | (慶応元年)六月廿二日 | 儀藏 | 武右衛門様 | 状 | |
| W6 12 | 9 | | | | (書状、組士以上身列之者取調書に指し出さずなどにつき) | (慶応元年)六月廿三日 | 五郎兵衛 | 渡部義藏殿 | 状 | |
| W6 12 | 10 | | | | (書状、雨天続きのため御注文の紙相成兼ね御承引成し下されにつき) | (慶応元年)六月十六日 | 小西久兵衛 | 渡邊屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 12 | 11 | | | | (書状、品代り手作生糸指し上げ、扇仙後始末などにつき) | (慶応元年)六月八日 | <カ久>平兵衛 | 寿丸御主人様 | 状 | |
| W6 12 | 12 | | | | (覚、中町庄兵衛盗難の品、別紙の通り御披露申し出につき) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 12 | 13 | | | | 覚(丑十一月廿七日・金吉歩など代金吉河三歩請取につき) | 丑(慶応元年)極月十日 | 渡辺屋儀藏 | 小澤直治様 | 状 | |
| W6 12 | 14 | | | | 覚(七月三日・金三両など勘定につき) | 丑(慶応元年)の極月 | 渡辺屋儀藏 | 三澤・文治様 | 状 | |
| W6 12 | 15 | | | | (書状、悪天のため御待ち下さるべくにつき) | (慶応元年)八月十八日 | 十郎左衛門 | 豊吉様 | 状 | |
| W6 12 | 16 | | | | (覚、本山崎五反など取引品目につき) | (慶応元年) | | | 状 | 破損あり |
| W6 12 | 17 | | | | (書状、御小人目付衆出立のため本貸し置き候様阿子嶋より申し来たり候などにつき) | (慶応元年) | | | 状 | |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|--|---------------|--------------|--------------------|----|-------|
| W6 12 | 18 | | | | (断簡、沓舻式百九拾文・大豆式斗) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 12 | 19 | | | | 覚(酒代錢ノ七百五拾式文勘定につき) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 12 | 20 | | | | (断簡、刈田郡) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 12 | 21 | | | | (断簡、金吾両など) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 12 | 22 | | | | 覚(金六切・八百九十四文など書上) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 12 | 23 | | | | (断簡、御別紙) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 12 | 24 | | | | (書状、阿子嶋万兵衛娘、明八日見女中御見分につき、2点の書状を貼り継ぎ) | (慶応元年)六月七日 | 五郎兵衛、三木庄左衛門 | 中町検断・渡部義藏殿、高橋五郎兵衛殿 | 状 | |
| W6 12 | 25 | | | | (断簡、被仰渡書) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 12 | 26 | | | | (断簡、百拾式両割何き切式分・中町) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 12 | 27 | | | | (書状、昨夕井丸様より承知仕り、および多分に差し入れ、どうぞ御引き受け成し下されたぐにつき) | (慶応元年)六月六日 | 白石・千右衛門 | ○御主人様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 | 28 | | | | (書状、大川原清十郎祖父より只今の生糸を質物に入れ品々彦次郎をもって申し参ることににつき) | (慶応元年)六月十五日 | <カ久>平兵衛 | ○御主人様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 | 29 | | | | (書状、昨日願ひ上げの大川原方の義につき) | (慶応元年)六月十六日 | <カ久>平兵衛 | ○御主人様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 | 30 | | | | (書状、田口殿方御判紙の儀指し上げ、御受け取り成し下されたぐにつき) | (慶応元年)六月十一日 | 長町検断所分・兵吉 | 中町江検断様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 | 31 | | | | 覚(借入金二十切のうち、十切は札代にて都合、残り十切は来月朔日まで返済につき) | (慶応元年)六月廿二日 | 堤 | 義藏様 | 状 | |
| W6 12 | 32 | | | | (書状、金三両借用願ひにつき) | (慶応元年)六月廿七日 | つゝみ | 義藏様 | 状 | |
| W6 12 | 33 | | | | 覚(金二十切借用願ひのため嶋ちちみ八反を先払い、残る十切奈は同家都合につき) | (慶応元年)六月十五日 | つゝみ | 義藏様 | 状 | |
| W6 12 | 34 | | | | (書状、丸森町小野家質物受け戻しのため品物同所到着見届けにつき) | (慶応元年) | 渡部屋儀藏 | 御町肝入・善四郎様、茂吉様 | 状 | |
| W6 12 | 35 | | | | (書状、組上以上・無縁の分、引き続き指上仰せ渡しのため早速報知につき) | (慶応元年)六月十四日 | 検断・儀藏 | 小肝入・左平殿 | 状 | |
| W6 12 | 36 | | | | 覚(たまり醤油を此者へ御渡し下されたぐにつき) | (慶応元年)六月十五日 | 南町・一条 | 渡部様 | 状 | |
| W6 12 | 37 | | | | (断簡、源三郎・徳四郎・熊太郎) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 12 | 38 | | | | (書状、二十七日下店より指し登らせ皆済につき) | (慶応元年・月末詳)十七日 | まる山 | 寿丸御店様 | 状 | |
| W6 12 | 39 | | | | (書状、去る十五・十九日百姓一揆のため店・蔵壊れ、品物など持ち去り、来る六日再開ながら品切など御容赦願ひにつき) | (慶応元年)七月三日 | 光白屋清次郎、藤介 | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 12 | 40 | | | | (書状、引き受け直段御報知下されたぐにつき) | (慶応元年)七月七日 | 小原大熊ノ・高橋亀治郎 | 白石中町・渡辺屋儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 | 41 | | | | 口上(節句御祝義進上につき) | (慶応元年・月末詳)六日 | つゝみ | 渡辺様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 | 42 | | | | (書状、紙荷物御送り候ハ、金拾五両御渡し下されたぐにつき) | (慶応元年)九月十一日 | 佐原屋平助 | 渡部屋儀藏様、豊吉様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 | 43 | | | | (書状、其町庄兵衛盗難の件につき) | (慶応元年)七月六日 | 武太夫 | 儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 | 44 | | | | (書状、注文の品代金過不足は使の者に御渡しなごにつき) | (慶応元年)九月十二日 | 八巻屋長右衛門 | 白石・渡辺儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 | 45 | | | | (書状、混紙沓枚・細引三本差し上げ勘弁のところ延引、御請取御入帳成し下されたぐにつき) | (慶応元年)六月廿八日 | (丸森より)小野屋儀兵衛 | 白石中町・渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | 破損あり |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|--|-------------|------------------|--------------|----|---------------------|
| W6 12 | 46 | | | | 覚(嶋ちちみ七反御入帳下されたくにつき) | (慶応元年)七月十四日 | つ、み | 義蔵様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 | 47 | | | | 覚(嶋ちちみ三反御請取御勘定成し下されたくにつき) | (慶応元年)七月十六日 | つ、み | 義蔵様 | 状 | |
| W6 12 | 48 | | | | (覚、本町武兵衛・九十目など諸色代銀メ式貫三匁勘定につき) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 12 | 49 | | | | 覚(本町武兵衛・九十目など諸色代銀メ式貫四百九十八目勘定につき) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 12 | 50 | | | | (書状、拝借金紙布方取扱下さるべくにつき) | (慶応元年)八月二日 | 源左衛門 | 儀蔵様 | 状 | 端裏に「別紙入」とあり |
| W6 12 | 51 | | | | (書状、俵仙臺交代のため金苧両御貸し下されたくにつき) | (慶応元年)九月十三日 | 山岸庄右衛門 | 中町・渡部儀蔵様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 | 52 | | | | (書状、来る十六日までに金子御渡し願ひにつき) | (慶応元年)九月十三日 | 源左衛門 | 〔 〕様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 | 53 | | | | (書状、御忍借仕り候品につき) | (慶応元年)九月廿五日 | 大坂屋文吉 | 日下屋彦兵衛様 | 状 | |
| W6 12 | 54 | | | | (書状、油高直のため当節品払いにつき) | (慶応元年)九月一日 | 長谷川源右衛門(印、不用、清七) | 渡辺屋儀蔵様 | 状 | |
| W6 12 | 55 | | | | (覚、件之助・金三切ト式文など書上) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 12 | 56 | | | | (断簡、印あり) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 12 | 57 | | | | (書状、白楮六反御請取に金八切御渡し願ひにつき) | (慶応元年)九月十九日 | 源左衛門 | 儀蔵様 | 状 | |
| W6 12 | 58 | | | | (書状、国分町二軒御状にて御註文の品につき) | (慶応元年)九月一日 | 佐藤屋源助 | 渡部屋儀蔵様 | 状 | |
| W6 12 | 59 | | | | (書状、過ル十三日江戸柴田井筒町の拙者別家の件につき) | (慶応元年)八月十五日 | 従弟岡町・銀測惣七(印、仙臺) | (白石町二而)渡邊儀蔵様 | 状 | |
| W6 12 | 60 | | | | 乍恐奉願上候事(病身にて持病悪敷ため検断仮役御取成し下されたくにつき) | 慶応二年六月廿三日 | 白石中町・仮検断・渡辺屋儀蔵 | 大肝入・阿部養輔殿 | 状 | |
| W6 12 | 61 | | | | 乍恐奉願上候御事(拙者病身にて検断御用御免成し下されたくにつき) | 慶応二年六月 | 中町・仮検断・渡部儀蔵 | 検断・菊池□右衛門殿 | 状 | |
| W6 12 | 62 | 1 | | | 覚(品代銭式百九拾五文勘定につき) | 丑(慶応元年)ノ七月 | 渡辺屋儀蔵 | 井筒甚之丞様 | 状 | W6-1262-1~27こよりにて一括 |
| W6 12 | 62 | 2 | | | 覚(請取金など諸色代金式両三分三貫匁勘定につき) | 丑(慶応元年)ノ七月 | 渡辺屋儀蔵 | | 状 | |
| W6 12 | 62 | 3 | | | 覚(羽織など御届け商品金額書上) | 丑(慶応元年)ノ七月 | 渡辺屋儀蔵 | 鹿子庄蔵様 | 状 | |
| W6 12 | 62 | 4 | | | 覚(品代金拾七両三朱勘定につき) | 丑(慶応元年)ノ七月 | 渡辺屋儀蔵 | 丈太夫様 | 状 | |
| W6 12 | 62 | 5 | | | 覚(絹代など諸色代金三両余勘定につき) | 丑(慶応元年)ノ七月 | 渡辺屋儀蔵 | 菊屋弥右衛門様 | 状 | |
| W6 12 | 62 | 6 | | | 覚(小切不足代銭六十五文など書上) | 丑(慶応元年)七月 | 渡部屋儀蔵 | 三澤屋平助様 | 状 | |
| W6 12 | 62 | 7 | | | 覚(金銭書上) | (慶応元年) | | | 状 | 後欠 |
| W6 12 | 62 | 8 | | | 覚(二月十三日・三拾六文など諸色代金メ式両三歩三朱・七百七拾式文勘定につき) | 丑(慶応元年)七月 | 渡辺屋儀蔵 | 佐野惣四郎様 | 状 | |
| W6 12 | 62 | 9 | | | 覚(金式朱書上) | 丑(慶応元年)ノ七月 | 渡辺屋儀蔵 | 佐野皆人様 | 状 | |
| W6 12 | 62 | 10 | | | 覚(ゆかた代銭百五拾文など書上) | 丑(慶応元年)ノ七月 | 渡辺屋儀蔵 | 御家中・おひと殿 | 状 | |
| W6 12 | 62 | 11 | | | 覚(六月廿八日・七反代金小切不足につき) | 丑(慶応元年)七月 | 渡辺屋儀蔵 | 菅沼万吉様 | 状 | |
| W6 12 | 62 | 12 | | | 覚(四月廿五日代金不足につき) | 丑(慶応元年)七月 | 渡辺屋儀蔵 | 若木屋幸吉様 | 状 | |
| W6 12 | 62 | 13 | | | 覚(不足金式朱勘定につき) | 丑(慶応元年)七月 | 渡辺屋儀蔵 | 本町・武治様 | 状 | |
| W6 12 | 62 | 14 | | | 覚(御心地不足代銭百文勘定につき) | 丑(慶応元年)七月 | 渡辺屋儀蔵 | 阿子嶋屋善右衛門様 | 状 | |
| W6 12 | 62 | 15 | | | 覚(緞四十二匁代銭四百八十八文勘定につき) | 丑(慶応元年)七月 | 渡部屋儀蔵 | 佐竹屋忠兵衛様 | 状 | |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|------------------------------------|-------------|-------|-----------|----|----------------------|
| W6 12 | 62 | 16 | | | 寛(代銭八百九十四文など勘定につき) | 丑(慶応元年)七月 | 渡邊屋儀蔵 | 水野井蔵様 | 状 | |
| W6 12 | 62 | 17 | | | 寛(御塩沓袂勘定につき) | 丑(慶応元年)七月 | 渡邊屋儀蔵 | 日下屋助右衛門様 | 状 | |
| W6 12 | 62 | 18 | | | 寛(不足金式朱勘定につき) | 丑(慶応元年)七月 | 渡邊屋儀蔵 | 吉野八郎次様 | 状 | |
| W6 12 | 62 | 19 | | | 寛(渡有明五段代銭式百文勘定につき) | 丑(慶応元年)七月 | 渡邊屋儀蔵 | 御家中・およし殿 | 状 | |
| W6 12 | 62 | 20 | | | 寛(細毛織四尺五寸代銭五百き拾文勘定につき) | 丑(慶応元年)七月 | 渡邊屋儀蔵 | 御家中・おくま殿 | 状 | |
| W6 12 | 62 | 21 | | | 寛(薄小物四尺五寸代銭四百五文など諸色代銭ノ式貫八拾五文勘定につき) | 丑(慶応元年)七月 | 渡邊屋儀蔵 | 與左衛門様御内 | 状 | |
| W6 12 | 62 | 22 | | | 寛(経久分代銭七百九拾式文勘定につき) | 丑(慶応元年)七月 | 渡邊屋儀蔵 | 重一郎様 | 状 | |
| W6 12 | 62 | 23 | | | 寛(大みの沓帖代銭百八十文など諸色代銭勘定につき) | 丑(慶応元年)七月 | 渡邊屋儀蔵 | 隣の豊吉様 | 状 | |
| W6 12 | 62 | 24 | | | 寛(品代銭三百式文勘定につき) | 丑(慶応元年)七月 | 渡邊屋儀蔵 | 郡山平吉様 | 状 | |
| W6 12 | 62 | 25 | | | 寛(損料不足式百文勘定につき) | 丑(慶応元年)七月 | 渡邊屋儀蔵 | 大野衛右衛門様 | 状 | |
| W6 12 | 62 | 26 | | | 寛(みの紙代金三朱など諸色代金勘定につき) | 丑(慶応元年)七月 | 渡邊屋儀蔵 | 高野寿善之輔様 | 状 | |
| W6 12 | 62 | 27 | | | 寛(品代銭八百九拾文勘定につき) | 丑(慶応元年)七月 | 渡邊屋儀蔵 | 兼福寺様 | 状 | |
| W6 12 | 63 | 1 | | | 寛(木綿絆沓反など商品書上) | ウシ(慶応元年)十二月 | 渡邊屋儀蔵 | 中目啓之助様 | 状 | W6-12-63-1-26こよりにて一括 |
| W6 12 | 63 | 2 | | | 寛(六月四日取引につき) | ウシ(慶応元年)極月 | 渡邊屋儀蔵 | 中目ノ甚之丞様 | 状 | |
| W6 12 | 63 | 3 | | | 寛(鼻紙五拾帖など諸色・金額書上) | ウシ(慶応元年)極月 | 渡邊屋儀蔵 | 小室要三郎様 | 状 | |
| W6 12 | 63 | 4 | | | 寛(絹・紬・紙代など諸色・金額書上) | ウシ(慶応元年)極月 | 渡邊屋儀蔵 | 佐藤貞治郎様 | 状 | |
| W6 12 | 63 | 5 | | | 寛(上絳かすり・絳木綿代など諸色・金額書上) | ウシ(慶応元年)極月 | 渡邊屋儀蔵 | 森合ノ・喜左衛門様 | 状 | |
| W6 12 | 63 | 6 | | | 寛(子ノ盆前御切出入高・六百六拾分など書上) | ウシ(慶応元年)極月 | 渡邊屋儀蔵 | 小原・重蔵様 | 状 | |
| W6 12 | 63 | 7 | | | 寛(六月晦日取引につき) | ウシ(慶応元年)極月 | 渡邊屋儀蔵 | 小原・権之助様 | 状 | |
| W6 12 | 63 | 8 | | | 寛(正月廿四日・三月二日取引につき) | ウシ(慶応元年)極月 | 渡邊屋儀蔵 | をいかわ・金二郎様 | 状 | |
| W6 12 | 63 | 9 | | | 寛(正月二日・七百七拾三文小切入高につき) | ウシ(慶応元年)極月 | 渡邊屋儀蔵 | 田中千賀之助様 | 状 | |
| W6 12 | 63 | 10 | | | 寛(縮緬六百五拾など書上) | ウシ(慶応元年)極月 | 渡邊屋儀蔵 | 円満寺様 | 状 | |
| W6 12 | 63 | 11 | | | 寛(小切・鳥ちづみ代など諸色・金額書上) | ウシ(慶応元年)極月 | 渡邊屋儀蔵 | 定治様 | 状 | |
| W6 12 | 63 | 12 | | | 寛(商品・金額書上) | ウシ(慶応元年)極月 | 渡邊屋儀蔵 | 小原ノ・多吉様 | 状 | |
| W6 12 | 63 | 13 | | | 寛(小倉男帯・路小足代など金額書上) | ウシ(慶応元年)極月 | 渡邊屋儀蔵 | 小原ノ・政治様 | 状 | |
| W6 12 | 63 | 14 | | | 寛(手紙・小切不足金など書上) | ウシ(慶応元年)極月 | 渡邊屋儀蔵 | 高橋源兵衛様 | 状 | |
| W6 12 | 63 | 15 | | | 寛(戌十二月廿二日請取金三分など書上) | 丑(慶応元年)七月 | 渡邊屋儀蔵 | 小原貞治様 | 状 | |
| W6 12 | 63 | 16 | | | 寛(木綿代金などにつき) | 丑(慶応元年)七月 | 渡邊屋儀蔵 | 五丁ノ・兼吉様 | 状 | |
| W6 12 | 63 | 17 | | | 寛(醬油・染布代など諸色代金沓分・三貫式百三十文勘定につき) | 丑(慶応元年)七月 | 渡邊屋儀蔵 | 小原五郎右衛門様 | 状 | |
| W6 12 | 63 | 18 | | | 寛(柴明ノ沓反代金式分・百文につき) | 丑(慶応元年)七月 | 渡邊屋儀蔵 | 佐藤文右衛門様 | 状 | |
| W6 12 | 63 | 19 | | | 寛(白足袋・醬油代など諸色代金九兩三分・式貫七百五文勘定につき) | 丑(慶応元年)七月 | 渡邊屋儀蔵 | 小原政治様 | 状 | |
| W6 12 | 63 | 20 | | | 寛(未六月石明ノ不足など諸色代銭式百五拾文勘定につき) | 丑(慶応元年)七月 | 渡邊屋儀蔵 | 高寿徳治様 | 状 | |
| W6 12 | 63 | 21 | | | 寛(子盆前代銭四百八拾六文勘定につき) | 丑(慶応元年)七月 | 渡邊屋儀蔵 | 高橋忠治郎様 | 状 | |
| W6 12 | 63 | 22 | | | 寛(上島沓反代など諸色代金ノ沓沓分式朱勘定につき) | 丑(慶応元年)七月 | 渡邊屋儀蔵 | 高倉清右衛門様 | 状 | |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|---|--------------|--------------------------------|-----------------|----|------------------|
| W6 12 | 63 | 23 | | | 覚(からす五貫六百目など諸色代金メ壹両五分三朱ト六十文勘定につき) | 丑(慶応元年)ノ七月 | 渡辺屋儀藏 | 小深吉右衛門様 | 状 | |
| W6 12 | 63 | 24 | | | 覚(木綿代金貳分・式百文など諸色代金メ三分三朱・七百十文勘定につき) | 丑(慶応元年)ノ七月 | 渡辺屋儀藏 | 大畑屋定治様 | 状 | |
| W6 12 | 63 | 25 | | | 覚(醤油貳拾五貫八百四拾文など諸色代金メ貳両五分壹朱・壹貫八百文勘定につき) | 丑(慶応元年)ノ七月 | 渡辺屋儀藏 | 高橋源兵衛様 | 状 | |
| W6 12 | 63 | 26 | | | 覚(花淨・目葉代など諸色代錢メ五百九十式文勘定につき) | 丑(慶応元年)ノ七月 | 渡辺屋儀藏 | 高寿左松様 | 状 | |
| W6 12 | 64 | | | | (書状、送り物の儀は来る廿日罷成などにつき) | (慶応2年)九月十三日 | 丸森より・小野屋儀兵衛 | 白石中町・渡辺儀藏様 | 状 | |
| W6 12 | 65 | | | | (書状、送物儀は来る廿日に相定めにつき) | (慶応2年)八月十日 | 斎藤屋伝之助 | 旦那様、御家内様中 | 状 | |
| W6 12 | 66 | | | | (書状、金拾七両請取などにつき) | (慶応2年)七月廿三日 | 天木屋甚兵衛 | 渡邊屋儀藏様 | 状 | |
| W6 12 | 67 | | | | 覚(鳴ちちみ九反御入帳、および金貳十切御かし下されたるにつき) | (慶応2年)八月十三日 | つゝみ | 渡部■藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 | 68 | | | | (書状、御借用法追願相認め御同役様中御印形御手許様と早速相廻し候様申し達しにつき) | (慶応2年)六月廿九日 | 本町検断・山崎源四郎 | 中町検断・渡部儀藏様 | 状 | |
| W6 12 | 69 | | | | (書状、昨日より願い上げ候金三十切御かし下されたるにつき) | (慶応2年)六月廿八日 | つゝみ | 義藏様 | 状 | |
| W6 12 | 70 | | | | (書状、何分上物御送り下されたるにつき) | (慶応2年)八月七日 | 紙屋清治 | 渡辺屋儀藏様、御店様中 | 状 | 破損あり |
| W6 12 | 71 | | | | 覚(花上紙壹帖など先達て御送り下され、およびよろしき所御見抜き御送り下されたるにつき) | (慶応2年)八月七日 | 紙屋清治(印、仙台大町五丁目<ツ花咲>かみや) | 渡辺屋儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 | 72 | | | | (書状、此度金十両御送り、御入手願い上げにつき) | (慶応2年)六月十一日 | | 渡部屋儀藏様、御店中様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 | 73 | | | | (覚、此度諸色代懸増にて少なからず立替につき) | (慶応2年) | | 奥州白石・渡辺屋儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 | 74 | | | | (包紙) | (慶応2年) | 伊勢や利平 | 七右衛門様、義藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 | 75 | | | | (書状、勘定方御内小割帳貳冊手板へ写し候につき) | (慶応2年)六月廿四日 | 検断・只右衛門 | 渡部屋儀藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | 前欠カ、破損あり |
| W6 12 | 76 | | | | (書状、当春中御願い申し上げ候調書、今便相認めよろしく御引合返ばされたるにつき) | (慶応2年)六月八日 | 伊勢屋利平、惣七 | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 | 77 | | | | (書状、当方店義大義なく罷在候間、御安心下さるべくにつき) | (慶応2年)六月十一日 | 川喜田久大夫(印、大傳馬壹・金銀不用<ヒ>川>河喜田)伊兵衛 | 渡辺屋儀藏様、御店衆中様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 | 78 | | | | (覚、米穀相場行き違い候につき) | (慶応2年) | | | 状 | 破損あり |
| W6 12 | 79 | | | | (覚、代金メ五拾八切式朱勘定につき) | (慶応2年)六月廿一日 | 賈屋儀藏 | 菅野屋圓七殿 | 状 | 前欠、破損あり |
| W6 12 | 80 | | | | 覚(白米壹升代錢三百拾五文など相場をもつて売買仕りたらくにつき) | (慶応2年)六月廿七日 | 今井平治、鴨屋佐左衛門 | 検断・渡部義藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 | 81 | | | | (書状、身列を御書き入れ仰せ下されたるにつき) | (慶応2年)六月廿四日 | 儀藏様<ツ> | 次助様 | 状 | |
| W6 12 | 82 | | | | (書状、御町横目様方仰せ上げられなどにつき) | (慶応2年)六月十日 | 菅ノ・留治 | 儀藏様 | 状 | |
| W6 12 | 83 | | | | 口上(荷物移し候後などにつき) | (慶応2年)六月十八日 | 但馬や吉兵衛(印、<ツ>吉>但馬屋) | 白石・渡辺屋佐吉様 | 状 | |
| W6 12 | 84 | | | | (書状、箱館御改め御通行調差し上げなどにつき) | (慶応2年)六月廿四日 | 儀藏様<ツ> | 検断・嘉右衛門様 | 状 | 受取人の「機」は□で開いミセケチ |
| W6 12 | 85 | | | | (書状、上ちり紙三筒など御送り下されたるにつき) | 寅(慶応2年)六月十一日 | 京屋吉兵衛 | 渡部屋儀藏様、御店様中 | 状 | 破損あり |
| W6 12 | 86 | | | | (書状、金三十切借用仕りたらくにつき) | (慶応2年)二月廿七日 | つゝみ老人 | 渡辺義藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 | 87 | | | | (書状、斎藤万治中四拾切など差し上げ相済につき) | (慶応2年)六月廿日 | 山崎文四郎 | 菊地商行様、渡部義藏様 | 状 | |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-----|----|-----|----|----|------------------------------------|---------------|------------------|------------------|----|-------|
| W6 | 12 | 88 | | | (書状、大舟込式丸など四品代金拾両取引につき) | (慶応2年)八月六日 | 加藤直助 | 渡辺屋儀藏様、御店様中 | 状 | 破損あり |
| W6 | 12 | 89 | | | (書状、普請金貳拾切借致したくにつき) | (慶応2年)六月十日 | 佳三郎 | 儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 12 | 90 | | | (書状、金三十切借致したくにつき) | (慶応2年)六月廿七日 | つゝみ | 義藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 12 | 91 | | | (書状、三十枚置物三箇など二品代金拾両願い上げにつき) | (慶応2年)八月七日 | 京屋吉兵衛(印、仙台大町四丁目) | 渡儀様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 12 | 92 | | | (書状、生糸方御直談申し上げたぐなどにつき) | (慶応2年)五月十一日 | 澤口伊助 | 渡部義藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 12 | 93 | | | 覚(金貳拾両添え、杉原五斗など願い上げにつき) | (慶応2年)八月十一日 | 佐藤菊助 | 渡部屋儀藏様、豊吉様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 12 | 94 | | | (書状、金十両さし上げ御入帳などにつき) | (慶応2年)八月廿日 | 大石屋太吉 | 渡儀様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 12 | 95 | | | (書状、金五十両御送り下されたくにつき) | (慶応2年)七月廿七日 | 桑折源右衛門(印) | 渡部屋儀藏様、豊吉様、御尊店中様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 12 | 96 | | | (書状、生糸取引御役金御任せにて御承知仕候などにつき) | (慶応2年)五月十六日 | 渡辺屋甚藏 | 澤口安右衛門様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 12 | 97 | | | 口上(御届け願いにつき) | (慶応2年)七月晦日 | | 上 | 状 | |
| W6 | 12 | 98 | | | おほへ(三白ちゝみなと書上) | (慶応2年)七月晦日 | | 上 | 状 | |
| W6 | 12 | 99 | | | (書状、御願書受納につき) | (慶応2年)八月廿三日 | 八巻長左衛門、八歳 | 渡邊儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 12 | 100 | | | (書状、生酒屋■助殿娘と仲の縁談願いにつき) | (慶応2年)八月廿二日 | ■沼屋三郎右衛門 | 渡邊儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 12 | 101 | | | (書状、頼みのため宅へ御馳し下されたくにつき) | (慶応2年)八月十七日 | 小終角 | 渡丸様 | 状 | |
| W6 | 12 | 102 | | | (書状、御返金御取り計らい願いにつき) | (慶応2年)六月廿日 | 早田傳之助 | 菊地様(ほか2名) | 状 | 破損あり |
| W6 | 12 | 103 | | | (包紙、白石中町・渡辺屋儀藏様封金貳両相添など) | (慶応2年)八月十一日 | | | 状 | |
| W6 | 12 | 104 | | | (包紙、白石宿・渡邊儀藏様封金十両添など) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 | 12 | 105 | | | (書状、金子勘定につき) | (慶応2年)七月二日 | 健三郎 | 儀藏様 | 状 | |
| W6 | 12 | 106 | | | (書状、早田への返済などにつき) | (慶応2年)六月廿二日 | | | 状 | |
| W6 | 12 | 107 | | | (書状、半田より売り付け御廻状および返金の義につき) | (慶応2年)六月廿二日 | 米澤和助 | 渡部屋両家様 | 状 | |
| W6 | 12 | 108 | | | 覚(嶋ちゝみ九反・白ちゝみ壹反、メ拾反代金五切ちん払など勘定につき) | (慶応2年)七月三日 | つゝみ | 義藏様 | 状 | |
| W6 | 12 | 109 | | | (書状、金一切勘定につき) | (慶応2年)七月二日 | 僧藏人 | 渡邊義藏様 | 状 | |
| W6 | 12 | 110 | | | (書状、大物・品切物御借仕りたぐなどにつき) | とら(慶応2年)六月十四日 | 小西屋儀兵衛、清五郎 | 渡部屋儀藏様、甚藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 12 | 111 | | | (書状、当所当年至而不作に相見得候つき) | (慶応2年)六月十四日 | 傳之助 | 旦那様、豊吉様 | 状 | 前欠 |
| W6 | 12 | 112 | | | (書状、○印様方へ紙三十状御注文につき) | (慶応2年)六月十七日 | 佐原屋栄助(印、仙台大町三丁目) | 渡辺儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 12 | 113 | | | (書状、去月中御送り下され候荷物分金子支払いにつき) | (慶応2年)六月十九日 | 加藤直助 | 渡辺屋儀藏様、御様中 | 状 | |
| W6 | 12 | 114 | | | (覚、源左衛門様証文之事、および生糸方などにつき) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 | 12 | 115 | | | 生糸御改(横濱出し金廿七両などにつき) | (慶応2年)六月十七日 | 佐栄(印、仙台大町三丁目) | 渡儀様 | 状 | |
| W6 | 12 | 116 | | | (書状、金子手配仕りかね、残金支払い御待ち下されたくにつき) | (慶応2年)六月十九日 | まつや興兵衛 | 渡辺儀藏様、御店中様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 12 | 117 | | | (書状、紙御貳個代金廿両近々相送り申し上げ候につき) | (慶応2年)六月十七日 | 紙屋清治、茂藏 | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | 破損あり |

| 箱 | 番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|----|----|-----|----|----|----|--|-------------|----------------------------|-----------------|----|------------------------|
| W6 | 12 | 118 | | | | (書状、御勘定の儀此度金五両に御入金、宜敷御入帳願ひ、上げにつき) | (慶応2年)六月十八日 | 山本屋長兵衛 | 渡辺屋儀蔵様、甚吉様、御店様中 | 状 | 破損あり |
| W6 | 12 | 119 | | | | (書状、金五両忠兵衛殿に封入送り、御改め御入帳下されたらくにつき) | (慶応2年)六月十八日 | 桐原屋喜兵衛(印、奥州・仙台・北目町・桐原屋喜兵衛) | 渡辺屋義蔵様、豊吉様、御店様中 | 状 | 破損あり |
| W6 | 12 | 120 | | | | (書状、御通帳式冊指上候御知らせにつき) | (慶応2年)八月十九日 | 角山 | ○御主人様 | 状 | |
| W6 | 12 | 121 | | | | (書状、此夏出穀不足、其上高直につき) | (慶応2年) | <ネ喜>(印、奥州・仙台・北目町・桐原屋喜兵衛) | ○サマ | 状 | |
| W6 | 12 | 122 | | | | 覚(次下判入俵注文につき) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 | 12 | 123 | | | | (覚、十日晩亀吉など家割仕候につき) | (慶応2年)八月十日 | | | 状 | |
| W6 | 12 | 124 | | | | (書状、昨夜参上御願ひ候品物御手配下され、御遣わし下されたらくにつき) | (慶応2年)八月十一日 | 渡辺屋包入自分 | 白石・渡辺屋儀蔵様 | 状 | |
| W6 | 12 | 125 | | | | (書状、盆前出費のため金代札にても八月九日御かし成し下されたらくにつき) | (慶応2年)七月廿四日 | 増田 | 義蔵様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 12 | 126 | | | | (書状、去月中仰せ付けられ候藏上物割合の義、昨日割下別紙調書の通り取立、貫様の分差引残り指上、御入手成し下されたらくにつき) | (慶応2年)七月廿四日 | <マ山>忠三郎 | ○儀蔵様 | 状 | 端裏に「外ニ金八切ト代四十六文添上ル」とあり |
| W6 | 12 | 127 | | | | (書状、母方くみ勝手両方へ金五両拜借下されたらくにつき) | (慶応2年)七月十四日 | 久馬太郎 | 義蔵様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 12 | 128 | | | | (書状、五月中御土産方へ御売り上げ相成候白半紙の料書出し候様御知らせにつき) | (慶応2年)七月十日 | 長右衛門 | 中町・儀蔵殿 | 状 | |
| W6 | 12 | 129 | | | | 覚(中白石・錢七貫三百五十四文書上) | (慶応2年) | | | 状 | 後欠 |
| W6 | 12 | 130 | | | | 覚(代錢壹貫六十式文など勘定につき) | (慶応2年)七月 | 渡辺屋義蔵 | 阿子嶋九郎次様 | 状 | |
| W6 | 12 | 131 | | | | 覚(路小足十丁代錢四百八拾文など勘定につき) | とら(慶応2年)七月 | 渡辺屋義蔵 | 五郎兵衛様 | 状 | |
| W6 | 12 | 132 | | | | 覚(料紙二つを此者へ御貸し下されたらくにつき) | (慶応2年)七月十日 | 千葉屋吉兵衛 | 渡辺屋甚蔵様 | 状 | |
| W6 | 12 | 133 | | | | 覚(代金七拾兩二分余勘定につき) | 寅(慶応2年)七月 | 中尾平兵衛 | 渡辺屋儀蔵様 | 状 | |
| W6 | 12 | 134 | | | | (断簡、当夏中引合の奈良屋作兵衛に関する仰せ付けにつき) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 | 12 | 135 | | | | (書状、中町卯兵衛・惣兵衛など五十集方から借金取立、明十三日までにご返済上納につき) | (慶応2年)七月十二日 | 庄吉、宗蔵 | 中町煥断・儀蔵殿 | 状 | |
| W6 | 12 | 136 | | | | (断簡、金九両貳朱之足・三拾分入) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 | 12 | 137 | | | | (書状、借入金段々返済のところ当座分勘定願ひにつき) | (慶応2年)七月十二日 | 渡辺儀蔵 | 一条藤次様 | 状 | |
| W6 | 12 | 138 | | | | (書状、ちちみ七反代金三両拜借願ひにつき) | (慶応2年)七月十二日 | 鈴木虎之進 | 渡辺義蔵様 | 状 | |
| W6 | 12 | 139 | | | | 覚(鳥宮反代金貳兩貳朱など勘定につき) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 | 12 | 140 | | | | (書状、染ちん勘定、拜借金返済につき) | (慶応2年)七月十三日 | 鈴木虎之進 | 渡辺義蔵様 | 状 | |
| W6 | 12 | 141 | | | | (書状、其節御咄の一許手繰り取調申候につき) | (慶応2年)七月十二日 | 阿部養輔 | 渡部屋儀蔵様 | 状 | |
| W6 | 12 | 142 | | | | (書状、去年中拜借金子、当月中に相違無く御返済申し上げ候につき) | (慶応2年)七月十四日 | 小原より・朝治 | 白石中町・儀蔵様 | 状 | 端裏に「不申用事」とあり |
| W6 | 12 | 143 | | | | (書状、生糸表柄の義は何程に御預り然るべき哉御尋ねなどにつき) | (慶応2年)七月十一日 | 小原大熊より・高嶋忠次郎 | 白石中町・渡邊屋儀蔵様 | 状 | |
| W6 | 12 | 144 | | | | (書状、よりかけ町通は染屋などへ蔵私方仕らずては相済がたらくにつき) | (慶応2年)七月十四日 | 堤 | 義蔵様 | 状 | 端裏に「要用」とあり |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-----|----|-----|----|----|-------------------------------------|---------------|--------------|-------------|----|------------------------------|
| W6 | 12 | 145 | | | (書状、当分天誥不通のため金拾切御貸し下され候につき) | (慶応2年)七月十四日 | 山岸新右衛門 | 中町・渡部儀藏様 | 状 | |
| W6 | 12 | 146 | | | (書状、糸しちは休み同様に御座候哉などにつき) | (慶応2年)七月十一日 | 渡辺屋義藏 | 高橋忠次郎様 | 状 | |
| W6 | 12 | 147 | | | 覚(判紙六十九枚代銀三貫四百五十匁につき) | (慶応2年)九月五日 | 小西屋久兵衛(印) | 渡儀様 | 状 | |
| W6 | 12 | 148 | 1 | | 覚(判紙三十枚代金壹切など諸色代金メ九切勘定につき) | (慶応2年)九月十五日 | 醬油屋儀藏 | 仁右衛門様(ほか5名) | 状 | こより共 |
| W6 | 12 | 148 | 2 | | 出同人(船ちん百文・泊り五百五十文など諸入用錢書上) | (慶応2年) | | | 状 | 端裏に「引合高橋惣助・醬油五拾石也・味噌式拾石也」とあり |
| W6 | 12 | 148 | 3 | | (書状、金三歩皆納申し上げにつき) | (慶応2年)八月廿九日 | 善吉(印) | | 状 | |
| W6 | 12 | 149 | | | 覚(上々大方代・判紙代など諸色代金勘定につき) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 | 12 | 150 | | | 覚(ちん私・紙漉き私のため金四十切おかし成し下されたぐにつき) | (慶応2年)七月十三日 | 堤 | 義藏様 | 状 | |
| W6 | 12 | 151 | | | 口上(御商内は御十分御取り払いにつき) | (慶応2年)七月十三日 | 山水・儀兵衛 | 寿丸御主人様 | 状 | |
| W6 | 12 | 152 | | | 覚(嶋ち、み拾一反御記などにつき) | (慶応2年)七月十日 | つ、み | 義藏様 | 状 | |
| W6 | 12 | 153 | | | (書状、明日・明後日までには跡分参り候につき) | (慶応2年・月末詳)廿四日 | まつ屋店 | 寿丸御店様 | 状 | |
| W6 | 12 | 154 | | | (断簡、白菅反・嶋十反など) | (慶応2年) | | | 状 | 前後欠 |
| W6 | 12 | 155 | | | (書状、如何様共ちん私に込み入れ申候間、金拾切おかし下されたぐにつき) | (慶応2年)九月十一日 | つ、み | 義藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 12 | 156 | | | 覚(醬油壹石造りにつき) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 | 12 | 157 | | | (書状、先日より段々相願いのところ金式十切御かし下され候につき) | (慶応2年)九月九日 | つ、み | 義藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 12 | 158 | | | (書状、油を一両日中に御送り下され候につき) | (慶応2年)八月廿二日 | 八吉屋菊藏 | 渡部儀藏様 | 状 | |
| W6 | 12 | 159 | | | (書状、今日金六切入用につき) | (慶応2年・月末詳)廿七日 | 渡邊甚大夫 | 中町・渡邊儀藏様 | 状 | 端裏に「通帳相添」とあり |
| W6 | 12 | 160 | | | (書状、早速通帳拵え指上申候につき) | (慶応2年)八月十九日 | 本町より・茜甚藏 | 中町・渡辺儀藏様 | 状 | 端裏に「通帳式冊相添」とあり |
| W6 | 12 | 161 | | | (覚、八月二日・金百九匁分請取などにつき) | (慶応2年)八月廿一日 | 長谷川次郎吉(印)、藤七 | 渡辺屋義藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 12 | 162 | | | (書状、菊地屋庄左衛門腰為替金三兩御受取につき) | 寅(慶応2年)ノ八月朔日 | 奈良屋作兵衛、善兵衛 | 渡邊屋儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 12 | 163 | | | (書状、御遣候品々代金御遣し願いにつき) | (慶応2年)九月廿八日 | 北角・小幾宮 | 丸・渡豊様 | 状 | |
| W6 | 12 | 164 | | | 覚(鼻紙式百五十枚など三品御請取下されたぐにつき) | (慶応2年)九月廿七日 | 見和庄七 | | 状 | |
| W6 | 12 | 165 | | | (書状、梁賃金八切壹朱不勘定のため金子借用願いにつき) | (慶応2年)九月廿七日 | 細町・石井佐三左衛門 | 中町・渡部義藏様 | 状 | |
| W6 | 12 | 166 | | | (書状、御用のため参上などにつき) | (慶応2年)九月廿七日 | <ヤ>上>文次右衛門 | ○御印様 | 状 | |
| W6 | 12 | 167 | | | (書状、仙臺伊具郡大蔵村への御書届につき) | (慶応2年)九月十三日 | 小墾范治郎 | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 12 | 168 | | | (書状、夫婦入用相談のため吟味願いにつき) | (慶応2年)七月晦日 | 短ヶ町・大田熊太 | 仲町二而・渡邊儀藏様 | 状 | |
| W6 | 12 | 169 | | | (書状、先方への挨拶延引につき) | (慶応2年)七月晦日 | 希助 | 儀藏様 | 状 | |
| W6 | 12 | 170 | | | (書状、御方様御三方へ御礼義三十枚・三十状つ、指上につき) | (慶応2年)八月二日 | 儀藏 | 猪右衛門様 | 状 | |
| W6 | 12 | 171 | | | (書状、大肝入衆へ書付指出につき) | (慶応2年)八月二日 | 商右衛門 | 役人・儀藏様 | 状 | |
| W6 | 12 | 172 | | | (書状、別紙に写し御先触につき) | (慶応2年・月末詳)廿三日 | 商右衛門 | 儀藏様 | 状 | |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-----------|----|----|----|----|--|---------------|-----------------------------------|-----------------|----|-----------------|
| W6 12 173 | | | | | (書状、米小売人勘五郎殿私方へ御廻りにつき) | (慶応2年)七月廿八日 | 山崎屋 | 御向にて・渡邊屋様 | 状 | |
| W6 12 174 | | | | | (書状、御用の義別紙書付につき) | (慶応2年)七月廿一日 | 武大夫 | 渡部義藏殿 | 状 | |
| W6 12 175 | | | | | (書状、大舟迫四九大急に遣し願ひにつき) | (慶応2年)八月一日 | 石いゝや | ○様 | 状 | |
| W6 12 176 | | | | | (書状、圓右衛門殿方へ参るまで御廻り御待ち下されたくにつき) | (慶応2年)七月廿九日 | 左吉 | 儀藏様 | 状 | |
| W6 12 177 | | | | | 覚(締ち、み三反・白ち、み三反御請取につき) | (慶応2年)七月廿七日 | 鈴木席之丞 | 渡部義藏様 | 状 | |
| W6 12 178 | | | | | 口上(御礼のため御用方御繰り合わせ願ひにつき) | (慶応2年)八月四日 | 山方・佐兵衛 | 寿丸御主人様 | 状 | |
| W6 12 179 | | | | | (覚、中町御百姓助右衛門、去ル廿七日盗難の品などにつき) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 12 180 | | | | | (書状、寄合都合相談につき) | (慶応2年)八月二日 | 井部・清助 | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 12 181 | | | | | (書状、六町よしの鼻紙などにつき) | (慶応2年)八月朔日 | 七吉 | 検断・儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 182 | | | | | 口上(亡父法事のため御飯進上につき) | (慶応2年)七月晦日 | 杉元頼六郎 | 渡辺儀藏様 | 状 | |
| W6 12 183 | | | | | (書状、当御町御百姓助右衛門盗難御披露につき) | (慶応2年)八月四日 | 検断・渡辺儀藏 | 忠左衛門様 | 状 | |
| W6 12 184 | | | | | 覚(森や分代銀メ九拾貫八百七拾弍匁書上) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 12 185 | | | | | (書状、紙類手配出来兼ね納品猶子願ひにつき) | (慶応2年)八月五日 | <ヤ>上>十右衛門 | 寿丸御店様 | 状 | |
| W6 12 186 | | | | | 覚(拝借金願ひにつき) | (慶応2年)八月六日 | つゝみ老人 | 渡辺義藏様 | 状 | |
| W6 12 187 | | | | | 覚(品物到着延引の始末につき) | (慶応2年)七月晦日 | 外村忠兵衛、忠七 | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 188 | | | | | (書状、金百両受取入帳済み、残金は盗明け送金了解などにつき) | (慶応2年)十一月廿五日 | 伊勢屋利平、惣七(印) | 渡辺屋儀藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | 破損あり、端裏に「○様」とあり |
| W6 12 189 | | | | | 口上(書状など届け願ひにつき) | (慶応2年)七月晦日 | 外兵衛 | 渡辺様 | 状 | |
| W6 12 190 | | | | | (書状、金三十両受取入帳済み、高直ながらなるべく出精調達につき) | (慶応2年)七月廿五日 | 佐野屋丹兵衛、佐多人、文助(印)、江戸・大傳馬壹・佐野屋・丹兵衛) | 渡辺屋儀藏様、豊吉様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 191 | | | | | (書状、難渋のため別紙の通り借金願ひにつき) | (慶応2年)五月六日 | <カ>久>平兵衛 | 渡儀様 | 状 | |
| W6 12 192 | | | | | 覚(御勘定願ひにつき) | ウシ(慶応元年)ノ七月 | 渡辺屋儀藏 | 阿部金五様、鈴木言助様 | 状 | |
| W6 12 193 | | | | | (書状、本馬賃銭を前書の通り御届け下されたくにつき) | (慶応2年)八月九日 | 渡辺屋儀藏(印) | 御同役様中 | 状 | 前欠カ |
| W6 12 194 | | | | | (断簡、来十七日・十八日両日之内天気次第藻隠炎之事) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 12 195 | | | | | (書状、たまり醬油代金悉未勘定願ひにつき) | (慶応2年)八月十九日 | 小備 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 12 196 | | | | | (断簡、米五升七合五勺・白米悉升三合など) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 12 197 | | | | | 口上(金拾五両拝借願ひなどにつき) | (慶応2年)九月五日 | つゝみ | 義藏様 | 状 | |
| W6 12 198 | | | | | (書状、才田塩六俵前残りにつき) | とら(慶応2年)九月十八日 | 左倉村御塩引屋・円七(印) | 品々御改御役人様 | 状 | |
| W6 12 199 | | | | | (書状、品物送付困難ながら手配致したく、詳細は盗明け通知につき) | (慶応2年)六月廿九日 | 丸森 | 藤兵衛様 | 状 | |
| W6 12 200 | | | | | (書状、此度御多用仕り、御届け成し下されたくにつき) | (慶応2年)六月廿九日 | 丸森町より・小野屋儀兵衛 | 白石中町・渡辺屋儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 201 | | | | | 口上(金八拾切分御引替下されたくにつき) | (慶応2年)九月廿三日 | 源左衛門(印) | 儀藏様 | 状 | |
| W6 12 202 | | | | | (書状、思いの外出金に相成、百切不足に御座候間、金百切別紙証文の通り御貸し下されたくにつき) | (慶応2年)九月廿二日 | | | 状 | 破損あり |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-----------|----|----|----|----|---|--------------|------------------------|-----------------|----|------------------------|
| W6 12 203 | | | | | (書状、段々金子の拜借増に相成候につき) | (慶応2年・月末詳六日) | 久馬太郎 | 儀藏様 | 状 | 前欠、破損あり |
| W6 12 204 | | | | | (書状断簡、御城下并北廻り書状) | 文久式年戌四月廿六日 | | | 状 | 後欠、破損あり |
| W6 12 205 | | | | | (書状断簡、当十二日御出に貴札相達) | (慶応2年) | | | 状 | 後欠、破損あり、端裏に「○サマ」とあり |
| W6 12 206 | | | | | (書状、貸し入れなどに相成候荷物三箇につき) | (慶応2年)六月十二日 | 山清 | 渡義様、次平様 | 状 | |
| W6 12 207 | | | | | (書状、御増代成し下され候哉御尋ねにつき) | (慶応2年)六月十日 | 山和 | 渡義様 | 状 | |
| W6 12 208 | | | | | (書状、今日にも北町御同役方様段々御下りにつき) | (慶応2年)五月廿日 | 儀藏 | 中田次郎様 | 状 | |
| W6 12 209 | | | | | (書状、御別紙の通り且方様より仰せ渡され赤子制禁役・御郡村制禁役相除かれ取調、今日中御用に相入れ候につき) | (慶応2年)五月廿一日 | 検断・儀藏 | 七郎右衛門様 御同役中様 | 状 | |
| W6 12 210 | | | | | (書状、急用あり早速をへ御越し下さるべくにつき) | (慶応2年)七月四日 | | 中町検断・渡辺義藏様 | 状 | |
| W6 12 211 | | | | | 覚(三月廿二日高式反・薄色巻反など諸色代金巻両三分・百文勘定につき) | 丑(慶応元年)ノ七月 | 渡辺屋儀藏 | 小室清六様 | 状 | |
| W6 12 212 | | | | | 口上染紙横糸の義相願い置きところ、御手配の儀につき) | (慶応2年)六月廿三日 | 惣之丞 | ○御店二而・豊吉様 | 状 | |
| W6 12 213 | | | | | (断簡、千葉方へ指上候) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 12 214 | | | | | (書状、先刻御廻しの味噌・醤油通帳につき) | (慶応2年)六月十三日 | 儀藏 | 検断・七右衛門様 | 状 | |
| W6 12 215 | | | | | (書状、六月中請方売物代金のうち五拾両余につき) | (慶応2年)七月十三日 | 小野屋〔 〕 | 渡邊屋儀藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | 破損甚大 |
| W6 12 216 | | | | | (書状、当盆中、東都表にて両替お願ひ申し上げたくにつき) | (慶応2年)七月九日 | 角屋平六郎(印、奥州<ヤ>十>角屋)、正三郎 | 渡辺屋義藏様、御店衆中様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 217 | | | | | (書状、御入場方代金につき) | (慶応2年)七月十一日 | 本町・清太郎 | 検断・儀藏様 | 状 | |
| W6 12 218 | | | | | (書状、問屋方の勘定行き当たり、金拾五切拜借成し下されたくにつき) | (慶応2年)七月十四日 | 亘り町・西屋伊与吉 | 渡辺甚藏様 | 状 | |
| W6 12 219 | | | | | (書状、品物直致何程位の御見詰に相成申すべき哉、大凡のところ仰せ下されたくなどにつき) | (慶応2年)七月十七日 | つゝみ | | 状 | 破損あり、なかに付箋あり |
| W6 12 220 | | | | | (書状、百姓共乱坊<ヤ>ついたし多人数二而こわし家財・品物など持出しなどにつき) | (慶応2年)七月八日 | 佐野屋久右衛門、佐助 | 渡辺屋儀藏様、豊吉様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 221 | | | | | (書状、先達中より申し置き候品物代金大いに延引致すことにつき) | (慶応2年)六月廿一日 | 奈良屋作兵衛、善兵衛 | 渡部屋儀藏様、豊吉様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 222 | | | | | 覚(代錢三百式拾八文書上) | とら(慶応2年)七月 | 渡辺屋義藏 | 軍左衛門様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 223 | | | | | 覚(代錢百四十五分書上) | とら(慶応2年)七月 | 渡辺屋義藏 | 宇殿様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 224 | | | | | (書状、大紙式耐など御送り下されたくにつき) | (慶応2年)七月十日 | 小西久兵衛、正兵衛 | 渡部屋儀藏様、豊吉様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 225 | | | | | (覚、正四両・松吉などにつき) | (慶応2年) | | | 状 | 破損あり |
| W6 12 226 | | | | | 覚(小太鼓三ツ御渡し下さるべくにつき) | (慶応2年)七月十七日 | 秀藏、虎吉 | 渡辺儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 227 | | | | | (書状、並三拾式箇御送り下されたくにつき) | (慶応2年)七月廿三日 | 小田源八 | 白石中町・渡辺儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 228 | | | | | 覚(長薄なり取合十四枚代金式切ト七拾文など諸色代金メ三歩ト三百七文勘定につき) | (慶応2年) | | | 状 | 破損あり |
| W6 12 229 | | | | | (書状断簡、一筆啓上仕候、残暑甚敷御座候共先以) | (慶応2年) | | | 状 | 後欠、破損あり |
| W6 12 230 | | | | | (覚、嶋ちゝみ拾反御入帳下さるべくにつき) | (慶応2年)七月廿六日 | 権大夫 | 義藏様 | 状 | 破損あり、端裏に「外ニちゝみ十反添ル」とあり |
| W6 12 231 | | | | | (書状、御用宿在町国右衛門へ仰せ付けられ、御役人比度出張同人宅へ止宿につき) | (慶応2年)七月廿六日 | 検断・儀兵衛、同・音右衛門 | 渡辺屋佐吉殿(ほか3名) | 状 | |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-----------|----|----|----|----|--------------------------------------|---------------|------------|-----------------|----|------------------------------------|
| W6 12 232 | | | | | (断簡、留々の取引代金八十九両三分三朱など) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 12 233 | | | | | (書状、残金御渡し成し下されたなどにつき) | (慶応2年)七月十八日 | 左吉 | 儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 234 | | | | | (書状、ちゝみ直段の訳仰せ下され、金七、八両に御仕切下され候などにつき) | (慶応2年)七月廿五日 | | | 状 | 破損あり |
| W6 12 235 | | | | | (書状、御聖紙の通り御荷物至来につき) | (慶応2年)六月十三日 | 検断・安右衛門 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 236 | | | | | (書状、御手前御用塩巻袋御送り下されたなどにつき) | (慶応2年)七月廿六日 | つゝみ | 渡部様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 237 | | | | | (断簡、御別奉御廻り披成下) | (慶応2年) | 左吉 | 儀藏様 | 状 | |
| W6 12 238 | | | | | (書状、飛脚出し、および御入帳下されたなどにつき) | (慶応2年)七月十一日 | 佐藤屋栄助 | 渡部甚藏様、御店中様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 239 | | | | | 覚(ちり紙など願ひ上げにつき) | (慶応2年)七月十一日 | 松長(印) | 渡儀様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 240 | | | | | 覚(金拾七両御引合につき) | (慶応2年)七月 | 丁子屋甚兵衛 | 渡辺儀藏様 | 状 | |
| W6 12 241 | | | | | (書状、別紙勘定書相認め引き合わせの上、御送り致し候につき) | (慶応2年)七月五日 | 丁子屋甚兵衛 | 渡辺儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 12 242 | | | | | (書状、御注文品買入れ次第大急に持参候につき) | (慶応2年)八月廿九日 | 藤兵衛 | 寿丸御店中様 | 状 | |
| W6 12 243 | | | | | (書状、御寄せの品願ひ上げ、注文仕らず候につき) | (慶応2年)九月廿一日 | 佐藤栄助 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 12 244 | | | | | (書状、私手元集り候書き抜き指上につき) | (慶応2年)五月 | 左吉 | 儀藏様 | 状 | |
| W6 12 245 | | | | | (書状、質入れにも致したく、および金五両御貸し下さるべくにつき) | (慶応2年)七月九日 | 山岸新右衛門 | (渡部儀藏様) | 状 | |
| W6 12 246 | | | | | (廻状、去る冬中に御買上生糸代金銭、此度相渡され候につき) | (慶応2年)七月九日 | 検断・儀藏 | 上判取宿人・佐吉殿(ほか5名) | 状 | |
| W6 12 247 | | | | | (書状、藤兵衛様御出成し下され、御相談申し上げにつき) | (慶応2年)七月十日 | 米中和助 | 渡邊義藏様 | 状 | |
| W6 12 248 | | | | | 覚(武入、七左衛門、お七名通帳入料につき) | (慶応2年)七月五日 | 源治 | 渡部儀藏様(ほか2名) | 状 | |
| W6 12 249 | | | | | (書状、十四日に私方申し遣わし候につき) | (慶応2年)七月十日 | つゝみ | 義藏様 | 状 | |
| W6 12 250 | | | | | (書状、紙布代金御同人へ相渡しくれ承知などにつき) | (慶応2年)七月十日 | 相原屋徳之助 | 渡部屋儀藏様 | 状 | 破損甚大 |
| W6 12 251 | | | | | (書状、盆後にも取り集め申すべき哉などにつき) | (慶応2年)七月十一日 | 後藤屋吉兵衛 | 渡邊屋甚藏様 | 状 | |
| W6 12 252 | | | | | (書状、奥筋若柳辺より百姓の騒動相始まるなどにつき) | (慶応2年)七月十一日 | 大川や太吉 | 渡邊義藏様 | 状 | |
| W6 12 253 | | | | | (書状、塩代金五十両送付無事着、御記帳に相成候などにつき) | (慶応2年)九月三日 | 大石屋兵吉 | 渡邊義藏様、豊吉様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 254 | | | | | (覚、市之助より御塩代金など書上) | (慶応2年) | | | 状 | 前後欠 |
| W6 12 255 | | | | | (覚、白縮・鳴縮代などノ式百五拾四反につき) | (慶応2年) | | | 状 | 端裏に「七月十四日調」 とあり |
| W6 12 256 | | | | | (書状、儀藏病氣のため御見舞につき) | (慶応2年)九月廿二日 | | 儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 12 257 | | | | | (書状、昨今仰せ下され候納糸の儀につき) | (慶応2年)七月九日 | 左吉 | 儀藏様 | 状 | |
| W6 12 258 | | | | | (書状、千葉方の白縮六反出来につき) | (慶応2年)七月八日 | 斎藤源左衛門 | 渡辺儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 13 1 | 1 | | | | 品切注文(紙布帛紗百式拵枚品切注文御願ひ申し上げにつき) | とら(慶応2年)七月十一日 | ならや作兵衛、善兵衛 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | こより共、こより付紙に「とら八月改分-坂江」 紙布注文書とあり |
| W6 13 1 | 2 | | | | 品切注文(紙布帛紗百枚品切注文御願ひ申し上げにつき) | (慶応2年)五月十一日 | 奈良屋作兵衛、善兵衛 | 渡辺屋儀藏様、豊吉様 | 状 | |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|--|----------------|--------------------------|------------|----|------------|
| W6 13 | 1 | 3 | | | 覚(嶋三分荷物三箇代金三朱請取につき) | (慶応2年)四月廿七日 | 鈴木圓右衛門 | | 状 | |
| W6 13 | 1 | 4 | | | 注文書(紙布縮式拾反御願い申し上げにつき) | (慶応2年)四月十一日 | まる庄(印、<カ>庄>小倉屋) | 渡辺様 | 状 | |
| W6 13 | 1 | 5 | | | 覚(賃銀百匁五分御定につき) | (慶応2年)三月十八日 | 佐藤屋虎五郎 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 1 | 6 | | | 覚(箱荷巻つ請取につき) | (慶応2年)二月十五日 | 奈良屋八兵衛(印) | 上 | 状 | |
| W6 13 | 1 | 7 | | | 覚(大奉書五状・小奉書式拾状、白石町渡辺殿より届け品受取につき) | 寅(慶応2年)二月十五日 | 三浦屋徳兵衛(印、<ヤ>三>山三・三浦・紙間屋) | 上 | 状 | |
| W6 13 | 1 | 8 | | | 覚(鼻紙千式百状、白石渡儀殿の届け荷受取につき) | (慶応2年)二月十五日 | 大石屋太吉 | 上 | 状 | |
| W6 13 | 1 | 9 | | | 覚(書状、仕切金のうち百匁、江戸小嶋屋彦兵衛殿へ為替二而御渡し下されたくにつき) | (慶応2年)九月廿六日 | 奈良屋権兵衛(印) | 渡辺儀藏様、御店中様 | 状 | 端裏に「〇様」とあり |
| W6 13 | 1 | 10 | | | (断簡、江戸堀四丁・丁子屋順次郎様を箱館濱屋八太夫行き賃先札) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 13 | 1 | 11 | | | 注文書(紙布帛紗百枚御送り下されたくにつき) | 寅(慶応2年)ノ二月朔日 | 奈良屋作兵衛、善兵衛 | 渡部屋義藏様 | 状 | |
| W6 13 | 1 | 12 | | | 注文書(紙・布・縮縮ミなどにつき) | 丑(慶応元年)ノ十一月十一日 | 奈良屋作兵衛、善兵衛 | 渡邊屋儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 1 | 13 | | | 注文書(白紙・布・羽織地七拾反・石橋帛紗地七拾反御送り下されたくにつき) | 丑(慶応元年)ノ九月朔日 | 奈良屋作兵衛、善兵衛 | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 1 | 14 | | | 注文覚(白むじ縮五拾反などメ式百三拾反につき) | 丑(慶応元年)七月二日 | 泉屋孫助 | 渡辺屋義藏様 | 状 | |
| W6 13 | 1 | 15 | | | 注文書(石橋帛紗地八拾枚御送り下されたくにつき) | 丑(慶応元年)ノ七月廿一日 | 奈良屋作兵衛、善兵衛 | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 2 | 1 | | | 〇印紙荷物送り駄賃株 | 弘化三年丙午十二月廿五日 | 白石町・紙商人・儀藏(印) | この御方様中 | 冊 | 破損あり |
| W6 13 | 2 | 2 | | | (書状、三箇・十郎兵衛様など商品取引につき、五月三日付け儀藏宛書状を含む) | (弘化4年)五月廿日 | 渡部屋義藏 | | 冊 | |
| W6 13 | 2 | 3 | | | 覚(敷ふとん巻ツ小豆少々袋入など遣し申候につき) | (弘化4年)六月廿五日 | 従白石・同清左衛門 | 前町・左藤清之丞殿 | 状 | |
| W6 13 | 2 | 4 | | | 覚(織ちん代銭巻貫文など諸入用金メ三切三朱勘定につき) | (弘化4年) | | | 状 | |
| W6 13 | 2 | 5 | | | 覚(よりかけ・つむぎ代など諸色代金メ三切巻朱勘定につき) | (弘化4年) | | | 状 | |
| W6 13 | 2 | 6 | | | (書状、蝶四箇、御次目の通り戻し送りにつき) | 未(弘化4年)ノ八月六日 | 松野東九郎 | 越河通 | 状 | |
| W6 13 | 2 | 7 | 1 | | (覚、総之助・百五拾文など人名・金額書上) | (弘化4年) | | | 状 | |
| W6 13 | 2 | 7 | 2 | | (書状、伝吉・四百匁代銭式貫三百文など御改め入帳下されたくにつき) | (弘化4年)五月九日 | <カ>生>店 | 〇下御店様 | 状 | |
| W6 13 | 2 | 7 | 3 | | 覚(形八分・五尺五分・四百五拾匁など品物・代銀書上) | (弘化4年)五月十三日 | <カ>生> | 〇下御店様 | 状 | |
| W6 13 | 2 | 8 | 1 | | 覚(送付物内訳、および金子送付につき) | (弘化4年)七月十一日 | いさわや五左衛門 | 八巻屋伴助様 | 状 | |
| W6 13 | 2 | 8 | 2 | | 覚(渡辺縁分の金額詳細、および金子御届けにつき) | (弘化4年)七月十一日 | 井沢屋五左衛門 | 山木<ヤ>屋伴助様 | 状 | |
| W6 13 | 2 | 9 | | | 覚(式歩・孝太郎殿行など金額・送付先書上) | (弘化4年)二月廿九日 | 大丸屋今藏、要助 | 渡辺屋儀藏様、正松様 | 状 | 付箋あり |
| W6 13 | 2 | 10 | 1 | | (覚、平め一反など商品・数量書上) | (弘化4年) | | | 状 | こより共、破損甚大 |
| W6 13 | 2 | 10 | 2 | | 来ル廿三日成立書(御酒肴・数の子・さしみなどにつき) | (弘化4年) | | | 状 | |
| W6 13 | 2 | 10 | 3 | | 覚(大塩引二本代金巻切・百五十文など書上) | (弘化4年) | | | 状 | 破損あり |
| W6 13 | 2 | 10 | 4 | | 御寄合成立(繪など書上) | (弘化4年) | 中町・卯兵衛 | 〇御印様 | 状 | |
| W6 13 | 2 | 11 | 1 | | 送り(醤油五升入四樽、越川<ヤ>町検断喜助次方へ売り渡しにつき) | 未(弘化4年)二月廿七日 | 白石町・醤油造り人・儀藏、喜助次 | 所々御役処様 | 状 | こより共 |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|---------------------------------|---------------|---------------------------------|-----------------------------|----|-------|
| W6 13 | 2 | 11 | 2 | | 送り(越河町喜助次方へ醬油売却のため御改め願いにつき) | 未(弘化4年)正月四日 | 白石町・醬油造り人・儀藏 | 所々御役所様 | 状 | |
| W6 13 | 2 | 11 | 3 | | 送り状(越河町喜助次方へ醬油売却のため御改め願いにつき) | 未(弘化4年)ノ正月十五日 | 白石町・醬油屋義藏 | 所々御役所様 | 状 | |
| W6 13 | 2 | 11 | 4 | | (断簡、たまり五升入八樽・喜助次) | (弘化4年) | 義藏 | | 状 | |
| W6 13 | 2 | 11 | 5 | | (断簡、たまり五升入八樽・喜助次) | 未(弘化4年)正月四日 | 義藏 | | 状 | |
| W6 13 | 2 | 11 | 6 | | 送り(越川<ヤ>町喜助次へ醬油売却のため御改め願いにつき) | 未(弘化4年)ノ二月二日 | 白石町・醬油造り人・儀藏、喜助次 | 処々御役所様 | 状 | |
| W6 13 | 2 | 11 | 7 | | 送り(越河町喜助次方へ醬油売却のため御改め願いにつき) | 未(弘化4年)ノ二月七日 | 白石町・醬油造り人・儀藏、喜助次 | 所々御役所様 | 状 | |
| W6 13 | 2 | 11 | 8 | | 送り(越河町喜助次方へ醬油売却のため御改め願いにつき) | 未(弘化4年)ノ三月廿四日 | 白石町・醬油造り人・儀藏、喜助次 | 所々御役所様 | 状 | |
| W6 13 | 2 | 11 | 9 | | 送り(越河町喜助次方へ醬油売却のため御改め願いにつき) | 未(弘化4年)ノ三月十三日 | 奥州・醬油造り人・義藏、喜助次 | 所々御役所様 | 状 | |
| W6 13 | 3 | 1 | | | 錢通用定 | 丑(慶応元年)ノ十月七日 | | | 状 | こより共 |
| W6 13 | 3 | 2 | | | 覚(銀五拾五匁余・白中帛八拾五枚など御送り申上候につき) | 丑(慶応元年)四月朔日 | 山さきや良助(印) | 渡部屋儀藏様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 13 | 3 | 3 | | | 覚(大舟廻巻丸の取引につき) | (慶応元年)正月三日 | 加藤直助(印、<カネ叶>仙臺國分町・加藤屋) | 渡邊屋儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 3 | 4 | | | 覚(麻五枚代銀四拾八貫目など商品取引につき) | 丑(慶応元年)ノ十二月 | 山渡・清右衛門 | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 3 | 5 | | | 覚(メ七十式反代金式両の取引につき) | 丑(慶応元年)十二月十九日 | 福田屋佐助(印、<クワヤ>奥州・会津若松・福田屋)、八郎右衛門 | 渡部義藏様 | 状 | |
| W6 13 | 3 | 6 | | | 覚(手紙苞和のため式百廿五反より式百四拾反まで取引などにつき) | 丑(慶応元年)八月廿七日 | | | 状 | 破損あり |
| W6 13 | 3 | 7 | | | (封筒) | (慶応元年)五月十六日 | 光白や清次郎(印、<ヤ>>奥州・福島・光白屋) | 白石・渡辺儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 13 | 3 | 8 | | | (書状、上下武具代銀六匁御渡し下されたくにつき) | (慶応元年)十二月廿八日 | わたなべ・猪之助 | 本家・渡部様 | 状 | |
| W6 13 | 3 | 9 | | | 送状之事(大物リウ久包式簡につき) | (慶応元年)九月十一日 | 伊勢屋利平(印、<ヤ>平>堀江壹・伊勢屋・金銀不用) | 奥州・越河・村上武右衛門殿、同・白石・渡辺屋儀藏殿 | 状 | |
| W6 13 | 3 | 10 | | | (封筒) | (慶応元年)八月廿五日 | 外村忠兵衛 | 白石・渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 3 | 11 | | | 荷物送り状之事(大物式簡につき) | (慶応元年)九月 | 長谷川源右衛門(印) | 奥州・越河・中野目屋武右衛門様、同・白石・渡部屋儀藏殿 | 状 | |
| W6 13 | 3 | 12 | | | 覚(仕入方御役代錢五貫式百五拾文請取につき) | (慶応元年)九月七日 | 越河町・村上武右衛門(印) | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 3 | 13 | | | 覚(代錢五百九拾六文請取につき) | (慶応元年)十一月十一日 | 寿屋(印) | 白石中町・わたなべや甚藏様 | 状 | |
| W6 13 | 3 | 14 | | | 覚(荷物五箇代金式歩式朱請取につき) | (慶応元年)五月七日 | 武田三吉 | | 状 | |
| W6 13 | 3 | 15 | | | 覚(結薄キ四拾五包代錢式百廿五文など届候につき) | 丑(慶応元年)七月 | 丸太 | 寿丸・御店中様 | 状 | |
| W6 13 | 3 | 16 | | | 追啓(相替わらず御厚情のほど願い上げにつき) | (慶応元年)正月五日 | 伊勢屋利平、惣七 | 渡辺屋儀藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | |
| W6 13 | 3 | 17 | | | 覚(嶋切五反など取引につき) | (慶応元年)十月三日 | 山南店 | 寿丸御店様 | 状 | |
| W6 13 | 3 | 18 | | | 覚(女子四分など取引につき) | (慶応元年)九月廿日 | | | 状 | |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|--|-------------------|--------------------------------|---------------------------|----|-----------------------|
| W6 13 | 3 | 19 | | | 覚(麻小紋形代金四十八両など取引につき) | 丑(慶応元年)ノ七月 | 山崎屋時右衛門 | 中町・渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 3 | 20 | | | 覚(山柳紙二百本代銀三匁ノ分勘定につき) | 丑(慶応元年)ノ五月八日 | 山水ノ店 | 寿丸様 | 状 | |
| W6 13 | 3 | 21 | | | 〇式百廿九(新布段拾式枚・品田拾九丈九尺・式反書上) | 丑(慶応元年)九月十一日 | <ヤヤ三>店 | 渡辺様 | 状 | |
| W6 13 | 3 | 22 | | | 覚(ワリ)キ坂三拾五枚など書上) | 丑(慶応元年)ノ五月廿二日 | 客店 | 寿丸御店様 | 状 | |
| W6 13 | 3 | 23 | | | (書状・木綿御用向仰せ付けられにつき) | (慶応元年)正月三日 | 小原や和助 | 白石・渡邊屋儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 3 | 24 | | | 人口記(〇御印様分・<ワロ>御印様分など書上) | 丑(慶応元年)七月廿八日 | <ヤヤ三>店 | <イヌ>〇>御尊店様 | 状 | |
| W6 13 | 3 | 25 | | | 覚(子十一月廿八日小馬様御祝義割合金壹分壹朱下七拾四文など指引金式両三分式朱ト式百拾八文不足につき) | 丑(慶応元年)九月廿三日 | 井丸店 | 寿丸御店様中 | 状 | |
| W6 13 | 3 | 26 | | | 覚(木綿代などノ志貫六百四十拾文為替にて指し送りにつき) | 丑(慶応元年)ノ四月廿七日 | 沼上問屋・斎藤持置(印、伊具・沼上問屋) | 白石町・渡部屋儀藏殿 | 状 | |
| W6 13 | 3 | 27 | | | 覚(引荷式簡分三百式拾など諸買物代石津屋分御渡し願いにつき) | (慶応元年)閏ノ五月三日 | 長町・問屋(印) | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 3 | 28 | | | 覚(荷物拾壹筒など受取につき) | 丑(慶応元年)ノ五月三日 | 承人・丹野十太夫(印) | 渡部屋様 | 状 | |
| W6 13 | 3 | 29 | | | 覚(鼠半紙四十四枚代金勘定につき) | (慶応元年)五月四日 | かみや豊藏 | 渡部屋様 | 状 | |
| W6 13 | 3 | 30 | | | 覚(さめ洗かけ銀式匁五分などノ銀四十九匁分勘定につき) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 13 | 3 | 31 | | | (覚、金十兩拜領につき) | (慶応元年) | | | 状 | 前欠カ |
| W6 13 | 3 | 32 | | | 覚(二月十一日生糸御役代四貫四百七十三文などノ錢六貫四百七十匁文勘定につき) | (慶応元年) | (印、奥州・白石・亘理町<ヤヤ三>谷津屋) | | 状 | |
| W6 13 | 3 | 33 | | | 取引覚(錢壹貫四百四拾文につき) | 丑(慶応元年)十一月廿二日 | 婦傳 | | 状 | |
| W6 13 | 3 | 34 | | | (書状、注文金延引につき) | (慶応元年)閏五月廿九日 | 山崎屋良助 | 渡部屋義藏様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 13 | 3 | 35 | | | 覚(砂鉢式反売上代金壹分式朱請取につき) | 丑(慶応元年)四月十二日 | 石井屋喜六(印、白石中町・長谷喜六) | 寿丸様 | 状 | |
| W6 13 | 3 | 36 | | | 覚(金三兩三朱指上候調書につき) | (慶応元年) | 相藏々 | 渡儀様、同藤兵衛様 | 状 | |
| W6 13 | 3 | 37 | | | 覚(木綿壹筒など受取につき) | 丑(慶応元年)ノ六月二日 | 沼上問屋・斎藤約之丞(印、伊具・沼上問屋) | 白石中町・渡部屋義藏殿 | 状 | |
| W6 13 | 4 | 1 | | | 送り状之事(丈巻太物壹筒につき) | (慶応2年)八月晦日 | 佐野屋久右衛門(印) | 白石・渡辺屋義藏様 | 状 | こより共 |
| W6 13 | 4 | 2 | | | 送り状事(太物りう久包壹筒につき) | (慶応2年)八月廿六日 | いせや利平(印、<ヤヤ平>堀江意・金銀不用) | 奥州・越河・村上武左衛門殿、同・白石・渡邊屋庄松殿 | 状 | |
| W6 13 | 4 | 3 | | | 送り状事(太物琉球包式筒につき) | (慶応2年)八月廿六日 | いせや利平(印、<ヤヤ平>堀江意・金銀不用) | 奥州・越河・村上武左衛門殿、同・白石・渡邊屋儀藏殿 | 状 | |
| W6 13 | 4 | 4 | 1 | | (包紙、陸通り送り状入) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 13 | 4 | 4 | 2 | | 送り状之事(木綿壹筒御他領直仕人荷物当御境日へ相入につき) | 寅(慶応2年)ノ二月廿五日 | 沼ノ上問屋・斎藤約之丞(印) | 道中筋所々・御役所(印) | 状 | 伝達経路は斎藤→十藏様(福田十藏)→御役所 |
| W6 13 | 4 | 4 | 3 | | 覚(太物壹筒為替代金相渡され、および代錢志貫九百八拾六文御渡しにつき) | (慶応2年)二月廿五日、二月廿六日 | 沼上問屋・高橋与五郎(印)、齋川問屋 | 白石中町・渡邊屋儀藏様(ほか3名) | 状 | |
| W6 13 | 4 | 5 | | | 覚(麻ノ反代銀拾九匁勘定につき) | (慶応2年)五月十八日 | 川口屋進一郎(印、奥州・福嶋中町<ワミ>川口屋・荒物小問物) | 上 | 状 | |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|---------------------------------------|--------------------|------------------------------|--|----|----------------------------|
| W6 13 | 4 | 6 | | | 覚(巻筒式反など商品書上) | (慶応2年)五月廿四日 | <ネ十> | 寿〇様 | 状 | |
| W6 13 | 4 | 7 | | | (覚、生地メ式丈九尺五寸など商品書上) | (慶応2年) | | | 状 | 前欠カ |
| W6 13 | 4 | 8 | | | 覚(小袖巻筒など商品書上) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 13 | 4 | 9 | | | 覚(銀六百七十匁など金銭書上) | (慶応2年)十二月十一日 | 丸角 | 御本家様 | 状 | |
| W6 13 | 4 | 10 | | | 覚(巻包荷物・琉球包メ巻状送り申し候につき) | 寅(慶応2年)十一月朔日 | 越河間屋場・円吉(印) | 斎川町・御間屋様 | 状 | |
| W6 13 | 4 | 11 | | | 覚(代銭メ巻貫三貫貳拾四文御遣し下されたくにつき) | (慶応2年)十一月二日 | 留治(印、奥州・多川) | 渡邊儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 4 | 12 | | | 荷物送り状之事(太物式筒積入申候につき) | (慶応2年)十月十日 | 長谷川源右衛門(印) | 奥州・越川<ネ>・村上武右衛門 武右衛門様・同・白石・渡部 屋儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 4 | 13 | | | 送り状之事(疏久包式筒差し贈り申候につき) | (慶応2年)十月八日 | 長谷川次郎吉(印) | 奥州越川<ネ>・村上武右衛門 門殿・同・白石・渡邊屋儀藏殿 | 状 | |
| W6 13 | 4 | 14 | | | 贈状之事(巻包式筒<ネ>陸送りにつき) | (慶応2年)四月三日 | 大伝馬町老丁目・佐野屋丹 兵衛(印) | 白石・渡辺屋儀藏殿 | 状 | |
| W6 13 | 4 | 15 | | | (覚、上下地六十七匁五分・五十五匁・四十五匁などにつき) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 13 | 4 | 16 | | | (書状、渡部屋儀藏殿より紙布薄羽織地百反受取につき) | とら(慶応2年)二月六日 | 奈良屋八兵衛(印)、藤吉 | 大石屋太吉様、牧治様 | 状 | 付箋あり |
| W6 13 | 4 | 17 | | | 覚(太物三筒代銭四百五十文など荷物運賃書上) | とら(慶応2年)十一月十五日、廿五日 | 越河間屋場・円吉 | 渡辺屋儀藏様(ほか2名) | 状 | |
| W6 13 | 4 | 18 | | | (覚、白布拾壹丈六尺・花筆拾七丈志尺などにつき) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 13 | 4 | 19 | | | 太物直段定(鳥縮巻反代銀三拾六匁五分などにつき) | 甲ノ文久四年子三月十一日 | 払場中 | | 状 | |
| W6 13 | 4 | 20 | | | (覚、醤油高直のため直段書上) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 13 | 4 | 21 | | | (覚、白布代金など勘定につき) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 13 | 4 | 22 | | | 太物直段定覚(白巻反代銀拾八匁式分など仲場一統吟味の上直段相定めにつき) | 甲ノ文久四年子二月日 | 仲場中 | | 状 | |
| W6 13 | 4 | 23 | | | 覚(薄花のみ手紙など調書上申につき) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 13 | 4 | 24 | | | 覚(生糸代百八拾五匁・三貫三百拾文などメ錢三拾四貫八百七拾五文勘定につき) | 寅(慶応2年)二月五日 | 丸太 | 寿丸様 | 状 | |
| W6 13 | 4 | 25 | | | (覚、三反七分買外巻奴駄ちん代銀につき) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 13 | 4 | 26 | | | 覚(木綿式筒送り、駄賃銀四百五拾文此者に御渡し下されたくにつき) | (慶応2年)三月十一日 | 斎川宿間屋場 | 白石中町・渡辺御阿家様 | 状 | |
| W6 13 | 4 | 27 | | | (覚、菊紋付五寸・梅ノ絵四寸六分など勘定につき) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 13 | 4 | 28 | | | 子五月書上(鼠平紙・ちり紙などにつき) | 子(元治元年)五月 | | | 状 | |
| W6 13 | 4 | 29 | | | (覚、糸崎三反代金勘定につき) | (慶応2年)三月廿日 | 渡部松之助 | 本家・渡部様 | 状 | |
| W6 13 | 4 | 30 | | | 相庭書(金一両にて古新式反三分、改式反五分などにつき) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 13 | 4 | 31 | | | 小売直段(目録巻帖上四百文・中三百五拾文など書上) | (慶応2年)五月廿九日 | 仲場中 | | 状 | |
| W6 13 | 5 | 1 | | | 覚(新紙代金貳拾兩勘定につき) | 丑(慶応元年)六月 | 松屋宗吉、助七(印、<ネ>宗 >北越・今町・松屋) | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | こより共、こより付紙に「丑ノ盆前越後仕切書巻」とあり |

| 箱 番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表 題 (内 容) | 作 成 年 月 日 | 差 出 人 | 受 取 人 | 形 態 | 状 態 ／ 備 考 |
|---------|----|----|----|----|--|-----------------------|-------------------------------|--------------------|--------|--|
| W6 13 | 5 | 2 | | | 仕切覚(四六真岡極印三拾八反代銀三貫七百四拾八匁引合につき) | 丑(慶応元年)五月十七日 | 皆川屋兵吉(印、<キヤ吉> 越后・三条・大町・皆川) | 渡辺屋儀藏様(ほか4名) | 状 | 端裏に「御みつサマ」とあり |
| W6 13 | 5 | 3 | | | 仕切書(四四三真岡吉印式反代銀貳拾貳匁六分な ど引合につき) | 元治二丑四月十三日 | 皆川屋兵吉(印、<キヤ吉> 越后・三条・大町・皆川) | 渡辺屋儀藏様(ほか2名) | 冊 | |
| W6 13 | 5 | 4 | | | ○(四六極印画面十七反代銀七百八拾貳匁などメ 銀三貫五百七拾貳匁五分勘定覚) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 13 | 5 | 5 | | | 覚(百八拾貳番・縮六拾四反代銀貳貫九百五匁五 分など勘定につき) | 丑(慶応元年)閏五月 | まつや宗吉、助七(印、<ケニ 宗>北越・今町・松屋) | 渡辺儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 13 | 5 | 6 | | | 覚(大物四箇など荷数六箇メ銀十貫八百四匁五分 勘定につき) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 13 | 5 | 7 | | | 覚(百八十五番之内、四ノ三五縮・留式反代銀八十 七匁などメ百四反代銀四貫貳百十六匁七分勘定 につき) | 丑(慶応元年)五月 | 松屋宗吉、助七 | 渡辺儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 13 | 5 | 8 | | | 覚(三十八半八甲形三反などメ十反勘定につき) | 丑(慶応元年)五月十四日 | 中傳 | 渡辺甚藏様 | 状 | |
| W6 13 | 5 | 9 | | | 覚(二十六〇帯染三反代銀七十八匁などメ貳十四反 代銀九百貳拾六匁五分勘定につき) | (慶応元年) | 中傳 | 〇様 | 状 | |
| W6 13 | 5 | 10 | | | 覚(五十一半極印三反代銀百五十四匁五分などメ 六十九反代銀三貫百七拾八分勘定につき) | 丑(慶応元年)ノ三 | 傳右衛門(印、<ワ中>卷 町・中屋) | 〇印様 | 冊 | |
| W6 13 | 5 | 11 | | | 覚(草堂反代銀貳十五匁などメ十五反代銀四百拾 壹匁勘定につき) | 丑(慶応元年)二月七日 | 中傳 | 渡辺甚藏様 | 状 | |
| W6 13 | 5 | 12 | | | (覚、花密反売などメ八反売につき) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 13 | 5 | 13 | | | 覚(廿五六、方四反代銀百貳匁四分などメ三十一 反代銀五百五匁五分勘定につき) | 子(元治元年)五月廿三日 | 吉井屋兵右衛門(印) | 渡辺義藏様 | 状 | |
| W6 13 | 5 | 14 | | | 送り状之事(大物入六拾八反につき) | 子(元治元年)五月廿四日 | 吉井屋兵右衛門(印) | 白石・渡辺義藏様、御店衆 中様 | 状 | |
| W6 13 | 5 | 15 | | | (覚、三十巻反代銀八百五匁五分など引合につき) | 子(元治元年)ノ極月六日 | | | 状 | |
| W6 13 | 5 | 16 | | | 入日記(卅三五・最上式反代銀六拾七匁などメ六十 八反代銀貳貫百七拾匁八分御注文仰せ付けられ候 内、取り揃え相送りにつき) | 子(元治元年)五月廿四日 | 吉井屋兵右衛門 | 渡辺義藏様 | 状 | |
| W6 13 | 5 | 17 | | | 子夏仕切(百九拾貳番・四十七〇万印八反代銀三 百七十六匁などメ六拾四反代銀貳貫六百六十九 匁三分につき) | 子(元治元年)四月 | 松屋宗吉、助七(印、<ケニ宗 >北越・今町・松屋) | 渡辺儀藏様、御店中様 | 冊 | |
| W6 13 | 6 | 1 | | | 覚(世語料金貳朱、山形福田屋喜次郎殿立替申上 候分につき) | とら(慶応2年)正月六日 | 角山平治 | 寿丸・豊吉様 | 状 | こより共、こより付紙に 「真盛後より結帳で店々 指引帳で巻戻しとあり |
| W6 13 | 6 | 2 | | | 覚(大物代金五十七両式分などメ代金六十八両三 分式朱引合につき) | 丑(慶応元年)ノ十二月 | 長谷川次郎吉、藤七(印) | 渡辺屋義藏殿 | 状 | |
| W6 13 | 6 | 3 | | | 覚(徳メ高金拾六兩余勘定につき) | 丑(慶応元年)ノ極月 | 中島平治(印、<リヤ久> 奥州・福岡・本町) | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 6 | 4 | | | 仕切(三五真上代形拾反など直段勘定差上、何卒 御買入下されたくにつき) | (慶応元年)十二月六日 | | (渡辺屋カ)御店中様 | 状 | 破損甚大 |
| W6 13 | 6 | 5 | | | 覚(金六拾七両五分請取につき) | (慶応2年)七月廿三日 | 佐野屋久右衛門、孝助(印) | 渡部屋儀三様 | 状 | |
| W6 13 | 6 | 6 | | | 取引覚(呉分壹貳式尺代銀七拾五匁につき) | 丑(慶応元年)ノ十二月 | 丸山 | 寿丸御店様 | 状 | |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|---|---------------|--------------------------------|----------------------------|----|--------------------------------|
| W6 13 | 6 | 7 | | | 覚(彦人前築貨銀貳拾五匁請取につき) | 丑(慶応元年)十二月廿二日 | 生酒屋吉藏(印) | 上 | 状 | |
| W6 13 | 6 | 8 | | | 覚(十五日草四味代銀百匁など勘定につき) | 丑(慶応元年)十二月 | 阿古嶋屋藏助 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 6 | 9 | | | 覚(ちり紙五百五十枚、<ヤサ>分請取につき) | 寅(慶応2年)ノ正月八日 | 御采屋七次郎(印、仙台・角田・中町) | 渡辺屋甚藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 13 | 6 | 10 | | | 覚(山形にて諸かかり入用・世話料金貳朱御立替分勘定につき) | とら(慶応2年)正月十九日 | 角山 | 寿丸様 | 状 | |
| W6 13 | 6 | 11 | | | 覚(大物代金壹切一朱などメ金八切一朱御受取下さるべくにつき) | (慶応2年)正月十九日 | 角山 | 寿丸様 | 状 | |
| W6 13 | 6 | 12 | | | 覚(山田屋忠次郎様より為替にて請取候金五匁三朱、手形引替にて御渡し下されたくにつき) | 寅(慶応2年)正月六日 | 山さきや良助(印) | 渡辺儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 6 | 13 | | | 為替手形覚(帛摺代金壹匁三分・百八十八式文、山田屋忠治郎殿へ為替仕り、正月晦日御渡し下されたくにつき) | 元治元子年極月 | 山崎屋良助(印) | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 6 | 14 | | | 覚(柳川甚反代銀八十六匁などメ銀貳百六十五匁勘定につき) | 丑(慶応元年)ノ十二月 | 吉田屋孝八 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 6 | 15 | | | 覚(宇都宮本店分金八拾八匁貳分・五百六十式文などメ金百六拾七匁三朱受取につき) | 丑(慶応元年)七月廿五日 | 佐野屋丹兵衛(印、<ノヤ>木>江戸・犬傳馬壹・佐野屋丹兵衛) | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 7 | 1 | | | 送り(生糸買入のため元金送付にて明日まで御預り下されたくにつき) | 文久三年十月廿四日 | 白石町・上判取売人・庄松 | 越河町・檢断・武右衛門殿 | 状 | こより共、こより付紙に「越後并二仕切巻・子六月十七改」とあり |
| W6 13 | 7 | 2 | 1 | | 覚(代金勘定につき) | (文久3年)九月廿七日 | 寿丸 | 井丸御店中様 | 状 | こより共 |
| W6 13 | 7 | 2 | 2 | | 覚(金額・商品書上) | (文久3年)九月廿七日 | 才川町<ヤサ>問屋(印) | 義藏様 | 状 | |
| W6 13 | 7 | 2 | 3 | | 覚(木綿四箇引替願いにつき) | い(文久3年)ノ九月廿六日 | 沼上問屋・斎藤約兵衛(印、<ヤサ>伊具・沼上・問屋) | 斎川町・問屋・高橋勇藏殿 | 状 | |
| W6 13 | 7 | 2 | 4 | | 覚(木綿四箇為替にて積み下り御引替御渡し願いにつき) | い(文久3年)ノ九月廿五日 | 沼ノ上問屋・斎藤約兵衛(印、<ヤサ>伊具・沼上・問屋) | 斎川町・問屋・高橋勇藏殿 | 状 | |
| W6 13 | 7 | 3 | | | 送り状之事(送包送付につき) | (文久3年)八月廿九日 | 長谷川次郎吉 | 奥州・越河・村上武左衛門殿、奥州・白石・渡辺や儀藏殿 | 状 | |
| W6 13 | 7 | 4 | | | 覚(白紬貳疋半・黒紬壹疋代金五匁分貳朱受取につき) | 亥(文久3年)十月六日 | 保原・紙屋久助 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 7 | 5 | | | 覚(メ銀貳貫七百三十匁書上) | (文久3年) | | | 状 | |
| W6 13 | 7 | 6 | | | 覚(生糸御調書の通り受取につき) | 亥(文久3年)十月廿四日 | 布袋屋小兵衛(印、<ヤサ>奥州・福島・本町・布袋屋) | 渡辺儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 7 | 7 | | | 送り状(送包荷物式筒、白石町渡辺屋儀藏殿行につき) | 亥(文久3年)十月朔日 | 越後総問屋・円吉 | 斎川町・御問屋様 | 状 | |
| W6 13 | 7 | 8 | | | 覚(金額書上) | (文久3年)十一月廿八日 | 丸角 | 御本家様 | 状 | |
| W6 13 | 7 | 9 | | | 入日記(品物送付のため受取願いにつき) | (文久3年)十月三日 | 丸近店 | ○御印様 | 状 | |
| W6 13 | 7 | 10 | 1 | | 覚(取替相渡し願いにつき) | (文久3年)十月廿日 | 寿丸 | <カ山>御店様、<カ口>御店様 | 状 | |
| W6 13 | 7 | 10 | 2 | | 覚(大物三箇為替にて代金遣し候につき) | い(文久3年)十月廿日 | 高橋後兵衛 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 7 | 10 | 3 | | 覚(木綿壹箇・山田屋忠次郎殿行など品名送付先書上、および為替送付のため荷物引替につき) | 亥(文久3年)ノ十月十九日 | 水沢問屋・笠戸弥右衛門 | 才川町・問屋・高橋深之助様 | 状 | |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|----------------------------------|---------------|-------------------------|---------------------------|----|-------------------------|
| W6 13 | 7 | 11 | | | 注文書(嶋縮紙切などにつき) | (文久3年)十一月廿一日 | 奈良屋作兵衛、辰三郎 | 渡辺屋儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 13 | 7 | 12 | | | 寛(代金メ三両三朱差し上げにつき) | (文久3年)十一月二日 | 宗木屋与兵衛、同与吉 | 渡辺義藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 13 | 7 | 13 | | | 寛(金額・商品書上) | (文久3年)十二月廿八日 | 宗木屋与兵衛 | 渡辺義藏様 | 状 | |
| W6 13 | 7 | 14 | | | 寛(五式・七拾丁代銀貳百六拾目など勘定につき) | (文久3年)十一月廿三日 | 都田屋嘉六 | 渡辺屋様 | 状 | なかに一紙(断簡)あり |
| W6 13 | 7 | 15 | | | 寛(金子御届けにつき) | 亥(文久3年)十月 | <カカ大>忠郎 | ○御店様 | 状 | |
| W6 13 | 7 | 16 | 1 | | 寛(島切七丈八尺八寸代銀五拾五匁七分五文など商品・金額書上) | (文久3年)十一月十三日 | | | 状 | こより共 |
| W6 13 | 7 | 16 | 2 | | 寛(代銀五百拾匁五分など勘定につき) | (文久3年) | | | 状 | |
| W6 13 | 7 | 16 | 3 | | 寛(はかま三反代銀百拾七匁など書上) | い(文久3年)十一月三日 | 中屋伝右衛門 | 渡邊甚藏様 | 状 | |
| W6 13 | 7 | 16 | 4 | | 寛(松印・桜・子印など商品直段書上) | い(文久3年)十一月十一日 | 中屋伝右衛門(印、<カカ中>北越・中屋・巻町) | 渡邊甚藏様 | 状 | |
| W6 13 | 7 | 17 | 1 | | (寛、代銀四百拾三匁五分などメ銀四貫八十匁六分勘定につき) | (文久3年) | | | 状 | こより共 |
| W6 13 | 7 | 17 | 2 | | 寛(はかま七反・女帯十本などメ銀壹貫八百六十九匁五分勘定につき) | (文久3年)八月四日 | 中屋伝右衛門 | ○印御店 | 状 | |
| W6 13 | 7 | 17 | 3 | | 寛(松印四反・桜印八反など送り候につき) | (文久3年)八月五日 | 中屋伝右衛門 | 渡邊甚藏様 | 状 | |
| W6 13 | 7 | 18 | | | 寛(銀壹貫九百拾匁請取につき) | い(文久3年)八月六日 | 仙台屋源兵衛(印) | 上 | 状 | |
| W6 13 | 7 | 19 | | | 寛(銀四十匁九分・十八匁四分など金銭書上) | 亥(文久3年)三月九日 | 大畠屋吉兵衛 | 渡邊屋甚藏様 | 状 | |
| W6 13 | 7 | 20 | | | 送り状之事(送包き個差し贈り候につき) | (文久3年)九月十三日 | 長谷川次郎吉 | 奥州・越河・村上武右衛門殿、同・白石・渡部や儀藏殿 | 状 | |
| W6 13 | 7 | 21 | | | 寛(木綿四包代銀五百三十匁請取につき) | 亥(文久3年)九月廿一日 | 亀屋三音(印) | 高橋屋甚兵衛様 | 状 | |
| W6 13 | 7 | 22 | | | 寛(紺上縫五反代銀百十五匁・売之代金受取につき) | (文久3年)十月朔日 | 鈴木屋幸吉 | ○印御店様 | 状 | |
| W6 13 | 7 | 23 | | | 仕切書(更紗代銀六両五分などにつき) | (文久3年)十一月廿七日 | よし田屋吉兵衛 | 渡邊屋甚藏様、御店中様 | 冊 | |
| W6 13 | 7 | 24 | | | 寛(金子拾五匁三分三朱請取につき) | (文久3年)七月廿日 | さのや久右衛門、直兵衛 | 渡邊屋義藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 13 | 7 | 25 | | | 寛(麻筆代金一両一分三朱勘定につき) | い(文久3年)十一月六日 | 川口や熊吉 | 光白や清作様 | 状 | |
| W6 13 | 8 | 1 | 1 | | 寛(直助拾反代銀百六拾五匁書上) | (文久3年)十一月廿一日 | 澤口安左衛門 | 渡邊様 | 状 | こより共、こより付紙に「子正月十七日改」とあり |
| W6 13 | 8 | 1 | 2 | 1 | 寛(指糸代銀三拾貳匁送り・御入帳につき) | (文久3年)十月廿三日 | 相原太兵衛 | 渡邊屋儀藏様 | 状 | こより共 |
| W6 13 | 8 | 1 | 2 | 2 | 寛(代金請取につき) | (文久3年)七月十七日 | 津国屋藤兵衛 | 上 | 状 | |
| W6 13 | 8 | 1 | 2 | 3 | 寛(白布三反代銀四拾三匁五分、上ノ布貳反代銀など勘定につき) | (文久3年)十月十四日 | 小仁屋勘助 | 渡部屋義藏様 | 状 | |
| W6 13 | 8 | 1 | 2 | 4 | 寛(草向キ三枚売上金四両三分勘定につき) | (文久3年)十月十七日 | 渡邊や忠兵衛 | 上 | 状 | |
| W6 13 | 8 | 1 | 2 | 5 | 寛(極上竿鈴拾貫目代金三両貳朱勘定につき) | (文久3年)十月十八日 | 田邊松兵衛 | 渡辺屋様 | 状 | |
| W6 13 | 8 | 1 | 3 | | 寛(三十紙八反代銀卅二匁六分など勘定につき) | (文久3年)八月卅日 | 人吉 | ○様 | 状 | |
| W6 13 | 8 | 1 | 4 | | 寛(草羽織壹匁代銀八拾四目請取につき) | (文久3年)九月朔日 | 木村屋忠八 | 上 | 状 | |
| W6 13 | 8 | 1 | 5 | | 寛(売上代金請取につき) | (文久3年)九月朔日 | 渡邊屋忠兵衛 | 上 | 状 | |
| W6 13 | 8 | 1 | 6 | | 寛(御仲代錢百三十五文など請取につき) | (文久3年)八月晦日 | 佐藤屋忠兵衛 | 渡部儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 8 | 1 | 7 | | し切(染布五反代金受取につき) | (文久3年)八月晦日 | 沢口安右衛門(印) | 渡邊屋藤兵衛様 | 状 | |
| W6 13 | 8 | 1 | 8 | | 寛(代銀拾匁九分勘定につき) | (文久3年)八月八日 | 入星 | 寿丸様 | 状 | |
| W6 13 | 8 | 1 | 9 | | 寛(金紙廿反など商品書上) | (文久3年)八月九日 | <ヤカ大> | ○様 | 状 | |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|--|----------------|----------------------------------|-------------|----|-------|
| W6 13 | 8 | 2 | 1 | | 覚(二郎兵衛忠反代銀三拾匁買上代銀指上につき) | (文久3年) 極月十七日 | 松岡屋富右衛門(印) | 上 | 状 | こより共 |
| W6 13 | 8 | 2 | 2 | | 覚(鉄色沓反など取引につき) | (文久3年) 十二月十六日 | 熊谷や正左衛門(印、<ヤ>大 >熊谷屋・仙台・大町四丁目) | 上様 | 状 | |
| W6 13 | 8 | 2 | 3 | | 覚(買上代金五両貳匁請取につき) | (文久3年) 十二月廿七日 | 塚屋長兵衛 | 上 | 状 | |
| W6 13 | 8 | 2 | 4 | | 覚(立縮皮羽織など三品買上代金二両沓歩一朱受取につき) | (文久3年) 十二月十七日 | 大黒屋惣兵衛(印) | 上 | 状 | |
| W6 13 | 8 | 2 | 5 | | 覚(中判代銭沓費八十文取引につき) | (文久3年・月未詳) 十六日 | <ヤ>大> | ○様 | 状 | |
| W6 13 | 8 | 2 | 6 | | 覚(皮着貳反取引につき) | (文久3年) 十二月十七日 | 澤口屋七助(印) | 佐栄様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 1 | | | 仕切書(次判敷丸七枚など指上、御入帳成し下されたくにつき) | (慶応元年) 六月十六日 | 小西久兵衛(印) | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | こより共 |
| W6 13 | 9 | 2 | | | 覚(五六・四張代金八両沓歩など取引につき) | (慶応元年) 四月十三日 | 沼田屋喜藏(印、<カギ>ヤ> >国分町・十九軒・沼喜) | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 3 | | | 覚(紙刺など取引につき) | (慶応元年) 三月十二日 | 小西屋久兵衛 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 4 | | | 覚(薬紙五十反など取引につき) | (慶応元年) 十二月十九日 | <ヤ>大> | 東兵衛様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 5 | | | 覚(白万刀九十足代銭貳拾沓費百五拾文など取引につき) | (慶応元年) 十二月十九日 | 高はしや喜右衛門 | 渡辺屋儀藏様、東兵衛様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 6 | | | 覚(小三八・八十三代金百匁・四匁五分など取引につき) | (慶応元年) 四月十三日 | 奥山幸助(印、<カ>各>奥 州・仙台・国分町・奥山) | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 7 | | | 覚(六五込大判三八六十状など取引につき) | (慶応元年) 四月十三日 | 大石屋太吉 | ○様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 8 | | | 覚(九七・小天印五十四状など取引につき) | (慶応元年) 四月十一日 | 小西屋久兵衛 | 渡部屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 9 | | | 覚(四貫目荷造りなど取引につき) | (慶応元年) 四月十三日 | 佐藤屋長次(印、<ヤ>丁> 仙台・増田・本町・佐藤屋) | 白石町・渡辺儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 10 | | | 覚(五拾貫大判二八廿状取引につき) | (慶応元年) 十二月十六日 | <カ>三>小判 | ○御店様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 11 | | | 覚(厚紙楮代銀沓費五百匁御渡しにつき) | (慶応元年) 正月廿一日 | 大いしや | 渡甚様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 12 | | | 覚(花もの分代金拾一両三歩書上) | (慶応元年) 十二月廿一日 | 太物・三藏(印、仙臺・大町 四丁目・太物店・三藏) | 渡邊儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 13 | | | 覚(は紙百枚代銀貳十匁など書上) | (慶応元年) 十一月卅日 | 大石屋太吉 | ○様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 14 | | | 覚(十弍・小文五十状など書上) | (慶応元年) 九月廿日 | <カ>大>七平 | 渡甚様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 15 | | | 覚(荷造り貨銀五百文など指引直シ金五両貳分・八十九文勘定につき) | 丑(慶応元年) ノ十月十日 | 増多ノ佐藤屋長次(印、本 町) | 渡邊儀藏様、東兵衛様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 16 | | | 覚(九月廿一日出、荷不足、および代金五両貳分ト八十九文受取につき) | (慶応元年) 十一月九日 | 増田町・佐藤屋長次(印) | 渡邊儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 17 | 1 | | 覚(並日五拾本代銭拾沓費四百三拾文など諸色代銀メ三拾八貫百七拾文勘定につき) | (慶応元年) 九月廿九日 | 二日町・高橋屋喜右衛門 | 渡邊屋儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 17 | 2 | | 覚(商紙判代銀八百四十九匁書上) | (慶応元年) 九月十八日 | 奥武平 | 渡甚様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 17 | 3 | | 覚(近表代銀四貫七百三拾六匁余受取につき) | 丑(慶応元年) ノ九月廿一日 | 奥七助 | 渡儀様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 17 | 4 | | 覚(紙布廿反など書上) | 丑(慶応元年) ノ九月廿日 | 奥七平 | 渡儀様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 17 | 5 | | 覚(薄葉貳百枚代銀廿八匁勘定につき) | (慶応元年) 九月廿一日 | 大石屋直吉 | 藤兵衛様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 17 | 6 | | 覚(豊状代銀廿八匁など諸色代銀メ百三十八匁五分九リ勘定につき) | (慶応元年) 九月廿日 | 小西屋久兵衛 | 渡部屋儀藏様、御店中様 | 状 | |

| 箱 番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表 題 (内 容) | 作 成 年 月 日 | 差 出 人 | 受 取 人 | 形 態 | 状 態 ／ 備 考 |
|---------|----|----|----|----|---|-----------------------|----------------------------------|-------------|--------|-----------------------|
| W6 13 | 9 | 18 | | | 覚(六月十五日生糸代銀六百四匁など諸色代銀ノ 壹貫五百九匁御入記願いにつき) | (慶応元年)九月廿一日 | 奈良屋作兵衛 | 渡邊屋様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 19 | | | 覚(大ミの十六丈不足分御送り願いにつき) | (慶応元年)八月十五日 | 大いしや大吉 | ○御主人様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 20 | | | 覚(箱代銀五匁五分など諸色代銀ノ四百九拾匁七 分三リ勘定につき) | (慶応元年)六月十四日 | 小西屋久兵衛(印) | 渡部屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 21 | | | 覚(真紙三拾四状代銀五十匁匁など諸色代銀ノ百 九拾九匁勘定につき) | (慶応元年)六月十五日 | 大石屋太吉 | 渡儀様、御店中様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 22 | | | 覚(大判みの四拾八状・赤かうやく式貫目御記帳 願いにつき) | 丑(慶応元年)ノ六月十四日 | か直 | ○御店様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 23 | | | 仕切(上々指糸三拾包代銀八貫七百文請取につ き) | 丑(慶応元年)六月十五日 | 国分町十九軒・佐藤屋忠兵 衛(印、国分町) | 上 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 24 | | | (覚、金貳弍三歩御渡しにつき) | (慶応元年)六月十五日 | 茂兵衛親類・商売仲間(印) | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 25 | | | 覚(金三切請取につき) | (慶応元年) | 多利藏 | ○御店様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 26 | | | 覚(小三八・廿状代金貳弍歩式朱取引につき) | (慶応元年)六月八日 | <ヤラ> | ○様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 27 | | | 覚(紙長花代銀拾七匁五分など取引につき) | (慶応元年)五月 | 吉田多吉(印) | 渡辺屋儀藏様、御店様中 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 28 | | | 覚(添紙代銀貳百拾七匁指上につき) | (慶応元年)五月十七日 | 小西屋久兵衛(印、仙臺・大 町四丁目・小西屋久兵衛) | 渡邊儀藏様、同半兵衛様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 29 | | | 覚(九五・大ミの廿状代銀三十匁五分・七文請取 につき) | (慶応元年)八月四日 | 大石屋太吉 | ○御店様、豊吉様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 30 | | | 覚(本かみ廿丈代銀壹貫七百六十匁書上) | (慶応元年)三月五日 | 大川や | ○様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 31 | | | 覚(三ばん五四・五拾反など諸色代金ノ拾兩受取 につき) | (慶応元年)四月廿五日 | 星屋仁吉(印、<ガ>ヤラ二> 奥州・仙台・増田町・星屋) | 白石中町・渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 32 | | | 仕切(中間五拾反・四ばん代金九切九分受取につき) | (慶応元年)四月廿六日 | 星屋仁吉(印、<ガ>ヤラ二> 奥州・仙台・増田町・星屋) | 渡辺屋儀藏様、御店様中 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 33 | | | 覚(次列片面五十枚・壹貫目など諸色代銀ノ三貫 三百五十匁御引合御入帳下さるべくにつき) | (慶応元年)四月廿日 | 大石屋太吉 | 渡儀様、金兵衛様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 34 | | | おほへ(男物式足代錢貳貫四百文など受取につき) | (慶応元年)四月廿日 | 後藤屋太郎兵衛 | 藤兵衛様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 35 | | | 覚(生糸貳百三拾七目代金四兩三分式朱勘定につき) | (慶応元年)四月廿三日 | 高橋屋喜右衛門(印、仙台・ 二日町) | 渡辺屋義藏様、東兵衛様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 36 | | | 覚(生糸五十四目代金壹弍式朱請取につき) | (慶応元年)七月廿五日 | 澤口安治(印) | 藤兵衛様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 37 | | | (書状、六寸金米むきなし拾式帳代銀壹貫百七拾 式匁六分など諸色代金ノ式拾六兩壹分一朱御引 合下されたくにつき) | (慶応元年)十月朔日 | 澤口安次 | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 38 | | | 覚(十〇五張子紙廿壹状代銀三拾匁など諸色代銀 ノ百五拾五匁六分・四文勘定につき) | (慶応元年)四月廿二日 | 小久(印、<ガ>ヤラ●>仙台・ 大町四丁目・小西屋久兵衛) | 渡儀様、藤兵衛様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 39 | | | 覚(雪踏式足代銀拾六匁請取につき) | (慶応元年)四月廿二日 | 大丸屋三藏 | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 40 | | | 覚(金廿六兩壹分式朱受取につき) | 丑(慶応元年)ノ十月十四日 | 沢口安次(印、<ヤラ>仙 台・河原町・澤口) | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 41 | | | 覚(立長四拾五反代金拾切など受取につき) | 丑(慶応元年)ノ二月十四日 | 佐藤屋長次(印) | 渡邊儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 42 | | | 覚(小かた馬廿九代錢壹貫五百九十五文勘定につき) | (慶応元年)二月十五日 | いせや半右衛門(印) | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 43 | | | 覚(一角丸など諸色代銀ノ四百三拾文受取につき) | 丑(慶応元年)正月廿九日 | 代・清助 | 上々様 | 状 | |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|--|----------------|-------------------------------|--------------------|----|----------------------------|
| W6 13 | 9 | 44 | | | 覚(金三拾三切受取につき) | 子(元治元年)十一月廿四日 | 佐藤屋長治(印) | 渡邊儀藏様、東兵衛様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 45 | | | 覚(大判五十帖直段極無引申し上げにつき) | (慶応元年)二月廿三日 | 大川や | 渡儀様、御家中様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 46 | | | 覚(越前奉書三状代銀三十六匁勘定につき) | (慶応元年)二月十五日 | 大川や | 〇様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 47 | | | 覚(紙き以外の残品は持参成りかね候につき) | (慶応元年)二月四日 | 大川や | 〇様 | 状 | |
| W6 13 | 9 | 48 | | | 覚(から紙判廿状極直印相働き指上、御入帳下されたくにつき) | (慶応元年)正月廿八日 | 大石屋太吉 | 渡邊儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 13 | 10 | 1 | | | 覚(金二拾壹匁式朱・三百七十三文請取につき) | (慶応3年)正月五日 | 小倉屋和助(印、奥州・仙台 <カニ>小倉屋) | 渡辺屋儀藏様 | 状 | こより共、こより付紙に「寛盆後諸方御仕切書巻」とあり |
| W6 13 | 10 | 2 | | | 覚(竹川より駄賃代錢五百五文など御割合申上候につき) | (慶応2年)九月廿八日 | 石切屋十右衛門 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 10 | 3 | | | 覚(三三庵・七納戸・咲紺梗十枚代銀三拾三匁など諸色代銀メ六拾匁五分勘定につき) | (慶応2年) | | | 状 | 後欠 |
| W6 13 | 10 | 4 | | | 覚(六三御納戸小六郎様式丈五尺代銀百五十七匁五分など諸色代銀メ五百三十九匁四分請取につき) | 寅(慶応2年)十二月廿九日 | 光白屋清次郎代・大作(印、奥州・福島<ヤ一>光白屋) | 白石・渡辺儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 10 | 5 | | | 覚(上篇壹反代銀六拾式匁勘定につき) | とら(慶応2年)十二月廿四日 | <コト山>店 | 〇御店衆中様 | 状 | |
| W6 13 | 10 | 6 | | | 覚(代金御届け精算願いにつき) | (慶応2年)十二月廿一日 | 大十店 | 寿丸御店様 | 状 | |
| W6 13 | 10 | 7 | | | 覚(金銭受取につき) | (慶応2年)十二月十八日 | 大森屋今朝松 | 上々様 | 状 | |
| W6 13 | 10 | 8 | | | 覚(金銭受取につき) | (慶応2年)十二月十一日 | 大もりや今朝松 | 上々様 | 状 | |
| W6 13 | 10 | 9 | | | 覚(御納戸五印式丈五尺代銀百五拾七匁など諸色代銀メ三百九拾三匁七分九厘勘定につき) | (慶応2年)十二月十六日 | 光白や清治郎(印) | 白石・渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 10 | 10 | | | 覚(金六十六匁壹歩勘定につき) | (慶応2年)十二月二日 | 谷屋安兵衛 | 渡辺屋義藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 13 | 10 | 11 | | | 覚(もめん織代銀拾九匁式分など諸色代銀メ百四拾式匁壹分勘定につき) | (慶応2年)八月十一日 | 丁子や佐吉 | 渡辺屋義藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | 破損あり |
| W6 13 | 10 | 12 | | | 仕切書 結キ四反代銀式百拾式匁など諸色代銀メ式貫七百六拾九匁につき) | (慶応2年)八月廿六日 | 谷屋安兵衛、又右衛門 | 渡辺屋儀藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | 破損あり |
| W6 13 | 10 | 13 | | | 仕切書 銀式貫七百六拾九匁九分、此金四十六匁式朱・式匁につき) | (慶応2年)九月十六日 | 谷屋安兵衛、又右衛門 | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 13 | 10 | 14 | | | 覚(袖附式番廿五品代銀六百八拾八匁八分五厘など諸色代銀メ壹貫式百八拾匁壹分五厘請取、品物指上につき) | (慶応2年)九月廿二日 | 大畑屋味右衛門(印、<カニ>久一>刈田・白石・短町・鈴木) | 渡辺屋儀藏様、渡辺屋左吉様、御店中様 | 状 | 破損あり |
| W6 13 | 10 | 15 | | | 覚(四十九七殊生織代り立五反など反物御入帳下さるべくにつき) | 寅(慶応2年)十月四日 | 中屋半兵衛(印、奥州・福島・本町) | 渡辺屋儀藏様、御店衆中様 | 状 | 破損あり |
| W6 13 | 10 | 16 | | | 覚(上ミ多びこ九十四本につき) | (慶応2年)七月六日 | 丁子や久吉 | 渡辺屋義藏様、御店中様 | 状 | 破損あり |
| W6 13 | 10 | 17 | | | (覚、腰帯はん紙巻帖請取につき) | (慶応2年)七月 | まる山(印、<カニ>山>白石・請取) | 寿丸様 | 状 | 破損あり |
| W6 13 | 10 | 18 | | | 覚(才料佐吉殿木綿巻筒運賃など諸入用錢百八拾壹文受取につき) | 寅(慶応2年)九月廿一日 | 福蒔・船会所(印) | 白石・渡辺屋儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 13 | 10 | 19 | | | 覚(取河内布段色六反など御入帳成し下されたくにつき) | 寅(慶応2年)十月十日 | 外村忠兵衛(印、金銀不用・外忠) | 渡辺儀藏様、御店中様 | 状 | 破損あり |
| W6 13 | 10 | 20 | | | 覚(金壹歩受取につき) | (慶応2年)十月卅日 | 細川卯左衛門 | 渡辺屋様 | 状 | 破損あり |

| 箱 番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表 題 (内 容) | 作 成 年 月 日 | 差 出 人 | 受 取 人 | 形 態 | 状 態 / 備 考 |
|---------|----|----|----|----|---|--------------|---------------------------------|---------------------|-----|-----------|
| W6 13 | 10 | 21 | | | (覚、三三三本十箇代銀九拾九匁など諸色代金四両貳分勘定につき) | (慶応2年)十月廿三日 | 米屋丈助 | 上 | 状 | 破損あり |
| W6 13 | 10 | 22 | | | 覚(預ケ分銀三貫二百九十五匁勘定につき) | 寅(慶応2年)十月 | 外村忠兵衛 | 渡辺儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 13 | 10 | 23 | | | 覚(小納戸式丈五尺代銀百五十七匁五分勘定につき) | (慶応2年)十一月廿日 | 光白や清次郎(印、<ヤ> >奥州・福島・光白屋) | 渡部屋義藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 13 | 10 | 24 | | | 覚(木綿甚簡運賃銀百八拾壹文請取につき) | 亥(文久3年)四月廿日 | 船会所(印) | 白石・渡辺屋義藏殿 | 状 | |
| W6 13 | 10 | 25 | | | 覚(白反物式丈七尺物式反送付、本宮まで賃済につき) | (慶応2年)十一月十日 | 福田屋佐助(印)、外・八郎 右衛門 | 渡部屋儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 13 | 10 | 26 | | | 覚(上白つむぎ壹包入代銀百九拾匁など諸色代銀メ五百五拾匁勘定につき) | (慶応2年)十一月四日 | 丸辻 | 渡辺屋様 | 状 | 破損あり |
| W6 13 | 10 | 27 | | | 仕切書(結キ壹反代金壹両など諸色代銀メ壹貫貳百六拾四匁五分につき) | (慶応2年)十一月廿六日 | 谷屋安兵衛、又右衛門 | 渡辺屋儀藏様、豊吉様、御 店中様 | 状 | |
| W6 13 | 10 | 28 | | | 仕切書(結キ壹反代銀百四十匁など諸色代銀メ貳貫五百拾三匁四分につき) | (慶応2年)十月十六日 | 谷屋安兵衛、又右衛門(印、 野州・足利下町・谷屋安兵衛) | 渡辺屋義藏様、豊吉様、御 店中様 | 冊 | 破損あり |
| W6 13 | 11 | 1 | | | 覚(白口壹反代金三分式朱など請取につき) | (慶応2年)五月廿四日 | 渡辺屋儀藏 | 上 | 状 | こより共 |
| W6 13 | 11 | 2 | | | 覚(上々杉原壹帖代金など勘定につき) | (慶応2年) | 河内 | | 状 | |
| W6 13 | 11 | 3 | | | 覚(酒屋之物六反・同黒八反などにつき) | 寅(慶応2年)正月十九日 | 丁子や久吉 | 渡部屋義藏様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 13 | 11 | 4 | | | 覚(ペにあさ・ちりめん板しめなどメ四品書上) | (慶応2年) | 小嶋 | | 状 | 裏面に書き込みあり |
| W6 13 | 11 | 5 | | | 口上(て形品々早速持参につき) | (慶応2年)五月六日 | 小田隠居 <small>カ</small> | 渡部儀藏殿 | 状 | |
| W6 13 | 11 | 6 | | | 覚(壹石七斗六升五合代金拾四両貳朱勘定につき) | (慶応2年) | | 白石町二て・渡邊や儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 11 | 7 | | | (封筒、要用書) | (慶応2年) | | 上様 | 状 | |
| W6 13 | 11 | 8 | | | 覚(椿摺美紙拾貳帖代金貳分受取につき) | (慶応2年)五月十六日 | 渡邊屋儀藏(印、奥州・白石 中町・渡部) | | 状 | |
| W6 13 | 11 | 9 | | | 覚(平井巾三反など指上につき) | (慶応2年)三月八日 | 中町・寿丸 | 伊藤屋様 | 状 | |
| W6 13 | 11 | 10 | | | おほへ(新古蚊やなど品々御見せ下さるべく候につき) | (慶応2年)五月十七日 | 源左衛門 | 渡部屋御店様中 | 状 | |
| W6 13 | 11 | 11 | | | 覚(鳥山木綿上中白地形切上中など見合わせ納め たく候につき) | (慶応2年)五月廿日 | 加左衛門 | 中町・義藏殿 | 状 | |
| W6 13 | 11 | 12 | | | 覚(金貳両の拾式ヶ月利足金壹両、メ金三両勘定 につき) | 亥(文久3年)九月廿七日 | | | 状 | |
| W6 13 | 11 | 13 | | | 覚(中通り向半紙代金貳切分入用にて御届け下さ るべく候につき) | (慶応2年)九月十三日 | 御城 <small>カ</small> 勘三郎 | 渡部儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 11 | 14 | | | 覚(椿摺半紙貳拾帖代金三分三朱請取につき) | (慶応2年)九月七日 | 渡邊屋儀藏 | 上様 | 状 | |
| W6 13 | 11 | 15 | | | 覚(代金九切書上) | (慶応2年) | | | 状 | 後欠 |
| W6 13 | 11 | 16 | | | 覚(火縮緬貳尺五寸など諸色代金貳両壹朱勘定に つき) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 13 | 11 | 17 | | | 覚(四月元金拾四両壹分など勘定願いにつき) | (慶応2年)四月 | ○吉 | 菅野屋様 | 状 | |
| W6 13 | 11 | 18 | | | (書状、此度の四両利足は算用大違いに相成、何卒 御ゆるし成され候願いにつき) | (慶応2年)正月廿四日 | <ヤ>三>平兵衛 | 渡邊屋儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 11 | 19 | | | 覚(かたつきちりめんの布・もめんしぼり布など 御見せ下されたく候につき) | (慶応2年)四月廿一日 | | | 状 | |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|--|-------------------------|-------------------------|-----------------|----|-------------------------|
| W6 13 | 11 | 20 | | | 覚(石井様御通帳店柄指上分帳巻冊御注文下されたく候につき) | (慶応2年)五月廿五日 | 藤兵衛 | 寿丸御店様 | 状 | |
| W6 13 | 11 | 21 | | | 覚(温麵七〇掛百六拾八把の拾式簡など代金三拾三両余勘定につき) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 13 | 11 | 22 | | | (書状、今日何時頃相互立候哉御伺いにつき) | (慶応2年)五月十九日 | <カコロ>店 | 〇御本店様 | 状 | 前欠カ |
| W6 13 | 11 | 23 | | | 覚(紙布弐反代金弐両受取につき) | 寅(慶応2年)ノ四月廿一日 | 渡部屋儀蔵(印) | 上様 | 状 | |
| W6 13 | 11 | 24 | | | (覚、弐十五包ハツ代金弐分弐朱ト百六十五勘定などにつき) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 13 | 11 | 25 | | | (書状、紙布外持参成さるべく候につき) | (慶応2年)五月十七日 | 儀兵衛 | 豊吉殿 | 状 | |
| W6 13 | 11 | 26 | | | 覚(判紙代金弐赤など御請取成され候につき) | 寅(慶応2年)六月朔日 | 葉切屋釜助 | 寿丸・儀蔵様 | 状 | |
| W6 13 | 11 | 27 | | | (書状、御用向の程申し上げにつき) | (慶応2年) | 山水の義兵衛 | 寿丸・豊吉様 | 状 | |
| W6 13 | 11 | 28 | | | 覚(上杉原・白半紙など早速成さるべく候につき) | (慶応2年)五月廿八日 | 市大兵衛 | 中町・豊吉殿 | 状 | |
| W6 13 | 11 | 29 | | | 覚(葉紙・赤紙など諸色代金弐朱指上につき) | (慶応2年) | | わたなへ屋様 | 状 | |
| W6 13 | 11 | 30 | | | (書状、唐木綿色々・単衣物など急御用にて早速持参につき) | (慶応2年)正月廿四日 | 勘三郎 | 渡部屋儀蔵殿 | 状 | |
| W6 13 | 11 | 31 | | | 覚(鼻紙拾五状代金弐朱など諸色代金メ弐分弐朱ト代六百七拾文請取につき) | (慶応2年)六月三日 | 渡部屋儀蔵(印、白石中町) | 満留二御店様 | 状 | |
| W6 13 | 11 | 32 | | | 覚(画面之反物など御見せ下され候につき) | (慶応2年)五月廿六日 | 千葉道悦 | 渡部屋儀蔵様 | 状 | |
| W6 13 | 11 | 33 | | | 覚(綿単物地上・中・下など御見せ下され候につき) | (慶応2年)五月廿六日 | 大庄蔵 | 渡部屋様 | 状 | |
| W6 13 | 11 | 34 | | | (覚、代金勘定につき) | (慶応2年)四月廿六日 | 源左衛門 | 儀蔵様 | 状 | |
| W6 13 | 11 | 35 | | | (覚、代銀メ九拾七貫五拾匁勘定につき) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 13 | 11 | 36 | | | 覚(代銀メ九拾六貫六百拾匁勘定につき) | (慶応2年) | | | 状 | |
| W6 13 | 12 | 1 | | | (書状、去秋指上候木綿の儀、孫右衛門方へ御渡しにつき) | (慶応元年)正月十一日 | 長谷川吉之進(印、山形・長谷川) | 渡部屋儀蔵様、御店中様(〇様) | 状 | こより共、こより付紙に「丑六月廿五日改」とあり |
| W6 13 | 12 | 2 | | | (覚、金八拾兩借用につき) | 子(元治元年)ノ九月廿三日 | 渡部屋儀蔵(印)、同豊吉(印) | 興左衛門様 | 状 | 包紙「上 渡部屋儀蔵」共 |
| W6 13 | 12 | 3 | | | 覚(忠藏金弐切弐朱など諸色代金メ拾弐切弐朱勘定のうち、金五切請取につき) | (慶応元年) | 利右衛門 | 渡部屋儀蔵様 | 状 | |
| W6 13 | 12 | 4 | | | 御送状 折錢三文相添、石灰五俵につき) | 子(元治元年)ノ六月十九日 | 越後屋兵吉(印、奥州・梁川<ヤヤ吉>) | 大枝村・間蔵様、衆中共々 | 状 | |
| W6 13 | 12 | 5 | | | 覚(大俵四十八五俵代金壹両弐朱・弐貫文など諸色代金メ弐両弐朱・三貫三百文受取につき) | 子(元治元年)六月十三日 | 越後屋兵吉(印、奥州・梁川<ヤヤ吉>越後屋) | しら石・圓七様 | 状 | |
| W6 13 | 12 | 6 | | | 覚(紙包五つ・書状壹通、白石渡儀殿出候につき) | (慶応元年)正月卅日 | 大石屋太吉(印) | 上 | 状 | |
| W6 13 | 12 | 7 | | | (覚、博奕賭の諸勝負御停止につき) | 文久三年九月 | 五人組頭・高橋甚兵衛(ほか6名) | | 状 | |
| W6 13 | 12 | 8 | | | 覚(新立候分御代金四拾切手形につき) | 子(元治元年)ノ七月七日 分廿日手形直し | 渡邊屋儀蔵(印) | 内蔵右衛門様、御内 | 状 | |
| W6 13 | 12 | 9 | | | 覚(金弐拾兩御用立につき) | 文久三年亥十二月弐日 | 渡邊儀蔵(印) | 斎藤源左衛門様 | 状 | |
| W6 13 | 12 | 10 | | | 覚(金四拾兩御用立につき) | 亥(文久3年)十二月廿八日 | 渡邊儀蔵(印) | 斎藤源左衛門様 | 状 | |
| W6 13 | 12 | 11 | | | 覚(大冷ちん銀弐両五分など御注文分代銀勘定につき) | (慶応元年)六月八日 | 菊地屋庄右衛門(印、奥州・白石<林中>菊地屋) | 渡部屋儀蔵様 | 状 | |
| W6 13 | 12 | 12 | | | 覚(こん五つ代金六両余などさし上につき) | (元治元年)十一月三日 | 半蔵 | 〇御店様 | 状 | |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|---------------------------------------|---------------|--------------------------------|-----------------|----|-------|
| W6 13 | 12 | 13 | | | (覚、代銭ノ四百拾七文勘定につき) | (元治元年)十二月三日 | 斎藤弥二郎、高橋太助(印) | | 状 | |
| W6 13 | 12 | 14 | | | (覚、長印代金壹歩など諸色代金ノ壹歩ト四貫三百文勘定につき) | (慶応元年) | | | 状 | |
| W6 13 | 13 | 1 | | | (覚、上々染紙十反など勘定につき) | (元治元年)十二月 | 澤口安治 | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | こより共 |
| W6 13 | 13 | 2 | 1 | | (覚、江戸桜四十四本受取につき) | 子(元治元年)十一月十九日 | 五丁目・大和屋兵介(印、<ヤヤ>仙台・大町・五丁目・大和屋) | 白石ノ渡辺屋庄松様 | 状 | こより共 |
| W6 13 | 13 | 2 | 2 | | 覚(新白蓮五反五十巻など商品受取につき) | (元治元年)十二月十九日 | 大畑屋久兵衛(印) | 白石町・渡部屋庄松様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 2 | 3 | | 覚(草胴着代金貳両差下銀壹朱など諸色代金受取につき) | 子(元治元年)十一月廿日 | 大黒屋惣兵衛、卯兵衛(印、<カヲ大>仙台) | 上 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 2 | 4 | | 覚(代金七両請取につき) | (元治元年)十一月廿四日 | 澤口安治(印) | 渡儀様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 2 | 5 | | 覚(華躰掛巻反代金貳両貳分貳朱など勘定につき) | (元治元年)十一月廿日 | 辺見茂兵衛(印) | 上 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 2 | 6 | | 覚(本紙五枚代銀拾六匁勘定につき) | (元治元年)十一月十九日 | 大いしや太吉(印) | 渡辺儀藏様、藤兵衛様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 3 | | | 覚(ち、み五反代金など勘定につき) | (元治元年)十月廿七日 | 澤口安治(印、<ヤヤ>澤口・仙台・河原町) | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 4 | | | 覚(かみ代銀七百八十八匁御入帳につき) | (元治元年)十月廿四日 | 大いしや太吉 | 渡辺儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 5 | | | 覚(御原五拾反代銀百六拾匁勘定につき) | (元治元年)九月十日 | 左兵衛(印) | 渡儀御店様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 6 | | | 覚(改正貳拾七切半など金額書上) | (元治元年)九月九日 | 佐藤勝兵衛 | 渡辺儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 7 | | | 覚(湘染衣七拾反など諸色代金八両余請取につき) | (元治元年)八月十九日 | 佐藤屋忠兵衛(印) | 上 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 8 | | | 覚(風紙衣三拾反など諸色代金三拾四切請取につき) | 子(元治元年)八月廿日 | 柴田・吉兵衛(印、<カ久>仙台・柴田・本町・竹田屋) | 白石町・渡辺屋義藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 9 | | | 覚(小下五反・十反・七反十など代銀十五匁六分勘定につき) | (元治元年)八月十六日 | 大いしや | ○様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 10 | | | 覚(六八四紙代金四兩余勘定につき) | (元治元年)五月廿九日 | 佐藤や忠兵衛(印) | 渡儀様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 11 | | | 覚(新利口水引代銀貳拾五匁勘定につき) | (元治元年)六月廿五日 | 小久 | 渡儀様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 12 | | | 覚(さし原拾反代銀三拾貳匁など勘定につき) | (元治元年)六月廿五日 | 相太 | ○様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 13 | | | し切儀覚(御助紙百六拾代銀百五十四匁三分七リにつき) | 元治元年五月吉日 | 大伊屋左吉 | 渡辺義藏様 | 冊 | |
| W6 13 | 13 | 14 | | | 覚(代平紙代銀貳貫五百匁など勘定につき) | (元治元年)六月四日 | 伊沢屋順吉 | 渡辺儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 15 | | | 覚(代金六拾九切壹朱など勘定につき) | (元治元年)二月十五日 | 深(印、仙台・大黒屋・五軒茶屋) | 渡辺屋様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 16 | | | 覚(上三十反代銀四百四十六匁など諸色代銀ノ八百十六匁受取につき) | (元治元年)二月十二日 | 清口屋(印) | 渡儀様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 17 | | | (覚、小判もの五十枚代銀五十四匁三分など諸色代銀ノ九十匁三分余勘定につき) | (元治元年)正月廿三日 | 小西久兵衛(印、仙台・小西) | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 18 | | | 仕切(百壹枚代金拾四切につき) | (元治元年)二月三日 | まっや庄兵衛(印) | 白石町・渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 19 | | | 覚(布式筒など買調持参仕りたぐにつき) | (元治元年)二月十六日 | 善兵衛(印) | 右之御同役様中 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 20 | | | 仕切覚(中百五拾枚代金七切など諸色代金ノ拾六切につき) | 子(元治元年)ノ二月十二日 | まっ・武田屋庄兵衛 | 白石町・渡辺屋義藏様、御店中様 | 状 | |

| 箱 番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表 題 (内 容) | 作 成 年 月 日 | 差 出 人 | 受 取 人 | 形 態 | 状 態 ／ 備 考 |
|---------|----|----|----|----|---|-----------------------|-----------------------------------|-------------|--------|--|
| W6 13 | 13 | 21 | | | 覚(神花代銀拾五匁など引合につき) | (元治元年)五月十八日 | 吉田多吉(印、<small>丸吉>仙 台・吉田多吉) | 渡辺屋儀蔵様、御店中様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 22 | | | 覚(小判もの橋印五十三枚代銀五拾三匁など諸色代 銀メ百四拾匁八分九リ勘定につき) | 子(元治元年)ノ四月廿五日 | 小西屋久兵衛 | 渡辺屋儀蔵様、御店中様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 23 | | | 覚(六八中間百枚代金拾四切式朱・三百廿文など諸 色代金メ拾四切式朱・壹貫式拾六文受取につき) | (元治元年)五月五日 | 佐藤屋(印、<small>ヤ丁>仙台・ 増田・本町・佐藤屋) | 渡辺儀蔵様、藤兵衛様 | 状 | 破損あり |
| W6 13 | 13 | 24 | | | 覚(並六八・三帳など諸色代金三拾四匁三朱請取 につき) | (元治元年)五月十五日 | 大澤源四郎 | 渡辺屋様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 25 | | | 覚(延文十代鎌壹貫八百文など諸色代銀メ十壹貫 百文勘定につき) | (元治元年)四月廿五日 | 信濃屋順吉 | 渡辺屋儀蔵様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 26 | | | 覚(小判五十代銀五拾三匁五分七リ取引につき) | (元治元年)四月七日 | 左原吉兵衛 | 渡辺屋儀蔵様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 27 | | | 覚(染布拾反代銀百六拾五匁引合につき) | (元治元年)正月廿六日 | 沢口安次 | 渡辺屋儀蔵様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 28 | | | 覚(赤紙代銀六拾匁など諸色代銀メ百八匁勘定に つき) | (元治元年)三月十二日 | 左吉 | 渡儀様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 29 | | | 覚(表紙九反代銀八匁壹分など諸色代銀メ拾五匁 四分勘定につき) | (元治元年)三月十八日 | 左吉 | 渡儀様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 30 | | | 覚(小判藤清廿枚代銀式拾三匁八分勘定につき) | (元治元年)三月廿九日 | 左吉 | 渡儀様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 31 | | | 覚(三八・みち紙代銀八百五十五文勘定につき) | (元治元年)七月十日 | 大石屋大吉 | 渡邊屋様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 32 | | | 覚(書状、壹反に金六匁五分宛、丸山へ取替申候につき) | (元治元年)二月廿四日 | 佐吉 | 藤兵衛様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 33 | | | 覚(春布代銀式百六十貫文勘定につき) | (元治元年) | 権三郎 | 藤兵衛様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 34 | | | 覚(生糸代金拾貳匁壹歩三朱請取につき) | (元治元年)三月三日 | 仕立屋儀七 | 本家・渡辺屋様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 35 | | | 覚(袴仕立につき) | 子(元治元年)ノ二月廿二日 | 深(印、仙台・大黒屋・五軒茶屋) | 白石・渡邊屋藤兵衛様 | 状 | |
| W6 13 | 13 | 36 | | | 覚(春布九反代金七匁受取につき) | 子(元治元年)ノ二月三日 | 中屋伝右衛門 | 渡邊儀蔵様 | 状 | |
| W6 13 | 14 | 1 | | | (覚、黒門月<small>ヤヤ>四反代銀百六拾四匁など勘定に つき) | 丑(慶応元年)ノ十月三日 | 中屋伝右衛門 | 渡邊儀蔵様 | 冊 | こより共、こより付紙に 「越後仕切巻」とあり |
| W6 13 | 14 | 2 | | | 覚(術作壹簡分代銀七匁など勘定につき) | 丑(慶応元年)十月 | 松屋宗吉、助七(印、北越・ 今町・松屋) | 渡部屋儀蔵様、御店中様 | 状 | |
| W6 13 | 14 | 3 | | | 仕切(寿六反代銀三百三拾匁など御注文品御入帳 下されたくにつき) | 丑(慶応元年)八月 | 松屋宗吉、助七(印、北越・ 今町・松屋) | 渡部屋儀蔵様、御店中様 | 状 | |
| W6 13 | 14 | 4 | | | 覚(大和式十八反代銀七百四拾七匁六分など諸色 代金書上) | 丑(慶応元年)ノ八月十三日 | <small>丸中> | ○印様 | 状 | |
| W6 13 | 14 | 5 | | | 丑ノ十六番(松印七反代銀三百五拾三匁五分など 勘定につき) | 丑(慶応元年)ノ七月十五日 | 中屋伝右衛門(印) | ○印・渡邊甚蔵様 | 冊 | |
| W6 13 | 15 | 1 | | | 覚(代銀貳貫四百五拾六匁壹分勘定につき) | 子(元治元年)十一月 | 松屋宗吉、助七(印) | 渡邊儀蔵様、御店中様 | 状 | こより共、こより付紙 に「前年分越後分仕切 巻巻方・丑改」とあり |
| W6 13 | 15 | 2 | | | 覚(上嶋式反代銀八拾八匁など諸色代銀勘定につき) | 子(元治元年)ノ八月三日 | 中屋伝右衛門 | ○御店様 | 状 | |
| W6 13 | 15 | 3 | | | 覚(前懸二十枚など商品書上) | 子(元治元年)十一月十六日 | 伝右衛門 | ○様 | 状 | |
| W6 13 | 15 | 4 | | | 仕切(寿印四反代銀百六十匁など御注文品相送 り、御入帳下されたくにつき) | 子(元治元年)九月 | 松屋宗吉、助七(印) | 渡邊儀蔵様、御店中様 | 状 | |
| W6 13 | 15 | 5 | | | 覚(松印四反代銀百七拾九匁など商品代金書上) | 子(元治元年)八月五日 | 中屋伝右衛門 | 渡邊甚蔵様 | 状 | |
| W6 13 | 15 | 6 | | | 覚(御注文の品御受取成し下され候につき) | (元治元年)四月 | やま二 | 寿丸様 | 状 | |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|---|---------------|--------------------|------------------|----|-------------------|
| W6 13 | 15 | 7 | | | 覚(板上紺画面形式拾八反代銀八百三十拾壹匁六分など七月晦日限りに指立申候につき) | 子(元治元年)五月廿五日 | 広屋幸三郎 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 13 | 15 | 8 | 1 | | 式拾貳番丸御注文覚(午印九反代銀三百十匁五分など御注文品相送り差上申候につき) | い(文久3年)ノ九月 | 吉井屋兵右衛門(ほか2名) | 福田屋金太郎様、御店中様 | 状 | こより共 |
| W6 13 | 15 | 8 | 2 | | 九拾番丸御注文口(松印本場女帯拾簡代銀百九十九匁など御注文品取り揃え相送り差上申候につき) | い(文久3年)ノ九月十一日 | 吉井屋兵右衛門(ほか2名) | 福田屋金太郎様、御店中様 | 状 | |
| W6 13 | 15 | 8 | 3 | | 九拾四ばん丸山御注文覚(午印縮式反代銀貳百七十四匁四分取り揃え相送り差上候につき) | 亥(文久3年)九月 | 吉井屋兵右衛門(ほか2名) | 伊勢屋礼次郎様、御店中様 | 状 | |
| W6 13 | 15 | 9 | 1 | | 覚(桜印画正形五反代銀百六拾六匁五分など諸色代銀勘定につき) | (元治元年) | | | 状 | |
| W6 13 | 15 | 9 | 2 | | 覚(銀八十六匁・三十匁など代銀勘定につき) | 子(元治元年)五月十三日 | 中伝 | 渡邊屋甚藏様 | 状 | |
| W6 13 | 15 | 9 | 3 | | 入日記(松印啓反代銀四拾六匁五分など御送り申候につき) | 子(元治元年)四月 | 中屋伝右衛門 | 渡邊屋御店様 | 状 | |
| W6 13 | 15 | 9 | 4 | | 覚(もめん・ちぢみ三反代銀百五拾七匁など諸色代銀勘定につき) | 子(元治元年)五月十日 | 中屋伝右衛門 | 渡邊屋甚藏様 | 状 | |
| W6 13 | 15 | 9 | 5 | | 覚(しま六反代銀貳百貳拾貳匁など諸色代銀勘定につき) | 子(元治元年)五月十日 | 中屋伝右衛門(印、北越・巻町・中屋) | 渡邊屋甚藏様 | 状 | |
| W6 13 | 16 | 1 | | | 覚(卯二月手形五両、五駄代銀貳百五拾文など書上) | 午(安政5年)ノ六月 | 平間屋 | 渡義様 | 状 | こより共 |
| W6 13 | 16 | 2 | | | 覚(平兵衛様雑用銭九百文・藤兵衛様雑用銭六百文など諸入用銭メ六貫九百七十三文勘定につき) | (安政5年)六月七日 | 柳町問屋内 | 渡辺様 | 状 | |
| W6 13 | 16 | 3 | | | 覚(残り三貫九百八十匁文など諸色代銀勘定につき) | (安政5年) | | | 状 | |
| W6 13 | 16 | 4 | 1 | | 定拾五帖代金三歩など諸色代金メ拾五切勘定につき) | 子(元治元年)ノ春 | | 及川様 | 状 | こより共 |
| W6 13 | 16 | 4 | 2 | | 覚(紙拾帖代金貳切など諸色代金メ貳切・貳百六拾文勘定につき) | (元治元年) | | | 状 | |
| W6 13 | 16 | 4 | 3 | | 覚(染原代銀三百文など惣直九切余勘定につき) | (元治元年) | | | 状 | |
| W6 13 | 16 | 4 | 4 | | 覚(紙布紙十帖代金貳切など諸色代金惣メ十四切・三百六十五文勘定につき) | (元治元年) | | | 状 | |
| W6 13 | 16 | 4 | 5 | | (覚、生糸百拾・紙四帖代金四分など書上) | (元治元年) | | | 状 | |
| W6 13 | 16 | 4 | 6 | | (覚、紙代銀貳百拾六匁・染ちん銭九百七拾貳文など諸色代金メ十八切余勘定につき) | (元治元年) | | | 状 | |
| W6 13 | 16 | 4 | 7 | | (覚、並嶋廿六貫、今一度御吟味願いにつき) | (元治元年)九月十一日 | 外北小路・渡邊 | 中町・本家・渡邊様 | 状 | |
| W6 14 | 1 | | | | 覚(鳴ち・み壱反代銀壹貫四百文、文七に御渡し下されたくにつき) | 未(弘化4年)九月廿日 | 應樂ノ駒藏(長町・文七) | 渡部や甚藏様(中町・渡部甚藏様) | 状 | こより共、破損あり |
| W6 14 | 2 | | | | (書状、去年十二月申御預りの金壱両并利足御勘定、此者へ依頼につき) | (弘化4年)十月廿一日 | 柴久兵衛 | 渡部儀藏様 | 状 | 端裏に「金壱両式朱ト代添ル」どあり |
| W6 14 | 3 | | | | 覚(安大方百廿五帖・厚紙廿五帖代金八切勘定につき、裏面は包紙に再利用カ) | (弘化4年) | 鈴木屋太平 | | 状 | |
| W6 14 | 4 | | | | 覚(子共<***>あわせ壹枚代銀四百文勘定につき) | (弘化4年)十二月三日 | 善八 | 中町・しちや様 | 状 | |
| W6 14 | 5 | | | | (書状、金五拾切品物しち入仕りたき由につき) | (弘化4年)十二月十六日 | 丸木店 | ○印買場様 | 状 | |
| W6 14 | 6 | | | | 口演(御願み申し置き嶋綿入代銀貳貫貳百文、蔵ち出し下されにつき) | (弘化4年)十二月十八日 | (新川分)善八 | 中町・しちや・儀藏様 | 状 | |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|--|--------------|-----------------------|--------------|----|-------|
| W6 14 | 7 | | | | (覚、只今頼み入りの品足分量までに入れ申し候につき) | (弘化4年)十月十八日 | 五郎兵衛 | 渡部屋・番頭衆 | 状 | |
| W6 14 | 8 | | | | (覚、八巻圓七所持の金敷、此度私元利相済受方につき) | (弘化4年)十月五日 | 小関武右衛門(印) | 渡部儀藏殿 | 状 | 破損あり |
| W6 14 | 9 | | | | 覚(はなつきれ巻丈五尺御かし下されにつき) | (弘化4年)十二月十一日 | 春山久兵衛 | 渡部御店様 | 状 | 破損あり |
| W6 14 | 10 | | | | (覚、股引・形付女帯代銭巻貫六百文にて御出し下されにつき) | (弘化4年)十一月廿四日 | 米倉・細野仲助 | 渡部義藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 14 | 11 | | | | (書状、一昨日御送り御仕切書の通り相違無く入手などにつき) | (弘化4年) | | | 状 | 破損あり |
| W6 14 | 12 | | | | (書状、先達而御持借の八巻圓七殿買物かなしき、此度仙台御屋敷御普請方へ御借上に相成候などにつき) | (弘化4年)十月四日 | 渡部屋義藏 | 小島治■衛門様 | 状 | 破損あり |
| W6 14 | 13 | | | | 覚(相升広嶋巻反代銭式貫文、手形御渡し願いにつき) | (弘化4年)九月卅日 | 郡山ノ・三瀬市 | 渡辺甚藏様、御店中様 | 状 | 破損あり |
| W6 14 | 14 | | | | (書状、先刻相遣し成され候手形と間違指上申候につき) | (弘化4年)九月三日 | ■■■や | しちや様 | 状 | 破損あり |
| W6 14 | 15 | | | | 口上(先程御指上の銭巻貫七百文、ふとんふろしきつ、みを此者に御渡し下さるべく候につき) | (弘化4年)九月十三日 | 長町・栄藏 | 中町・本家・わたなべ屋様 | 状 | |
| W6 14 | 16 | | | | (書状、おきさし御預り仕候につき) | (弘化4年)十月十三日 | 本町・三五郎 | 中町・義藏様 | 状 | |
| W6 14 | 17 | | | | 覚(金六切分の利足、巻ヶ月分に御まけ下さるべく候につき) | (弘化4年)八月十二日 | 喜三郎 | 正極様 | 状 | |
| W6 14 | 18 | | | | 口上(三朱のけんのかへ、今巻朱御かし下さるべく候につき) | (弘化4年)九月廿七日 | 勝治 | 甚藏様 | 状 | |
| W6 14 | 19 | | | | 口上(嶋女物帛代金巻疋御渡し下されたくにつき) | (弘化4年)十月五日 | 本町・三五郎 | 渡部儀藏様 | 状 | |
| W6 14 | 20 | | | | (書状、当月十五日までに受方仕候間、金五切御かし下さるべく候につき) | (弘化4年)九月四日 | 前より・与五治 | 甚藏様 | 状 | |
| W6 14 | 21 | | | | (書状、此者に御貸し渡し下されたくにつき) | (弘化4年)七月廿七日 | 左吉 | 渡庄様 | 状 | |
| W6 14 | 22 | | | | (書状、元金先月中四両さし上げ、品物此衆へ御渡し下されたくにつき) | (弘化4年)八月廿二日 | 丸木店 | ○印・しち場様 | 状 | |
| W6 14 | 23 | | | | (書状、御預り仕置候四銭、只今此者へ御渡し成し下されたくにつき) | (弘化4年)八月三日夕 | 前より・○義藏 | 御隣ノ・甚藏様 | 状 | |
| W6 14 | 24 | | | | 口上(正金六切御かし下されにつき) | (弘化4年)八月朔日 | 大内屋五郎 | 中町・渡部義藏様 | 状 | |
| W6 14 | 25 | | | | (書状、鳥渡銭御貸し下されたくにつき) | (弘化4年)七月廿七日 | 丸生店 | ○印御店様 | 状 | |
| W6 14 | 26 | | | | 口上(金拾壹枚請取、此人へ御渡し下されたくにつき) | (弘化4年)三月晦日 | 菊藏 | 渡邊様 | 状 | |
| W6 14 | 27 | | | | 覚(銭巻貫四百文御渡し下されたくにつき) | (弘化4年)八月十七日 | 小西や善兵衛 | 渡部や庄奈様 | 状 | |
| W6 14 | 28 | | | | (覚、ふとん巻つ盛り受け候につき) | (弘化4年)八月九日 | 佐藤屋 | | 状 | |
| W6 14 | 29 | | | | 覚(手形紛失のため請取下され候につき) | 弘化四年未十月十二日 | 大畑屋半助(印、奥州・白石・短町・大畑屋) | 渡部甚藏様 | 状 | |
| W6 14 | 30 | | | | 覚(紅花御預り申し上げの由、下抽詰合のため此衆へ御渡し成し下されたくにつき) | (弘化4年)八月廿四日 | 丸生 | ○印しち場様 | 状 | |
| W6 14 | 31 | | | | 口上(御手形三枚・茶綿極單物巻反、此ものへ御渡し下されたくにつき) | (弘化4年)八月廿八日 | 長町・千葉や(印) | 中町・渡義様 | 状 | |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|----------------------------------|--------------|------------------------|------------|----|-------|
| W6 14 | 32 | | | | 口上(船入沓つななど代銭七百文御通し置き下されたくにつき) | (弘化4年)十月廿九日 | 長町・順吉 | 中町・義藏様 | 状 | |
| W6 14 | 33 | | | | 口上(銭六百文御かし下されたくにつき) | (弘化4年)十月八日 | 若木や伊兵衛 | しちや義藏様 | 状 | |
| W6 14 | 34 | | | | 口上(此者へ右の品物相渡し下されたくにつき) | (弘化4年)九月廿九日 | 文七 | しちや甚藏様 | 状 | |
| W6 14 | 35 | | | | 口上(品物今日請取、此者引替御渡し下されにつき) | (弘化4年)十月廿日 | 佐竹甚助 | 渡部儀藏様 | 状 | |
| W6 14 | 36 | | | | 覚(古紙百七帖請取につき) | (弘化4年)九月十九日 | 紙屋喜太郎(印) | 渡邊屋御店様 | 状 | |
| W6 14 | 37 | | | | 口上(腰ノ物の利足沓御まけ御願いにつき) | (弘化4年)六月六日 | 丸生 | ○印様 | 状 | |
| W6 14 | 38 | | | | 覚(秋原百四十帖指上、正金拾切此者へ御かし下されにつき) | (弘化4年)四月十七日 | <カ久> | ○様 | 状 | |
| W6 14 | 39 | | | | (書状、元利伊達屋七五三位に成し下され願い上げにつき) | (弘化4年)五月朔日 | 大畑屋半兵衛 | 渡儀様 | 状 | |
| W6 14 | 40 | | | | 口上(御願上候品物さし上、何卒御買い成し下されたくにつき) | (弘化4年)十月四日 | ■■久七 | しちや甚藏様 | 状 | 破損甚大 |
| W6 14 | 41 | | | | 覚(羽織質入につき) | 未(弘化4年)九月四日 | 三春屋為助(印、<カネ>白石・中町・三春屋) | 新宅・渡部屋様 | 状 | 破損あり |
| W6 14 | 42 | | | | 口上(茶嶋など、此人へ御渡し下されたくにつき) | (弘化4年)十二月十二日 | 中町・孫吉 | 渡辺屋様 | 状 | 破損あり |
| W6 14 | 43 | | | | 口上(品物さし上のため御延引無く金七百切御貸し下されたくにつき) | (弘化4年)九月四日 | なか町・文七 | しちや甚藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 14 | 44 | | | | 口上(指上申候嶋拾品の代金御かし下されたくにつき) | (弘化4年)九月廿■日 | 長町・■■■ | 中町・しちや甚藏様 | 状 | 破損甚大 |
| W6 14 | 45 | | | | 口演(先に御願いの品など御渡し成されたくにつき) | (弘化4年)十月廿四日 | 〔 〕(印、仙臺・白石) | 中町・渡部屋儀兵衛様 | 状 | 破損甚大 |
| W6 14 | 46 | | | | 送り(醬油五升入式樽、越河町検断嘉惣次方へ売払につき) | 未(弘化4年)九月廿一日 | 白石町・醬油■■■人・儀藏(印) | 処々御役廻様 | 状 | 破損甚大 |
| W6 14 | 47 | | | | 覚(嶋単物沓枚代金三朱など品物手形賃につき) | (弘化4年)九月廿八日 | ツの屋庄助(印) | 渡辺屋庄松様 | 状 | 破損あり |
| W6 14 | 48 | | | | (覚、御渡し品の品物・預け賃願いにつき) | (弘化4年)四月六日 | 本町・若木屋伊兵衛 | 中町・渡辺様 | 状 | 破損あり |
| W6 14 | 49 | | | | おほえ(かたひら沓反など、此者に御渡し下されたくにつき) | (弘化4年)六月廿二日 | 長町・若助(印) | 中町・儀藏様 | 状 | |
| W6 14 | 50 | | | | (書状、岡程五分付沓枚御求めなどにつき) | (弘化4年)五月廿三日 | | | 状 | 破損あり |
| W6 14 | 51 | | | | 口上(むらさき御印沓筋などい代銭三貫二百文請取につき) | (弘化4年)五月十五日 | 長町・順吉(印) | 中町・義藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 14 | 52 | | | | 覚(沓ヶ月金八拾切に沓切など歩合につき) | (弘化4年) | ○刈田郡白石町・質屋儀藏 | | 状 | 破損あり |
| W6 14 | 53 | | | | 口上(脇指沓腰代金貳切半、元利ともに御取替下されにつき) | (弘化4年)六月十七日 | 大内屋五郎 | 中町・渡部義藏様 | 状 | |
| W6 14 | 54 | | | | (覚、品物三年・貳百文など願い上げにつき) | (弘化4年)七月十六日 | | | 状 | |
| W6 14 | 55 | | | | (書状、十月中御願いの品、御取替下されにつき) | (弘化4年)七月七日 | 本町・源兵衛 | 渡部義藏様 | 状 | |
| W6 14 | 56 | | | | (覚、吉かま沓丁など嘉七盗み候品メ三拾三品につき) | (弘化4年) | | | 状 | |
| W6 14 | 57 | | | | (覚、羽入貳把代金三百五拾兩取引につき) | (弘化4年)七月六日 | 應集・久兵衛 | 中町・儀藏様 | 状 | |
| W6 14 | 58 | | | | 覚(代銭十文、此者に相渡し下されたくにつき) | (弘化4年)七月廿四日 | 長町・文七 | 中町・しちや様 | 状 | |
| W6 14 | 59 | | | | (覚、品物指上に対し金沓切式朱御かし下されたくなどにつき) | (弘化4年)七月十六日 | 新町・文六 | 渡部や儀藏様 | 状 | |

| 箱 | 番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|----|----|----|----|----|----|--|---------------|----------------------------------|-----------|----|-----------------|
| W6 | 14 | 60 | | | | 覚(備用銀沓貳百匁、郡山村十藤預分につき) | 弘化四年未六月十六日 | 長町・かんのや清兵衛(印)、 ヤ六>奥・白石・長町・菅清) | 中町・渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 14 | 61 | | | | (覚、脇指身長廿壹尺壹才程・平打・銘兼常など質物書上) | (弘化4年) | | | 状 | 後欠か、端裏に「玄妻様」とあり |
| W6 | 14 | 62 | | | | 口上(手形拾貳御印成し下されたぐにつき) | (弘化4年)六月三日 | 阿子左 | 渡庄様 | 状 | 後欠 |
| W6 | 14 | 63 | | | | 覚(唐川棟につき) | (弘化4年) | | 渡部義藏様 | 状 | |
| W6 | 14 | 64 | | | | 口上(のこきり沓皮を此者に遣わされたぐにつき) | (弘化4年)六月十四日 | 山田重兵衛承人 | 渡部義藏様 | 状 | |
| W6 | 14 | 65 | | | | (書状、徳四郎方へ度々御売付のため委曲承知につき) | (弘化4年)五月十六日 | 菊店 | 渡庄様 | 状 | |
| W6 | 14 | 66 | | | | 口上(代銀四百匁預り候・受取につき) | (弘化4年)六月廿四日 | 長町・栄掛 | 中町・渡邊屋様 | 状 | 破損甚大 |
| W6 | 14 | 67 | | | | (書状、倉藏預羽、御勘定の義は直々御受取下され候につき) | (弘化4年)十一月十八日 | 三郎右衛門 | 渡部甚藏様 | 状 | 破損甚大 |
| W6 | 14 | 68 | | | | (書状、先月御預の古嶋のわた入沓切、御渡し下さるべく候につき) | ■(弘化4年)■月五日 | 本町・栄藏 | 中町・義藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 14 | 69 | | | | (書状、小紋付綿入など御加え下されたぐ候につき) | (弘化4年)十月廿八日 | 丸生 | ○印様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 14 | 70 | | | | (書状、金拾六匁など御渡し下されたぐ候につき) | (弘化4年)七月廿四日 | 鈴木屋太平 | ○印様 | 状 | 破損あり、前欠 |
| W6 | 14 | 71 | | | | 覚(紙布代金拾貳匁など諸色代金書上) | (弘化4年) | | | 状 | 破損甚大 |
| W6 | 14 | 72 | | | | 口上(ごん嶋沓枚など一式に対し銀六百匁元利御受取、御渡し下されたぐにつき) | (弘化4年)十一月廿八日 | 短町・房吉 | 中町・義藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 14 | 73 | | | | (書状、蔵米四斗五升入式俵に対し金三切拝借仕りたく候につき) | (弘化4年)二月十日 | 佐川(印) | 御本家・渡なへや様 | 状 | |
| W6 | 14 | 74 | | | | 口上(昨日御願いの代金御渡し下されたぐにつき) | (弘化4年) | 善八 | しちや本■・渡辺様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 14 | 75 | | | | (口上、ふとん沓つ相渡し下されたぐにつき) | (弘化4年)十一月廿八日 | 及 | 渡辺様 | 状 | |
| W6 | 14 | 76 | | | | 口上(目録五拾状など御遣し下されたぐにつき) | (弘化4年)十月一日 | す、きや太平 | ○様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 14 | 77 | | | | 口上(小倉帯沓筋など諸色代銀沓貳百匁取引の手形紛失のため私始末相立て御渡し下されたぐにつき) | (弘化4年)十二月六日 | 長町・順吉(印) | 質屋義藏様 | 状 | |
| W6 | 14 | 78 | | | | (書状、晩方までに米九斗御願い、正金沓切および手形沓切分借仕りたくにつき) | (弘化4年)二月七日 | 御酒屋分■ | 中町○■様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 14 | 79 | | | | 手形紛失証文之事(未ノ九月度正金沓切取引、受方仕りたくにつき) | 未(弘化4年)十二月 | 善右衛門(印) | 渡辺義藏殿 | 状 | 破損あり |
| W6 | 14 | 80 | | | | (覚、茶櫃上しませつ質入につき) | (弘化4年)十一月七日 | 長町・菊藏(印)、口入・短町・勇吉(印) | 質屋義兵衛殿 | 状 | 破損甚大 |
| W6 | 14 | 81 | | | | (書状、地ごんの義、沓度拝借仕りたくにつき) | (弘化4年)十一月十一日 | 長町か・仕立や市作 | ○御店様、政治様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 14 | 82 | | | | (書状、品物さし上につき) | (弘化4年)十月八日 | 長町・文七 | 中町・政吉様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 14 | 83 | | | | 口上(わきさし志腰質入のため当四月十五日に銭式買文御渡しの際につき) | (弘化4年)六月十一日 | たかのす村・駒藏 | 中町・渡部義藏様 | 状 | |
| W6 | 14 | 84 | | | | 覚(此品物へ代銀五百文御かし下されたぐにつき) | (弘化4年)四月廿日 | 長町・文七 | 中町・庄松様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 14 | 85 | | | | 口上(紙切紙六十二帖など手形拾四両につき) | 未(弘化4年)ノ六月晦日 | 短町・鈴木や太平 | ○印様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 14 | 86 | | | | (覚、上中船五十帖など諸色書上) | (弘化4年) | | | 状 | 破損あり |
| W6 | 14 | 87 | | | | (覚、金沓沓朱、此者へ御渡し成し下されたぐにつき) | 未(弘化4年)ノ五月十四日 | 長町・一五郎(印、佐藤屋) | 中町・儀藏様 | 状 | 破損あり |

| 箱 番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表 題 (内 容) | 作 成 年 月 日 | 差 出 人 | 受 取 人 | 形 態 | 状 態 / 備 考 |
|---------|----|----|----|----|---|---------------|-----------------------------|----------------------|-----|-------------------------|
| W6 | 14 | 88 | | | 口上(此度ふとん沓ッうけ方仕候につき) | (弘化4年)四月十五日 | 遠藤利三郎 | 儀左衛門様 | 状 | |
| W6 | 14 | 89 | | | (覚、丁ちん紙百四十帖代金八切半・利足三百四拾文勘定につき) | (弘化4年)五月廿八日 | | | 状 | |
| W6 | 14 | 90 | | | 口上(金沓両さし上げにつき) | (弘化4年)六月四日 | 丸生店 | 質借様 | 状 | |
| W6 | 14 | 91 | | | 覚(嶋わけ沓枚代銀六百文手形紛失のため此ものへ御渡し成し下されたくにつき) | (弘化4年)五月七日 | 長町・順吉(印) | 御本家・渡義殿 | 状 | |
| W6 | 14 | 92 | | | (覚、捨沓枚・緋入沓枚・脇指沓本など實物書上) | (弘化4年) | (印)白石・中町・渡部) | | 状 | |
| W6 | 15 | 1 | | | 仕切(中布段皮廿代銀百四拾三匁沓分など諸色代銀メ九百八拾匁余、および砲印播州結城拾反代銀百七拾五匁など諸色代銀メ沓貫百拾三匁五分余につき) | (文久3年)八月八日 | 長谷川吉郎治(印、<マル長>) | <ヤヤ万>御印分・渡邊儀藏様、御店衆中様 | 冊 | こより共、こより付紙に「亥年仕切盆前分」とあり |
| W6 | 15 | 2 | | | 仕切覚(三百五十・半天包共十六代銀百七拾八匁沓分など諸色代銀メ沓貫九百三十四匁八分沓りにつき) | (文久3年)九月十七日 | 長谷川吉郎治(印、<マル長>) | 渡邊屋儀藏様、佐兵衛様、御店様 | 冊 | |
| W6 | 15 | 3 | | | 仕切(中布段五状代銀百四拾三匁八分など諸色代金惣メ七匁三歩ト拾三貫五百六拾匁五分四りにつき) | (文久3年)十月六日 | 長谷川吉郎治 | 渡邊屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 15 | 4 | | | 仕切覚(安解廿代銀百四十三匁七分など諸色代銀九百四拾三匁九分ほかメニ口につき) | (文久3年)九月十七日 | 長谷川吉郎治 | 渡邊屋儀藏様、正奈様、御店中様 | 冊 | |
| W6 | 15 | 5 | | | 仕切(千百四・中無地小紋古手十代銀百七拾四匁沓分など諸色代銀メ沓貫六百五拾六匁八分沓りにつき) | (文久3年)八月八日 | 長谷川吉郎治 | 渡邊儀藏様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 | 15 | 6 | | | 仕切(千百五ノ三・小間物丸角五十代銀百拾匁匁など諸色代銀メ五百廿五匁九分沓りほかメニ口につき) | 西(文久元年)九月二日 | 長谷川吉郎治 | 渡邊儀藏殿 | 状 | 2紙点 |
| W6 | 15 | 7 | | | 仕切(十三三・梅印河内布段六反代銀七拾九匁八分など諸色代銀メ三貫貳百七拾九匁につき) | (文久3年)八月七日 | 長谷川吉郎治(印、<マル長>) | 渡邊儀藏様、御店衆中様 | 冊 | |
| W6 | 15 | 8 | | | 覚(第四番・中古手三拾九代銀沓貫百三拾匁など諸色代銀メ貳貫五百八十八匁ほかメ四口につき) | (文久3年) | | | 状 | |
| W6 | 15 | 9 | | | 覚(浅き沓ツ代銀十六匁など諸色代銀メ七十七匁八分ニリ勘定につき) | (文久3年)十二月十六日 | <ヤヤ太> | 〇様 | 状 | |
| W6 | 15 | 10 | | | 覚(刺草廿代銀九拾六匁、此金沓両式分ト六百四拾文受取につき) | 亥(文久3年)正月十八日 | 沢口安治 | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 15 | 11 | | | 覚(利久三百枚代銀廿式匁分など諸色代銀メ三百三匁四分請取、および荷物飛脚便へ差出候につき) | 亥(文久3年)ノ正月廿一日 | 丸屋彦兵衛(印、<マルヤ> 江戸本石町・十軒店) | 渡辺屋儀藏様、御店中 | 状 | 破損あり |
| W6 | 15 | 12 | | | 覚(上極しほり十反代銀貳百廿匁など諸色代銀メ四百五匁五分勘定につき) | う(安政2年)七月八日 | <ヤヤ三>店(印) | 〇御尊印様 | 状 | |
| W6 | 15 | 13 | | | 覚(先達而指引不足銀四匁など諸色代銀メ三十匁五分、指引式十九匁五分御渡しにつき) | (文久3年)六月四日 | 佐忠 | 渡儀様 | 状 | |
| W6 | 15 | 14 | | | 覚(三五・上々麻沓貫七百七十枚代銀五拾四匁四分式りなど諸色代金メ五切三朱ト式百五文受取につき) | (文久3年)六月三日 | 佐藤や忠兵衛(印、仙台・国分町 <ヤヤ>佐藤屋) | 渡邊儀藏様 | 状 | |
| W6 | 15 | 15 | | | 覚(並五つ代金百三拾式切五分など諸色代金メ式百七十九切五分請取につき) | (文久3年)六月四日 | 佐藤屋忠兵衛 | 渡部儀藏様 | 状 | |

| 箱 | 番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|----|----|----|----|----|----|---|---------------|-----------------------------------|------------------|----|-------|
| W6 | 15 | 16 | | | | 覚(小倉帯十六疋代銀貳百八十三匁八分など諸色代銀メ貳百八十九匁六分受取につき) | (文久3年)七月十五日 | 鈴木屋幸吉 | ○御印様 | 状 | |
| W6 | 15 | 17 | | | | 覚(小倉帯メ拾六疋御入帳下さるべくにつき) | (文久3年)七月四日 | 鈴木屋幸吉、庄兵衛 | (白石) 渡邊屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 15 | 18 | | | | 惣目録(残り・駄賃など諸入用金メ三拾五兩三分余引合につき) | 亥(文久3年)ノ七月五日 | 川喜田久太夫(印)(ほか2名) | 渡邊屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 15 | 19 | | | | 覚(御商家添結城島・松山島代金三拾三兩三歩余など差引、元金百五拾兩預り置候につき) | 亥(文久3年)ノ七月 | 中屋平兵衛(印、奥州・福岡・本町) | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 15 | 20 | | | | 覚(伊印貝付三反代銀八十七匁受取につき) | 亥(文久3年)七月十九日 | 小倉屋和助(印、<カ>辻>奥州・福岡・小倉屋) | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 15 | 21 | | | | 覚(代銀四百貳匁七分受取につき) | い(文久3年)ノ七月十五日 | 小嶋屋彦兵衛(印、<ヤ>小>奥州・福岡・仲町・小嶋屋、代・五兵衛) | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 15 | 22 | | | | 覚(代金五拾兩受取につき) | 亥(文久3年)七月 | おくらや和助、平助 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 15 | 23 | | | | 宗調書(太物代金拾貳兩など諸色代金八拾七兩勘定につき) | 亥(文久3年)七月 | 小くらや和助(印、<カ>辻>奥州・福岡・本町・小倉屋) | 渡辺や儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 15 | 24 | | | | 覚(所澤嶋五反代銀百四十匁など諸色代銀六百九十九匁引合につき) | (文久3年)七月四日 | 小倉屋和助 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 15 | 25 | | | | 覚(小倉帯四本代銀四拾匁など諸色代銀メ百四拾匁差引請取につき) | (文久3年)七月五日 | 中村屋久兵衛(印、<カ>三>奥州・梁川・中村屋) | 上 | 状 | |
| W6 | 15 | 26 | | | | (書状、塩代銀廿匁貳分など注文品取引につき) | (文久3年)六月廿七日 | 三浦屋権四郎(印)(ほか2名) | 渡辺儀藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 15 | 27 | | | | おほゑ(代銀壹貫貳百文、差引残り七百貳拾文勘定につき) | 亥(文久3年)七月朔日 | 上州・ふし傳 | | 状 | |
| W6 | 15 | 28 | | | | ○太物仕切覚(古極五反代銀壹拾七匁八分など諸色代金メ百匁兩余につき) | 文久三年亥ノ六月 | 長谷川次郎吉(印) | 渡部屋儀藏様 | 冊 | |
| W6 | 15 | 29 | | | | 覚(縮廿貳反代銀壹貫五百六十六匁七分など諸色代錢メ五貫六百六匁四分引合につき) | 亥(文久3年)六月廿五日 | 吉井屋兵左衛門、同兵助(印、越後・三条・吉井) | 渡部義藏様、御店御衆中様 | 状 | |
| W6 | 15 | 30 | | | | 覚(上体五反代銀百五匁など諸色代銀メ貳百五拾八匁請取につき) | (文久3年)六月廿一日 | 鈴木幸吉(印) | ○御印様 | 状 | |
| W6 | 15 | 31 | | | | 覚(伊印三反代銀八拾七匁勘定につき) | (文久3年)六月廿一日 | 小倉屋和助、代・五兵衛 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 15 | 32 | | | | 覚(廣さん三反代金壹兩三朱受取につき) | (文久3年)六月十四日 | おのや林兵衛 | 御店様 | 状 | |
| W6 | 15 | 33 | | | | 覚(三十八番・七十匁など諸色代銀メ百九拾匁、差引残り百三拾匁勘定につき) | (文久3年)六月廿一日 | 嶋田屋元右衛門 | 渡辺屋御店様 | 状 | |
| W6 | 15 | 34 | | | | 調書覚(佐吉持メ貳貫貳百九十六匁三分など諸色代金メ拾四兩壹分壹朱余、差引残金五拾七兩三分三朱・百五十五文勘定につき) | 亥(文久3年)七月 | 佐野屋久右衛門、直兵衛(印) | 渡辺屋儀藏様、豊吉様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 | 15 | 35 | | | | 仕切書(味五反代銀百貳匁など諸色代銀貳貫七拾八匁分引合につき) | 亥(文久3年)ノ六月十一日 | 川喜田久太夫(印)(ほか2名) | 渡辺屋儀藏様 | 冊 | |
| W6 | 15 | 36 | | | | 調書(庄松様分三拾反代銀四百四拾六匁など諸色代金メ貳兩三分、四貫貳百七拾六匁七分・四百七拾六文、差引残金七拾四兩・六百六拾貳文勘定につき) | 亥(文久3年)六月 | 佐野屋丹兵衛(印、<カ>ヤ>木>宇都宮・寺町・佐野屋丹兵衛) | 渡部屋儀藏様 | 状 | |

| 箱 番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表 題 (内 容) | 作 成 年 月 日 | 差 出 人 | 受 取 人 | 形 態 | 状 態 ／ 備 考 |
|---------|----|----|----|----|---|-----------------------|---|---------------|--------|-----------------------|
| W6 | 15 | 37 | | | 覚(岩門摺三反代銀三拾三匁七分五厘御入帳下さるべく候につき) | (文久3年)六月四日 | (印、<ヤヤ>崎>細大織真綿・信夫摺産物品々・奥州・信夫郡・福島・山崎屋(助) | 渡辺屋儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 15 | 38 | | | 覚(代銀メ壹貫八拾匁五分・四文勘定につき) | (文久3年)五月十五日 | ○御店中様 | | 状 | 破損あり |
| W6 | 15 | 39 | | | 仕切覚(薩摩縮志反代銀貳拾三匁など諸色代銀メ壹貫四百七拾六匁引合につき) | 亥(文久3年)二月五日 | 中村次郎兵衛(印、<キヤヤ>又>江州・石馬寺) | 渡辺儀造様 | 状 | |
| W6 | 15 | 40 | | | 覚(上々縮拾三反代銀貳百九拾九匁など諸色代銀メ三百三拾貳匁五分受取につき) | (文久3年)五月十九日 | 穀屋興十郎 | ○御店様 | 状 | |
| W6 | 15 | 41 | | | 仕切書(縮緬大平付五本代銀拾九匁など諸色代銀メ四貫四百九十五匁五分三リにつき) | (文久3年)四月廿六日 | 小倉屋和助、半助(印、奥州・福島、本町<ツヅ>小倉屋) | 渡辺屋儀藏様、御尊店中様 | 冊 | |
| W6 | 15 | 42 | | | 覚(織物代銀メ百五十八匁請取につき) | (文久3年)四月廿九日 | 川又・高橋屋勘兵衛、代・要吉 | 渡部屋儀藏様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 | 15 | 43 | | | 覚(数合別力拾把代銀六拾匁、此金壹両受取につき) | 亥(文久3年)四月八日 | (印、東都・堀留二丁目・唐弓弦所・現金・さめかいや忠兵衛) | 長八三御店様 | 状 | |
| W6 | 15 | 44 | | | 覚(御障子十丈代銀廿壹匁四分ヰリなど諸色代銀メ百八拾匁余勘定につき) | (文久3年)五月八日 | 大石屋太吉 | 渡邊義藏様、御店様 | 状 | |
| W6 | 15 | 45 | | | 覚(銘入針三反代銀貳匁三分五リなど諸色代銀拾三匁九分五リ勘定につき) | (文久3年)五月七日 | 京屋佐兵衛(印、<ウラウ>仙大町) | 渡邊様 | 状 | |
| W6 | 15 | 46 | | | 覚(六八上物七張代銀六百廿六匁五分など諸色代銀メ九百六十四匁請取につき) | (文久3年)五月六日 | 佐藤屋忠兵衛(印、仙府・国分町・十九軒<ヤヤ>佐藤屋) | 渡部儀藏様、藤兵衛様 | 状 | |
| W6 | 15 | 47 | | | 覚(ウラウ八束代銀貳百四拾匁など諸色代金メ六両壹分三朱ト百三十三文受取につき) | (文久3年)五月八日 | 佐藤屋忠兵衛(印、仙府・国分町・十九軒<ヤヤ>佐藤屋) | 渡辺屋儀藏様、藤兵衛様 | 状 | |
| W6 | 15 | 48 | | | 覚(筋紙四十三代銀三拾九匁九リ勘定につき) | (文久3年)五月六日 | 天満 | ○様 | 状 | |
| W6 | 15 | 49 | | | 覚(卅七・七・沖印拾反代銀三百三十七匁など諸色代銀正味メ壹貫六十五匁五分御入帳願いにつき) | 亥(文久3年)五月廿九日 | 吉井屋兵左衛門(まか2名) | 渡部義藏様、同半兵衛様 | 状 | |
| W6 | 15 | 50 | | | 直附書(結城縮三拾反など御入帳下されにつき) | 亥(文久3年)四月廿七日 | 中屋平兵衛(印) | ○御店様、<イタク>御店様 | 状 | |
| W6 | 15 | 51 | | | 直附書(桃生浅黄五反代銀六十四匁など諸色代銀メ六貫貳百四十五匁三分六リ御入帳下されたいにつき) | (文久3年)四月廿六日 | 中屋平兵衛(印、奥州・福島・本町<キヤヤ>) | 渡邊屋儀藏様、御店衆中様 | 冊 | |
| W6 | 15 | 52 | | | 口取(三十四・子印一反代銀三拾四匁など書上) | (文久3年)四月十三日 | 中屋傳右衛門(印、北越・巻町) | 渡邊甚藏様 | 状 | |
| W6 | 15 | 53 | | | 覚(浅布十代銀十匁など諸色代銀四十三匁六分六リ勘定につき) | (文久3年)二月一日 | 大石屋太吉(<ヤヤ>) | ○様(サマ) | 状 | |
| W6 | 15 | 54 | | | 仕切覚(谷・古新張子舛拾反代銀百五拾五匁など諸色代銀メ八百九拾匁四分につき) | (文久3年)五月廿日 | さのや丹兵衛(印、野州<ウラウ>木>宇都宮・寺町・佐野屋、丹兵衛) | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 15 | 55 | | | 覚(黄印蘭立ノ管代銀拾六匁など諸色代銀メ六拾匁五分受取につき) | (文久3年)六月十二日 | 吉田多吉(印、<ツギ>) | 渡邊屋儀藏様、御店様中 | 状 | 破損あり |
| W6 | 15 | 56 | | | 直附書(真岡晒五反・計代銀拾六匁八分など書上) | (文久3年)五月十八日 | 長谷川次郎吉、豊七(印、大傳馬) | 渡邊屋儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 15 | 57 | | | 覚(六五引・海気壹反代銀百三拾匁など諸色代銀メ五百四拾匁五分請取につき) | 亥(文久3年)二月十一日 | 甲州・菅谷作之助(印、甲陽・郡内) | 渡邊屋御店様 | 状 | |
| W6 | 15 | 58 | | | 覚(十九五・薄色五反代銀九十七匁五分など諸色代銀メ四百六十三匁五分受取につき) | (文久3年)二月十七日 | すゝきや幸吉 | 渡部義藏様 | 状 | |

| 箱 | 番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|----|----|----|----|----|----|---|--------------|--|-----------------|----|-------|
| W6 | 15 | 59 | | | | 覚(八五・小納戸嶋帯廿九本代銀貳百四十六匁五分など諸色代銀メ五百六十匁三分受取につき) | 亥(文久3年)ノ正月四日 | 加嶋屋八郎右衛門 | 渡部義藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 15 | 60 | | | | 覚(十式五・堂代銀百三拾七匁五分など諸色代銀メ貳百七十九匁五分勘定につき) | (文久3年)五月廿一日 | さのや丹兵衛(印、<イ>ヤ木>金銀不用・佐置) | 渡邊屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 15 | 61 | | | | 直附書(寺白地巻廻拾反代などメ百三十四反分勘定につき) | (文久3年)四月廿八日 | 長谷川次郎吉・豊七(印) | 渡部屋儀藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 15 | 62 | | | | 直附書覚(鯨・新珠物引拾反代など諸色代銀勘定につき) | 亥(文久3年)四月七日 | 佐野屋久右衛門、直兵衛(印) | 渡辺屋儀藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 15 | 63 | | | | 御注文書(廿三八皮印四代銀九十五匁式分など諸色代銀メ一貫五匁三分勘定につき) | 亥(文久3年)四月十八日 | 吉井屋兵左衛門、同兵助、同源七 | 伊勢屋福次郎様、御店中様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 15 | 64 | | | | ○御注文口(豊三反代銀七十四匁七分などメ六拾五反代銀壹貫五百六十三匁式分勘定につき) | 亥(文久3年)四月十八日 | 吉井屋兵左衛門、同兵助 | 伊勢屋福次郎様、御店衆中様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 15 | 65 | | | | ○廿九番(十八・九雲印拾反代銀百八十九匁など諸色代銀メ壹貫四百九十九匁六分勘定につき) | 亥(文久3年)四月十八日 | 吉井屋兵左衛門(ほか2名) | 伊勢屋福次郎様、御店中様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 15 | 66 | | | | 覚(黒羽織物代銀七匁など諸色代銀メ百五匁壹分受取につき) | (文久3年)三月廿三日 | さのや伊助 | 渡辺義藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 15 | 67 | | | | 仕切書(惟廿五反並尺代銀四百五拾匁など諸色代銀メ貳貫拾匁奈勘定につき) | 亥(文久3年)四月 | さのや丹兵衛(印) | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 15 | 68 | | | | 覚(金中者十五反代金貳百五拾五匁、此者へ御渡し下されたくにつき) | 亥(文久3年)四月 | 鈴木屋幸吉、庄兵衛(印、<ヤ吉>) | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | 破損あり |
| W6 | 15 | 69 | | | | 覚(真印茜無地六反代銀六拾六匁六分など諸色代銀メ貳貫七匁式六分勘定につき) | 亥(文久3年)四月十三日 | 三浦猪助(印) | 渡辺儀藏様、御店中様 | 冊 | |
| W6 | 15 | 70 | | | | 覚(本此印ゆかた廿壹反代銀四十五匁など諸色代銀メ四百五匁七分受取につき) | (文久3年)四月廿日 | 山南屋善兵衛 | 渡部屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 15 | 71 | | | | 覚(格代銀百七拾八匁など勘定につき) | (文久3年)四月十八日 | (印、<ヤ崎>細太織真綿・信夫摺産物品々・奥州・信夫郡・福島・本町・山崎屋良助) | 渡辺屋様 | 状 | |
| W6 | 15 | 72 | | | | 直附書(鯨五反代銀拾八匁壹分などメ百五拾五匁につき) | (文久3年)四月十一日 | 川喜田久太夫(印)(ほか2名) | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 冊 | |
| W6 | 15 | 73 | | | | 覚(四人・男黒帯代銀五拾五匁式分請取につき) | (文久3年)四月廿二日 | 越後屋喜兵衛 | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 15 | 74 | | | | おほえ(十八五形白八反代銀百四十八匁など諸色代銀メ六百五拾六匁勘定につき) | (文久3年)四月廿二日 | 治吉々 | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 15 | 75 | | | | 仕切書(地中ふきむけ月代銀三十一匁など諸色代銀メ三百五十一匁余につき) | (文久3年)三月廿日 | 佐野屋久右衛門、直兵衛(印) | 渡辺屋儀藏様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 | 15 | 76 | | | | 覚(坂・紺紗綾かけ五まい代銀四拾九匁など諸色代銀メ百拾七匁勘定につき) | (文久3年)三月廿九日 | 佐丹 | 渡辺屋儀藏様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 | 15 | 77 | | | | 覚(切元詰本庄長尺拾把代銀五拾五匁など諸色代銀メ七拾六匁、此金吾阿宅分・百六文受取につき) | 亥(文久3年)四月十三日 | 紙屋喜太郎(印、奥州・伊達郡・桑折宿<ツル万>紙屋) | 渡邊屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 15 | 78 | | | | 覚(大ミの式反代銀貳百六十七匁九分七リなど諸色代銀メ四百廿二匁七リ勘定につき) | (文久3年)三月卅日 | <ヤ太> | ○様 | 状 | |
| W6 | 15 | 79 | | | | おほへ(正味メ銀七百四十匁勘定につき) | (文久3年)三月十八日 | | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 15 | 80 | | | | 覚(丸二店私分メ百拾三丈四尺書上) | (文久3年) | 澤屋治右衛門 | 渡部屋儀藏様 | 状 | |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|--|----------------|-------------------------------|------------------|----|--------------|
| W6 15 | 81 | | | | 仕切書(現金分縮貳拾五枚など諸色代金拾三両余につき) | (文久3年)三月十二日 | 佐野屋久右衛門、直平(印、野州・宇都宮・鉾田町) | 渡邊屋儀藏様、豊吉様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 15 | 82 | | | | 寛(しほり)五枚代銀九拾六匁など諸色代銀々壹貫貳拾壹匁余勘定につき) | 亥(文久3年)三月十日 | 三浦屋店(印、羽州山形<ヤ>三>金銀不用) | 渡辺儀藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | |
| W6 15 | 83 | | | | 寛(和色紙壹本代銀四拾貳匁など諸色代銀々百五拾七匁勘定につき) | 亥(文久3年)二月十八日 | 丸屋彦兵衛(印、<カ>や>江戸本石町・十軒店・丸屋彦兵衛) | 渡辺屋儀藏殿 | 状 | |
| W6 15 | 84 | | | | 直附書(依十五反代銀貳拾匁五分などメ百四十九反書上) | (文久3年)二月廿一日 | 長谷川次郎吉、豊七(印、大傳馬) | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 15 | 85 | | | | 覚(本床代銀五拾五匁・箱妻代銀廿匁、メ銀七拾六匁御改め御入帳下された<カ>につき) | (文久3年)三月九日 | 紙屋喜太郎(印、奥州・伊達郡・桑折宿<カ>万>紙屋) | 渡邊屋儀藏様、御衆中様 | 状 | |
| W6 15 | 86 | | | | 覚(渡辺屋儀藏殿紙代金貳両三分ト七百八十八式文請取につき) | 亥(文久3年)二月十八日 | 丸屋彦兵衛(印、<カ>や>江戸本石町・十軒店・丸屋彦兵衛) | 長谷川次郎吉殿 | 状 | |
| W6 15 | 87 | | | | 直附書(杉拾反代銀十七匁九分などメ十七反ト貳百枚飛脚持につき) | (文久3年)二月十五日 | 長谷川次郎吉、豊七(印、大傳馬) | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 15 | 88 | | | | (書状、過月中御注文の股引十足延引、衝々<ヤ>>出来致し候につき) | (文久3年)二月廿四日 | さのや丹兵衛 | 渡辺屋儀藏様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 15 | 89 | | | | 覚(大瓶上之大ミの十反代銀貳拾貳匁五分御入帳下された<カ>につき) | (文久3年)二月廿九日 | 大石屋太吉 | 〇様 | 状 | |
| W6 16 | 1 | | | | (願書、上中目録・上中杉原など新紙直下ケ仰せ渡され吟味につき) | (近世・年月日未詳) | | | 冊 | こより共、付箋・破損あり |
| W6 16 | 2 | | | | (願書、此度御趣意をもって諸紙直下ケ仰せ渡されにつき) | (近世・年月日未詳) | | | 冊 | 破損あり |
| W6 16 | 3 | | | | (断簡) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | 破損甚大、開披不能 |
| W6 16 | 4 | | | | 乍恐御上書を以申上候御事(薬師堂神事の商売を城下紙店の者共妨害につき) | 明和三年 | 白石町・紙中揚商人・十右衛門(ほか7名) | 検断・利喜右衛門殿(ほか5名) | 冊 | |
| W6 16 | 5 | | | | (書状、御用申し談じた<カ>罷越されにつき) | (近世・年未詳)六月廿九日 | 儀右衛門 | 短ヶ町・平兵衛殿 | 状 | 破損あり |
| W6 16 | 6 | | | | (願書、此度御趣意をもって諸紙直下ケにより中場共へ御手形商売御指図下された<カ>につき) | 天保十三年十月 | 紙問屋・後藤屋吉藏、紙問屋・三浦屋徳兵衛 | | 冊 | こより共、破損あり |
| W6 16 | 7 | | | | (書状、紙直段取調、御吟味御指図成し下された<カ>につき) | (近世・年未詳)二月十九日 | | 平兵衛様 | 状 | 3紙1点 |
| W6 16 | 8 | | | | (覚、諸紙直下ケ市中罷出候品取調申上候につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | W6-167と関連あり |
| W6 16 | 9 | | | | (書状、白石より商人共高利むさほり候段仰せ渡され商品直段吟味につき) | (近世・年未詳)十二月十八日 | 安右衛門、三四郎 | 紙商人・儀藏殿、紙中揚商人衆 | 状 | |
| W6 16 | 10 | | | | 乍恐口上書ヲ以奉申上候御事(御城下表へ商売仕候につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 16 | 11 | 1 | | | (書状、当春元調申上直段釣り合い御吟味成し下されにつき) | 天保拾四年 | | | 状 | |
| W6 16 | 11 | 2 | | | (書状、別紙調査をもって申上候通り、諸紙直上ケ売買仕りた<カ>につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 16 | 12 | | | | 写手控(当二月中元調申上御直段釣合御吟味下された<カ>につき) | 天保十四年六月 | 義藏(ほか2名) | 検断・兵助様(ほか2名) | 状 | 破損甚大 |
| W6 16 | 13 | | | | (書状、商人共直下のため指丈候間、御吟味下された<カ>につき) | (天保14年)七月 | | 惣四町検断 | 状 | 破損甚大 |

| 箱番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|---|-----------------|------------------|------------------|----|------------------|
| W6 16 | 14 | | | | (書状、御下知仰せ渡され候上、取調申上候様仰せ下されたくにつき) | 天保(年月日未詳) | 白石町代仲場・善治 | | 状 | 破損あり、前欠 |
| W6 16 | 15 | | | | (書状、去冬中取調申上候直段振合をもって取引・紙出しにつき) | (近世・年月日未詳) | | | 冊 | 破損甚大 |
| W6 16 | 16 | | | | (書状、此度何紙をもって何程に商売仕り、御城下表へ相登せ、および右直段の義委細申上につき) | 天保十四年六月 | 善治、義藏 | 検断・兵助様 | 冊 | 破損甚大 |
| W6 16 | 17 | | | | (寢、秋原七帖など諸色書上) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 16 | 18 | | | | 乍恐口上書ヲ以御願上候御事(紙直上ケ之事御吟味成し下されたくにつき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 16 | 19 | | | | (書状、相納置候古手物今日までに勘定受取申したくにつき) | (近世・年月未詳)十月七日 | 五郎兵衛 | 渡辺儀藏様 | 状 | |
| W6 16 | 20 | | | | (書状、一寸申し遣し候金沓切分、手形四枚遣し申候、古手遣わされたくにつき) | (近世・年月未詳)十月七日 | 五郎兵衛 | 渡辺儀藏様 | 状 | |
| W6 16 | 21 | | | | 覚(代金沓分余受取申上候につき) | (近世・年月未詳)六月十三日 | 立町・半兵衛(印) | 渡辺屋義藏様 | 状 | |
| W6 16 | 22 | | | | 覚(酒代錢貳貫九拾六文受取につき) | (近世・年月未詳)五月十八日 | 小野屋利兵衛(印) | 渡辺儀藏様 | 状 | |
| W6 16 | 23 | | | | 覚(ふくさ廿七枚代銀拾匁八分など諸色代金メ六拾七切引合につき) | (近世・年月未詳)十二月廿三日 | 津弥や傳左衛門 | ○御店様 | 状 | |
| W6 16 | 24 | | | | 覚(五番編代錢八百文など諸色代錢メ沓貫貳百文勘定につき) | 西(近世)七月廿一日 | 越前屋兵藏 | 渡部様 | 状 | |
| W6 16 | 25 | | | | 覚(宇都宮佐丹の荷物沓箇請取につき) | 西(近世)十月 | 亀屋吉兵衛(印) | 白石町・渡辺屋儀藏様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 16 | 26 | | | | (書状、大物五箇・六箇取合代銀四貫貳百七拾五文御役代受取につき) | (近世・年月未詳)閏四月十五日 | 越河御判口入・舛治(印) | 義藏様 | 状 | |
| W6 16 | 27 | | | | 覚(宇田組紙式枚指し上げられ下されたくにつき) | (近世・年月未詳)十一月十一日 | 三つ橋栄助(印) | 渡部屋甚藏様、石津屋笠藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 16 | 28 | | | | (書状、御趣意書拝借御札、廿三日一寸ばかり仙台へ相登る件などにつき) | (近世・年月未詳)十一月十八日 | 阿子圓 | 渡庄様 | 状 | 破損あり |
| W6 16 | 29 | | | | (触書写、御城下在々料理仕出し屋にて蒲焼・茶漬など、および年若異風の女を芸者同様に抱え置くこと堅く禁止につき) | (近世・年月未詳)十月七日 | (大藏、監物) | (御目付中) | 冊 | 末尾に庄松より御兄様宛の記載あり |
| W6 16 | 30 | | | | 此度御趣意を以諸紙直下ケ被仰渡候ニ付左之通売直段申上候事 | (近世・年月未詳)十月十五日 | 当番 | | 冊 | |
| W6 16 | 31 | | | | 十五日被仰越書(触書写、近年売買の諸品高直のため引下ケにつき) | (近世・年月未詳)十月十一日 | (大藏、監物) | (御目付中) | 冊 | |
| W6 16 | 32 | | | | 中間書上控 | 寛政四子ノ歳 | 与惣治(ほか4名) | | 冊 | 破損あり |
| W6 16 | 33 | | | | (願書写、紙漉人へ直下ケ相払いの件などにつき) | (近世・年月日未詳) | (紙屋商人中カ) | | 冊 | 破損あり |
| W6 16 | 34 | 1 | | | 両問屋方へ申遣候下書(御城下紙店に相払候直段控) | (近世・年月未詳)十二月廿四日 | | | 状 | |
| W6 16 | 34 | 2 | | | 両問屋沓紙面下書(当新紙出荷直段につき) | 寅(近世)十二月廿四日 | 渡部屋義藏(ほか2名) | 三浦屋権平様、後藤屋吉藏様 | 状 | |
| W6 16 | 35 | | | | (申状、此度諸色下直のため諸紙引下ケにつき) | 天保十三年十月 | 紙問屋・三浦屋徳兵衛、後藤屋吉藏 | 渡部與左衛門殿 | 状 | |
| W6 16 | 36 | | | | 相達候下書(拙者共先年の御城下紙中揚渡世罷在、御城下表二而売弘候直段につき) | とら(近世)十二月廿四日 | | | 状 | |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|---|-----------------|----------------|----------------|----|-----------|
| W6 16 | 37 | | | | (違書写、近年紙類目録・寸尺、および商売心得方につき) | (近世・年月日未詳) | 源八 | 六町・検断中 | 状 | |
| W6 16 | 38 | 1 | | | 覚(御殿御普請方御入料へ金七切落手につき) | 申(近世)七月十二日 | 小澤孝右衛門(印) | 渡部甚藏殿 | 状 | |
| W6 16 | 38 | 2 | | | 覚(御殿御普請御入料として金拾三切落手につき) | 申(近世)七月十二日 | 小澤孝右衛門(印) | 渡部甚藏殿 | 状 | |
| W6 16 | 39 | | | | (書状、正金をもって渡し方願いにつき) | (近世・年月日未詳)二月廿五日 | 鈴木味右衛門 | 渡部甚藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 16 | 40 | | | | 手元謄(融通講金代にて入金六百八拾八切など諸入用金メ三千六百六切式分四り勘定につき) | (近世・年月日未詳) | | | 冊 | |
| W6 16 | 41 | | | | 金子拜借申上候一札之事(正金五百切) | 安政七ノ年申正月 | 山田忠三郎(印)(ほか8名) | 山村六右衛門殿 | 状 | 破損あり |
| W6 16 | 42 | 1 | | | 覚(御当用方へ御用立金六百拾切受取につき) | 申(万延元年)ノ七月十日 | 芝辻長右衛門、鈴木忠五郎 | 小岡吉之助殿 | 状 | こより共、破損甚大 |
| W6 16 | 42 | 2 | | | 覚(正金九拾切請取につき) | 申(万延元年)六月二日 | 鈴木忠五郎(印) | 吉田忠左衛門殿・小岡吉之助殿 | 状 | 破損甚大 |
| W6 16 | 42 | 3 | | | 覚(鷹巣村御才覚金の内へ金拾切請取につき) | 申(万延元年)六月十六日 | 鈴木忠五郎 | 小岡吉之助殿、御村役衆中 | 状 | 破損あり |
| W6 16 | 42 | 4 | | | 御才覚金請取覚(メ金千九百七拾八切六分式り三毛) | 万延元年申七月 | 渡部甚藏(印) | 小岡吉之輔殿 | 状 | 破損甚大 |
| W6 16 | 43 | | | | (覚、紙代銀メ五百五十八匁分など書上) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | 前後欠、破損あり |
| W6 16 | 44 | | | | (覚、代銭三百四拾四文など書上) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | 前後欠 |
| W6 16 | 45 | | | | 覚(御貸方金始末相立候まで手形斯くの如く御座候につき) | (万延元年)七月三日 | 芝辻長右衛門(印) | 渡部甚藏殿 | 状 | |
| W6 16 | 46 | | | | 覚(代銭貳拾五貫八百貳拾文御願いにつき) | 申(万延元年)七月廿七日 | 渡部甚藏(印) | 紺野惣四郎殿 | 状 | 破損甚大 |
| W6 16 | 47 | | | | (書状、貴家様御手元ニ而指引、御帳面のうち書き抜き下されたくにつき) | (近世・年月未詳)正月廿九日 | 本町カ・上郷甚藏 | 中町ニ而・渡部義藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 16 | 48 | | | | 御金代渡し書(御日金五切猪股腰助殿反手形などにつき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | 破損あり |
| W6 16 | 49 | | | | (書状、志朱手形百八拾八枚など御手形御不足などにつき) | (近世・年月未詳)七月十二日 | 鈴木忠兵衛 | 渡部甚藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 16 | 50 | | | | 覚(夏御年貢金拾八切御請取書へ御記入下さるべく候につき) | (万延元年)七月廿日 | 小岡吉之助、志田忠左衛門 | 渡部甚藏様 | 状 | |
| W6 16 | 51 | | | | 覚(夏御年貢金七切につき) | 申(万延元年)の七月十四日 | 渡部甚藏(印) | 志田忠左衛門殿 | 状 | 破損・墨引あり |
| W6 16 | 52 | | | | (書状、当七月中御差屋方御入金のため御切手相置申候間、御請取切替手形御戻し下さるべく候につき) | (近世・年月未詳)十一月十日 | 加藤庄吉 | 渡部甚藏様 | 状 | |
| W6 16 | 53 | 1 | | | 覚(金六百拾切請取につき) | 申(万延元年)ノ七月朔日 | 渡部甚藏(印) | 菊池庄重郎殿 | 状 | 破損あり |
| W6 16 | 53 | 2 | | | 覚(六月中御遣替金のうち金五拾切請取につき) | 申(万延元年)ノ七月廿九日 | 渡部甚藏(印) | 菊池庄十郎殿 | 状 | 破損あり |
| W6 16 | 54 | | | | (書状、此度指上の金子御替え下されたくにつき) | (近世・年月未詳)八月三日 | 小深嘉郎 | 渡部甚藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 16 | 55 | | | | 覚(金三切追而始末相立候などにつき) | 申(万延元年)二月三日 | 渡部甚藏(印) | 吉見清八郎殿 | 状 | 破損あり |
| W6 16 | 56 | | | | 覚(請代上り金のうち金百八拾切余請取などにつき) | 申(万延元年)ノ八月三日 | 渡部甚藏(印) | 斎藤你□治殿 | 状 | 破損あり |
| W6 16 | 57 | | | | 覚(去申六月分金七切余遣わされにつき) | 酉(万延2年)ノ正月六日 | 菊池庄重郎 | 渡部甚藏様 | 状 | 破損あり |
| W6 16 | 58 | | | | 覚(金貳切式朱余上納などにつき) | (近世・年月未詳)二日 | 越河町肝入・善藏(印) | 御役人中様 | 状 | 破損あり |
| W6 16 | 59 | | | | (覚、金拾五切上納などにつき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | 破損甚大、3紙1点 |
| W6 16 | 60 | | | | (断簡) | (年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 16 | 61 | | | | (覚、白縮羽織地式反など諸色代金書上) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 16 | 62 | | | | (覚、杉原金壹切に九帖半より拾壹帖迄など諸紙直段目録につき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|---|---------------|---------------|------------------|----|----------------------|
| W6 16 | 63 | 1 | | | 寛(手桶代銭三十拾六文など諸色代銭メ二貫八百六文勘定につき) | (近世・年未詳)正月二日 | 桶屋兼蔵 | 中町・儀蔵様 | 状 | こより共 |
| W6 16 | 63 | 2 | | | 寛(茶百拾貳包代銭三百六拾六文など諸色代銭メ六貫六百七拾貳文勘定につき) | (近世・年未詳)十月晦日 | 丸太 | 寿丸様 | 状 | |
| W6 16 | 63 | 3 | | | 寛(杉板十三間三尺代金三切余請取につき) | (近世・年未詳)十一月八日 | 卯原屋 | 渡部屋様 | 状 | |
| W6 16 | 63 | 4 | | | 寛(みなと返しふとん紋代銭七百文など諸色代銭メ四貫六百五十五文勘定につき) | 卯(近世)十二月 | 水之上や久兵衛 | 本家・渡部屋様 | 状 | |
| W6 16 | 63 | 5 | | | 寛(三十郎・百六十文など人名・金銭メ三貫六百六十文勘定につき) | (近世・年未詳)正月 | 高橋屋甚兵衛 | 寿丸・御勝手様 | 状 | |
| W6 16 | 63 | 6 | | | 寛(花籠貳拾半代銭貳百文など諸色代銭メ六貫五百九十八文勘定につき) | 卯(近世)十二月 | 最上屋 | ○渡部屋・御店様中 | 状 | |
| W6 16 | 63 | 7 | | | 寛(大妻三状代銭六百文など諸色代銭メ壹貫七百貳文請取につき) | (近世・年未詳)十二月 | 佐藤茂用太(印) | 渡邊甚蔵様 | 状 | |
| W6 16 | 63 | 8 | | | 寛(吸物膳代銀三匁など諸色代銀書上) | 卯(近世)ノ十二月 | 鈴木藤左衛門 | 渡部義蔵様 | 状 | |
| W6 16 | 63 | 9 | | | 寛(女帯壹本代銀四十三匁七分など諸色代銀メ五十七匁余勘定につき) | 卯(近世)十二月 | 山田屋忠次郎 | 渡辺屋義蔵様、御店中様 | 状 | |
| W6 16 | 63 | 10 | | | 寛(口志升代銭百六拾文など諸色代銭メ貳貫貳百六拾五文勘定につき) | 卯(近世)十二月 | 御酒蔵 | 渡部儀蔵様 | 状 | |
| W6 16 | 63 | 11 | | | 寛(塩夕代銭貳貫六百文など諸色代銭メ三貫百八拾文勘定につき) | 卯(近世)正月十五日 | 金之助 | 上メ・義蔵様 | 状 | |
| W6 16 | 63 | 12 | | | 寛(白之ふとん代など諸色代金メ壹両貳歩式朱勘定につき) | 卯(近世)とし十二月廿九日 | 巳之助 | ○様 | 状 | |
| W6 16 | 63 | 13 | | | 記(あや杉四反代銀拾四匁五分など諸色代銀勘定につき) | 卯(近世)ノ十二月 | 法具や伝右衛門 | ○御店様 | 状 | |
| W6 16 | 63 | 14 | | | 寛(ぬめ中ゆぎ反・平田壹反・ふくさ式枚代など諸色代銀メ八拾七匁五分勘定につき) | (近世・年未詳)正月三日 | さるみ屋直次 | 渡邊屋甚蔵様 | 状 | |
| W6 17 | 1 | | | | (書状、昨春類焼仕候得共、近來家業繁栄につき) | (近世・年未詳)五月二日 | 佐助、左兵衛 | 渡部義蔵様、豊吉様 | 状 | こより共、こより付紙「亥八年書状」とあり |
| W6 17 | 2 | | | | (書状、御仕出シ之紙布式箇到着などにつき) | (近世・年未詳)五月廿二日 | 須原屋孫助 | 渡邊屋儀蔵様、藤兵衛様 | 状 | |
| W6 17 | 3 | | | | (書状、直段御取調御用向のほど願ひ上げ候につき) | (近世・年未詳)二月廿五日 | 長谷川次郎吉、豊七(印) | 渡辺屋儀蔵様、豊吉様 | 状 | |
| W6 17 | 4 | | | | (書状、去秋中より申上候通り当春は手取前金拜借願ひ上げ候につき) | (近世・年未詳)正月十日 | さのや菊助 | 渡部屋義蔵様、東兵衛様、御店中様 | 状 | |
| W6 17 | 5 | | | | 注文書(紙布縮廿反・羽織地三反など大急御送り下さるべく候につき) | (近世・年未詳)四月五日 | <カシ>(印) | 渡儀様 | 状 | |
| W6 17 | 6 | | | | (書状、仕入始末相添え候につき) | (近世・年未詳)五月廿一日 | 武左衛門 | 渡部屋様 | 状 | |
| W6 17 | 7 | | | | 注文書理(鳴縮紙布式拾五反、急御送り成し下されたくにつき) | い(近世)ノ三月廿一日 | 奈良屋作兵衛、辰三郎(印) | 渡邊屋儀蔵様、豊吉様 | 状 | |
| W6 17 | 8 | | | | (書状、御注文仰せ付けられ商品取り揃え御送りにつき) | (近世・年未詳)五月廿一日 | 佐野屋丹兵衛(ほか2名) | 渡邊屋儀蔵様、豊吉様、御店中様 | 状 | |
| W6 17 | 9 | | | | 追啓(諸品持ち合わせ御用向き願ひ上げなどにつき) | (近世・年未詳)正月六日 | 大和屋九郎右衛門、文七 | 渡邊屋甚蔵様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 17 | 10 | | | | (書状、御注文不足金など金貳貳式朱余相渡し候につき) | (近世・年未詳)二月廿五日 | | ○御店様 | 状 | |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|---|---------------|-------------------------|------------------|----|-------------|
| W6 17 | 11 | | | | (書状、染方職人不足のため何分品不足、日限御延引成し下され候につき) | (近世・年未詳)二月廿一日 | さのや丹兵衛、貞兵衛 | 渡邊屋儀藏様、豊吉様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 17 | 12 | | | | (書状、鳴ちぢみ羽をり地注文のところ、急ぎ御送り下されたく候につき) | (近世・年未詳)三月廿一日 | 奈良屋作兵衛、辰三郎 | 渡邊屋儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 17 | 13 | | | | (書状、庄司紙十五帖・御切紙三十帖など御願ひ申し上げ候につき) | (近世・年未詳)十一月十日 | 渡部屋儀藏 | 平次郎様 | 状 | |
| W6 17 | 14 | | | | (書状、平次郎衆阿子佐殿へ別紙指し申し上げず、今夕御通達下されたく候につき) | (近世・年未詳)七月廿五日 | 甚藏 | 御伯父様、豊吉殿 | 状 | |
| W6 17 | 15 | | | | (書状、先日相調え候布など御送り候につき) | (近世・年未詳)五月十九日 | 甚藏 | 御叔父様、豊吉様 | 状 | |
| W6 17 | 16 | | | | (書状、先達中<マル久>様・御店様へ諸紙御注文申し上げ候処、御店様より御御送り下されず拙店方売先甚だ迷惑につき) | (近世・年未詳)十月三日 | <カサ>店 | ○様、御店役中 | 状 | |
| W6 17 | 17 | | | | (書状、金子廿一日迄に指上のところ、親病氣甚だ悪しく御無音申し上げ、朔日立てをもつて差上候につき) | (近世・年未詳)十月廿九日 | 近江屋源治 | 渡邊屋儀藏様、御店様中 | 状 | |
| W6 17 | 18 | | | | (書状、先便朔日出をもつて御注文のうち三箇だけ相撰出荷、および品不足にて品物揃い兼ねなどにつき) | (近世・年未詳)三月廿五日 | 長谷川次郎吉(印、<ヤ三>大傳馬一・金銀不用) | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | 端裏に「○サマ」とあり |
| W6 17 | 19 | | | | (書状、紙代金差上のところ、親病氣のため延引、甚藏様へよろしく仰せ上げられたくにつき) | (近世・年未詳)十月晦日 | 近江屋源治 | 傳五郎様 | 状 | |
| W6 17 | 20 | | | | (書状、先達而注文の紙布・綿取り合わせ廿反并羽織地大急々入用のため早速御送り成し下されたくにつき) | (近世・年未詳)四月十一日 | 小倉屋和助 | 渡部や儀藏様 | 状 | 端裏に「渡儀様」とあり |
| W6 17 | 21 | | | | (書状、来春紙布類仕入方の義、当年売残り余程あるため御仕入方御休み下さるべく候につき) | (近世・年未詳)極月九日 | 泉屋孫助 | 渡邊屋儀藏様 | 状 | |
| W6 17 | 22 | | | | (書状、此度紙布拾反御送り下され趣に入手、および残金の儀御勘定下さるべく候につき) | (近世・年未詳)五月七日 | 岡本長十郎 | 渡邊屋儀藏様 | 状 | |
| W6 17 | 23 | | | | (書状、淀屋便をもつて陣羽織の義相達せられ候、および江戸表火板不足のため売り付け候などにつき) | (近世・年未詳)二月十一日 | 儀藏 | 豊吉殿、藤兵衛殿 | 状 | |
| W6 17 | 24 | | | | (書状、式口メ六拾七帖御請取下さるべく候につき) | (近世・年未詳)五月廿一日 | 小野屋内分 | 渡部御店衆中 | 状 | |
| W6 17 | 25 | | | | (書状、出立の御宣しく御取り計らい成し下されたき趣、および御上京方御用立金など如何御都合成し下さるべき哉につき) | (近世・年未詳)正月廿五日 | 儀藏 | 御伯父様 | 状 | |
| W6 17 | 26 | | | | (書状、源左衛門様昨夕御帰宅、およびいづれ一両日中荷物致すため委細御相談下されたくにつき) | (近世・年未詳)八月九日 | 甚藏 | 御伯父様 | 状 | |
| W6 17 | 27 | | | | (書状、下拙岩沼泊りにて廿八日無事着、出紙の分少し引下ケ御買入成し下さるべく候などにつき) | (近世・年未詳)二月初日 | 渡部屋儀藏 | 御叔父様、豊吉殿 | 状 | |
| W6 17 | 28 | | | | (書状、今日出立にて参り候、六月朔日は御開帳のため是非参詣申し上げたき心組などにつき) | (近世・年未詳)閏月廿六日 | 庄五郎 | 佐兵衛様、甚藏様 | 状 | |
| W6 17 | 29 | | | | 口上(下拙義六月中其御地へ下り御店様にて紙布羽織地五反買請の御札、相堅締付御下し申上候、此品物御当所にて御縫立出来致すべきと存じ奉り候につき) | (近世・年未詳)七月八日 | 江戸本所相生町五丁目・伊勢屋林藏 | 渡邊屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 17 | 30 | | | | (書状、今般百五拾七反下され千方有り難く御礼につき) | (近世・年未詳)七月廿二日 | さのや久右衛門、直平 | 渡邊屋義藏様、豊吉様 | 状 | 端裏に「○サマ」とあり |
| W6 17 | 31 | | | | (書状、御手合申上、今般宗調書到着、御引合下されたくにつき) | (近世・年未詳)六月十五日 | さのや久右衛門、直兵衛 | 渡邊屋義藏様、豊吉様 | 状 | 端裏に「○サマ」とあり |

| 箱 | 番号 | 枚1 | 枚2 | 枚3 | 枚4 | 表 題 (内 容) | 作 成 年 月 日 | 差 出 人 | 受 取 人 | 形 態 | 状 態 / 備 考 |
|----|----|----|----|----|----|---|----------------|---------------------------------------|------------------|-----|-------------|
| W6 | 17 | 32 | | | | (書状、下拙義大河原泊りにて無事着、別而相談の義は御座なく候処、諸紙不揃いの様子にてごまり入り申候につき) | (近世・年未詳) 正月廿一日 | 儀藏 | 豊吉殿、藤兵衛殿 | 状 | |
| W6 | 17 | 33 | | | | (書状付紙、飛脚賃銭式五文相払いにつき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | |
| W6 | 17 | 34 | | | | (書状、今便惣仕切申上、御引合下さるべく候につき) | (近世・年未詳) 六月十一日 | 川喜田久太夫、文兵衛(印、<ピ>川喜田)>大傳馬壹・金銀不用・河喜田) | 渡邊屋義藏様 | 状 | |
| W6 | 17 | 35 | | | | (書状、物目録相認め申上候、宜しく御引合下されにつき) | (近世・年未詳) 七月五日 | 川喜田久太夫(印、<ピ>川喜田)>大傳馬壹・金銀不用・河喜田)(ほか2名) | 渡邊屋義藏様 | 状 | |
| W6 | 17 | 36 | | | | 口上(<カ>山>へ御届け方願いにつき) | (近世・年月未詳) 五日 | はせ川 | ○御店様 | 状 | |
| W6 | 17 | 37 | | | | (書状、先日御使忠兵衛殿に金五両余御渡し、注文の紙・布・は織地御送り成し下されたにつき) | (近世・年未詳) 七月朔日 | 若松屋う作、善助 | 渡邊屋儀藏様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 | 17 | 38 | | | | (書状、京屋便りをもって金五拾四両余御登せ成し下され御れにつき) | (近世・年未詳) 正月十八日 | 川喜田久太夫(印、<ピ>川喜田)>大傳馬壹・金銀不用・河喜田)、文兵衛 | 渡邊屋儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 17 | 39 | | | | (書状、御品切御注文仰せ付けられ、同日飛脚出し御案内、そのほか御登せ金百六拾両相届き入帳なごにつき) | (近世・年未詳) 正月八日 | 長谷川次郎吉(印、<ヤ>三>大傳馬・金銀不用、豊七) | 渡部屋儀藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | 端裏に「○サマ」とあり |
| W6 | 17 | 40 | | | | 寛(三)白改・銘造り、名古屋五ばんなど綿相場書上) | (近世・年未詳) 正月十五日 | 長谷川源右衛門、惣兵衛 | 渡部屋義藏様 | 状 | |
| W6 | 17 | 41 | | | | (書状、先月中より横浜沖へイギリヌ軍艦渡来、今にも一戦相始め候程の混雑につき) | (近世・年未詳) 四月五日 | 長谷川次郎吉(印、<ヤ>三>大傳馬一・金銀不用)、豊七 | 渡辺屋儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 17 | 42 | | | | (書状、金六拾三両壹歩式未請取・入帳につき) | (近世・年未詳) 五月十七日 | 佐野屋丹兵衛(印)(ほか2名) | 渡辺屋儀藏様、豊吉様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 | 17 | 43 | | | | (書状、金式十八両式分一朱入帳、および冬物など御用向仰せ付けられたにつき) | (近世・年未詳) 正月十八日 | 佐野屋久右衛門、直兵衛 | 渡辺屋儀藏様、豊吉様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 | 17 | 44 | | | | (書状、金五両請取および此度御用向仰せ付けられ候につき) | (近世・年未詳) 正月廿一日 | 丸屋彦兵衛、要助 | 渡辺屋儀藏様、豊吉様、御店中 | 状 | |
| W6 | 17 | 45 | | | | 相庭(壹・三百七匁、祇園・四百六匁など綿相場書上) | (近世・年未詳) 正月四日 | 長谷川治郎吉 | | 状 | |
| W6 | 17 | 46 | | | | 初相庭(坂上銘代銀百八十六匁など祝儀取引につき) | (近世・年未詳) 正月四日 | 長谷川次郎吉 | | 状 | |
| W6 | 17 | 47 | | | | (書状、当年も御用向仰せ付け下されたにつき) | (近世・年未詳) 正月五日 | 佐野屋丹兵衛(ほか2名) | 渡辺屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 17 | 48 | | | | (書状、京丹百七拾六匁など初相場申上候などにつき) | (近世・年未詳) 正月五日 | 川喜田久太夫(ほか2名) | 渡辺屋儀藏様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 | 17 | 49 | | | | 追啓(今年も御眞買成し下され候様願ひ上げ候につき) | (近世・年未詳) 正月五日 | 大和屋九左衛門(ほか2名) | 渡辺甚藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 17 | 50 | | | | (書状、当秋も御引立御用向下されたにつき) | (近世・年未詳) 六月七日 | 佐野屋丹兵衛(ほか2名) | 渡部屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 17 | 51 | | | | 口上(商品御届け下され御れにつき) | (近世・年未詳) 七月廿五日 | 長谷川惣兵衛(印) | 渡部屋庄松様 | 状 | |
| W6 | 17 | 52 | | | | 入日記(○御印様受取廿枚など書上) | う(近世) 七月十日 | <ヤ>三> | 御三星印様 | 状 | |
| W6 | 17 | 53 | | | | (書状、兼而御注文のうち武器、千葉武四郎様相渡し候につき) | (近世・年未詳) 四月十一日 | 川喜田久太夫(ほか2名) | 渡辺屋義藏様 | 状 | |
| W6 | 17 | 54 | | | | (書状、御品切物など近々御用向仰せ付けられ候につき) | (近世・年未詳) 三月十三日 | 佐野屋丹兵衛(ほか2名) | 渡辺屋儀藏様、豊吉様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 | 17 | 55 | | | | 寛(ちり紙三箇など注文申上候につき) | (近世・年未詳) 二月廿三日 | 大丸屋勝吉(印、<カ>大>仙台大町四丁目・太物店) | 渡辺屋義藏様、御店中様 | 状 | |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-----|----|----|----|----|--|---------------|-----------------------------------|------------------|----|----------------|
| W6 | 17 | 56 | | | (書状、兼而仰せ置かれ候品出来、御送り申上候につき) | (近世・年未詳)三月廿日 | 佐野屋久右衛門、直兵衛代 | 渡辺屋儀藏様、豊吉様、御店兼中様 | 状 | |
| W6 | 17 | 57 | | | (書状、注文御願い、申上候品、大急御送り下されたぐにつき) | (近世・年未詳)四月五日 | 小和(印)、<カ>辻>物産・奥州福嶋本町・呉服太物類・小倉屋和助 | 渡儀様 | 状 | |
| W6 | 17 | 58 | | | (書状、紙布縮十枚など大急御送り下されたぐにつき) | (近世・年未詳)三月十四日 | 小倉屋和助 | 渡辺屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 17 | 59 | | | (書状、先達中御注文のうち下妻縮など出来候間御送り申上候につき) | (近世・年未詳)三月十二日 | 佐野屋久右衛門、直兵衛代 | 渡辺屋儀藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 17 | 60 | | | (書状、はせ代金七両式分式未など取引仕りたぐにつき) | (近世・年未詳)三月十二日 | 三浦屋権四郎(印)(五か2名) | 渡辺儀藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 17 | 61 | | | (書状、先日御注文の品は去月十四日飛脚便差立などにつき) | (近世・年未詳)二月十八日 | 丸屋彦兵衛、虎助 | 渡邊屋儀造様 | 状 | |
| W6 | 17 | 62 | | | (書状、先便紙布少々注文申上、実は右品江戸表へ相登せのため急ぎ御座候につき) | (近世・年未詳)二月十一日 | 奈良屋作兵衛、辰三郎 | 渡部屋儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 17 | 63 | | | (書状、正月十八日出をもつて貴地正月八日出し御請、金百貳拾五兩御登せ成し下され、および此度夏物御注文仰せ付けられ御札につき) | (近世・年未詳)二月廿一日 | 川喜田久大夫(印)、<カ>川>大傳馬壹・金銀不用・河喜田)、文兵衛 | 渡邊屋儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 17 | 64 | | | (書状、五日出をもつて金五拾四兩余御登せ成し下され御札などにつき) | (近世・年未詳)正月廿五日 | 川喜田久大夫(印)、文兵衛 | 渡邊屋儀藏様、御店兼中様 | 状 | |
| W6 | 17 | 65 | | | 追信奉申上候(当地成行の義、寛に取引罷在候、福直段祝儀取引相庭などにつき) | (近世・年未詳)正月五日 | 長谷川次郎吉(印)、<カ>三>大傳馬一・金銀不用)、豊七 | 渡部屋儀藏様、御店中様 | 状 | 端裏に「○サマ」とあり |
| W6 | 17 | 66 | | | (書状、先便をもつて金百六拾兩相届き御厚札申上、別紙夏もの類御用向仰せ付けられ御札などにつき) | (近世・年月日未詳) | | | 状 | 後欠、端裏に「○サマ」とあり |
| W6 | 17 | 67 | | | (書状、御上洛の儀一昨十三日御発駕在らせられ東海道別段障りなく御太守様・御領主片倉様昨十四日御着大悦仕候につき) | (近世・年未詳)二月十五日 | 長谷川次郎吉(印)、<カ>三>大傳馬一・金銀不用)、豊七 | 渡辺屋儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 17 | 68 | | | (書状、此度御注文仰せ付けられ御札、そのうち金巾絞細九寸帯・金巾襟持ち合わせなく申上候につき) | (近世・年未詳)二月廿四日 | 佐野屋久右衛門 | 渡邊屋儀藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | 端裏に「○サマ」とあり |
| W6 | 17 | 69 | | | (書状、別紙にて少々注文御願い申上、極急々御送り成し下されたぐにつき) | (近世・年未詳)正月十一日 | 奈良屋作兵衛、辰三郎 | 渡部屋儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 17 | 70 | | | 追啓申上候(初相庭成行の儀、旧冬より差して相替わらず品々私底のため頓と引き下し申さず候につき) | (近世・年未詳)正月十五日 | 長谷川源右衛門(印)、<カ>三>金銀不用)、惣兵衛 | 渡部屋儀藏様 | 状 | |
| W6 | 17 | 71 | | | (書状、杉山ばかり三十反、早々仕るべく候につき) | (近世・年未詳)五月廿五日 | 長谷川次郎吉(印)、豊七 | 渡辺や儀藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 17 | 72 | | | (書状、地嶋大高直に相成候につき) | (近世・年未詳)五月五日 | 三浦屋権四郎(印)、<カ>三>山形・三権(五か2名) | 渡辺儀藏様、豊吉様、御店中様 | 状 | |
| W6 | 17 | 73 | | | (書状、兼て御注文出残り大いに延引、漸々取り持ち候につき) | (近世・年未詳)四月廿八日 | 長谷川次郎吉(印)、豊七 | 渡辺屋儀藏様、豊吉様 | 状 | |
| W6 | 17 | 74 | | | (書状、御注文の品、甚だ延引に相成候につき) | (近世・年未詳)四月七日 | 佐野屋久右衛門、直兵衛 | 渡邊屋儀藏様、豊吉様、御店兼中様 | 状 | |

| 箱番号 | 枝1 | 枝2 | 枝3 | 枝4 | 表題(内容) | 作成年月日 | 差出人 | 受取人 | 形態 | 状態/備考 |
|-------|----|----|----|----|--------------------------------------|---------------|-----------------------|------------------|----|-------|
| W6 17 | 75 | | | | 口演(渡邊屋徳吉様行書状に同封した品々、早々御届け下さるべく願ひにつき) | (近世・年未詳)四月十一日 | 川喜田(印、<ピ>川>大傳馬臺・金銀不用) | 渡邊屋儀藏様 | 状 | |
| W6 17 | 76 | | | | (書状、大延引の注文品、即刻取り揃え送り申候につき) | (近世・年未詳)四月十八日 | 佐野屋丹兵衛(ほか2名) | 渡邊屋儀藏様、御店中様 | 状 | |
| W6 17 | 77 | | | | (書状、御荷物御改の受取・御入帳下さるべく候につき) | (近世・年未詳)四月廿七日 | 中町・平兵衛 | 渡辺屋儀藏様、豊吉様、御店衆中様 | 状 | |
| W6 17 | 78 | | | | (書状、仕切書御改めの御記帳願ひにつき) | (近世・年未詳)四月廿八日 | 小倉屋和助、半助 | 渡部屋義藏様、御尊店中様 | 状 | |
| W6 17 | 79 | | | | 入日記(石津屋重郎左衛門殿行など書上) | (近世・年未詳)四月廿四日 | 逢坂屋方 | ○御店様、御掛り衆中様 | 状 | |
| W6 17 | 80 | | | | (書状、注文の品仕入につき) | (近世・年未詳)四月十三日 | 三浦屋権四郎(ほか2名) | 渡辺儀藏様、御店中様 | 状 | |

白石市文化財調査報告書第49集

渡辺家文書Ⅰ 〈現況目録Ⅰ〉

平成二八年二月二日 発行

編集 白石市教育委員会

渡辺家文書調査研究会

発行 白石市文化遺産活用推進委員会

〒九八九―〇二〇六

白石市字寺屋敷前二五―六

電話 〇二二四―二二―一三四三

印刷 株式会社東北プリント

※表紙・裏表紙の図は、渡辺家文書の資料より掲載。

明治三十三年正月

瑞穂油仕込帳

茶屋(白鳥)

瑞穂油仕込帳

瑞穂油仕込帳

瑞穂油仕込帳

瑞穂油仕込帳

瑞穂油仕込帳

瑞穂油仕込帳

瑞穂油仕込帳



平成27年度文化庁

文化遺産を活かした地域活性化事業